建築と社會

商店建築號

内容

巴里商店の新傾向
商店の店頭と廣告
グラス建築とモダーン商店
今日の商店建築（寫眞）
貸家展見たまゝ……其他
紀伊半島の地形變動　今村博士
近代建築樣式に就いて

昭和四年九月一日

第十二輯
第九號

日本建築協會

防水工事

『インテグラルメソード』

米國ユー・シー・ホーン會社製
防水劑「ハイドラタイト」使用

効果絶對!!

施工簡易!!

最近竣工ノ
東京三井本舘（二層地下室深サ地盤ヨリ廿尺）
ニ施工シテ其良好ヲ證明シ
更ニ近々着工ノ
三井銀行—横濱・名古屋・大阪川口・船場—四支店
ニ御採用ノ光榮ニ浴セリ

日本一手販賣並工事請負

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三（大阪ビル內）
電話銀座(57)5330—5335(6)—2831—2833(3)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二一（野村ビル內）
電話本町 1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

（型錄贈呈）

會　告

六版

住宅懸賞圖案集

（六版出來）

═サンマーハウス═小住宅═貸家住宅═

四六倍版　約百頁　定價一部　金壹　圓　送料　市內書留拾貳錢　市外書留拾八錢

內　容═先般當協會が懸賞募集したる**サンマーハウス**及貸家住宅設計圖案中の優秀なるものを選びて上梓したるものにして建築家のみならず住宅建築をなさんとする一般人士の絕好參考資料と信ず

增　刷═本圖集は前月號廣告の通豫約に附した處時宜に適したのか申込殺到して遂に六版を重ねた、また申込洩の方多數あるを慮り更らに增刷を決行した賣切とならざる內にごしごし前金（市外の方は爲替又は振替口座大阪三九九七五番へ）を以て御申込下さい。

尙丸善本支店、柳々堂書店でも發賣して居りますから便宜御注文下さい。

社團法人　日本建築協會發行

大阪市西區土佐堀通一大同ビル

振替口座大阪三九九七五番

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號(延長許可)外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式**シヤッター**
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類
特許不二式**サッシ**受托販賣

合資會社 **大野製作所**

東京市芝區三田四國町二番地・電話三田(45)七三三七・八三三七番

八八五(45)島福話電・二中島區上區花此市阪大・所話員張出付取

商店建築號　建築と社會

第十二輯　第九號

目次

卷頭

◇卷頭　商店と共同建築……七
挿繪＝大大阪新態・舊態　北濱築地……七
◇紀伊半島に於ける慢性的並に急性的の地形變動に就いて……帝國學士院會員　理學博士　今村明恒……八…一三
◇近代建築の樣式に就いて……京都高等工藝學校　教授　工學士　本野精吾……一三…二一

商店建築特輯記事

◇巴里に於ける商店の新しい傾向……ルイ・シユロンネ……二三…二五
◇『グラス』に語る……村野藤吾……二六…三一
◇小商店の店頭……宮飼克二……三二…三六
◇商店と廣告……工學士　新名種夫……三六…四一
——主として夜間廣告に就いて——
◇今日の商店建築（寫眞）……四二…四四
◇商店制作（寫眞）……四五…四六
◇藝術的な商店看板（寫眞）……四七
◇アパートメント・ハウスの實例（2）……工學士　葛野壯一郎……四八…五〇

◇飛行機上より見たる建築と社會(5)
——政經界の巻・新聞界の巻——……下浦光衛…五一…六八
◇國際聯盟新會館設計の決定……國際聯盟東京事務局報…五八
◇貸家展見たまゝ記……本間乙彦…五九…六五
◇住宅の裏から覗いた保健衛生的設備……白石登喜男…六五…六八
◇白蟻の驅除及豫防法……伊藤元…六八…七〇
◇建築工事の事務と勘定(4)……由良基夫…七一…七八
中島智喜

附錄

◇寫眞　國際新建築集……三五…三八
◇寫眞　京阪神新建築集……四一…四四
◇會報……四四　◇本誌廣告目次……四一…四六
◇編輯後記……一三

繪口

◇一等入選貸家模型……一
◇二等入選貸家模型……一
◇未來の貸家建築街樂ビル……二
◇未來の貸家建築海中ビル……二
◇未來の貸家建築跨川ビル……二
◇未來の貸家建築立體的商店街……二
◇保健衛生部陳列の宣傳漫畫……四四
◇構造部の陳列白蟻に關するもの……四五
◇計畫部の陳列貸家建築の資料……四五
◇室內設備部の陳列庭園と化粧室及浴室……五六
◇室內設備部の陳列一般出品……六六
◇陳列塲の一部……六六

商店建築號　建築と社會

第十二輯
第九號

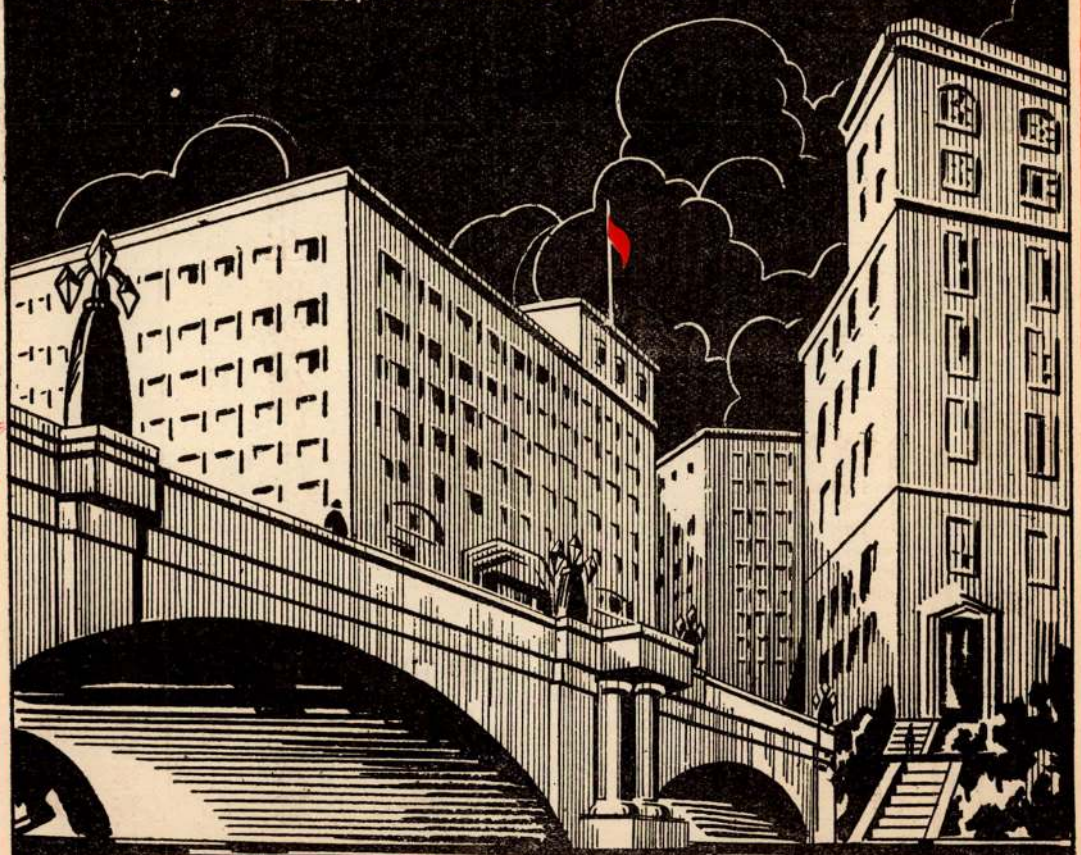
目次

小野田白色ポルトランドセメント

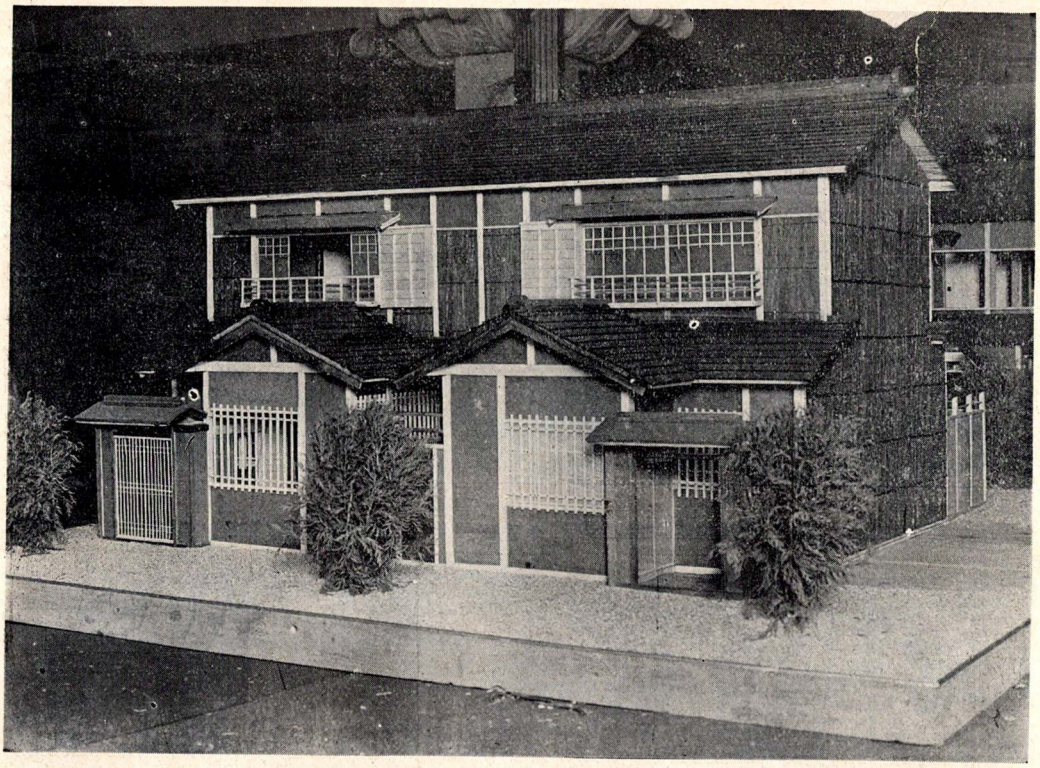
小野田ポルトランドセメント

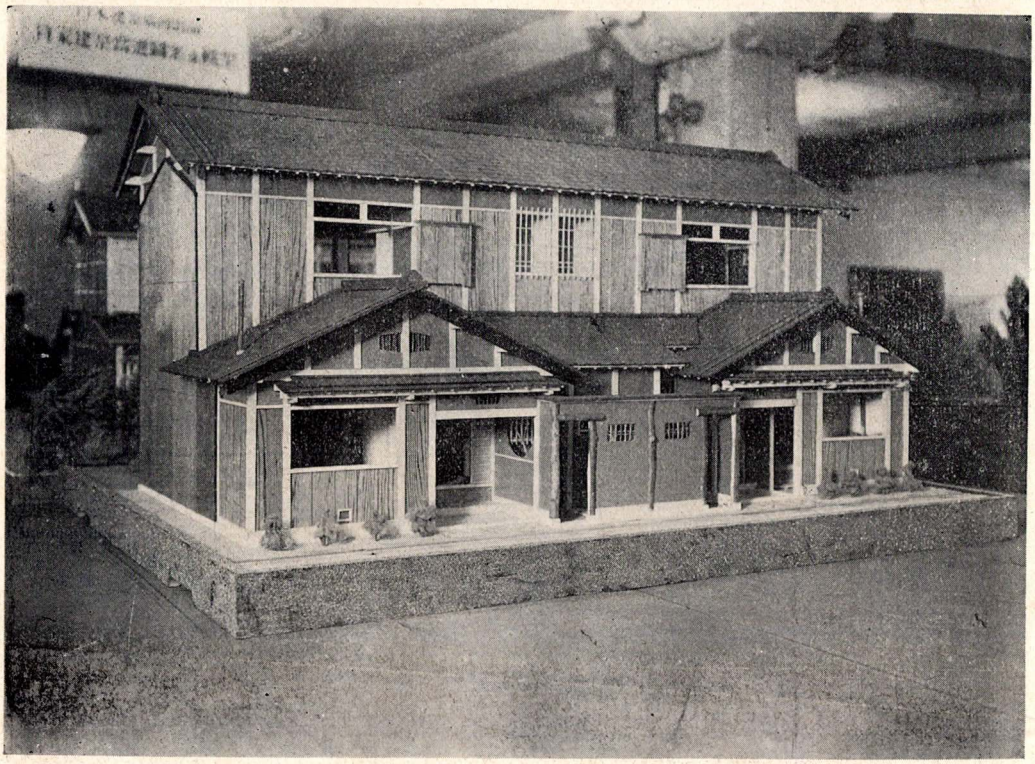
創　立　明治十四年
資本金　金参千万円
年産額　八十八万瓲(五百二十万樽)
本社工場　山口県厚狭郡小野田町

支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町



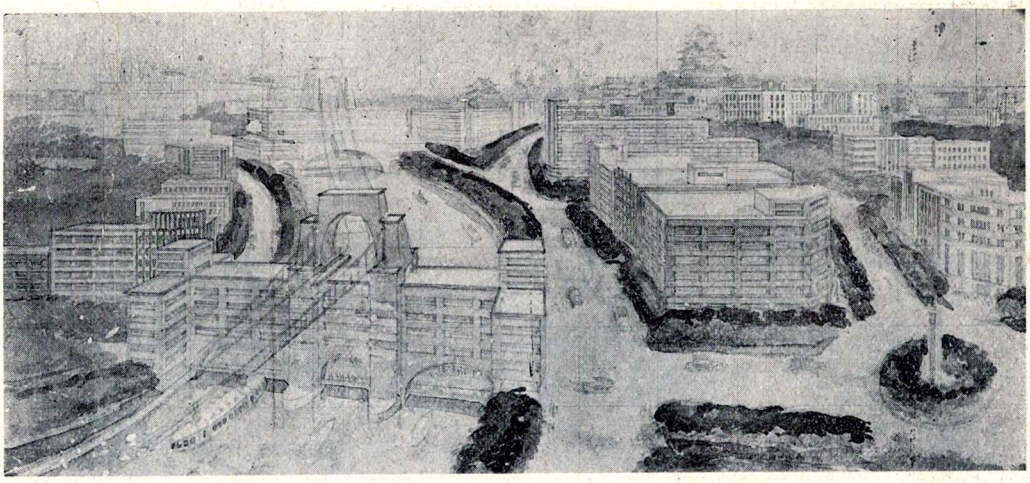
一手販賣
三井物産株式會社

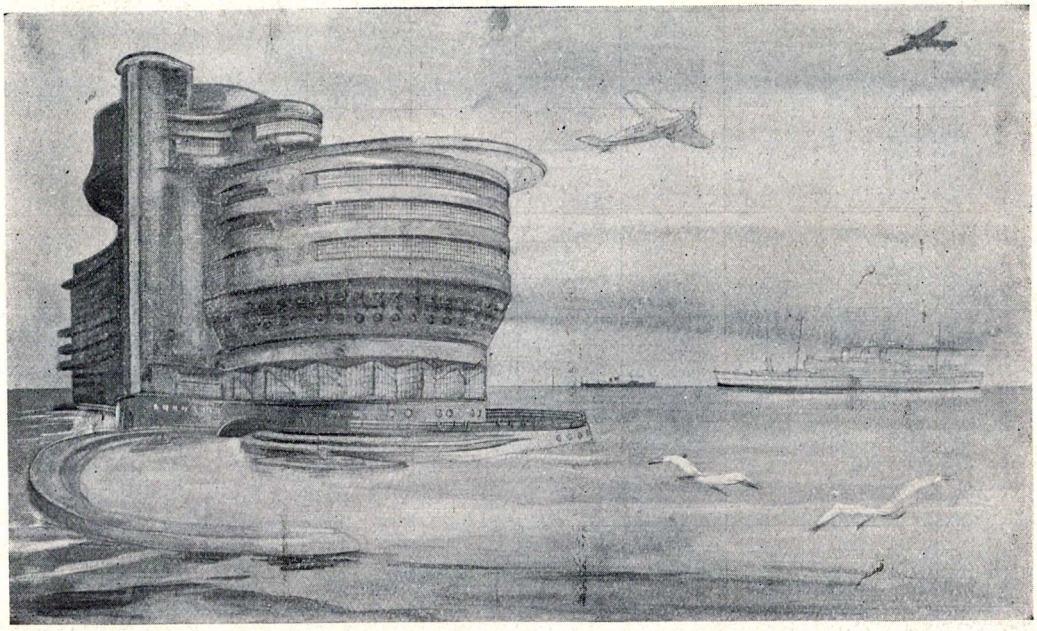




上・模型になつた貸家一等入選案　下・同　二等入選案
設計　弘永輝雄・堀井三郎　　設計　鈴木久・柳本傳兩氏
　　古谷梅治三氏
製作　大阪府立今宮職工學校　　製作　大阪府立西野田職工學校

貸家建築に關する展覽會



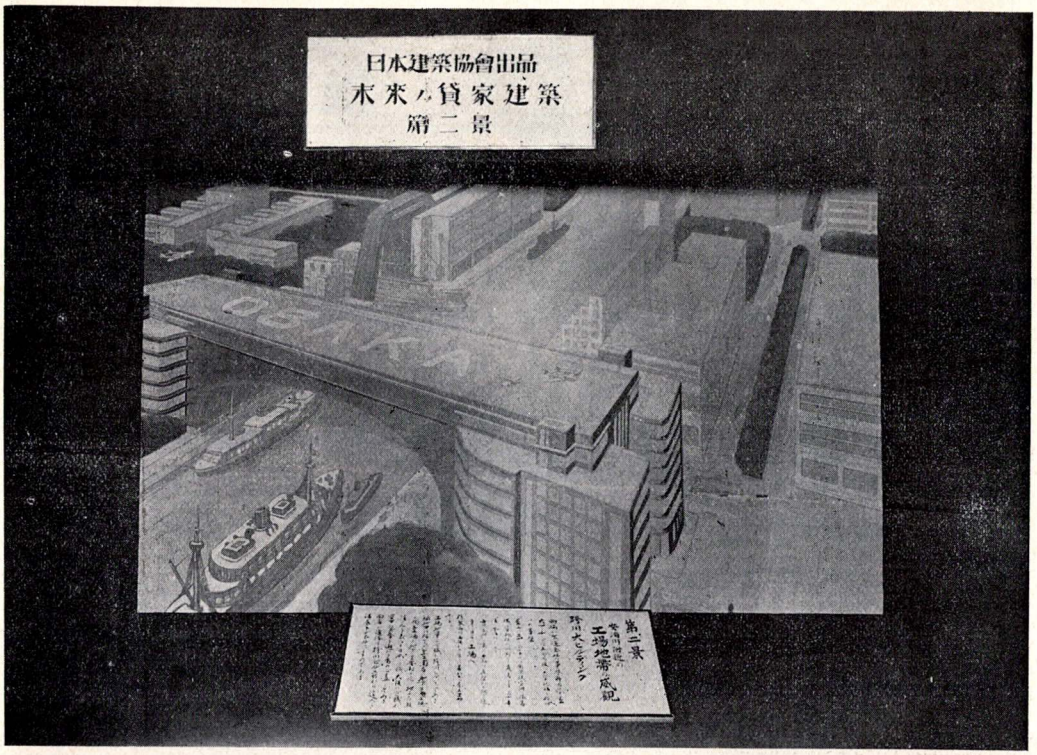


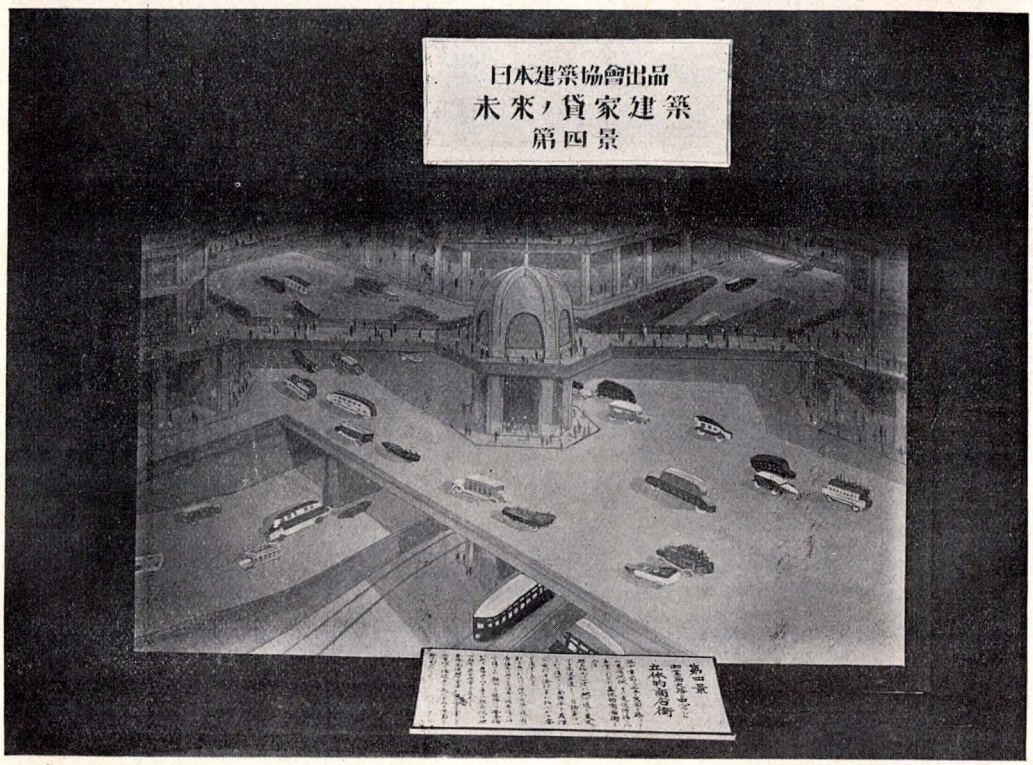
貸家建築に關する展覽會

未來の貸家建築

上・第一景　大阪城天主閣を背景にした橋梁ビルヂング

下・第三景　大阪築港々外の海中ビルヂング





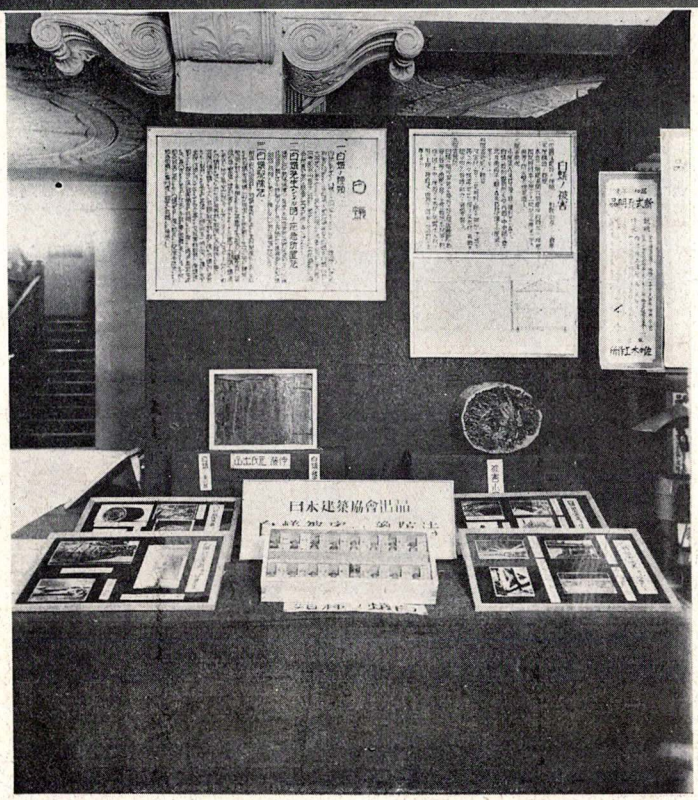
貸家建築に關する展覽會

未來の貸家建築

上・ 第二景　安治川附近工場地帶の俯觀
跨川大ビルヂング

下・ 第四景　御堂筋大路を中心にした
立體的商店街





貸家建築に關する展覽會

上・保健衛生部陳列の宣傳漫畫
下・構造部陳列の一部白蟻に關する陳列

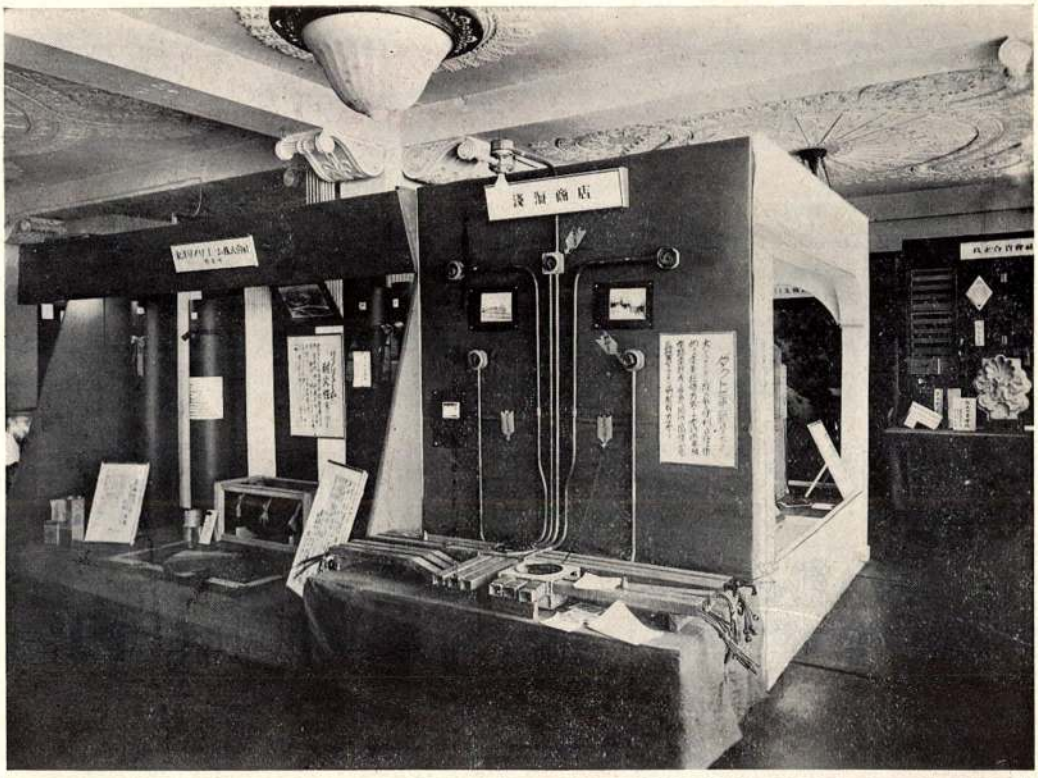




貸家建築に關する展覽會

上・計畫部の陳列貸家建築の各種資料

下・室內設備部陳列の一部庭園と化粧室及浴室實物模型





貸家建築に關する展覽會

上・室内設備部の陳列一般出品
下・陳列場の一部

夏ハ蚊ロールスクリーン

Rolscreens
The Ideal Screen For Casements

特許第74197號

近來模造品多數あり本品御指定ありたし



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
三一六八番

晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便なロールスクリーンの御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實にスクリーンの問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此のスクリーンの用意をして置かねばなりません。

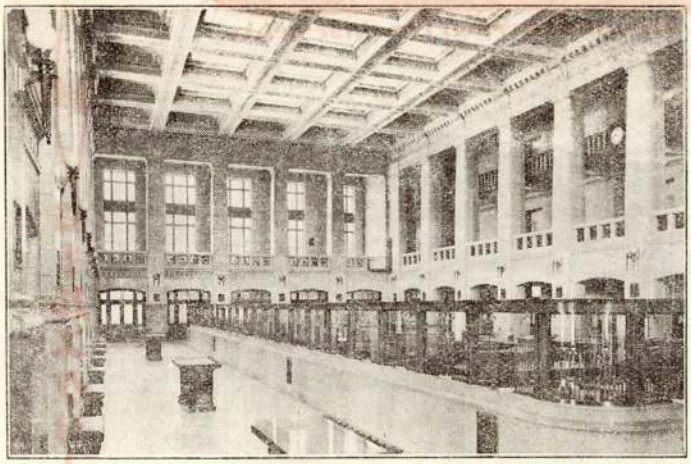
然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我がロールスクリーンの出現及び提供であります

◆耐震耐火—品質優良—優美高尚—價格至廉◆

金屬天井

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレックス（リブラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲舶來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフエルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬鍛工場

型錄進呈

田村商會

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

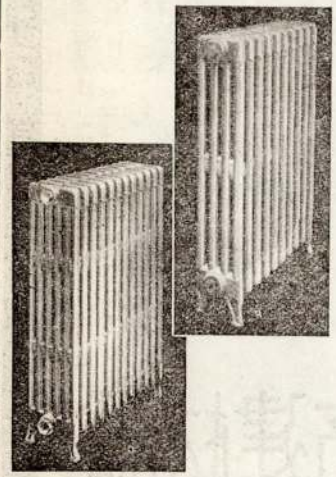
工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇）

AMERICAN RADIATOR COMPANY
NATIONAL RADIATOR COMPANY

アメリカン ラヂエーター會社製

ナシヨナル ラヂエーター會社製

暖房用汽罐放熱器及附屬品一式



Ideal Classic Radiator



Ideal Red Jacket Boiler



Ideal Airid
Air Valve



No. 999 Arco
Packless Valve

日 本 代 理 店

大倉商事株式會社

東京銀座　大阪東區釣鐘町

金属天井

サドシマ式

内径寸法御通知次第至急値段ヲ以テ
御見積致シマス。

佐渡島西店建材部
大阪市南區安堂寺橋通三丁目
電話船場933.932.922.

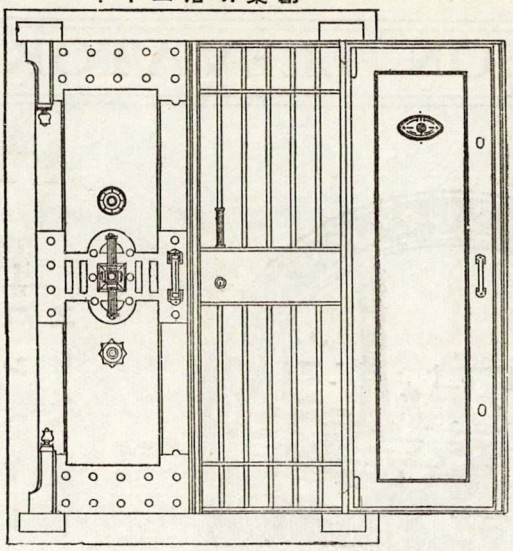
カタログ贈呈

新案特許

火焰遮斷裝置防火扉は

國立大阪工業試驗所に於ける耐熱試驗の結果
最高温度攝氏壹千貳百八拾度
連續加熱七時間十五分の新記錄を示せり

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す



金庫室防火扉

御用命を蒙り納入せる尊名

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

日本銀行名古屋支店
三井銀行
三十四銀行
山口銀行
野村銀行
伊藤銀行本店
名古屋銀行
明治銀行
大垣共立銀行
濃飛農工銀行
蘇原銀行
濱松銀行
中埜銀行（愛知縣）
大野銀行
灘商業銀行
武庫銀行
西海商業銀行

久美濱銀行
大垣貯蓄銀行
大阪貯蓄銀行
内國貯金銀行
朝日堂株式會社
野村證券株式會社
野村合名會社
奈良信託株式會社
東邦瓦斯株式會社
三井信託株式會社
三井物産株式會社
大日本人造肥料株式會社
豊國火災保險株式會社
東洋海上火災保險株式會社
三菱電氣神戸製作所
松阪屋呉服店
金光教大阪教會所
呉銀行本店

名古屋 岡谷本邸
萩町信用組合
株式會社鹽野義商店
株式會社武田長兵衛商店
芦屋 八馬邸
芦屋 竹内邸
名古屋 安藤商店
名古屋 池田商店
名古屋 岩津邸
京都 平瀬邸
呉市 西郷邸
三宅邸
西宮市廳舍
魚崎 多聞合資會社
中村邸
名古屋 松阪屋呉服店
金光教大阪教會所
呉銀行本店

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主 瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場 九條南通一丁目 | 三軒家上之町 | 北境川町

NIPPON ELEVATOR CO.



営業科目

一般輸送機械
ホイスト
ケーブルカー
自働階段
コンベヤー各種
エレベーター各種

製作設計

日本エレベーター製造株式會社

本　社　大阪市東區中道川西町
電話東局(94) 2367

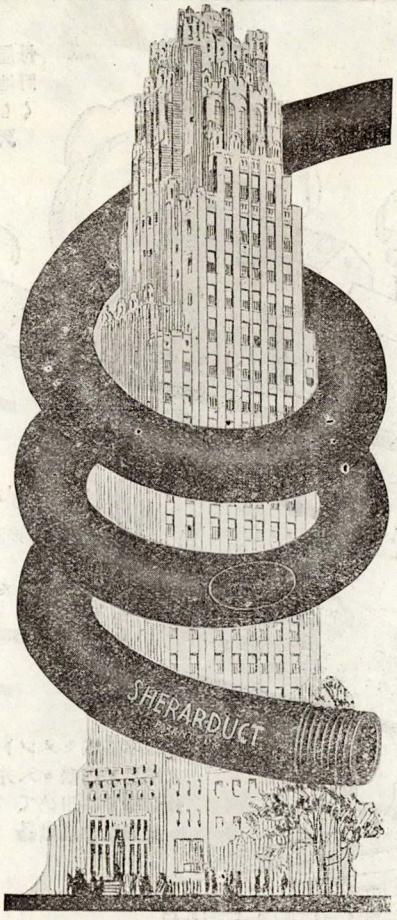
工　場　兵庫縣尼崎市外神崎驛北側
電話土佐堀局(44) 7328・7329

支　店　東京驛前丸ノ内ビルヂング四階
電話丸ノ内(23)3073・3074

專賣特許　東松式外參拾貳件

シエラーダクト

絶對防錆



優秀第一

型錄進呈

日本總代理店

ナンコク商事株式會社

東京　大阪　紐育

丸ノ内仲通十號館　堺筋・野村ビル　チヤーチ街

淺野波形板



母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材

淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	名古屋	札幌
京橋區三十間堀三	北區中之島五，八	白	中區南鍛冶屋町三	北三條西四ノ一
電話	電話土佐堀	電話	電話中	電話
銀座 一八六〇	八二〇五	木	一九二三一	一〇九七
一八六一	長八二〇七	鮎	八	長五九八
一八六二				

弘製ユメント石綿セメント製波
形下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板



大阪市港區市岡町五三二
關西ステンドグラス製作所
電話西二二三四番

昭和四年度『建築と社會』特輯號廣告

二　月　號　震災豫防號（既刊）
三　月　號　レストランとカツフエー號（既刊）
四　月　號　鄉土建築號（既刊）
五　月　號　小住宅研究第一集（既刊）
六　月　號　小住宅研究第二集（既刊）
七　月　號　都市美觀號（既刊）
八　月　號　貸家建築とアパートメント號（既刊）
九　月　號　商店建築號（既刊）
十　月　號　林泉と庭園號
十一月號　照明、暖房、衛生研究號
十二月號　防火建築とビルヂング號
一　月　號　昭和四年建築大觀號

十月號は林泉と庭園、また十一月號は照明暖房及衛生研究號です。どしどし會員諸君の御投稿を冀ひます。

建築と社會編輯部

建築と社會第十二輯第九號

廣告目次

頁

A
葵商會……一七
有山組……三五
安藤組大阪支店……三五
淺野物產株式會社大阪支店建築材料部……五一
淺野スレート株式會社……一〇〇
淺野スレート株式會社……八〇〇
淺海商店……六〇
阿部鐵工所……六四

D
デウエット商會……六五
大和工業株式會社……八六

E
エッチ・イー・ルート……一八
エッチ・イー・ルート榮進社……一九
衛生工業商會……三一

F
福原工場大阪販賣店……四二
藤田商會……四〇
藤木工務店……三四
古塚建築事務所……二九

H
橋本建築事務所……二九
橋本庭園工務所……二三
波江野工生所……三八
白陽工務店……三一
汎建製作所……表紙三
原科建築事務所……二九
本間建築事務所……二九

I
池田建築事務所……二九
池田谷建築事務所……二九
池田組……三一
伊丹商店……四八
伊藤建築事務所……二九
井原建築事務所……二九

K
クロースルーフ井シグ製造所……五六
久保田組……三三
江東サッシ株式會社……六七
木下謹三商店……七二
熊取谷熊次郎商店……三四
高陽商會……一六
國枝工務所……二九
川崎工業所……四三〇
金剛商會……四三
片岡、石本建築事務所……二八
桐田商會……六二
葛野建築事務所……二八
建築金物商會……表紙四
春日井建築事務所……二八
鴻池組……三五
駒井喜商店鐵工部……三五
工材社（阪口芳三郎）……二四
龜谷開作商店……三三
關西ステンドグラス製作所……一一
關城化學工業株式會社……二二

M
松安洋家具商會……四七
松村組……三四
松本商店……七四
村上建築事務所……二八
三井物產株式會社……二二
三熊製疊所……四八
森木建築社……三六
眞水三橋建築事務所……二八
宮島康夫商店……八一
万年スレート株式會社……一四
みよし組電氣工業所……七三

N
ナンコク商事株式會社……九
内外エレベーター株式會社……四九
内外土木建築材料合資會社……八〇
浪花設計事務所……二八
日本洋瓦株式會社大阪出張所……四六
日本木材工藝株式會社……八二
日本スレート販賣株式會社大阪支店……一五
日本ペイント製造株式會社……一七
日本エレベーター製造株式會社……八
日本石油株式會社……二五
日本水道衛生工事株式會社……六一
日本建築紙工株式會社大阪出張所……四七
日本鋼製建具株式會社大阪支店……六九
日本燃油機株式會社……八三
日本トランスコン鋼材株式會社……八四
日本地下水協會……八五
日本工劑株式會社……七九
西孫南店建築金物部……四一
西原衛生工業所大阪支店……三〇
中川辰藏店……三三
中村建築事務所……二八
南滿鑛業株式會社……五三
野澤幸三郎商店……六八
野村建築事務所……二八

O
オキナ商店……五五
大阪ピトロライト工事合資會社……一六
大阪耐火リノリューム工業合資會社……五〇
大阪石膏株式會社……七五
大阪窯業セメント株式會社……二一
大阪鐵筋混凝土工務所……三二
大阪橋本組……三二
大林組……三二
大平工業所……七八
大倉商事株式會社……三五
大倉土木株式會社大阪出張所……三一
大塚鐵工所金庫部……七
大野製作所……一一
大阪建築所……二七
大谷庫店……二〇
小笠原建築事務所……二七
小野木横井共同建築事務所……二七
岡本工務店……三二
岡部建築事務所……二七
岡田建築材料店……五六
置鹽建築事務所……二七
奥村重兵衛商店……六三

R
ラバロイド商會……一三
玲光社（木内眞太郎）……五四

S
SO商會……四四
須賀商會……四五
島田建築事務所……二七
島津製作所貿易部……八八
島貿易株式會社建材部……三

T
東洋コンクリート合資會社……五八
東洋工業株式會社コルク部……一四
東洋スレート株式會社……八七
東亞鐵工所……五七
東京機械金鋼工場……八一
田中昌司商店……七七
田村商會……四
田村事務所……二六
竹中工務店……三三
朝永建築事務所……二六
高安商店……七七

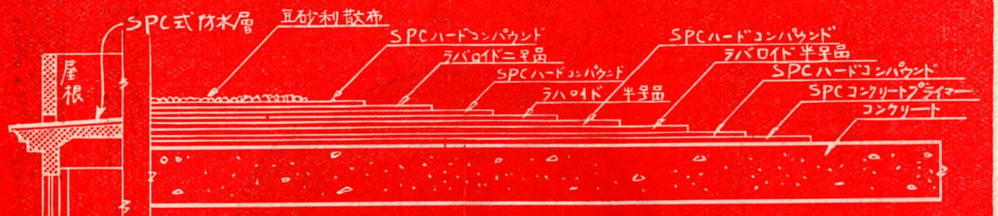
U
上野建築事務所……二六

V
ベニス工房……五二

W
和田建築事務所……二六

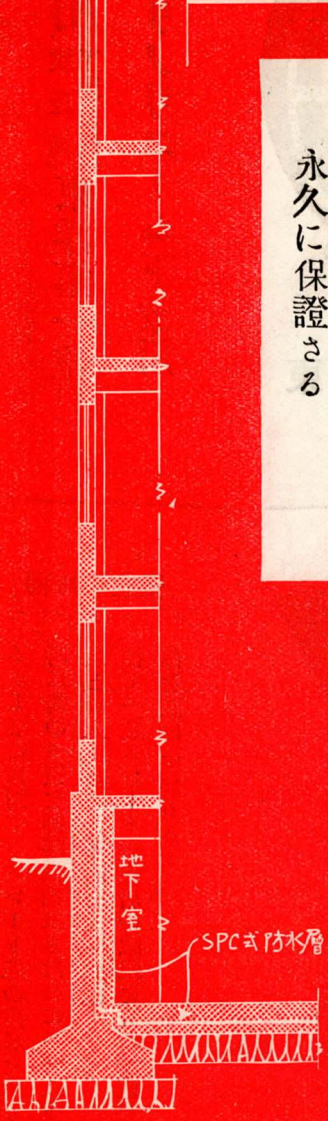
Y
山本東作商店……七二
山本窯業商店……五二
山中商會……五九
山田大理石製作所……三四
山崎吉松商店……七六
安井建築事務所……二六
矢橋大理石商店……四〇
米本商店……四
横工務所……二六
横濱建築事務所……二六

Z
錢高組……三六
佐久間建材工業所……三七
佐渡島西店建材部……六
佐伯組……三六
三五製作所……七〇
三機工業株式會社……表紙二
笹岡家具裝飾店……三八
城口研究所大阪支店……六六
宗建築事務所……二七
設樂建築事務所……二六
清水榮二建築事務所……二七
清水組大阪支店……三六
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……七〇



SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
ラバロイドに依て
永久に保證さる



大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 一 六九〇番 五六〇〇番）

冷藏防熱用 製産高（工場設備）東洋第一位!!
住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二番
三九七一番

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九番

東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番

石綿セメント製万年スレート
万年壁板製造販賣請負
万年パイプ



大阪市西區新町南通三丁目二番地
万年スレート株式會社
電話新町四〇七〇番

工場　大阪市西成區千本通七電天下茶屋二四八〇
出張所　神戸市東尻池町運河堀止（電兵一一〇九番）
岡山市仁王町六〇番地（電話一〇三番）
福岡市渡邊通三丁目（電話三二二番）
熊本市山崎町四八番地（電話二七〇六番）
鹿兒島市新屋敷町九一（電話七四二番）
出張員　朝鮮。京城府

獨特の主張

不正工事に原因するスレート葺の汚名を雪ぐと同時に其の眞價を御認識願度きためにスレートの製造と葺上工事との不可分を主張致します
從て一般スレート販賣店の敵視をも顧ず直營工事部を設けて居ります

日本ペイント

創業明治十四年

ニホンラッカー

ニホンラッカーは當社獨特の技術と最新の設備とに依りて製造された品質の優秀な高級纖維塗料でありまして透明**ラッカー**、**ラッカーエナメル**其の他之に必要な各種下地劑及附屬材料を準備して居ります。**ニホンラッカー**は從來の油性塗料の缺陷である乾燥の遲滯、塗膜の軟弱を完全に補ひ耐水、耐熱耐油性で而かも漆の様な強固な塗膜と上品な光澤を具へて居りますから自動車の車體・汽車、電車等車輛の内外に盛んに用ひらるゝに至りました。**ニホンラッカー**は此の外家具、樂器、機械、器具等に用ひて塗裝時間の節約と仕上の美麗な點で大方の御滿足を得て居ります。是非御使用を御奬め致します



東洋最大之工場

大阪　東京

純國産

ニュース印（日本ドアーチエック製品）

扉閉鎖器（ドアーチエック）各種

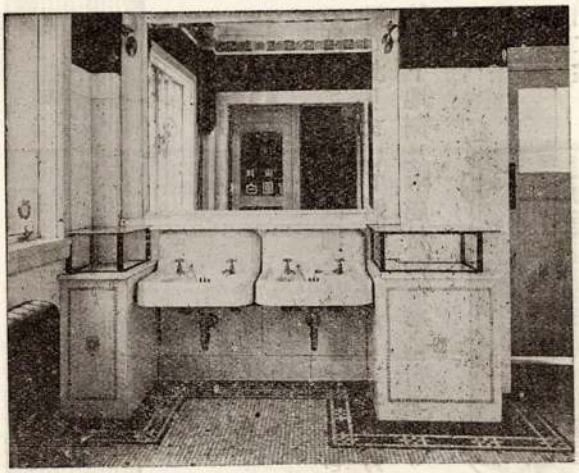
重なる納入先

農林省	大阪朝日新聞社
八幡製鐵所	大阪毎日新聞社
大阪鐵道局	大阪遞信局
呉海軍工廠	寶塚ホテル
株式會社大丸	大林組
丸龜市役所	清水組
大阪商船會社	大倉組
大阪鐵工所	大阪高等工業學校
明治海運	其他省略

發賣元

合資會社 **高陽商店**

大阪市西區立賣堀南通四丁目
電話新町四三九六番
振替大阪二一二五二番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ

3尺×6尺

色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

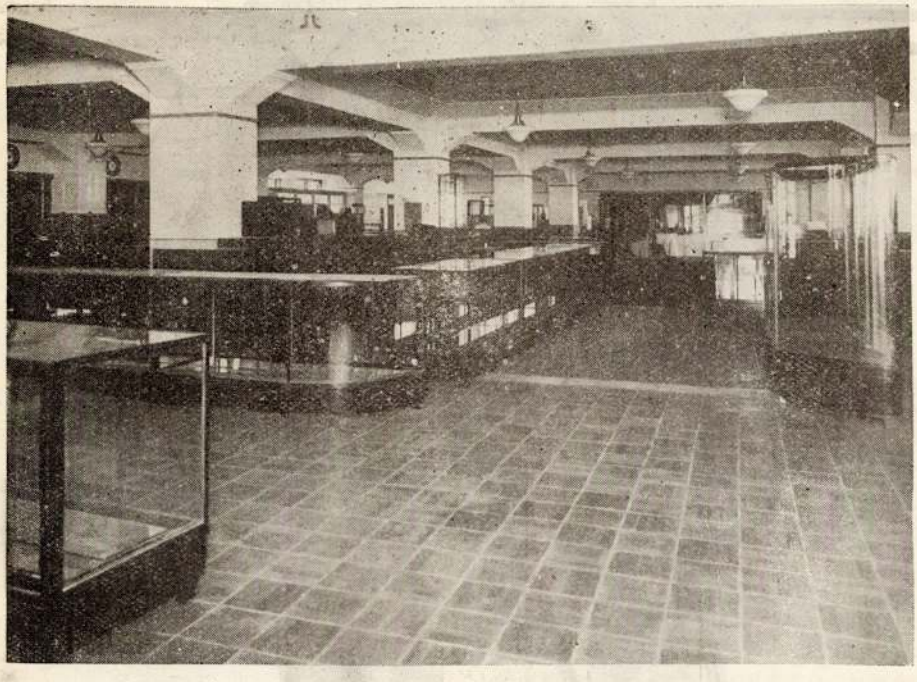
大阪ビトロライト工事合資會社

電話櫻川二二一四番

出張所　東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地　電話日本橋(24)〇九六九番

▶寫眞は新案特許・專賣特許リード床御使用の◀

阪急マーケット



◎竹中工務店　施工

◎施工面積　一千百坪

理想的根太無床板

特許ビトリウム床
特許ビトチック內外壁
特許葵式フローリング
ブロック

專賣特許 **練革床會**

實製 **楢床板商**

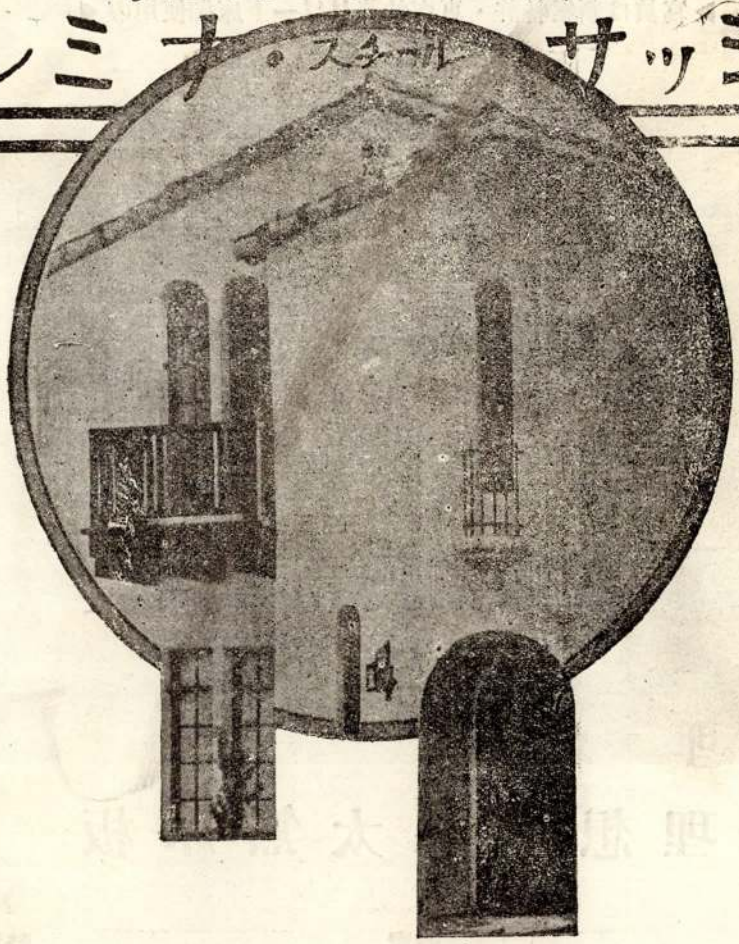
特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

葵衛生工事

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西(長)四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町二ノ一　電話京橋三九五・九三二

フエネストラ　改稱

ルミナ・スチール　サッシ



ケースメント　ウィンドウ

あなたの

その平和な殿堂愛の家に

是非取付けて欲しい　現代的リズミカルな

ルミナ・ケースメント窓をお薦め致します。

デトロイト・スチール・プロダクト・コンパニー

日本特派代表者

エッチ・イー・ルート事務所

横濱市中區山下町五十四番館

各地代理店

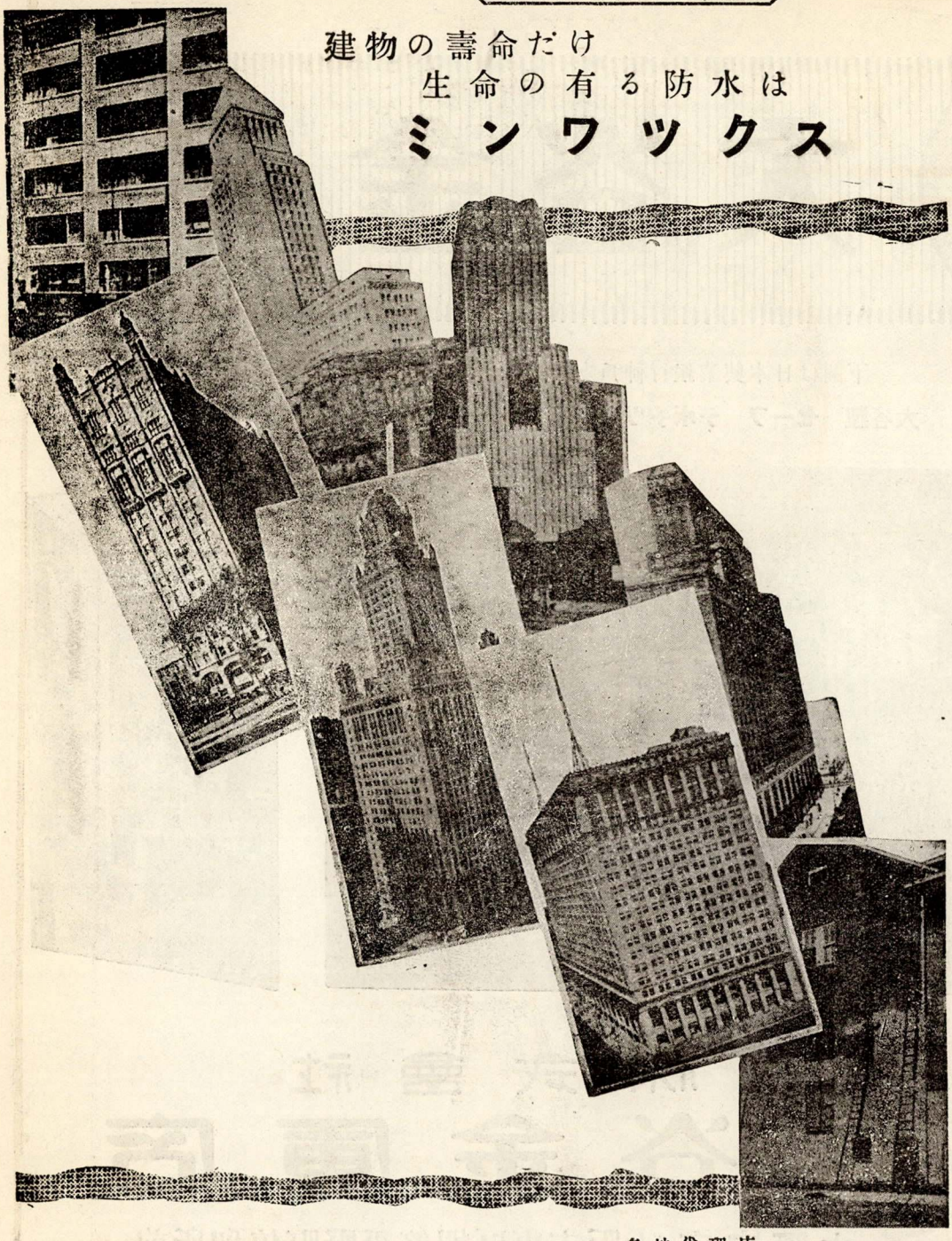
大阪東區	島貿易株式會社
東京日本橋區	仝　東京支店
朝鮮京城	株式會社伊藤商行
大連山縣通	合名會社原田組
臺灣臺北	株式會社山一商行

【カタログ御一報次第進呈す】

AD.L-52

MINWAX

建物の壽命だけ
生命の有る防水は
ミンワックス



各地代理店

大阪東區	島貿易株式會社		
東京日本橋區	仝	東京支店	
朝鮮京城	株式會社伊藤商行		
大連山縣通	合名會社原田組		
臺灣臺北	株式會社山一商行		

【カタログ御一報次第進呈す】

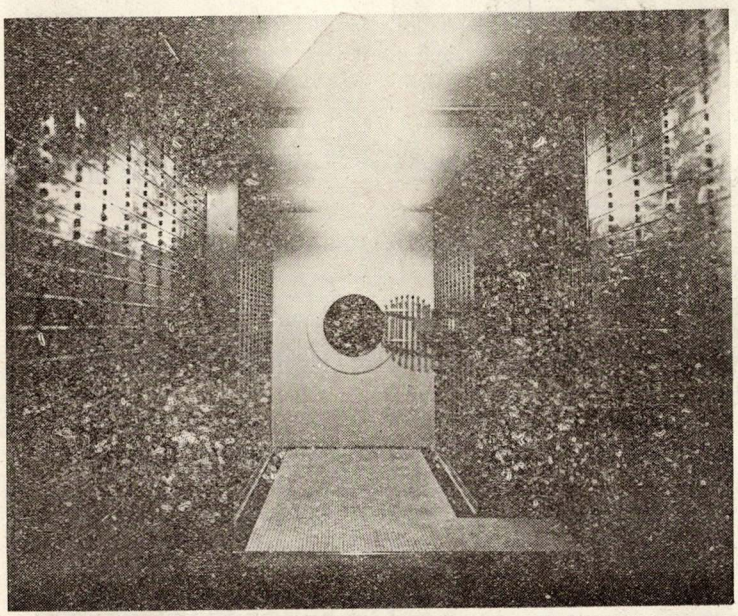
ミンワックス・カンパニー・インコーポレーション
日本代派者
エッチ・イー・ルート事務所
横濱市中區山下町五十四番館

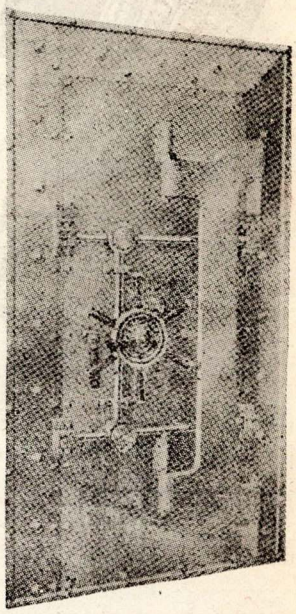
M-D-M-51

大谷金庫

下圖は日本興業銀行神戸支店殿御新築に際し納入の榮に浴したる

大谷製 セーフ デポヂツト ボツクス 並に セーフ ボールド ドワー





株式會社

大谷金庫店

大阪支店 大阪市東區堺筋平野町停留所前

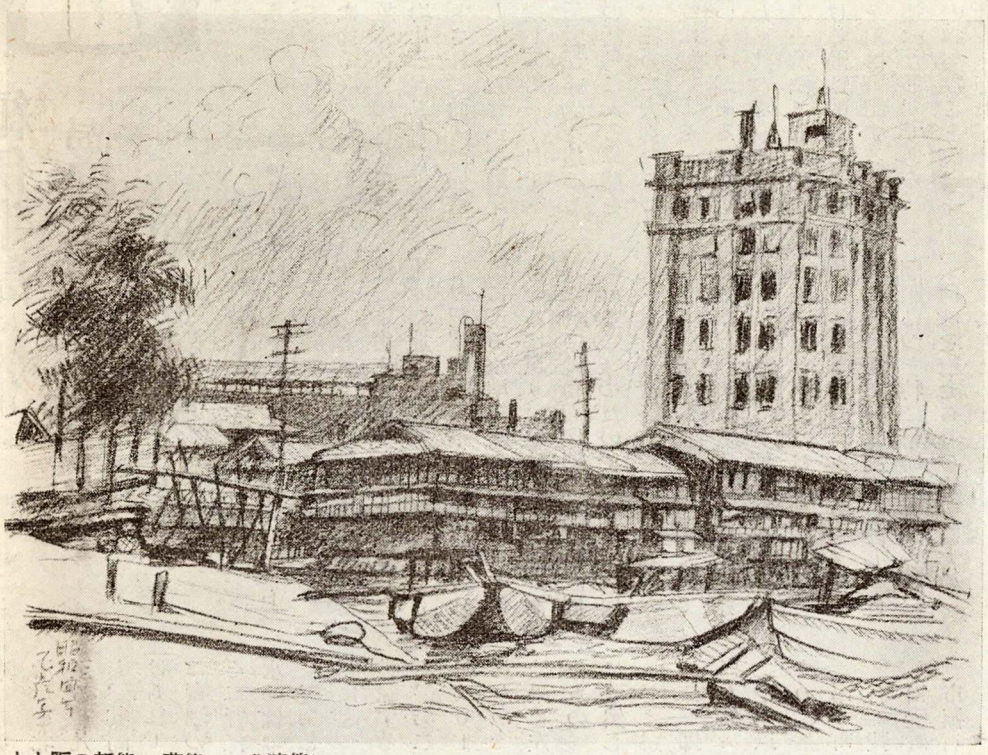
電話本局三九三四番

其ノ他

本支店 東京・京都・神戸

第十二輯　建築と社會　第九號

商店建築號



大大阪の新態・舊態　北濱築地

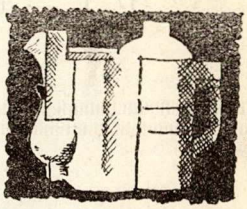
商店と共同建築

都市に於ける建築敷地は、從來木造建築を主として居る關係上、面積の狹少なもの、形狀の不整なものが非常に多い。殊に繁華なる所ほど小さく、複雜に區分せられて居る傾がある。

狹い敷地内で、各人單獨に總ての設備を有する建築をしやうとしても迚も出來るものでない。よし建てたところで、非常に不經濟であり又不體裁な外觀を以て滿足せねばならぬ場合が多いのである。それに一方防火地區の制が布かれて、防火地區内で本建築をしやうとすれば、必ず耐火構造でなければならないことになつて居る。若し現在のやうな敷地に各人獨立して耐火構造の本建築をしやうものなら、不經濟不體裁は一層甚だしくなるであらう。こゝに於て共同建築の必要が起つて來る。凡そ共同は近代社會の趨勢であつて、目醒めたる現代人は、相倚り相扶けて各人の生活樣式を圓滿に向上せしめることに努めてゐる。共同建築はこの趨勢が、建築の方面へ現れたものである。

共同建築が單獨建築に比して有利な點は、經濟上から見て、建築費を少なくし、高層建築物の出現を容易にし、無用の空地を生じない利益があり、構造上からは、建築の最要條件たる耐震的になすことに依つて安寧を加へること、更らに又美觀上から言つても、家並が綺麗だから都市の美觀を增し、從つて、通の繁榮を來たし、商業の發展となるのである。

ちかごろのデパートメントストア對小賣商店の對抗から見て、他にも種々の原因があるであらうが經濟的能率的なこの共同建築に據る商業大『ビルヂング』の續々出現して、之が解決の一助とならむことを望む。



紀伊半島に於ける慢性的並に急性的の地形變動に就いて

帝國學士院會員
理學博士　今村明恒

曾つて論じた通り（文一）、近畿南部地方は最近六百年間に於て、地震活動が平均凡そ百二十三年の間隔を以て繰返され、而も前回活動の絶頂たりし安政元年から最早七十五年も經過して居る今日であるから、若し活動が前例を追ふものならば、次の活動に入る時期を捉へることは、極めて大切なことであり、其研究に就いても一刻の猶豫を許さないものがある樣に思はれる。さうして其の時期を捉へるといふ問題の一解法としては、當該地方に於ける漫性的並に急性的の地形變動を追跡觀測するにあることも既に述べた通りである。

如上の研究の必要なことは、一面に於ては帝國學士院より、又他の方面に於ては二三特志家により

て認められ、一は同僚山崎直方博士と筆者とに與へられた研究費と陸地測量部の好意的助力とによりて、紀州南端串本から大阪北方吹田に至る水準線路の精密測量を遂行するに至り、他は紀伊水道の兩側に於て地動觀測網の一眼を設置し得るに至つたのである。前者は既に其計測を終り、極めて重要な結果を提供せられるに至つたのであるが、後者に於ても、觀測開始以來着々として有望な結果を齎しつゝあり、其一端は本研究にも應用し得べき程度に達したことであるから、茲に其概況を陳述し、此問題につき特に幇助を與へられ、又興味を有せられる大方諸士の一粲に供したいと思ふ。

◇

今回實測せられた水準線路は前陳の通り、紀州南端串本から、西沿岸を北上して、大阪北方吹田に至る、凡そ二百六十粁の距離を有し、其間に百三十個の水準點が設けられてある。

實測の方法は、線路上に於て凡そ二粁毎に一つづゝ設置せられた水準標の標高を、前後二回に亘りて實測し、二者の差を以て、此期間に起つた地盤の隆起或は沈下を推算するのである。斷るまでもなく、第二回の實測は昨昭和三年六月より十一月に至る間に於て行はれたのであつて、此間には計測の結果を左右する程の變動がなかつたものと假定し得られるのであるが、然しながら第一回の實測に就いては同樣の取扱をなす譯には行かぬ。即ち實測の時期が次に示す通り區々になつて居て、其中には二十年以上の差違のあるものも含まれて居る。

串本町標石番號8から田邊町標石番號2184まで　明治三十二年

田邊町標石番號4928から和歌山市標石番號4877まで

明治二十九年

和歌山市標石番號273から大阪市標石番號2133まで

明治十九年

大阪市標石番號235から吹田村標石番號472まで

明治四十年

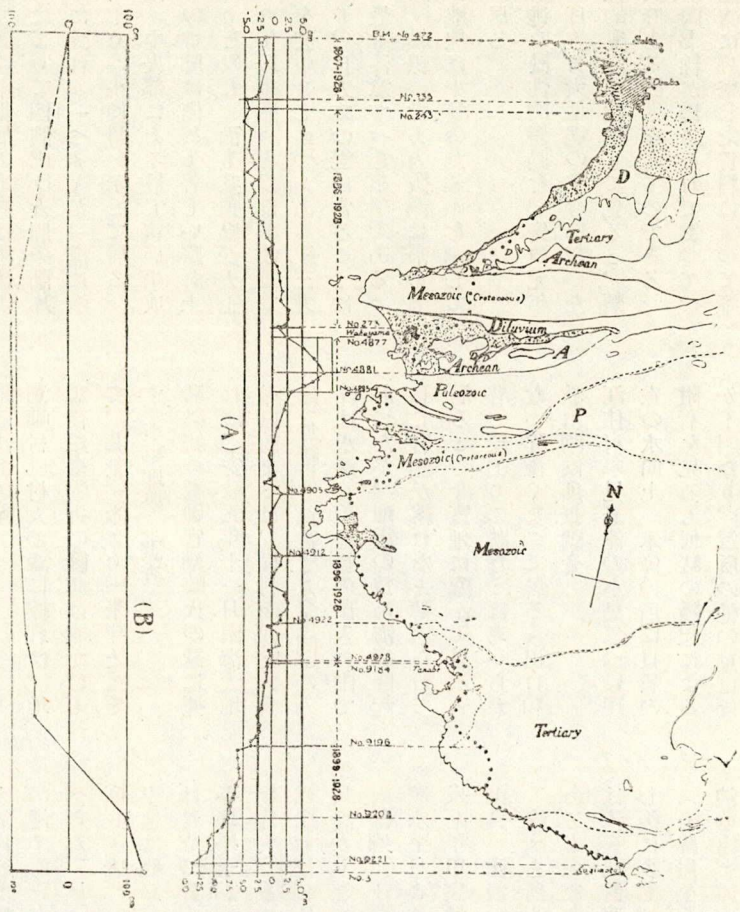
幸に吾々の研究に最も大切な串本町和歌山市間が、南半は二十九年間、北半は三十二年間に起つた變化を表はし隨つて兩方を繼合せるに大した困難を感じないが、然しながら和歌山市から北方吹田村に至るまでを之に繼合せることは容易でない。筆者は此爲めに、次の樣な二つの假定をなした。

（一）串本町標石番號3（檢潮所基準標石）は最近二十九年間に地盤の沈下十四糎なりしこと。

（二）前後二回の實測期間に於て各標點の變動が均一に起りたること。

第一の假定は串本檢潮所に於ける年次平均海水位の實測値（明治三十三年から昭和二年までの分）に基づけるものであつて、假定といふよりも、寧ろ事實に近いものである。次に第二假定は、之を和歌山市以南に適用することには讀者も異議を挾まれないであらうと想像

第一圖



するけれども、之を以北に及ぼすことに就いては疑問とせられるかも知れない。即ち此疑問は、最近の二十一年間と其前の二十一年間とに於て、該地方の地形變動が均一に起つたことを假定するに因るものであるが、併し此假定の下に於て、兩方の部分の變動が合理的であるかの如く連絡すること（第一圖）、猶ほ串本に於ける年次平均海水位の變化も概して均一の狀態を示すことなどは、此假定の無理でないことを證據立てるものであらう。特に著者が後に論ずる通り問題の地塊傾斜運動は、地震力蓄積の發現であると解することを許されるならば、前記の假定は寧ろ合理的であると言ひ得られるであらう。

◇

著者は前陳の通り、二個の假定の下に於て全局の地形變動を追跡することにしたのであるが、之を圖示するに當りては、從來屢々採用された通り、線路を一直線に伸ばして此上に高低の變化を表はすのも一法であるけれども、本問の場合に於ては、此地方に最も著明な構造線に直角と平行との方向に射影して見る事が、最も便利な樣に思はれる。即ち全地域は、最南端から北方へ順次に數へて、第三紀層から中生層、古生層を經て、太古層の軸線に達し、次に再び中生層、第三紀層となつて、大阪平野の新生層に至るものであつて、生成の年代を異にして居る各地塊は、略ぼ西微南から東微北へ走れる構造線を以て互に界されて居るのである。

以上の假定に基づき、北微西から南微東に向へる一直線上に各水準點を射影し、之に相當せる水準差を縱線上に取り、各座標の對應點を順次に連ねるに、第一圖Aに示した樣な折線が得られる。同樣に直角な他の線に對する射影も得られるのであるが、此方は安政年度にも急性的變動の現出しなかつた向きであるから、他の方向のもの程の價値が認められない。之に反してA線は各地塊が、漫性的にも、將た急性的にも、當然起るべき傾斜の主成分を現はすものとして、最も重視すべきものでなければならない。

今前圖を一瞥するに、地塊の漫性的傾斜運動につき、次の特徴が氣附かれる。

一　第三紀以後新生の地塊は沈下し、太古層及び古生層は隆起し、中間の中生層は部分的には特色ある傾斜をなすも大體に於ては舊水準を維持すること。正に一般の大地震に伴ふ急性的變動に比較して反對なる方向を示し、大正十二年關東大地震の場合に經驗せら

れた第一期變動(文二)に相當するものと言へるのである。

二　半島の最南を占有せる第三紀層の地塊は北端を固定軸として南下りの傾斜運動をなし傾斜角は凡そ一秒に達して居る。構造線を境界として、個別の傾斜運動が認められない事もないが、著明ではない。

三　次の中世層の地塊は構造線によりて四個或は五個の斷片に分れ、一つ〳〵が一樣に南下りの小傾斜を示して居る。

四　中央部にある最も古い生成の地層は極めて著しい膨れ上りをなし、而も其頂點が大正九年以來頻々と局部の小地震を發生せしめつゝある紀三井寺、日方町の邊に當ることは最も注意すべき事項である。

五　軸線の北方大阪灣に滋める地塊は少量のたるみを示して居る。

上述の漫性的變動を、安政元年十一月五日大地震の場合に起つた急性的變動に比較して見るに、頗る興味ある對照を示すのである。第一圖B線が即ちそれであつて、此は次に列擧した資料によつて推定した結果である。

半島東岸勝浦町に於ては大地震直後の水準變化も、近年に於ける徐々の變化も認められず(小平理學士調査)

上野(潮岬の一部落)はまづ何事もなし、地震津浪此方潮は常水よりも三四尺低しといふよし、土人の話なり(古座町役場所藏地震洪浪の記)

潮岬村　村人の談に據れば、地震後燈臺附近の隆起は明かにして、其量一米より一米半と推定す(小平理學士調査)

潮御崎神社神官潮崎氏の談に據れば、安政元年十一月南海大地震以前までは、同村南西端大倉島(無線局と燈臺との中間)の入江は水深く、漁船の出入自由であつたが、地震の爲め海底隆起して岩礁が露れたと傳へられて居るといふ(田口測候所長調査)

潮御崎神社神官潮崎氏の談に據れば、安政元年十一月南海大地震以前までは、同村南西端大倉島(無線局と燈臺との中間)の入江は水深く、漁船の出入自由であつたが、地震の爲め海底隆起して岩礁が露れたと傳へられて居るといふ。今實地に臨んで見ると昔の船泊りの跡などは考へられない程淺くなつて居る(田口和歌山測候所長調査)

江住村　見老津の小島二つに現在の水面上一米位の所に貝殼の附着を見るも何時の隆起によるか不明なり、近所の他の島には貝は見えないこと(小平理學士調査)

村長辻氏の談に據れば、大正見老津浦の小島に滿潮面上一米位の高さに貝殼の附着したものがあるといふ(田口測候所長調査)

瀬戸鉛山　村長浦氏の談に據れば、現今の村役場の直ぐ下の濱邊にあつた井戸が、安政元年の大震以後地盤低下の爲め、潮水の浸す所となつたと古老から傳へられて居るといふ(田口測候所長調査)

土地は約二尺低下したり、最近は目立つ程の水準變化なし(小平理學士調査)

新庄村　嘉永七甲寅年津浪直記によれば地震後二年位は潮二三尺高かりきと(小平理學士調査)

南部郷　十一月五日津浪の後、潮水平日よりも二三尺高し(嘉永七年甲寅地震海翻之記)

由良　津浪の後は土地の具合にて汐高き所も有、又汐低き所もあるものなり。紀州由良の近邊は汐三尺許高く相成るなり。但し後に少しづゝ直るとも見えたり(毛綿屋平兵衛手記大地震大津浪の事)

白崎村　村役場の報に據れば、安政大震後同村の海濱は沙濱にて二間餘減少したといふ、此は水準變化の結果か、津浪に因る缺壞か判然しない(田口測候所長調査)

加太町　加太庄司右衛門氏談に據れば、同氏宅前の海中にありて、波打際より百五十米程の沖にある、泳捨石と名づけられたる岩礁は、安政地震前に於ては常に水面上に露出し、如何なる滿潮時にても鳥の止まる程の露出ありしも、地震直後は滿潮時に於て、水面下三尺の處まで沈みしといふ(小平理學士調査)

◇

今雙方を比較して見るに、變動が丁度正反對の方向に於て起つたことが氣附かれる。此事は大正十二年關東大地震の場合に於ても氣附かれた所であるが、筆者は此現象が次に記す樣な極めて簡單にして且つ自然的な機構によりて起るものと解釋したい。勿論此外に解釋の方法は幾らもある筈である。

先づ多くの學者によりて承認せられる通り、本島の陸塊は日本海の側から太平洋の側へ絕えず押さ

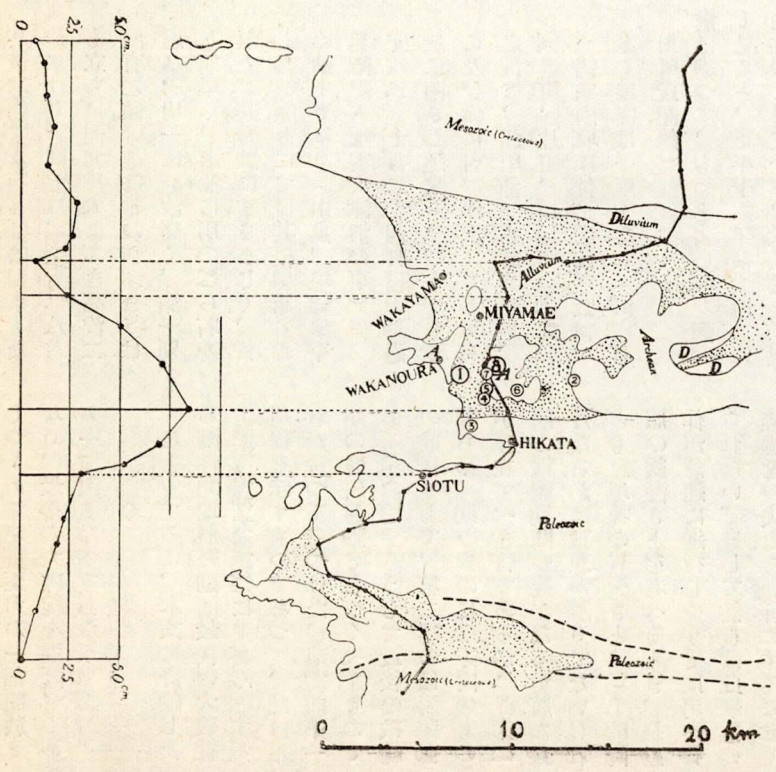
れつゝあるものと見做す。然るとき此陸塊は一面には周圍の歪彈性に因る抵抗に働かれて運動は一時阻止せられても、長期に亘りて擡頭し來る粘柔的降服の爲めに次第に沖へ沖へと這ひ出すであらう。此際其先頭に於ては次第に強大となる反動が加はり、隨つて其頭部は壓縮によりて密度を增し、之れが更にアイソスタシーの平衡を求める爲めに其部分を低下せしめるであらう。さうして此低下は地塊の先頭或は對抗者が彈性界限を超ゆる歪の爲めに、平均の破綻が生ずるまで底止することがないであらう。

斯の如き機構によりて、現に進行中の漫性的地形變動が第一圖に示された樣な形式を取り得べきことは、容易に首肯し得られるであらう。即ち全地塊南方頭部の低下運動の爲めに、紀伊半島南端の第三紀地塊は最も著明な南下りの傾斜運動をなし、次に隣接した中生紀地塊は特有な構造線によりて數個の斷片に分れながら、各片が一々南下りの餘勢を示して居る。又中央部の最も古い地塊は北方からの押しと、南隣りの地塊の抵抗の爲めに膨れ上りを餘儀なくせられ大阪灣に沿へる地塊は北方からの押しと、最古層膨れ上りの反動との爲めに、次第に沈下を促されたものであらう。

◇

次に此變動の窮極する所は、安政大地震の場合に生じた急性的地形變動の形式を追ふであらうことも想像に難くない。即ち此場合に於ては、破綻の箇所が南方一二百粁の沖合海底なるべく、それが古疵であらうとも、單純な彎曲或は押かぶせであらうとも、問題の地塊が概して上手を取つて、更に沖合に幾分の進出をなすこと、歪力の開放に伴ふ地塊物質の膨脹との爲めに、半島の地塊がシーソー的運動をなすこと、正に最近の關東大地震に於て經驗せられた通りであるべき筈である。

右の所說に於て、地塊の南方先頭が歪力增加の爲めに密度を增加し、隨つて該部が必然的に沈下すべきことを考へたが、試みに之を計數的に取扱つて見ると、紀州の南端串本に於ける最近三十年間に於ける沈下を十四糎とし、安政大地震後此運動が等速に進行するとゝ、傾斜が沖合海底一二百粁まで一樣に進行することゝを假定するとき、百粁の沖合に於ける海底は八十七糎の沈下をなすことゝなる。此は四十粁の厚さの地殼が其物質の密度を增すことによりて起るものとして、若し物質のヤング彈性率Eを花崗岩程度に取りて 5×10^{11} CGS とし、ポアソン比 σ を $1/4$ とするならば、所要の壓力は凡そ二十九氣壓となり、正に有り得べき程度のものとなるのである。



第二圖

以上にて本問題の要旨は盡されたけれども、今一つ特說すべき重要なものが殘つて居る。それは第一圖Aにて示した、夫の最も特徴のある、最古層の膨れ上りと、大正九年以來和歌山地方に頻々と發生する局部地震との關係である。由來此の地方は地震の發生比較的に少く、和歌山測候所に於ける有感地震數毎年十回程度に過ぎなかつたけれども、大正九年以來二百回程度に激增し、大正十二年に於ては三百回を數へるに至つた（文三）。震源は和歌浦に近く、其深さも二三粁以內のものであらう。現に和歌浦町、日方町、宮前村（後紀三井寺村に移す）鹽津村四所に於て小觀潮網を張り、觀測を實行しつつあるが、其詳報は之を他の機會に讓る事とし、其概要を述べるならば、(1)本年二月十一日强震(2)三月三十一日輕震、(3)(4)四月一日二回の輕震、(5)(6)同二日二回の輕震、(7)同三日輕震、(8)同九日强震等何れも第二圖に示した通り、紀三井寺と日方との中間區域、古生層と太古層との境界近く、即ち地形變動に於ける膨らみの頂上附近に起つたといふことである。（此機會に於て附加へて置きたきことは、此觀測結果から計算される所謂大森公式のkの値が3.0と出て來たことである。長岡先生が土佐產古生層の輝綠凝灰岩の實驗材料から出された $v_1=4.63$ $v_2=1.80$ から算出した $k=2.95$ と正に一致するのは、此地方の岩石が土佐產のものと同系統に屬するからであらう）。斯樣な地震發生の原因に就いては其位置が正確に夫の膨らみの頂上に當ることを指摘するだけで十分であつて、別段の說明を要しないであらう、斯く觀ずるとき問題の地震群の發生は、半島地塊に於ける地震力蓄積に關する今一つの發現とも見られるであらう。

◇

序を以て更に附加へて指摘したきは、安政元年十一月五日大地震の一前震とも見做し得べき、同年六月十五日の伊賀、伊勢、大和大地震が前記の地震群と全く同樣の關係に於て起つたらうといふことである。次に同年九月某日の小津浪は次に記載せる資料並に一餘震に伴へる小津浪に關する資料から想像せられる通り、是れ亦地震力蓄積の一發現たりしと見做し得られるであらう。

其後（安政元年七月）は何事もなかりけり。同七月、閏七月、八月も立ち、同九月大あぶき高汐二度有之候。是は常のあぶきとは違ひ、川一ぱい汐高く、滿干別して早く、濱並に川のごら石を返し、其音誠にすさまじく、併し其勢許りにて、其後何事もなく納まりけり（由良、毛綿屋平兵衛記大地震大津浪の事）

安政二年十月二十四日巳中刻過急に潮さし込來り、さし引數度に及び候に付、津浪にても可有之哉と、江川浦、古町、新地、網屋町、片町、紺屋町、本町、一統家內取片付、逃仕度致候、尤も地震は一度もなし（田邊町田所氏記錄）

猶ほ遡つて、もつと古い例を調べて見ると、正平十六年の大地震に先立つこと三十年、元弘元年千里濱隆起を伴つた局部大地震は第一圖甲に示された夫の漫性的變動に於て、雁行的に南下りの傾斜をなしたる中生層地塊の南端の一斷片が單獨に跳上がつた變動に因るものであつて、是れ亦、地震力蓄積の一發現と見て然るべきであらう

さうして此種の局部的破綻は蓄積しつゝある地震歪力の一部開放となり、最後の大破綻を遲延せしめる一原因となるであらう。

◇

之を要するに、本文に詳論したる漫性的地形變動は最後の大破綻（南海道沖大地震）に進まんとする道程を示すものであつて、此は筆者が曾つて名づけた、地震前第一期の傾斜運動と名づくべきものである（文四）。さうして最後の破綻の前提として、第二期の傾斜運動即ち第一期のものに反方向のものが存在すべき筈であるが、此第二期の繼續期間が幾年なるか將た幾月なるかは豫想の限りでないけれども、地塊の巨大さと、粘柔的降服の緩漫さとを考へるとき、全動作が急速に進行しやうとは考へ得られない。果して然らば此狀態の經過を見失はない樣にすることも左程困難ではあるまじく、差當り半島の南端に於ける地盤の昇降並に傾斜の狀況を注視することによりて其目的の一端が達せられるであらう。猶ほ此外にも種々の方法があらうけれども、半島軸部の孕み出しと、地震の局部的活動の經

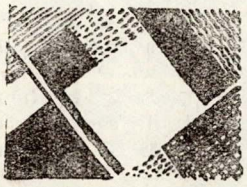
過ぎを注視することも無益ではあるまい。之に第三期即ち大破綻直前の變動を見失はない様、研究を進めることの必要なるは斷るまでもないことである。

南海道沖地震帶の活動は最近六百年の間、長きは百四十七年、短きは百二年、平均百二十三年の間隔を以て繰返されたことは曾て述べた通りである。斯く其一間隔が平均値に比較して伸縮あるは、複雜なる關係に基因するであらうが間歇的に噴火する活火山の例に比較して考へて見るに、比較的に大であつた活動の後は休眠期長く、左程でなかつた活動の休息期が比較的に短い様である。例へば前掲期間に於ける五回の活動中、最大なるは寶永四年のもの、其次は正平十六年のものであつて、前者の後には休眠年限百四十七年を算し後者の後には同じく百三十七年を算したが、他の二活動たる明應七年及び慶長九年の場合に於てはそれ〴〵百七年と百二年とを算した安政元年の活動は明應若しくは慶長度のものに匹敵すべきものであつたから、それに繼續する休眠期間も或は同じ程度のものであらうと想像されないこともない。但し此は全く薄弱な根據の下に於ける單純な臆測であつて癡人の夢を說くに過ぎないものである。

◇

以上漫性的並に急性的地形變動に關する所說は紀伊半島地塊に限られたものではあるけれども、凡て外側地震帶或はもつと廣く環太平洋地震帶には斯うした性質が共有されて居るのではあるまいかとも考へられないこともない。例へば米國の西沿岸は太平洋側へ押出されつゝある様に論ぜられて居るし、又南米チリ沿岸或は其沖合の大地震に於ては、概して沿岸に於て陸地の隆起が氣附かれて居る。さうして此等の地方に於ては主要な構造線が大抵海岸線に並行して居るなど、種々の條件が正に我が紀伊半島地塊の場合に彷彿たるものがある。少くも我が國に於ては關東地塊が朧氣ながら斯様な性質を示したことは筆者が既に指摘した所である(文六)から、茲には其再說を省くことにする。

終りに臨み、本研究に對して助力を與へられたる帝國學士院並に陸地測量部の幹部に對して熱誠なる謝意を表し、且つ實測の重任に當り正確な結果を擧げられたる山田測量手並に辻田測量手に對して感謝の意を表したい。唯同志川崎理學博士が不幸二豎の犯す所となり、此事を共にすることの出來なかつたことは筆者の最も遺憾とする所である。(完)



近代建築の樣式に就いて

京都高等工藝學校教授
工學士 本野精吾

今日お話しやうと思ひますことは、近代建築の樣式と云ふお話でありますが、お話を初める前に近代建築と云ふことがどんなことかと云ふことをまづお話しやうと思ひます。今此處で申しますのは、大體ヨーロッパ大戰の後を申します。大戰を界として世界の有樣は大變にかはつて來ました。建築にも其の流の中で色々のことが起つてゐます。今日此處でお話しやうと思ひますのは其中で最も著しい事柄として、世界の注目の的となつてゐることに就いてのお話であります。

◇

今日のお話の前に大戰の前どんな風になつてをつたかと云ふ事をまづ申さなければ、近代建築の發生の由來が判りませんから其のことから初めます。一九世紀と云ふ一世紀は今から振り返へると面白い時でありました。建築や工藝の方面に於きましても樣々な面白い事柄が起つてゐます。一九世紀の前半分は十九世紀のなかばに於ける建築や工藝の世界の革命の前提とも考へられるのであります。少し遠い過去になりますけれども其の事からお話しをしませんと近代

建築様式發生の由來が判然しませぬから初めに其の事を申します。一九世紀の前半分は人間の理智の世界が最も目覺しい發展をした時代でありました。斯のことが美術の方面では美術の歷史の研究發達となり美學の發達となつたのであります。もう一つの外の方面は、機械の發達と機械の力の發達とが著しい事でありました。此の二つの大きな事柄が一九世紀の大部分の建築様式を生み出す基礎になつたのであります。一九世紀の中頃に出來たヨーロツパ各國の大きな建物、國會議事堂、博物館、劇場等が大部分其代表的のものであります。此等を見ますと一様に過去の歷史の上に表れた建築の様式を學んで、それを其時代の建築に適當するやうに應用することが殆んど一般のことになつてゐました。

◇

こうした事柄のまた一面には機械の力が發達した結果人間の生活は機械の力の下に壓潰した様なことになつたのでした。それが爲に一九世紀のなかば頃は一方理智の世界を生命とする人達の群と一方感覺を基礎としてローマンチツクな夢を追ひ求める人達の群とが判然二つに別れてしまひました。繪畫の世界などではそれが一番判然別れてしまひました。ダビツド・イングルの系統とデラクロイツク、ミレツト、コロツトと云つた人達とが全く反對の道をたどつたのでした。こんな風な世界の有様の中で靜に人間の内面の精神生活を顧て人間眞實の生命がどんなものであるかを考へはぢめた人達がありました。この事柄が一九世紀のなかば頃を界として世界（おもにヨーロツパを指す）の建築工藝界に革命を引起す大きな源になつたのでありました。このことから今日の様式までにはまだ少し距離がありますが、これが今日の様式に大きな關係を持つて居るのでありまして、この事が一九世紀後半に於ける革命的變動の遠い原因を造つて居ます。

◇

この一九世紀のなかばごろの建築を中心とする工藝の世界に一段關係の深いのはウイリヤム・モーリスであります。このことを精しくお話しすると永くなりますから簡單にお話しをします。ウイリヤム・モーリスが考へ、そうして行つた一番大切な事柄は、機械の力が此頃ヨーロツパで一番に發達したイギリスにをきまして、機械の力が人間の尊い生命を破壞しつゝあると云ふことを考へ初めて、同じ考への人達が一緒になつて一つの運動を起しました。これが即ちプリ・ラファエクイスト・ブラザーズとよんで一團となつた、バーン・デョーンス、ラスキン・ウイリヤム・モーリス等の團體でありました。この人達の考への中心は一九世紀の初に於ける機械に依る人間の生命の破壞はラファエル以前の情態を基礎とする篤き信仰の昔に立戻らなければ救れないと云ふことにありました。この團體はそう永くは續かなかつたのでしたけれども、このことがウイリヤム・モーリスの工藝に於ける實際の運動となつて大きな渦を世界に引起しました。ウイリヤム・モーリスが實際に行つたことは、機械の力に全くよらない手工藝によつて、人間の生活となつてほんとうに、意味のある工藝品を作り出して人々に與へようと云ふ點でありました。モーリス自身その小さい工場に終世立籠つて死ぬまで熱心に自分の理想に基く工藝品の製作にひたつてゐました。

◇

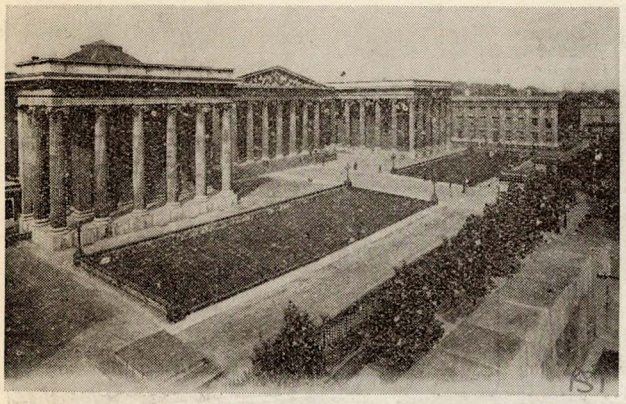
こうした半面に機械の力はぐんぐん延て行きました。其事に就いて最も著しいことが一八五一年のロンドンに開かれた世界博覽會の建物に現れてゐます。

この建築は一九世紀の中ばの世界の驚異として多くの人々の注目の的になつたのでありました。そうした事を今から振返つて見ます場合に、これがまた近代建築様式に深い關係をもつてゐることを見出すのであります。

◇

これだけにしし一遍に近代即ち大戰の後に話を進めます。此の機械の力と人間の手の力との二つは全く矛盾した二つの方面として近代まで未解決のまゝ進んで來たのでありました。それが近代になつて一つの光明を認めて來たのでありました。このことが近代建築の様式に深い基礎をなしたのでありました。一口に申しますと一九世紀の人達は機械によつて人間が考へ出した機械の力によつて人間自

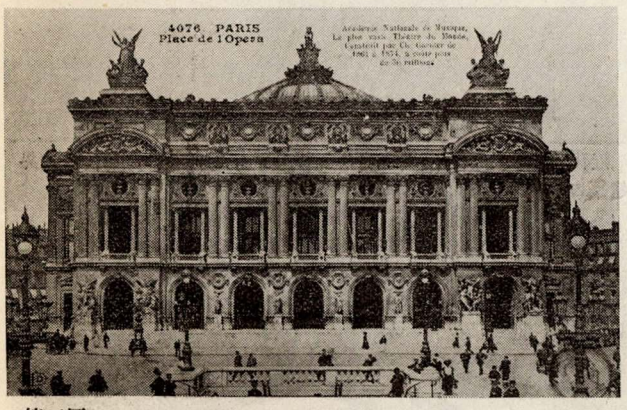
第一圖



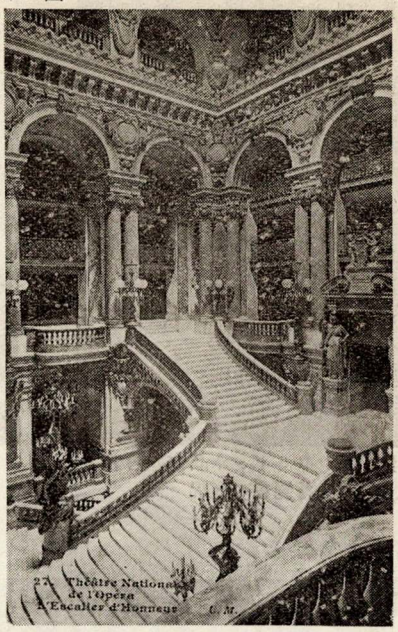
第二圖



第三圖



第四圖



第一圖　ロンドン大英博物館
ドイツに於ける建築界に於て十九世紀の新運物の指導者としての權威者ヘルマン・ムテジウスが誤まれる建築の針路を示す例として生命を失へるギリシヤ殿堂の模倣として擧げたるもの

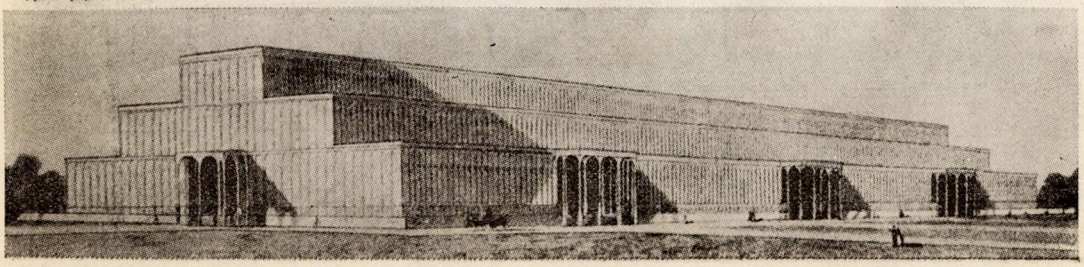
第二圖　十九世紀中葉に於ける歷史樣式復興應用の例モンテ・カルロのカジノ

第三圖　パリーのグランド・オペラ
十九世紀中葉の最も裝飾的なる建築物の例

第四圖　同內部

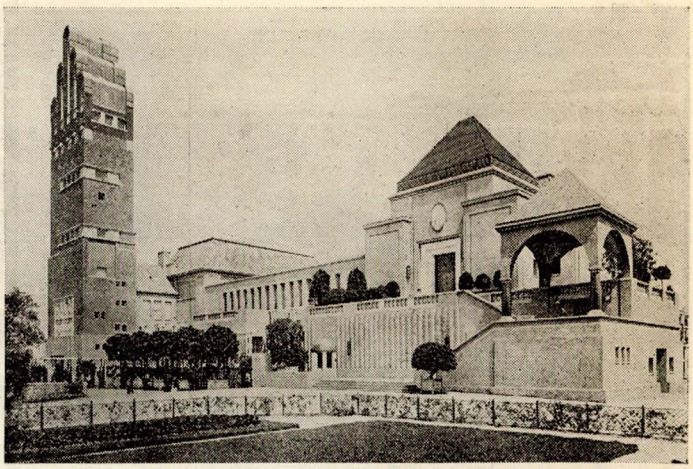
第五圖　1854年ロンドンの世界工藝博覽會に於て世界の注意を集めたる水晶宮（鐵とガラスとの構造物）工業の生產が結果したる驚くべき表現

第五圖

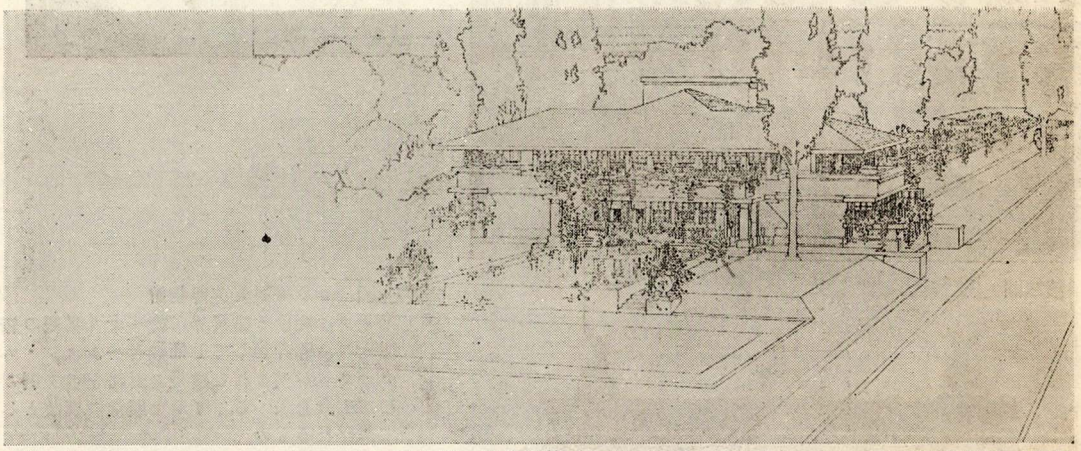




第六圖　ロンドン水晶宮の内部
博覽會の實況

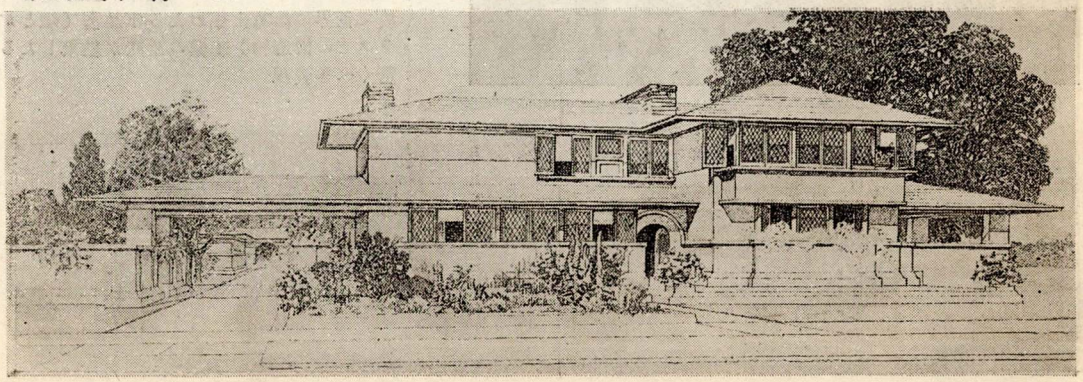


第七圖　ドイツに於けるセセツシヨン運動の先驅1901年に建設されたるダルムスタツト藝術家部落中央大公堂(オルブリツヒ作)

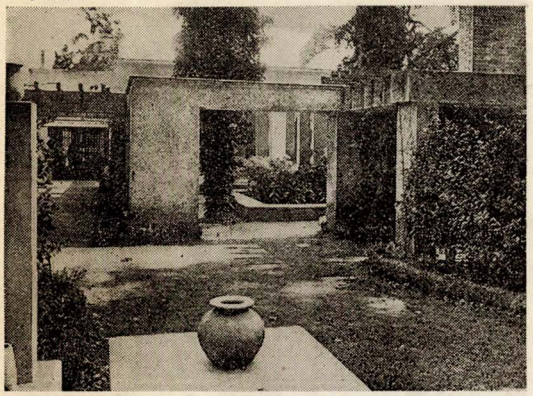


第八圖 (1)　フランク・ロイド・ライトの作住宅　近代建築の先驅、歐洲に於けるセセツシヨン運動と現代の世界新思潮との中間の連鎖をなす近代建築の偉人

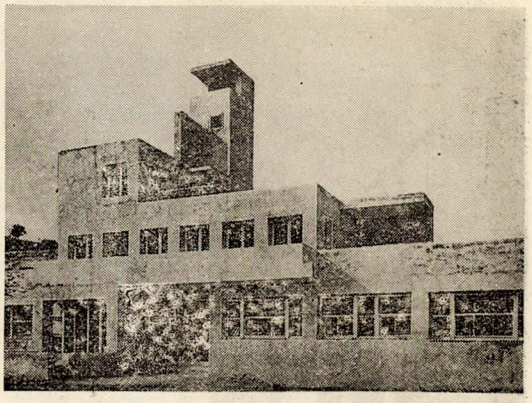
第八圖 (2)　同　上



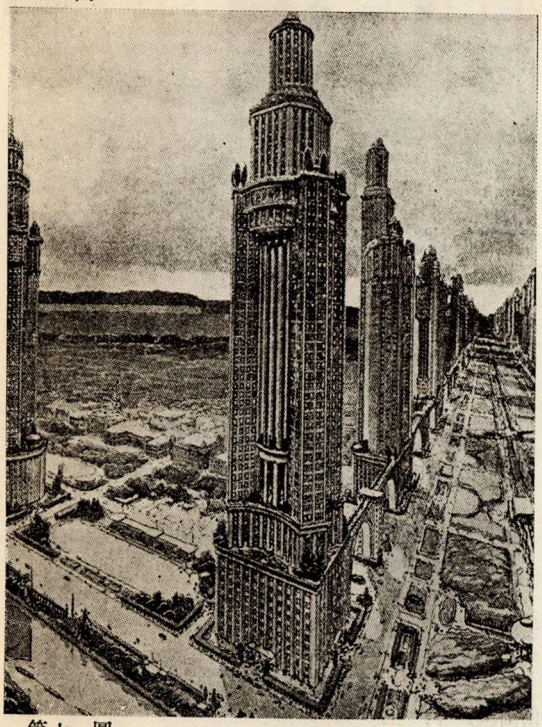
第九圖



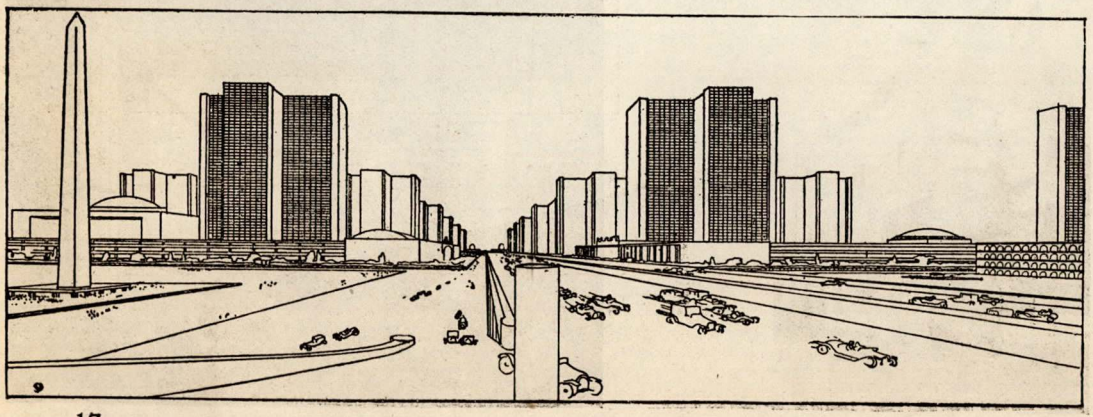
第十二圖



第十圖



第十一圖

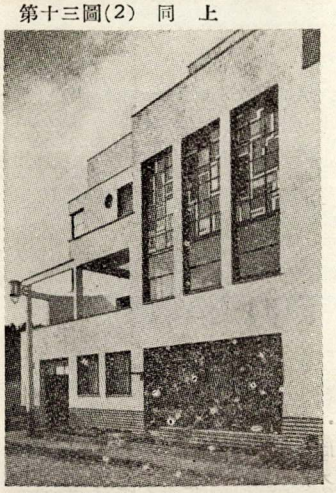


第 九 圖　トニー・ガルニエ
　　フランスに於ける現代新運動の先驅
第 十 圖　アウグスト・ペレーの都市改造案
第十一圖　ル・コールブツシエの都市改造案
第十二圖　マレー・ステパン

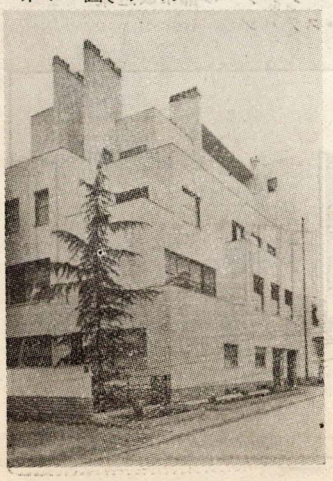
第十三圖(1)　マレー・ステバン
フランスに於ける現代建築の
先鋒にある一人



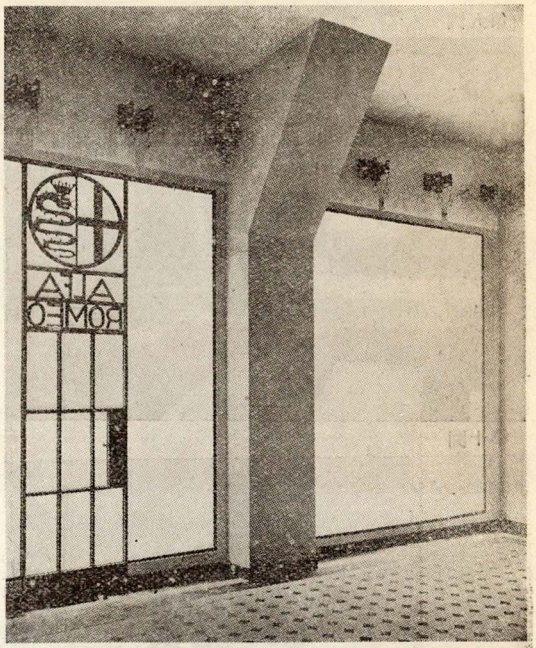
第十三圖(2)　同　上



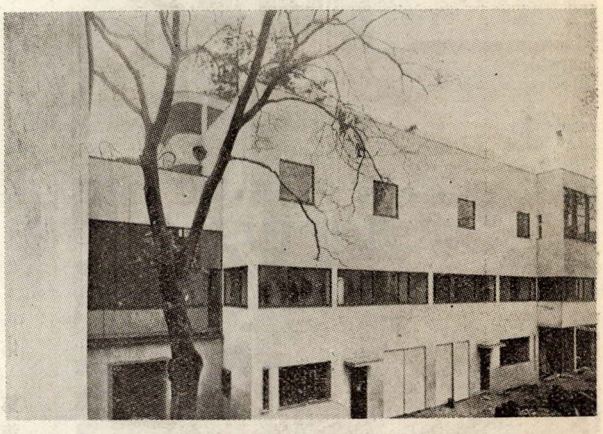
第十三圖(3)　同　上



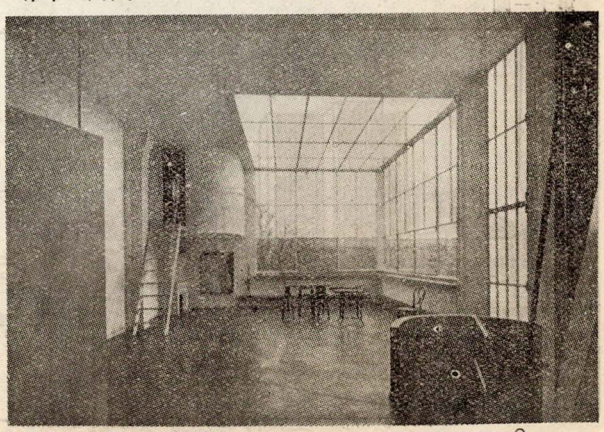
第十四圖(1)　マレー・ステバン内部



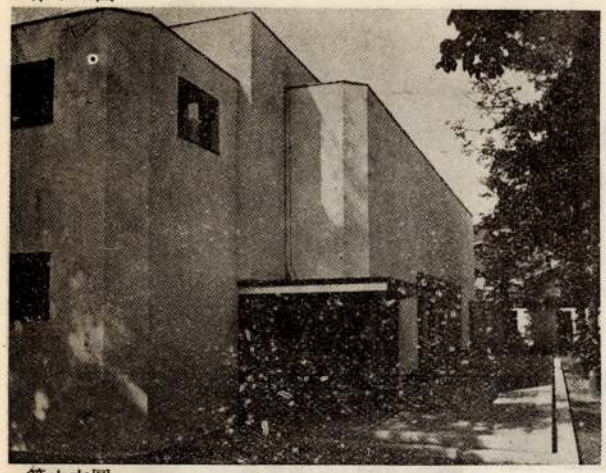
第十四圖(2)　同　上



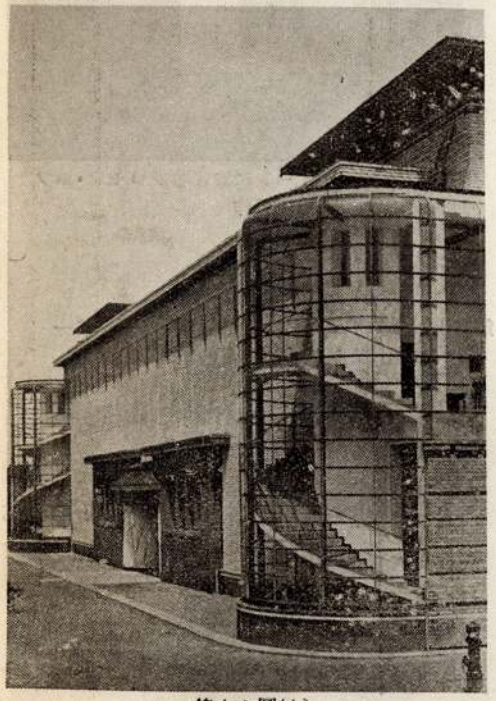
第十四圖(3)　同　上



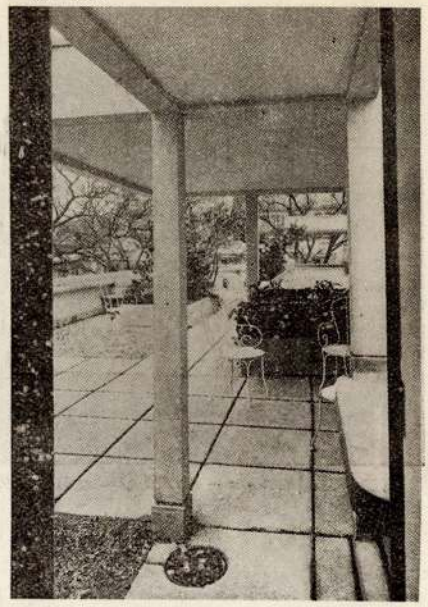
第十五圖



第十六圖



第十八圖

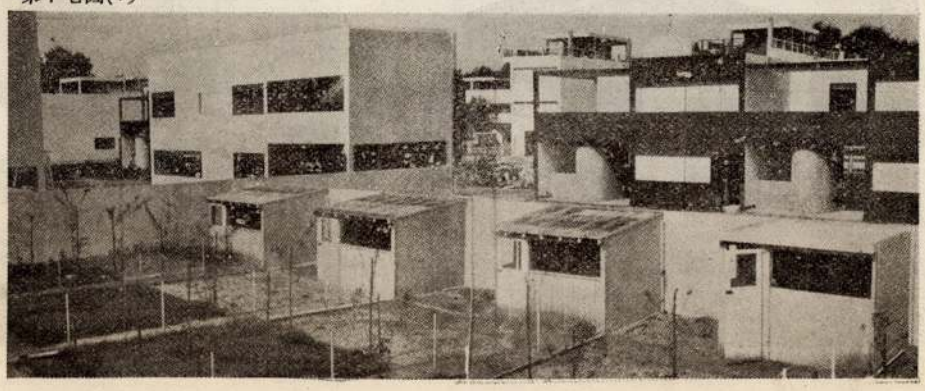


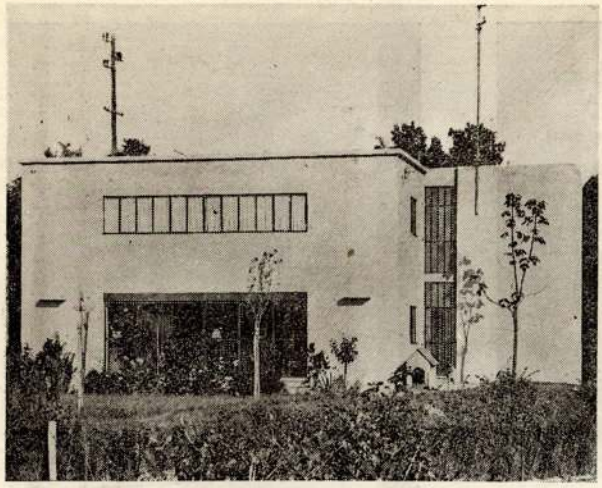
第十五圖　ワルター・グロピユスの初期の劇場
第十六圖　ワルター・グロピユスの初期1914年ケルンの博覽會事務室
第十七圖(1)　ル・コールブツシエの1925年頃の作色彩用法の新天地として世の注目を引きたる例
第十七圖(2)
第十八圖　ル・コールブツシエの屋上庭園近代建築の主要なる一要素

第十七圖(2)



第十七圖(1)



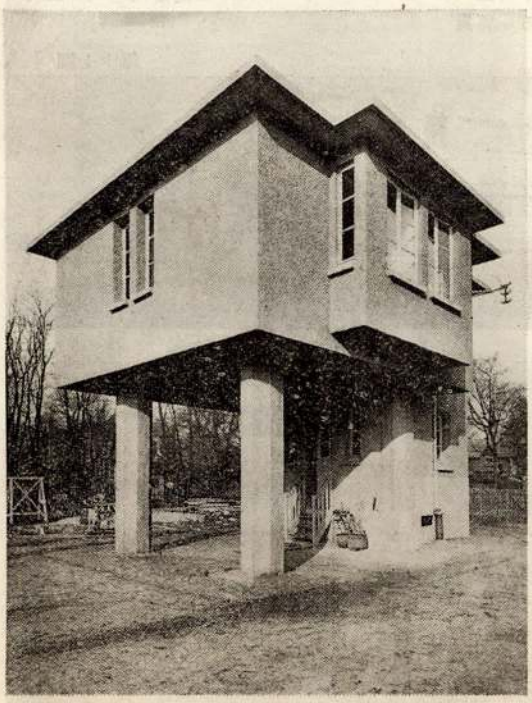


第二十二圖　ル・コールブツシエのある郊外のアトリエ

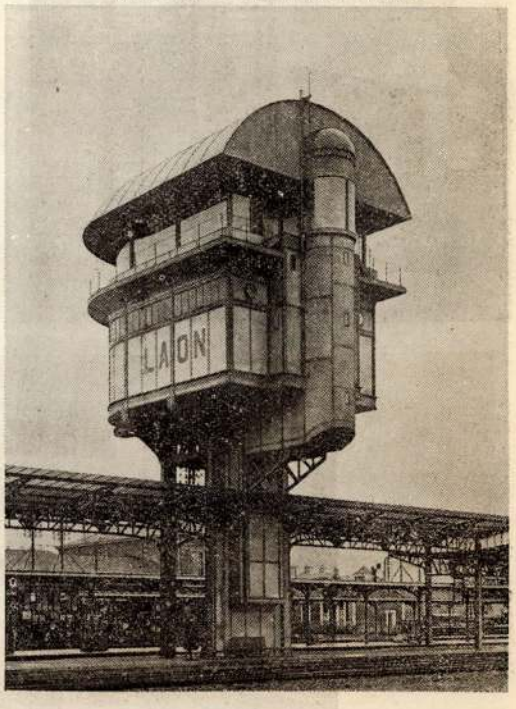


第十九圖　ヴイーンに於けるジヨセフ・ホフマンの近作

第二十一圖　フランスに於ける最近の建築　其二



第二十圖　フランスに於ける最近の建築　其一
機能と構造との最も徹底せる表現



身がしばられ壓潰された形になつたのでありました。それが近代は反對に人間の力が機械の力を支配する様に變つて行つたのでした。此の事は今お話しようとしてゐる近代の建築に大きな基礎になつてゐます。此の事に就て一番著しいのはフランスとドイツとであります。フランスに於けるトニー・ガーニエ、アウグスト・ペレー、ル・コールブツシエ、ソーニヤー等の人達が行つてゐる仕事、考の基礎等は全く近代の世界の建築界に光を與へる尊い努力であります。

ル・コルブツシエの都市改造案はガーニエ、ペレー等の先人に依つて考の基礎が出來てゐましたが最も大膽に最も端的に一つの改造計畫をこの人がやつてゐます。

◇

この計畫の基礎には近代の文化を悉く取入れてあり、從つて今の人間のなしつゝある、そうして求めつゝある生活樣式を數的基礎の上に建てゝゐることが著しい事柄であります。それですから換言すればウイリヤム・モーリスの考への延長であつて近代の文化を悉く溶し込んだものであります。その具體的の事を申しますと、交通機關に就いては現代進みつゝある自動車、飛行機、飛行船等を都市交通の基礎にをいております。それから一つの都市に生活する人間の數や生活の有樣、商業工業其他あらゆる現代に即した事柄を悉く考への中に取入て組立をやつてあります。

生活の密集することに就いても十分の注意をはらつてゐまして、アメリカに於けるスカイスクレーパーの密集して人間の生活が殆んど出來なくなるぐらひの狀態をあらためて、塔の形の澤山な人間を收容する大きな建物を都市のなかほどにはなして建てゝゐます。そうしてそのあひだに庭を適當にはさんであります。そうして一つの大きな建物にも各階の家と家とのあひだに必らず庭をはさむと云ふやりかたであります。これをジャルダン、スペンヂユとよんでゐます。交通路としては町の重な方面に大きな幅をもつた、そうして數の少ない道を取つて自動車の大體の交通を整理してあります。アメリカの樣に成行にまかせて發達した町で今自動車の交通は全く行づまりになつて今ニューヨークの樣なところの中心地では自動車が全く速力を出す事が出來ない、むしろ人間が歩くよりも遲い樣な有樣になつてをるので、その解決に就いて人々が頭を惱ましてゐる有樣であります。

こうした現代の建築の形の上に大きな關係を持つ事柄に付いて猶申しますと、近代建築を支配する考への中に

構造の表現

機能の表現(用途の表現)

この二つが大きな力となつて支配してゐます。構造の表現の最大の驚異はフレイスネーの飛行船格納庫でありませう。

機能の表現としてはル・コルブツシエのもの其外多くの近代を代表する人達のものがあります。

こんなことを精しく話してゐるも永くなりますから、これから先はなるべく寫眞に付いて直接ご覽を願ひたいと思ひます。

こうした現代の先頭に立つて仕事をしつつある人達のことを考へる時私がいつも思ひ出しますのはカンデインスキイのことであります。彼の文化に關する論の中に文化の進展は三角形の行進の樣なものだと云ふ事が書いてあつたことを記憶します。その三角形の先頭には先覺者の働きが常に動いてゐると云ふ事であります。是等現代の世界に於ける建築界の新人は今三角形の頂點に立つて尨大なる三角形の尾を引きつゝ開拓の努力を拂ひつゝある樣に思はれます。

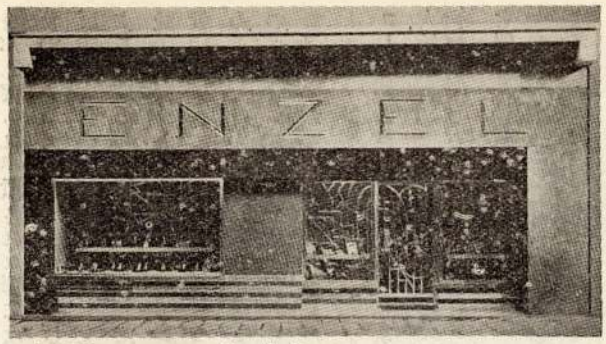
以上述べました所は近代建築發生に關する極めて簡略な記述でありますが、コノ項は元來ローマ字會主催の講演會の折の講演を殆んど其儘に記述したのでありますから、近代建築に關する記述としては余りに簡略に過ぎる事を御斷りします。(了)





巴里に於ける商店の新傾向

ルイ・シュロンネ



第一圖　サントノレ街の靴店　アルゼル

巴里は此處數年來、實に商店の脫殼期とも云ふべき機運に際會しつゝある。今や干からびた古い鱗殼は容赦なく脫ぎ捨てられ、それに代つて光彩陸離而かも變化の妙を得たる瑞々しき新裝が日を逐ふて凝らされて居る。

何と言つても、此の傾向はお互に祝福しなければなるまい。何ンなれば實に斯の樣な活動、今や單に都市の中心のみに止まらず、都市の外部にまで進出して、正に一般的傾向を帶びて來たのであるが、それはとりも直さず現代生活の表徵なのであるから。

第二圖　ハウスマン通の風味試驗酒場



商店街と交通の問題

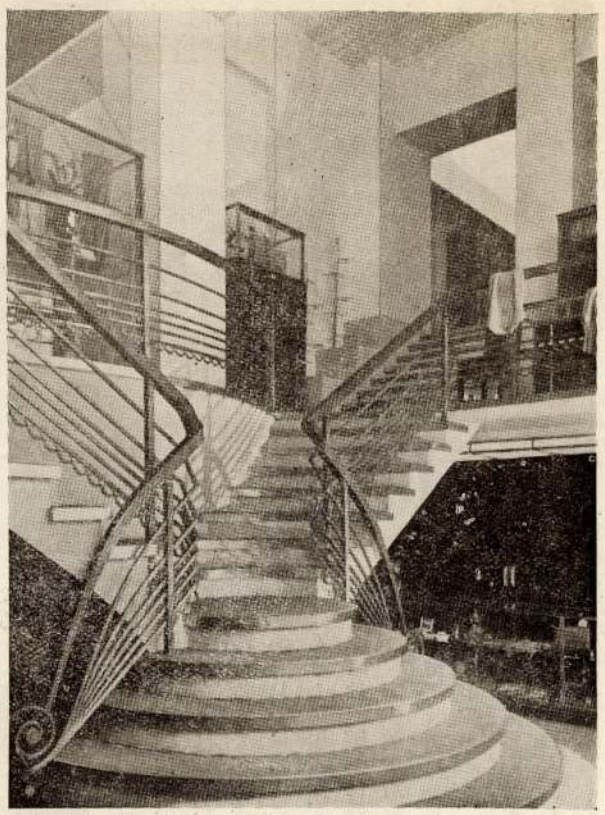
―車馬の通らない街路―
―歩行者のない歩道―

通行と云ふ問題は現時の考慮を促す可き問題の一である。抑々吾々の都市なるものは、近代的活動によつて著しく尖銳化された近代生活並びに商業的要求にそふ可く造られなかつたのである。新しい世界の諸都市と雖も、斯くの如く日一日と活潑性を增して來る通運問題の爲めには、我々の都市と同樣に其の混沌たる繁雜さに煩らはされて居るのである。

此處に於いてか、其の對策を考究すべく、最近ビエンヌに於いて會議が催うされたのである。勿論其處では各議員が甲論乙駁盛んに意見を闘はした。

世には大建築家であると同時に大ユルバニストである者が決して尠くない。アンドレ・バントル氏も亦其の一人である。氏は現代建築家中の領袖であり、吾々の著明なる事業は大部分氏の功績によつたのであるが、氏は此の問題に對して、專門家的解決を與へんとしたのである。

『車馬の通らない街路、歩行者の無い歩道』と言はれて居る同氏の計畫は既に各種の新聞紙上に報道された所である。然し此處で更にそれを繰り返しても、無益だとは信じない。苟も本誌の如き其の專門的雜誌は、それを印



第三圖　ラ・ペエ街の一莫大小店の內部

然し其の藝術的價値如何と云ふ點に關しては、猶愼重なる考慮を要するのである。これに就いては、ルネ・シャバンス氏は、曾つて氏が提唱した所の『新しい商店』の中に於いていみじくも言つて居る。即ち

『斯くの如き夥しき開花は吾々現代の藝術にこつて、常に好ましい現象ではないことを知らねばならぬ……』と。

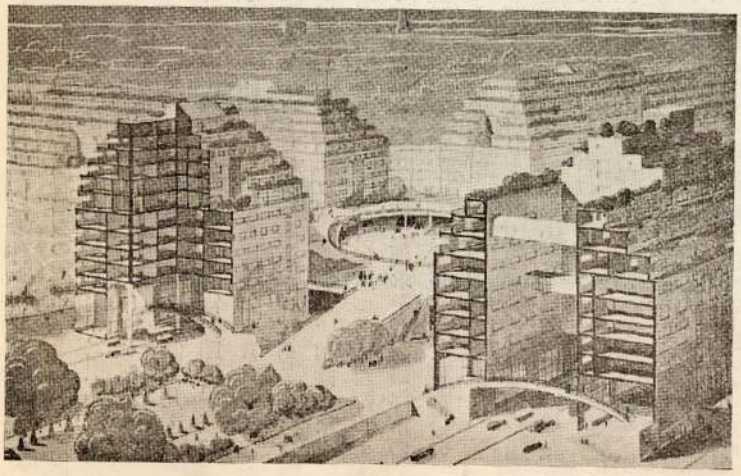
◇

凡そ店舗及び店頭の藝術と云ふものは、現代生活の公開及び其の韻律（リズム）の加速度が生む所の殆んど總ての法則に準據するものである。が然しこれはかなり最近の事であるから、未だ一般に完全に了解されて居ないと思ふのである。だからと云つてこれを以つて惡趣味と想像のみによつてなす所の藝術家の勞作に對して、此上なく好都合な辨解とするは默認出來ない。それは勿論巴里の美の一部を構成するとは云へ、商品を陳列し、世人の注意を集中させ、以つて時代の嗜好に適さしめる爲めには、理論的原則と意匠と調和とに



第四圖　リユード・バラディの陶器硝子器店

刷版行しないわけには行かぬ。又專門的雜誌なるものは徒に其の新奇のみを弄するものではなく、其の思想觀念にして興味ありと見れば何時でも再版する權利があるのである、否義務があるのである。斯くして再度現はれた思想、觀念と云ふものは、時と共に世人の反省を促し、以つて始めて價値付けられるのであつて、又其の思想を世の一般建築家に紹介



第一圖　盛り場の豫想圖と家屋の立體圖
（アンドレ・バントル氏考案）

忠實である事を要するが故に、これを以つて上策と思考する事は出來ないのである。

◇

吾々は今、明らかに對立する二つの傾向を見るのである。即ち其の一は、水平線型とでも云はふか、線の表現が平拱(半穹窿の勾配)の感じを醸成するもので、今一つは反對に垂直に延びて高さを構成する型である。前者は



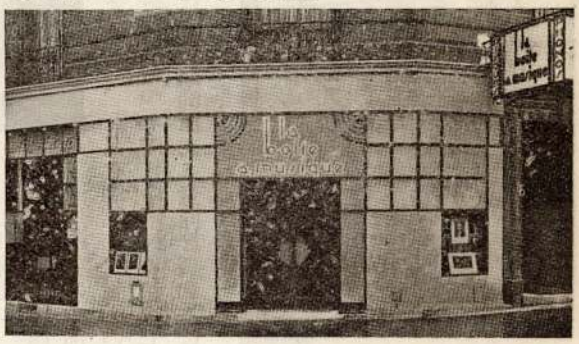
第五圖　オペラ大通の一香料店の内部

これを共にサントノレ街にあるアンゼル靴店の靴とイサベー香料店の香料とに於いて其の巧みなる表現を窺ふ事が出來る。(寫眞參照)

恐らく借地代の不變の增加に原因するものと思はれるが、玄關口を充分廣大に得ることが出來ない爲め、中二階を手入して、高度に於いてそれを償なはんとして居るが、大體、高く施設をなす事は、確かに誘致的な見地よりすれば、廣い散步道を持つ街路に面しない限り、充分な滿足を得ることは出來ないものである。

第一、鑑賞距離を欠ぐことが既に其の效果の半ばを無にして居る。反對に通行者の眼底に長時間殘存する爲めに

第六圖　ラスパイユ通の樂器店



するとに云ふ二重の利益も伴ふのである。

巴里に於ける通行問題の現狀

ブノア・シビー氏は其の著明なる研究『巴里の發展』の中に於いて、コレージュ・ド・フランスの教授、シアル・ジイドの所謂、凡ての者が一樣に近づき得る四つの富、即ち空氣と水と光と通行の權利があると云ふ言葉を指摘して居る。これは永遠の眞理ではあるが、今や通行の一大問題となつて居る。何故かなれば嘗ては此等の富も容易に近づき得たのであるが、最早や現代生活の要求を吾々の都市の建設狀態の必然からして、現存して居ないのである。第一現時の凡ゆる問題は不自由の扉を開く鍵であり凡ての問題を摘要する所の通運問題に歸着するのである。(通運は富の係數である)我々の運行が圓滑を欠ぐ時は、忽ち生活の苦難に陷る。苟も今時の進步と稱するものは凡て、速度の進步を意味するのである問題は此處である。

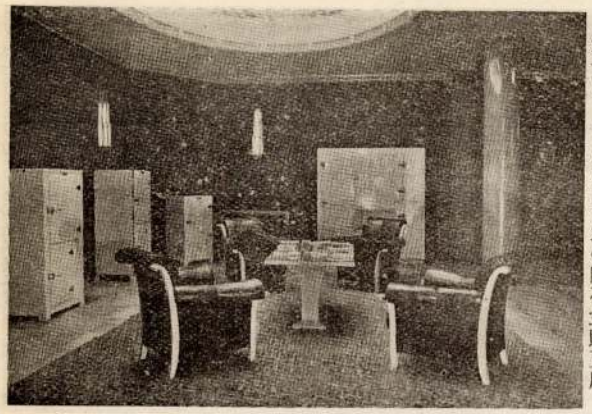
今吾々が、一般通運の主要機關(一八二八年には電車と乘合馬車のみ)の創設と地下鐵道並びに乘合自動車の建設とに七十五年間の歲月が經過した事を認めるならば、一九二八年現在に實行する所の通運問題の解決も一九七五年乃至二〇〇〇年には絶對的な無能力を表して來ると云ふ事を知らねばならぬ理論となる。實際一方に於て、人口の密度が此の期間内に次表の示す如き重大な割合で增加したのに對し、車馬の數は夫より一層大なる速度を以つて增加したの

は自然、精巧形の様式が利益と云ふ事になるが、此の點は建築家として看過することの出來ない所であらう。

一般に斯かる探究は其の川材のみに求むべしと云はれて居るが、これは全く皮相的な觀察であると信じる。

◇

鐵材と木材とに陶器の被覆を結合さすことは既に時代遲れである。現代樣式は大理石と漆喰の暗灰色、それは吾々が内部に於いて認める所の鮮明な色調である。がそれから又極簡單な裝飾素材、例へば幾何學的圖形とか或は又商號等の如き——又金屬殊に何等加工しない金屬の其の自然的美、若し敢えて云ふならば產業的美を要求して居るのである。



第七圖 マルゼルブ通の陳列並販賣店

其他店頭の役割に就いてであるが、これはかなり複雜である。抑々店頭なるものは充分な誘致的な外觀を提供すると同時に、商品の巧みなる陳列を許容しなくてはならぬ。斯の樣に、店内に於ける諸設備に要する時間と玄關口全體の建築に要する費用と時間を省いて、街路と店舖との中間にあつて、丁度過渡の役目をなすよう考究せられねばならぬ。現に考究せられて居ると思ふ。何處までも此の店頭看板に關する觀念を押して行く時、曾つて私は私自身甚しく誘惑を感じた所の一方法を他の雜誌の中で盛に賞讃した事のあるのを思ひ出す次第である。慣例と通俗化の法則は、實際是等の建築的創造の大部分が、甚だ奇拔な中にも、又相當の速度で全體中に融合して行くことを希望して居るのである 何故人々は、最早一般の目に慣れ過ぎて何等誘致的效力のなくなつたものを、全體でなくとも部分的に、而かも周期的に更新さすことが出來るのを知らないのだらう。斯くして每年、例へば若干苑の特殊要素を變化させて、以つて斯くの如き調和統一を更生さす所の過程に就いて研究したなら、頗る興味あることだらうと思ふ。

甚だ愚論ではあるけれども、此處に揭載する數葉の寫眞の力を借つて、如何に現今の商店なるものが所謂街頭藝術又は現代生活の藝術の中に於いて、注目すべき表現の一となりつゝあるかと云ふことを讀者諸氏に了解して頂けば幸である。

である。

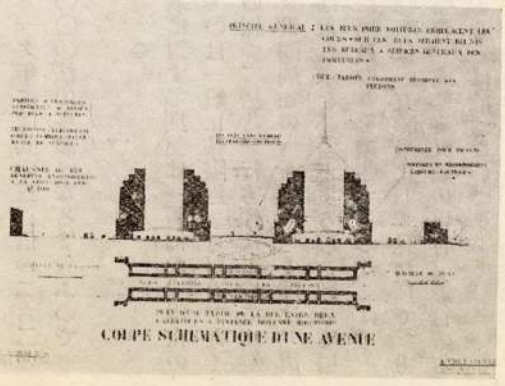
即ち

年度	巴里の人口	自動車の數
一九〇〇	二、六〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇臺
一九一〇	三、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇
一九二六	三、五〇〇、〇〇〇	五六、〇〇〇

一九〇〇年には二千三百人に對し自動車一臺の割合であつたのが、一九二六年には六十二人に對し一臺の割合となつて居る。此の驚くべき自動車の增加は、吾々の街路の建設狀態とは全く正反對であつたが爲め、今や見積り難いまで多額の街路建設費を必要として來たのである。

此の多額の費用に對して一の概念を與へんとして、アンドレ・パントル氏は次の如き興味

第二圖 街路設計案(平面及立面)
平面 馬車專用道、自轉車專用道、建築線、歩道、車道。黒き部分は歩道を横断する高架橋(太鼓橋)。
立面 地下鐵道、地上鐵道、地面行人專用道、地盤面、建物は歩道に誘致せる商店街。







「グラス」に語る

村野藤吾

◇

彼は一日夢遊病者の様に町の商店街を歩いて居たそこには三越や大丸や白木があつた、シカゴのマーシヤルフイールドもあつた、紐育のギンブルもロードオンテーラーもフイラデルフイヤのワナメーカーもあつた。硝子の列、商品の山など彼れの目に映じた飾り窓に向つて彼れはガラスに何を語り何を話したか以下は其の記錄である。どうか皆さん暫くの間それを讀んでいただきたい。

◇

グラース！

君が人間の所有權を紙の様な薄さを以て法律と權力と個人主義的經濟圈を守つて居る事は、恐らく他の怎なものを以てしてもゝねる事は出來ない藝當だらう。だが、君は單にそれ丈けのはたらきをするばかりならまだいゝとして、君は又資本主義のお先棒を勤めるどころか、寧ろその先端に立つてたへず人間を誘惑して居るとは一體ごうした事だねー、それはエジプトの昔神樣の惠みによつて人間社會に產みつある計算をなして居る。

今假に、巴里七〇、〇〇〇臺の自動車中、其の半數約三五、〇〇〇臺が各々七時間運轉するとす。此等一時間のガスリン平均消費量は、時速五〇粁で約五立（リツトル）である。更に今七時間の中、前進不能の爲め二時間立往生をするとせば、一臺に付き一〇立の浪費となる。三五、〇〇〇臺には三十五萬立（リツトル）の浪費となり、一立の平均價額を二法（フラン）五〇としても、八七五、〇〇〇法（フラン）、一ケ年には其の三百倍の二六二、五〇〇、〇〇〇法の多額となるとふのである。

◇

此の病氣に對する良藥は一體何か、現在の街路なるものは一般に狹隘過ぎる計りでなく現在我々の採つて居る通行方法にとつては變則である。世間周知のユルバニスト達は、街路の幅員は六六米を必要とする事を認めて居るが、單に幅員のみを擴張するのならば、それを一〇〇米は一五〇米にして見た所で、方向轉換の場合、或は交叉點の場合、通行の容易を期することは能はないであらう。

更に此の擴張は徒に兩つの街區をお互に遠ざけ合つて、日常生活並びに小規模の商取引を困難ならしめ、自動車の追越を助長せしめ交通事故の頻發を招くとふ結果に陷る計りである。

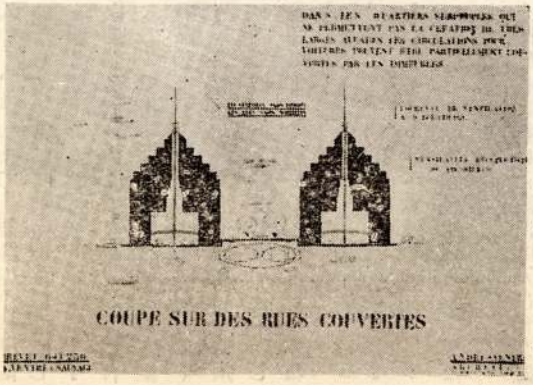
更に今一の方面より推理を進めて見よう。道路上に特殊の鐵道を建設したらとふ意見

けられたその運命を越へて君は全く豫期しない方向にではない、寧ろ邪道に迷い込んで居るとは氣附かないのか、博物館の棚の上に君等の遠い祖先が虹の様な色を浮べて列んで居るのを見ると實に今昔の感にたへないと云ふのはこんなものかと思はされるんだ——それから君は只自然の暴威と戰つて永い事人と家とを守つてくれた歴史と、それを守つてくれた一つの材料として人間の生活に役立つて來たものが今の變り様は又何と云ふ事なんだ、君が持つて居るその美しさ——透明の——だが、おそろしく大膽な君の姿は慾望とその對照をへだてては居るが誘惑そのものだ。魔女の、香料を塗つた魔女の裸體に等しい君の姿の奥には、人間の總ゆる罪惡と慾望をとげるに充分な『物』と『誘惑』とが潜んで居るんだ。さぞかし創造の神といふ奴は君の姿を見てなげく事だらうよ。

今のところどこまで君は時代の寵兒であるのかわからない、人を人とも思わぬ近頃の大膽な姿は恐らく心あるものゝ指彈をうけるに充分であると思ふのに、なぜ、純潔と、道德と、神とを、專賣の様に心得てる人達は見のがしてゐるだらうか。君の姿と君の性質は近代に於ける不可思議なるもの一つであると云つてもいゝのだ。都會的なそして科學的な君の美しさは、獨り資本家的社會に重要せらるゝ斗りでなくモスコウにも人絹の靴下を硝子越しに、いや君の姿を透して慾しそうにジツと眺めて居るマルクス的フラツパーが居るそうだ。そうなると同じだね！。人間と云ふ奴は。僕はなぜ君を人の慾望と物との間に立つて利用されるかをよく知つてゐる。アメリカ的社會といわずロシア的社會といわず君は君の持ち前以上に利用され過ぎてはいないのか。曾て物を照らす事だけで義務を盡して居た電燈が、近頃ではもう立派な藝術となつてしまつた。それ以來君の姿は光りと色とを以て僞りと誘惑とを以ていよ〳〵美しく誇張されて來たのを見ると、どうしても人間がほんとうの生活をする爲めに有用な働きをして居るとは受け取れないのだ。だが、近代の建築家は勿論、近代の企業家も生產者もその建築も君をあまりに信じ過ぎて居るし又君の魅力に陶醉し過ぎて居る樣だ。恐らく君自身君の運命を恐ろしいものと思わぬ事はあるまい。そこで僕は、君を科學の力を以てする近代的ペテン師のうち最高の役目をする者の一つだと斷言するに憚からない。而も、君は臆面もなく衆人環視のうちにつつ立つてマネキン的作用をする、路と家、いや慾望と財貨に透しの垣を作つて人を誘惑する、建築家達は爭そつて君の姿に追從する、企業家は君の魅力をあのづるそうな手段で以て利用する、もういゝ加減そんな罪な役目を縮少して貰ふ意志はないのかね—。而も君は確かに人の生活を活潑にし人の生活を明るくし又人の生活を愉快にした。だがその代り君は生產者の爲めに散がある。即ち貨物列車、乘合自動車列車、急行列車を運轉せしめようと云ふのであるが、これは到底駄目である。忽ち我々の通行路との間に事故を惹起するは明らかなことである。

手動車或は馬車が、五馬力、一〇馬力、四〇馬力の凡ゆる自動車を同一の韻律（リズム）の下に默從させんとして、列の先頭に位置すると云ふ

第三圖 被覆式街路設計案
前揭の如き車馬專用廣路を作る能はざる場合は建築内部を換氣裝置ある隧道式道路とす。



なら結構である。それ許りでなく、第一、歩行者の通行と自動車の運行とに對しては、前者の安寧と後者の自由を確保して、完全なる準備がなされねばならぬ。

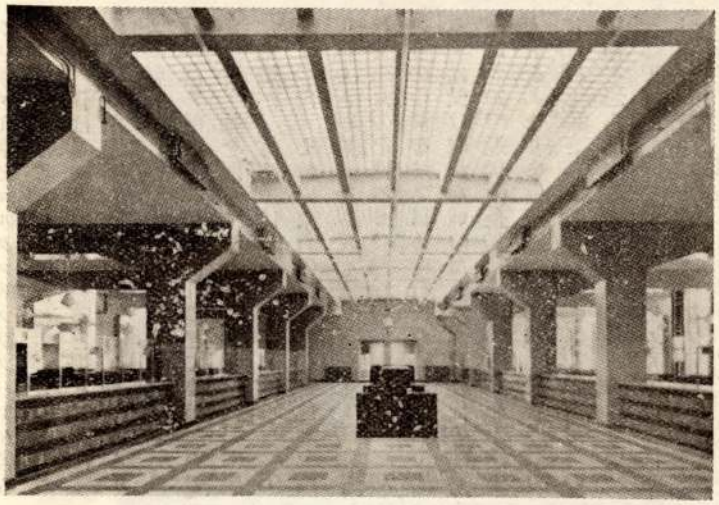
ユルバニストとしてのアンドレ・バントル氏の意見は至極簡單なる觀察點から生れたのである。即ち同氏はパレ・ロワイヤルが其の住宅と事務室とを遮斷する事によつて、至極



兵線を敷いて人間の弱點、謂わば人の罪惡を微發して資本家的二重搾取手段のお先棒をつとめてゐるではないか、見ろ！デパートの窓と云ふ窓を、その誘惑を、それを眺める人の目を、その醜惡な顏を。

◇

先頃大阪にもマネキンガールが現われて好奇な眼を吾れこそと思わん人達によつてデパートは人の渦を卷いたとの噂が新聞を賑はしたが、一體企業家と云ふものは人の懷勘定と收益の爲めにどんな手段でもやつてのけるものだと思われる。早い話だが、ニユウヨークに行つて見給へ、デパートのなかで物腰やさしいマネキン娘をネン者のマネキンだと思つたら大間違いだ。その唯物的行爲は、赤い着物を着た町の娘に、青い舞踏着をつけた女優に、はては掃除道具を持つ美しい掃除女にふ



便利に安樂に出來て居る點に着眼したのである。事務室が街路に直面して居るに對し、住宅は庭園に向つて慰安と平靜とを求めて居る點が大いに氏の氣に入つたのである。

アンドレ・バントル氏の意見

『病人を死なしてはならない』と氏は云ふ。氏は羅馬を燒いたネロンの轍を踏む樣なことはしない。吾々の慣習と審美學を混亂せしめるからと云つて、いつまでも誤解の中に閉籠つて居てはならぬ、常に時勢の推移に適應して行くことが肝要である。特發的手術や生半可な手術は効力が無い許りでなく、却つて有害とさへなるのである。何となればそれと全然異つた手術をなすことを要する時が常にやつて來るからである。古い都市は宜しく擴張して、大いに接續都市を計畫して、其の新しい實用的整理によつて過去の鬱血を霽らさねばならぬ。

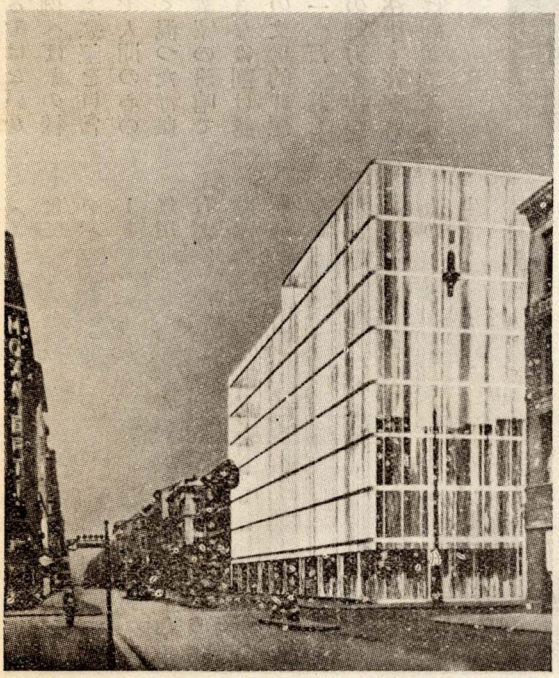
今假に、例へば獨創的技術に基づいてなされたボア・ド・ブーローニユ大通の延長、パシイの門まで開通した新道路の建設と云ふ樣な事を想像して御覽なさい。此のアンドレ・バントル氏の意圖は先に揭げた設計圖及び豫想圖に於いて、明らかに說明出來て居ると思ふ。今其の概略に就いて述べれば、それは階段式な家屋の建築と明に平行する二條の街路より成るのである。更に其の街路の一は步行者の爲めにせられたもので、其の上には商店が立並んで、街路樹も植えられて、殆ど現在の道路と變りはないのである、今一は家屋の下部

んしたマネキン達をして、ブロードウエーの飾り窓に、第五街の店頭に人の山を築いてゐるのだ。流石にヤンキー達も此のあさましい人間廣告をいゝものだとは思ふまい。君は一體これを何と思つてゐるんだ。僕は此のあくなき企業家の手段を決していゝものだとは思わないが、グラースよ君はそれを一體どう思ふ？。

僕は敢へて君に忠告する、君は今建築家は企業家に、企業家は又建築家によつてあまりに、利用され過ぎてはゐないのか一考を要する問題なんだ。君は今その明るい科學的な美しさ、この廣々とした姿をもつともつと人間が切りつめた生活・企業家のギマンと搾取とからさけて、例へば中世紀の様な生活をする爲に君の廣さを縮める意志はないのか、くだらない事を言つてると笑つちやいけない、ほん氣になつて君の行き過ぎた道を引きもどそうと思つてこんな事を言つてるのだから。

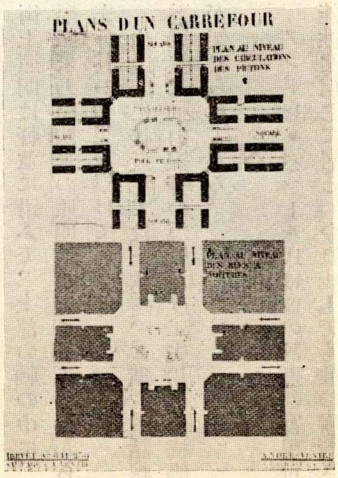
◇

「プリットル」と云ふ言葉を物で表はすなら君位それに當てはまるものはあるまい、それでいてその守る所ろは法律以上だ。試みに今鐵と君との前にあつて盜人はその何れを



破るであらうか、明かに鐵は君よりも弱く無力だ、此の不思議な特長と性質とを持つて產れた君は、人類の文化と、文明とを正しい道に歩ましてゐるものとは思へない。その第一は前にも言つた様に悪らつな企業家の先棒をつとめ得る事。第二、見え透いたぎまんを以て人を誘惑する事。第三、近代建築家に對する建築家達の無批判なる君に對する信仰だ。見ろ！例へば蟻の様に群がつてゐるフラツパーを、ラツパズボンの常習的安物買の諸君を。

何故に君はそのぜい弱なる堅い力を以て人の所有權を其の透明な姿を以て確保しようとするのか。明かに今現代の法律と、警察官諸



第四圖　廣路交叉部平面
上部　歩行者專用上層道路平面、
下部　車馬專用下層道路平面、
（中央楕圓形は兩道連絡部）

にあつて車馬の用に供したもので反對の方向にコースをとつて循環する緩急車道と普通車道の二種に分れて居る　尙此の階段式家屋は現在の家屋以上に多數の人口が收容出來るのである。因みに本設計によれば十二階乃至十三階が豫想されて居る。故に若し此れが實現した曉は巴里の接續都市は本文第一圖に見るが如き全景を呈するに至るだらう。

雜閙する場所例へば十字街等は車道もそれ相當に擴張されて居るが、歩行者の道路としての、二米乃至二米五〇は少し標準が高過ぎる感がある。此プラットフォームの下で右の方に向つて旋回狀の循環が行はれるのである

鐘下地道

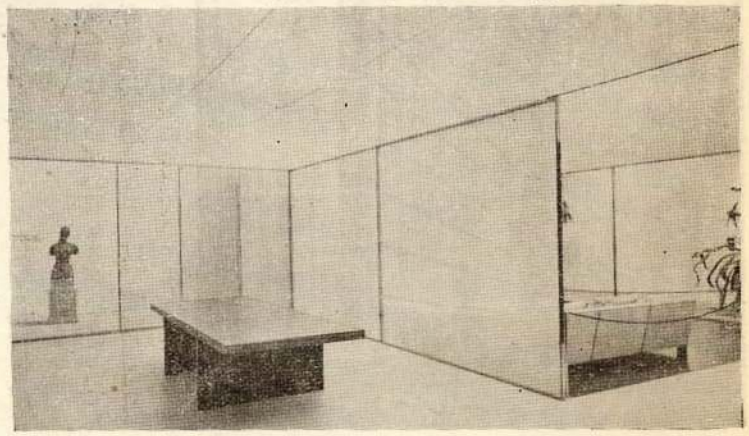
地下鐵道も同じく此の接續都市の地下で擴張されるであらうが、街路が整調される結果最早や彎曲屈折する必要はなくなる。

君は君の前に、無力を示してゐるではないかなぜなら、君はそのたゞ一枚の例へば紙の様な薄さを以て、人間の慾望と云ふ慾望を目當てに星の様に輝くダイヤモンドで人間の心の奥に巣喰つてゐるある野性と黒く混つた毒血を沸きたたせるからだ。君は企業家の前哨であるばかりか夫よりももつと大きな役割は誘惑の手先きだ、確かに君は近代の文化的罪悪史に重大なる役割をなすものゝ一つだ。若し人間の社會に於て君の誘惑、君の魅力を持つて人にせまる者があるとしたら法律も警察官もだまつては居ないだらう。君は確かに夫等の無力を笑つて居る様だ。



◇

何てデパートは無用有害論を稱へた人があつた人の生活の爲めその必要の爲めに産れたデパートワナメーカーは、今日本に移されて誘惑と浪費の府だとまでは極論されぬが、こも角も社交と紋付きの着物を著て來る遊山氣分、デパート情調は確かに日本デパートの一特長である。僕は今更らの如くチエーンストアーウールワオースの十錢店を羨むものゝ一人で



地下鐵道の二部線制が採用される、廣い場所のみ停車する急行線と今一つ前者より速度の小い各驛停車の普通線の二じある。

其の通風換氣の點は、ラスパイユの並木通りに見る様な、青葉の中に潜在する漏斗狀通風管によつて遺憾なく保證されるのである。車道が建設される爲め、地下鐵内の中庭も自然廢せられるに至るだらう。凡ゆる店舗は、其の地階の中で、人道に面する方面には正面陳列店、車道に接近しては店の裏座敷と云ふ風に整頓せられて、商品貨物の搬出、搬入は斯くの如くして重要なる販賣取引を少しも阻げる事なく極めて順調に行はれるのである。

更に各家屋の間には、人道と車道とを通づる通路があつて商品を持つて街路を横切る必要のない様に出來て居る。中央部には二米に二〇米の換氣用の小庭と、家屋の上部には何れも塵埃の吸收裝置が設けられて居るから、諸車の發撒した惡臭や有毒ガスが住民を惱ますと云ふ様な事は少しもない。又地下鐵内の街上照明は軒並に沿ふて、上部の軸の中に、幅二米乃至四米の照明帶が施されて居るから充分其の効果を擧げて居る。

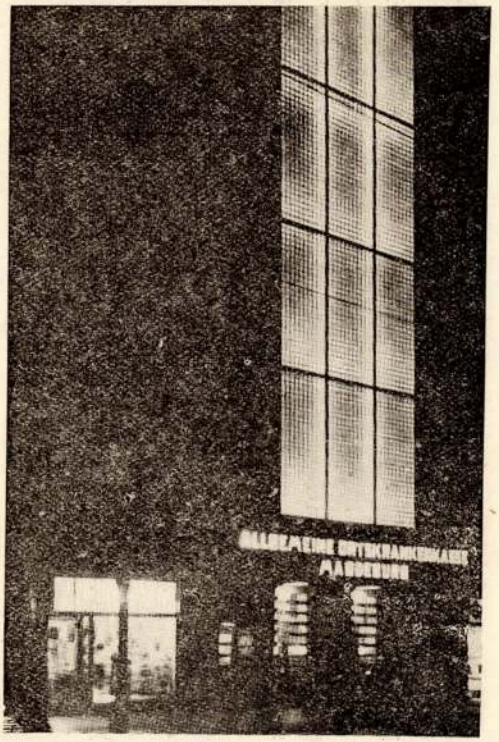
尚地床に接近しては上水道、瓦斯、電話線電燈線、動力線等の導管及び工夫用の歩橋等が架せられてある。

◇

アンドレ・バントル氏は彼の計畫の實現可能性を信じて居る。今日少しでも彼の嶄新さ

ある。日本金にしてタッタ二十錢のスプーンがすれる程使つてもまだ銀裸を保つてあせない。その飾り窓は必らずしも誘惑的でないが頗る實質的である、ならべられる形は必らずしも近代的ではないが頗る内容的である。窓は低くして廣いとは云へないが出入する人達は無爲である。デパートに紋付を着て行く有閑婦人はないが、籠をかゝえ手提げを持つた多數のハウスワイフとチミツドワイフとを顧客をする此の十錢店の情景を見ては、今更の如くアメリカと日本を比べて見る。映畵的なアメリカではない、都會的なアメリカでもない、輕薄なハリウツド主義でも何でもない、チミツドワイフのアメリカを、そのアメリカのチミツドワイフを見よと云ふのだ。

テンボの早い事を以て名譽とするなら日本の建築はその最高なものゝ一つであるにちがひない。だがそれは果して本質的な推移を以て流れてゐるであらうか、商賣によると一年の間に二三度位の模樣替をしなければ客足がにぶるとさへ言われて居るのは一體何故なのか。コルイズムを鐵をガラスをとやかましく、例へば學生の樣に、例へば大學助教授的思辨を以て建築の事をやかましく論じて居る間にヂアズ的變化とその建築的手段を以て銀座の街は手輕に變へられて行くのだ。只一の雜誌只一册の商店建築號さへあれば店の建築はいくらでも生産出來ると云ふのが銀座の建築なんだ。東京を警戒しろ!その直譯と不消化の東京を。東京式を。



◇

拜啓前略……小生共の後獨露に遊んで議論をたゝかわした結果曾て小生がとなへた住居機械の說は聊か變更するの必要を感じ申候……下略……。これはコルビュジエがスッジオの編輯氏に送つた手紙の一節であると思ふが譯の間違はもとより僕には責任がない。曾てピカソが何だかわけもわからぬ繪を書いて居たに驚嘆するならば、又それによつて少しでも當惑を感ずるならば、我々は、時こそ慣習の支配者なりと云はざるを得ないのである。

今より二十年前には、斯の樣な一見馬鹿げた樣に見えた思想も、今日では成程と頷づかれるものが多いのである。眼と心とを適合せしめなくてはならぬ。斯くの如きは實際、現代の生活樣式の破壞を意味するが、此處に說く氏の計畫のみは、共の簡易にして利便多き點を以つて大いに我々に好感を抱かしめるものである。

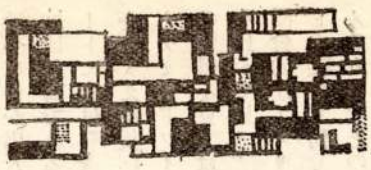
若し此れが實現した曉は、必ずや現代生活に一大革命を惹き起すことゝ思ふ。正に二〇世紀は凡てに於て『新しい世紀』であらう。共處には慣習と速度(スピード)、諸事象の不調和が起つて來るに違ひない。我々は最早やハウスマン男爵の作品と彼の先驅とには滿足して居られない、共の折柄是等ユルバニストの說も一應傾聽に値するであらう。(ロベール・カブラン)

モダーン商店

美術品陳列店

エドガル・ブラント

首都巴里の善美を盡した店頭の數ある中で最も人の注意を惹くものは優美な街として聞えのあるマドレーヌ街、マレゼルブ通り二七の美術品陳列店エドガル・ブラントの店頭であらう。



小商店の店頭

宮飼克二

近頃は、時勢の進展に應じて各種の營業と共に大資本主義、合同主義になりつゝある傾向は、一般に認められる處で、各小賣商店もデパートに押され勝ちなのも、止むを得ないのでありますが、デパートの位置は大都市に於ける重要なる地點、或は特種の交通量多き地點でなければ採算が合ひ兼ねますから、二流以下の地點では矢張り小商店の必要を認められ、又それでなければ小資本の商人は立ち行かれないのであります。

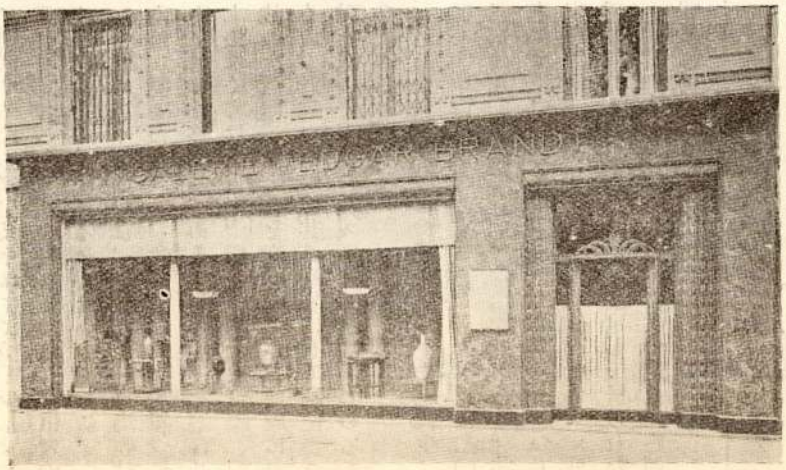
從つて、小資本の商人が、商店の經營をするに當つて、固定的な建物に多額の資本を費す事は、最も苦痛であつて、出來るだけこの方の資本を少くして、運轉資本に苦面せんとするのは當然の事でありませう。然し乍ら小賣商店と雖も、客を引き寄せ、信用を得なければその目的は達せられないので、或程度までは固定的にも資本を下して、大局より考慮せなければ結局は失敗に終りませう。

先づ小商店として考慮すべき點を擧ぐれば

一、場所(相當の人通りあり便利な地點)

一、日當り(日光の直射せない側)

無中になつてピカソを追かけて居た繪書き達があつた。ピカソは手をあげて云つた、今迄俺れがやつて來たのは皆んなクラシックへ行く前提なんだ。と言つた時にそれを聞いて居た日本の繪書き達、過ぎたものでさへあれば何でも馬鹿にして居た、日本の繪書き達のあるものがぼー然として開いた口がふさがらなかつたかどうかは知らないが、多分あつた事と思ふが、グラースよあやしげな日本のコルイズムファンにその黒辨に君はあまりに柔順すぎると思わないかねー。誰れかゞ言つた樣に過渡期と云ふのは、古いものから新らしいものに移る事だと思つたら、日本の過渡期だけは新らしいものから古い物に移つた樣なものだとさ。(をはり)



第一圖　美術品陳列店エドガル・ブラント

此の評判の金物商の主人は堂々たる現代作家の作品を廣く一般に公開する目的で、此處に美術品陳列店を創設したのである。そして彼は又、其處に同じく現代の優秀な藝術家、寶石商、金物彫刻家、陶工、彫刻家、硝子器商、等の作品をも陳列して、同店に繁く出入する顧客の富豪連にそれ等を紹介することに

一、仕入先(この研究が第一要件)
一、廣告宣傳(商賣に應じ絶えず適宜に)
一、得意廻り(現今の競爭は之が必要)
一、接客方法(說明充分、親切第一)
一、店頭裝飾(簡易にして効果ある樣に)
等

以上の各種要件の內で最後の店頭裝飾に就て愚見を記して見ませう。

◇

小商店では、一般に採算上、借家に寄つて開業する場合が多いので、目的の營業に向く樣な商店建築があれば、好都合ですが、家賃などの關係もあり、仲々思ひ通りの家はないものでありますから、或程度迄は店頭の改造を試みなければなりません。借家に對して金をかける事は余程研究を要するので、資本關係と共に、投資を少くして効果のある改造を要求さるゝ事となります。

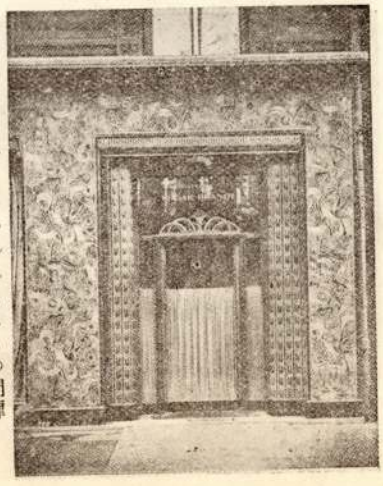
そこで、外觀意匠を斬新にして、構造なぞは第二第三になりますから、結局バラック建と同一の結果となるのも已むを得ない事であります。最も簡單なものでは、屋根看板と袖看板を掲げ、仕入れの陳列窓一個を備へて、店先の裝飾を了つて居るものが多いのでありますが、案外この看板に色々の形や模樣を附けて賑やかなものがあります。看板のみが必ずしも店頭裝飾の主眼ではなく、簡單ながらも今少し店頭全體の調和を保ち度いと思ひます。即ち屋根看板を店の間口と同一の巾として、店の正面を大きく見せる事は、甚だ有効であると信じます。日本建で下屋庇のある場合は、パラペットの如きものを作つて內樋とし、或は其まゝとして軒先きを蛇腹樋にて包み、陳列窓と形の上に何等かの連絡を保つ樣に工夫をし度いものであります。日本家の軒先は非常に低く、このまゝ洋風の店頭とする場合には、押し付けられた樣な形となり、屋根に重苦しい看板が載せられた時は、一層その感を增すものでありますから、看板は出來るだけ輕い意匠で、店頭全體を引き纏め、軒の低いのをば補ふ役目をさせれば、効果が多いであらうと信じます。

日本趣味の店頭(骨董店、しるこ屋、すし屋、酒屋なぞ)は別として、洋風の場合、店內の營業場は、軒や天井が低くて、店先に陳列窓を設けた場合には、非常に暗く、採光に可成り苦心するものであります。晝間電燈を以て補つて居る店の如何に多いかは、今更云ふ迄もないのでありますが、欄間、或は天窓の利用に依つて出來るだけ天然光線を取入れ一方輻射光線を有効にとるために、白色を主として店內を明るくする樣に工夫すべきであります。

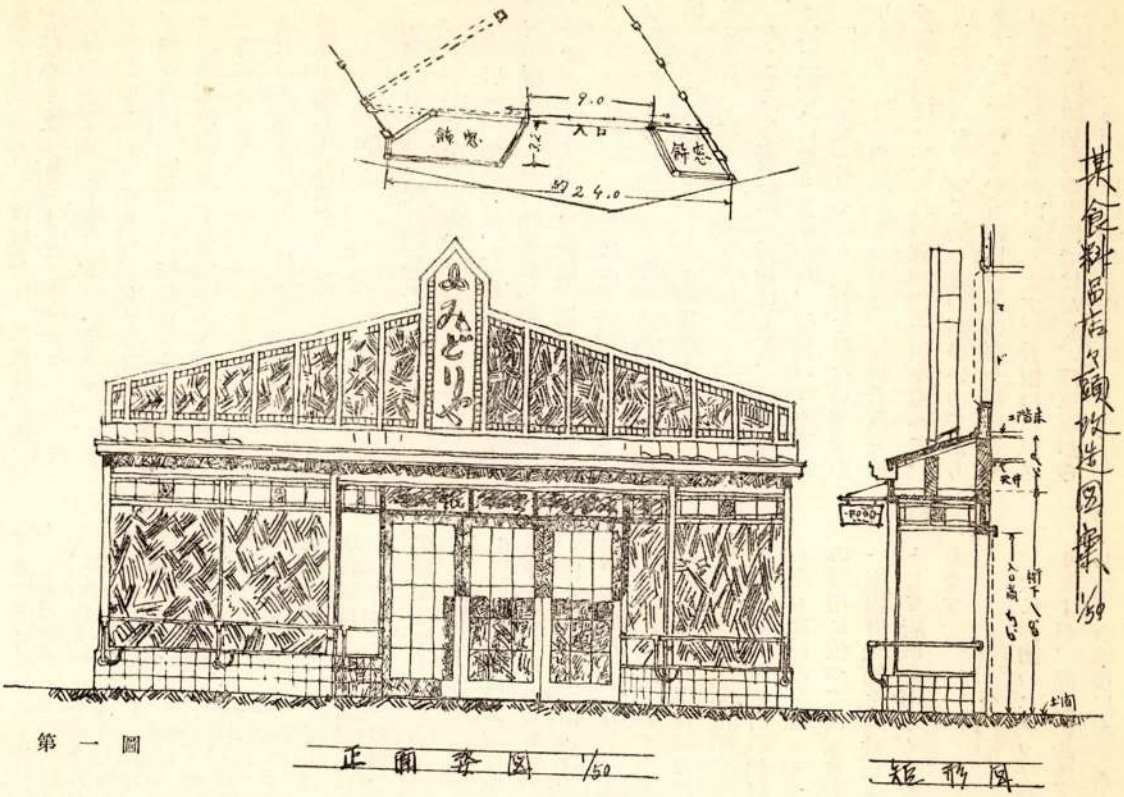
◇

次に挿繪のスケッチは、貧弱な意匠ではありますが、簡易に改造した實例として揭げました。小學校以來の舊友某君が實兄と共に食





第二圖 右上 エドガル・ブラントの門扉
第三圖 菓子店タンラード(巴里ビニョン街)

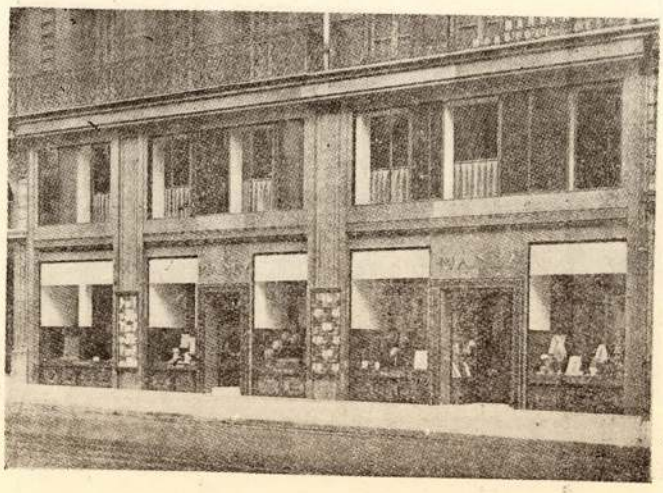


第一圖

料品店を開くと云ふので、種々相談を受けました。固定資本に余り出せないからこの事で電車の乗換場の角切りの日本家で、以前古着屋の居つたと云ふ、汚い借家を改造する事に決しました。豫算の關係で二階以上は造作をいぢらず單に壁と大屋根の入母屋を、グリーン色のペンキ塗りとして、白色で文字を表し、屋根上に旗竿を立てる程度に止めました。階下の店先は、庇の軒先を一杯に陳列窓を設け、奥行約三尺二寸、窓台約一尺六寸上りにこりました。窓は左右を大小にして入口は中心より右寄り、巾九尺の三

努めて居るのである。此の利害關係を離れたエドガル・ブラント氏の同情によつて、如何に吾が藝術家達が利益して居る事だらう。

此のサロンは階下室の上にあつて、店舗と云ふより寧ろ美術品展覽室と云ふ感じが濃いのである。エドガル・ブラント氏は此の實現を氏の忠實なる協力者であるアンリ・フアビエー建築士に委囑したので、同氏は直ちに一の店頭裝置を思ひ付いたのである。それによつて我々は、再び一九二五年の裝飾術展覽會



第四圖　雜貨店・マンビー商會
（巴里オーベエー街）

板硝子戸として、一枚は右に、二枚は左に、何れも陳列窓の裏へ引込む様にしました。入口高六尺五寸として桁の關係で欄間は八寸余り、之に簡單なスティンドグラスを入れ、木部全部白ペンキ塗りとなし、窓の腰はグリーン色のタイル張り、眞鍮パイプの手摺付として、夜間は窓の外へ雨戸を嵌め得る様にしました。

軒先を角形蛇腹樋白ペンキ塗りとして、下屋庇の中間、出桁(入口前の天井で包まるゝの上で間口一杯の看板を載せ、ショップフロントを纏めました。この看板は大體木造白ペンキ塗りとしましたが、奥行を一尺程の箱形として夜間點滅の電飾をなす事にしました。中央のマークは赤硝子入、屋號は綠硝子入、左右の多數のパネルは普通硝子に內面を白ペンキ塗りとし、點滅の順序は、マーク、屋號とパネル(全部同時)と順次點じ、パネルのみ一度消えて再び點じ、最後に全部消える様にしました。入口前の土間及び此處へ商品を持出した時の照明として、軒裏天井に三ヶ所電燈を仕込み、雪板硝子の蓋を用ひました。

軒下各柱三ヶ所に行燈形電燈看板を取付け、白ペンキ塗り透し文字とし、兩端を日本字、中央を英字として、文字は赤と綠の硝子を嵌め、下側は開扉として雪板硝子を嵌め、晝夜共看板の用をなす様にしました。

內部は根太下一杯に米松板を張り通し、左右の壁は三尺毎に柱あれば、そのまゝ眞壁を見て、腰竪羽目とし上部は取付の棚を設け、木部全部白ペンキ塗り、壁は淡桃色ペンキ塗としました。入口の少し奥に梁受の大柱一本孤立したので、四方にブラケット形電燈を附け、足元には柱を中心として凹形二段の棚を設けて、商品を飾りました。

この店の屋根看板は多少通行人の目を引いたのか、其後各所に此看板に似て非なる形のものが見受けられ、甚だ不愉快を感じましたが、それだけ未だ一般に店頭裝飾の知識が商

第二圖



に於けるエドガル・ブラント氏の素晴らしいスタンドを思ひ出すのである。

最初此の店頭設備はエドガル・ブラント氏の好みに應じて銀を著せた青銅でなす積りであつたが、經濟上の關係から、それをシエラツク塗のセメントで代用せなければならなくなつた。裝置は悉くブラント氏の意匠によつたものである。

此處に掲載する所の其の細部面は、アンリ・フアビエー氏によつて想像されたもので、花に鳥獸を配したる所は、想像を基調とする現代の藝術の特色を遺憾なく發揮して居ると云ふ可く、更に金具と非常に落着いた金屬文字とによつて一段と引立つて居るのである。此の藝術的に作られた店頭の非常に格好よく輕い庇で覆はれて居る點も亦注意すべきであらう。

現代佛蘭西の藝術品の粋を集めて、諸藝術家や又アマチュア連の集り場る美術品陳列店エドガル・ブラントの店頭としては、裝置も堂々たるもので、少しも恥かしくない。

モダーン商店舗

巴里 オデット商會

近頃、最大でしかも最美の地下鐵(メトロ)停車場の開設されたリシュリユー・ドウルーオの盛り場を過ぎて首都巴里で最も現代的な商店街と

人の頭に普及して居ない證據で、その一班の責は吾人も負はねばならんと思ひます。

最後に改造に要した費用を記せば、陳列場（約十五坪）の造作を合して約三千圓、電燈電鈴工事に約一千圓、內部の陳列箱（多く硝子張）戸棚類に約一千圓を支出しました。

（昭四、八、一六）



商店と廣告

＝主として夜間廣告に就いて＝

工學士 新名種夫

1

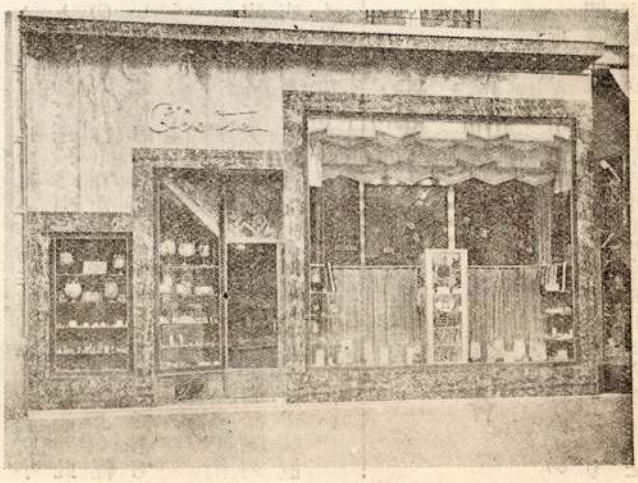
商店の目的は、言ふ迄もなく、先づ第一に能ふ限多く賣るにあるのだから、その建物は勿論、その他全ての設備がなるべく多くの人々を牽きつけ、その購買欲を刺激し、更に進んで購買行爲を起させる樣に、出來るだけ工夫せられてあることが必要である。

最小限多くの人々を集めること、及その購買欲を刺激することは、何よりも先づ、廣告に俟つ點が最も多い。

ポスター、宣傳ビラ、新聞雜誌への廣告、廣告郵便、ザンドウイツチマン、チンドン屋ラヂオ等が先づ遠距離射擊に利用せられる。汽車電車等の沿線廣告、廣告塔、輕氣球等も夫々相當の距離までその廣告的能力を發揮する。

併し、かくの如くにして刺激せられ、驅り集められた人々に對して、廣告した商品の各所の販賣店、或は又、廣告主である一つの商店の位置を敏速に且明瞭に知らしめ、且人々がその商品の實物を見ることに依つて、更に一層の執着を商品に感ぜしめることが必要である。前者は主として、商店の外觀に於ける廣告的効果に俟つものであり、後者は主に、ショウ・ウインド及陳列臺に於ける工夫に依るものである。

我國の商店は、此點に關して、久しい間餘りに無關心であつた。大きな新聞廣告を見て買ひに出かけた者が、當の商店を容易に發見



第五圖　オデット商會（巴里ハウスマン通）

云はれて居るハウスマン新大通りをやつて來ると、此の街路の盡くる所に眞珠の手提や此を飾る小間物を賣るオデット商會がある。

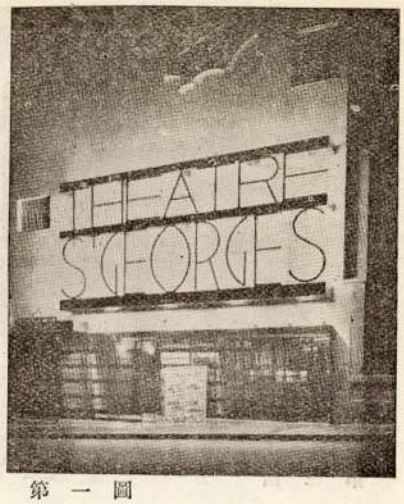
堂々たる店舗が何れも負けじ劣らじと華かに裝ひを凝らして立並ぶ中に、これは又一段と、其の風變りな外觀と其の豐かな效果とによつて、通行者の注意を惹いて居る。而かもそれが斯界に於いて、既に其の豐かな天分を認められ齊しく定評のあるビエール・ブテイ氏の作品の一である事を知るならば、今更驚くにも當らないだらう。

出來ない場合すら少くはない。

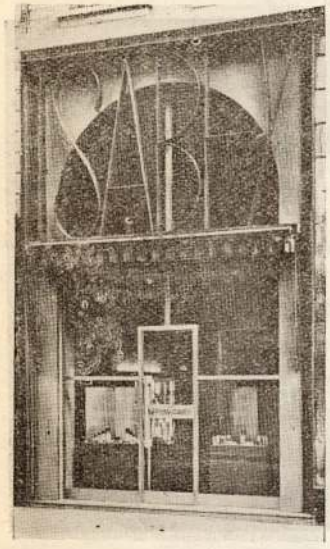
最近、明大その他の大學に、廣告に關する講座の設けられた所があり、新聞廣告、ポスター、ビラ、ショウ・ウインドの陳列法等に就いては、專門的研究が盛に行はれ、且その研究の結果が新聞廣告やポスターなどに於ては、着々實際に應用されつつあるのを見るが建築家の創意に俟たなければならない部分に於ては、未だ隨分幼稚な點が、決して少くはない。

何軒かの常顧客を持つことに依つて一軒の店が經營して行けた時代は遙に去つた。全ての營業は大衆を中心とし目標として營まれねばならない時代が來て居る。高島屋や三越の經營方針が最近いかに大衆に媚びつつあるかを見るがいい。

此の所に、廣告の重要さが生ずる。



第一圖



第二圖

2

新聞その他には時折廣告を出しさへすれば、誰もがその所在を知つて居て集つて行くデパートや大商店ならば、自己の存在を他の商店から區別し明示すべき特別の外部的設備を、その建物に施す必要はない。(若しその必要があるとしても、建築の大さがその役目を果してくれる)そこでは、例へば『秋新柄大賣出』の廣告を見て或は廣告も何も見ないが漫然時間潰しの散歩に、或は週に幾度か例へば三越を訪問しなければ虫が納まらないと言ふ理由で集つた各階級の人々の眼に、價格と品質との關係を、夫々に都合よく映ぜしめ、購買心理を刺激する樣な室內設備をさへ講ずれば足りる。

多くのデパートメント・ストアが、外觀上全く一個普通のオフイス・ビルデイングであり、ショウ・ウインドウを除くほか、建物としては、特別に何等の廣告的な部分がないのである。

然し此の藝術家が其の手腕を振ふ可き場所としては、商店街の三角形の端に當る關係上其の右側は甚しく斜面をなす中間共有地によつて制限を受けて居るのである。氏は其處に非常に格好よく梯形のサロンを造つたので、出入の際、少しも不便や奇妙な感じを抱かせない。

此の特異性はやがて、正面玄關の構成に大なる不規則性を與へて、其の著しい嶄新味によつて多大なる興味を釀成して居るのである。



第六圖 オデツト商會內部

正面玄關は大理石造で其れを擁護する穹窿の上を軒蛇腹が飾つて居る。硝子張の陳列棚はマホガニーで緣付けられて居り、中央面は斜面になつた硝子張の陳列棚のお陰で一見玄關かと思はれる樣に出來て居る。そして此の一部分が矢張り硝子張になつて居て、其處に入口の扉が嵌まつて居る。此の扉は銀張りの鐵である。

はこれが爲である。

又、時にふれて、せめて宣傳ビラを配り或はサンドウイツチマン位は使ふ程度の廣告手段を取つて居る商店、又は所謂老舗として例へば榮太樓の甘納豆とか、木村屋のパンとか、長崎屋のカステラとか、阿彌陀池の大黒屋の粟おこしとかの如く、店の名と商品とが、切つても切れぬ因緣を以て、人々の頭にこびり着いて居る樣な場合ならば、××屋はここですと大きく掲ぐることに依つて、その店名なり屋號なりを人々の前に先づ示す必要があろう。店の位置を示すと言ふことが第一の要件である。後者の場合などは殆んどそれだけで十分の効果をあげ得る。多くの人々は、例へば粟おこしを買はんと欲する場合には、先づ大黒屋を思出すからである。それ等の人々に對して大黒屋は、唯店の位置を教へることだけで足りる。



第三圖



第四圖

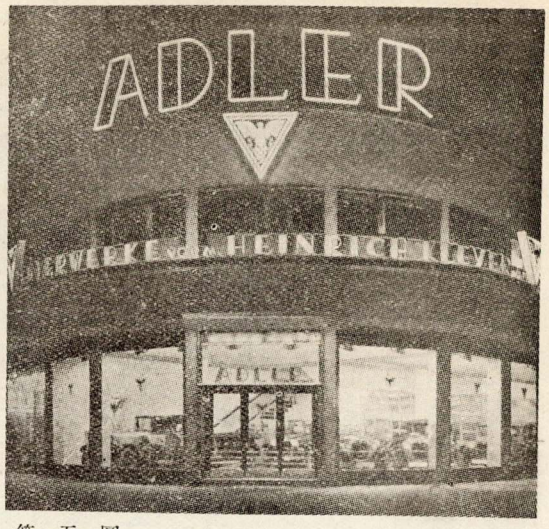
（序だが、古本屋の日本橋通、首吊洋服店の谷町などと言はれるが、この町名と商賣の名稱との關係が、丁度老舗の屋號と商品名との關係に似て居る。古本の欲しい人又は安い洋服を求める人は、先づ大抵、夫々日本橋通又は谷町を思ひ出す。この聯想が廣告なしにも人々をその町に引き寄せる効果を持つ。幾軒も軒を並べて、同じ商賣が、寧ろ都合よく行はれて行くのはこの爲である）

だが、唯行ずりの行人を主なる目的とする多くの小規模なる小賣商店に取つては、店名や屋號に依つて存在を示すよりも、賣つて居


第七圖　オデット商會内部

店の内部は既に二葉の寫眞を掲載して置いたが、全く優雅なサロン式になつて居て、階下室の高さもピエール・プテイ氏が彼の天分を以つて其の幻想を遺憾なく實現するに充分である。此の高さがあつてこそ、今までに見られなかつたデコレーションの新しい素材が實に氣持よく見られるのである。

其の立派なマホガニー、彫刻された銀色の鏡、硝子、其他凡ゆる店内家具類等も此の建築家の新考想である濃褐色の天鵞絨の張布を壁間に使用した事によつて、一層價値付けられて居る。廣い銀色の毛織物の下には一本の鍍銀した銅の棒があつて、更に其の上に、小さい銀の網狀刳形が其の濃褐色の天鵞絨の張布の美しい折目を支へて居るのである。此の棒の上に輕く浮き出た所に幾何學的に、銀白色に澁味を出した巾の廣い毛織物があつて更に其の上を木の葉の唐草模樣が走つて居ると云ふ最も現代的な裝飾で何等非難する點がな



第五圖

遠望し得ない心齋橋筋の如き狹い通に於ては、特に然りである。完備したショウ・ウインドさへあれば、他の亂雜な看板など、寧ろない方がよい。

3

前置が長くなつたが、以上の樣な夫々の目的の爲に、夜間、商店に應用せられる自家廣告の方法、言はば商店照明に就いて述べるのが目的であつた。

木彫やペンキ塗の看板を軒下にぶら下げたり、屋根の上に揭げたりして、それを薄暗い電燈で照したものなどは、夜間には何等の効果もない。併し、何處を步いて見ても、今尙そうしたものが所狹きまで屋根を覆ひ、軒をふさいで居る。雜然こして道を步く商品の名前を第一に人々に知らせる必要がある。雜多な小賣商店の竝列の中に『何々を賣つて居る店がここにあります』と言ふことを、先づ第一番に大衆の前に示さねばならぬ。文字を用ひて販賣品目を表示するよりも、直接に、商品そのものの魅力を、公衆の前に披瀝する必要がある。買手に取つては、品物の性質が問題であつて、賣る店の名前は問題ではないからである。(これには幾分の例外があるが、原則としてはそうである)直接に品物をお目にかけるショウ・ウインドが、商店の殊に小賣商店の生命であるのはこれが爲である。殊に建物のファサードを

第六圖



い。尙此の毛織物の上には少し淨き出て、褐色の尖頭を持つた空色の長押があるが、それは電燈線を被覆する一列のツヤ消硝子の鉢石を支へる役目をして居る。

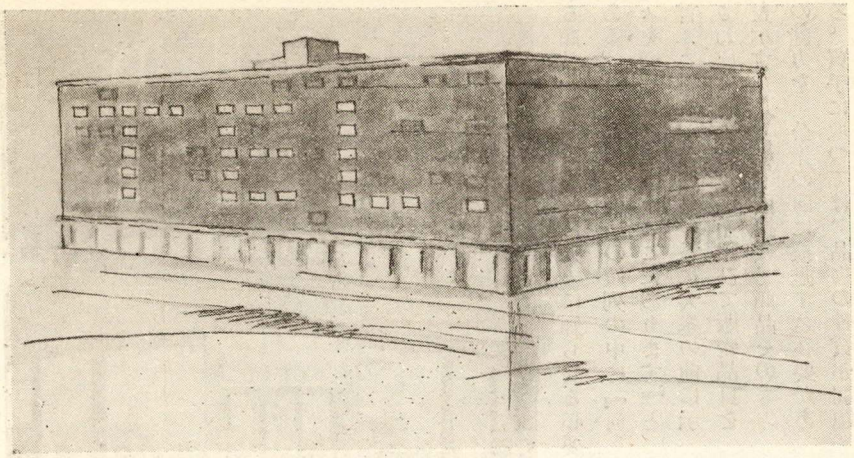
室の冠飾は硫黃色の凹形刳形のある天井で其の中央部には非常に薄い板を積んで造つた同じく硫黃色の一の大きな幾何學的圖形があり、更に其の上に三角面のツヤ消硝子の照光素材が施こされて居る。

店頭と相並んで店內の奥部には大きな額緣の中に波に戲れる鷗を彫刻した鏡が嵌まつて居るのを僞裝電燈が帶狀に周圍から照らして居る。又此の鏡の中なる裝飾素材は後方より一つの燈臺によつて照らされる裝置になつて居る。此の素材の載つて居るマホガニー補裝の側石の中には、硝子張の壁間凹所によつて各方面から支へられた、マホガニーの扉が開いて居る。

其他に漆塗のマホガニー材の家具類、張布と同樣の濃褐色の天鵞絨で飾つた座席や長椅子、木材と鐵材で作つた圓卓、廣い褐色の敷物を張り詰めた床、主要な硝子張陳列棚の內部、其の上部は輝かしい毛織物で被ふた彫刻硝子の鏡板が使つてあつて、しつくりと全體と調和して居る。これがオデット商會の概略であるが、實にビエール・ブテイ氏によつて考案され、シエーゼル氏によつて裝飾された最も立派な、最もデリカーなもの一つである今や新ハウスマン街の呼物となつて居る(完)

いて居てうんざりする。古きものは速かに整理して、晝夜共に効果を持つ様に、簡單にして要を得た看板にかへらるべきである。

商店又は商品の名前或は商標などを、軒頭に廣告するには、先づ圖の様な方法がある。比較的簡單な方法であるから、新しく建築せられる商店などに、もつと應用せられていゝと思ふのだが、その割に使はれて居ない。建築家が建物自體の形の設計にのみ忙しくて、廣告の點まで手が廻りかねるのかも知れぬ。だが、商店の設計は、特にファサードの設計は寧ろ逆に、いかにすれば最も多く、廣告的効果をあげ得るかと言ふことから出發しなければ嘘である。商店とは言へないかも知れぬが、阪急ビルなども、あれだけの廣告裝置がくつゝくと言ふことは、豫め分つて居たのだらうから、取つてつけた様なことにしないで、豫め何とかなつたのではないかと思ふ。



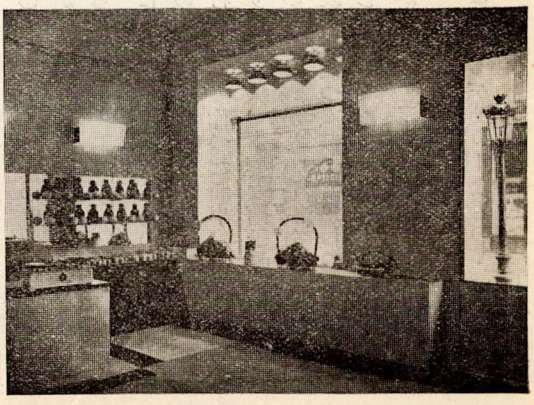
第七圖

第一圖、第二圖（第二圖は劇場であるが）は文字の後方その他に隱された電球で壁面を照すことに依つて、壁面から適度に離れた文字を、黒く浮出させる方法である。これは、大きなブラインド・ウオールさへあれば、後にでも設備することが出來る。畫は多少道具建が見える憂はあるが、夜の効果は非常にいゝ。

第三圖及第四圖は、乳白色グラスの裏に、照明裝置を入れて、グラス面の文字を、白く又は黒く描き出す方法である。これは相當古くから用ひられた方法であるが、取扱ひ如何に依つて相當に新しい効果をあげ得る。畫は照明の道具建が見えなくてよいが、都會人に對しては幾分刺激が足りないかも知れぬ。

最近盛に用ひられ初めたものに、ネオン・ラムプのサインがある。內徑五粍位の硝子管にネオン・ガスを滿し、管の兩端に電極を設けたものである。細い硝子管であるから、何んな形にも自由に曲げられるし、着色も相當に自在であるから、サインには持つて來いである。阪急ビルに用ひられたものは、文字一個三百圓などと稱せられ、現在では大分設備費が高い憾があるが、ネオン・ガス一立突八十圓としても、硝子は內徑五粍位で、封入せられるガスの量は知れて居るから、近くもつと安くなるだらうし、從つて、もつと廣く用ひられる樣になるに違ない。第五圖、第六圖は是を用ひた實例である。

第八圖



此のほか、床に照明裝置を施して、商標や屋號などを浮出させる方法がある。これは、嘗て幻燈器械を使つて、床や地面に映寫したものが初めであるが、もつと廣く使はれてい

ゝと思ふ。

又、日本では文字の關係から一寸用ひられにくいが、大ビルディングを擁するデパートなどでは、第七圖の樣に文字の形に窓を明るくして、店の名前の頭字などを現はす方法が外國では大分用ひられて居るらしい。

大朝及大毎の屋上に報道機關として用ひられて居る、スカイ・サインなども、やがては商店の夜間廣告に利用される時が來るであらう。

スポツト・ライトを以て、廣告の主要部分を照す方法もよいが、フラッド・ライチングに依つて、暗い都會の中空に、建物全體の姿を浮き出させて、自家の存在を明にする方法もある。

何れの場合にも、人々の注意を牽くと同時に、不快なる感を催さしめないことが肝要である。

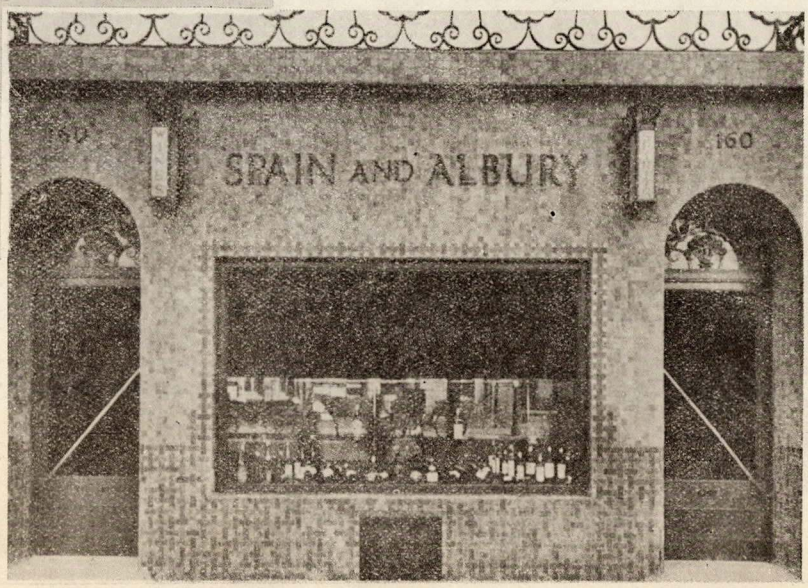
赤い色青い色の點滅廣告は、有田ドラツクの聯想と共に、此點に缺ぐる所ある故に意匠に餘程の注意を要する。

最後にショウ・ウインドウであるが、目の前に裸の電燈がぶら下つて居る樣なことは、田舍の呉服屋ならばいざ知らず、商人の大阪ではもう存在すべきではない。出來るならば、ウィンドウの上部相當の距離から、第八圖の樣に照明を取扱ふがよい。欲を言へばツアイスのリフレクター・ラムプを使用し、光にはデイ・ライトを用ふれば上乘である。雜貨店ならば、二割方ネクタイの賣高が增すであらう。

ショウ・ウインドウの上部は、こうした目的の爲に、豫め相當のスペイスを取つておくことが必要であるが、同時に、電球を露出することなしに、丁度舞臺のフツト・ライトの樣に下方からの照明方法へておくことを忘れてはならない。

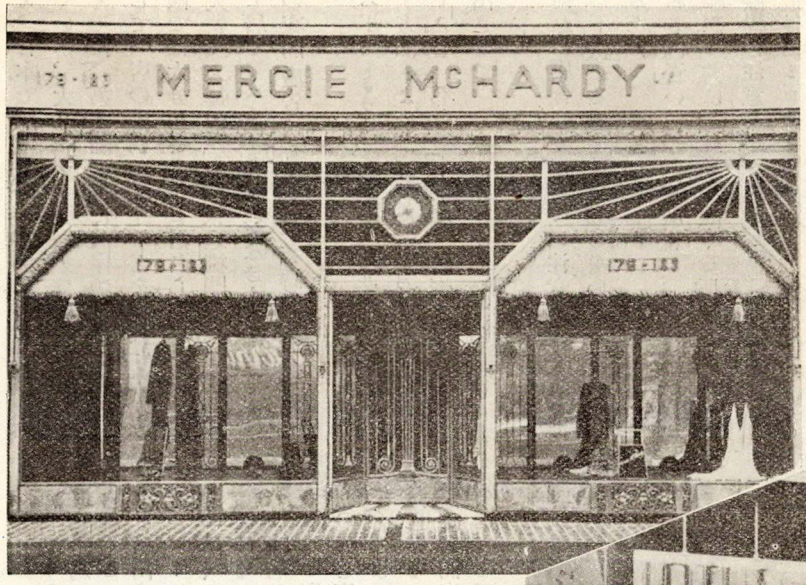
要するに、建築家が商店を設計する場合、商店の建築的部分のみの設計を受持つものと考ふることなく、出來るだけ多くの人を寄せ集めて、物を賣りつけるに都合のよい裝置を設計すると言ふ心持で是に當るべきである。然らば廣告的諸設備は、商店の具備すべき機能の大きな部分になるであろう。—一九二九、八、一三—





上 上錬鐵及鑄鐵製着色看板
下 酒類販賣店 イーストボン市

1



2



今日の商店建築

1 流行品店　正面（倫敦）
2 靴　店　正面（サウスポート）
3 ラファイエット美術店　正面（倫敦）

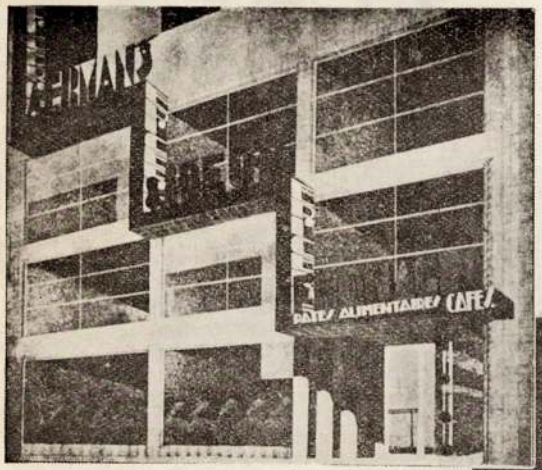
3



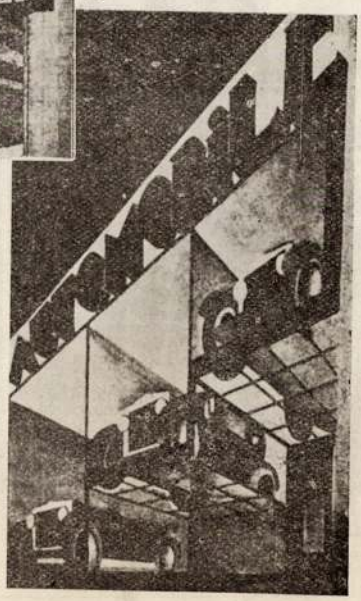
1



2



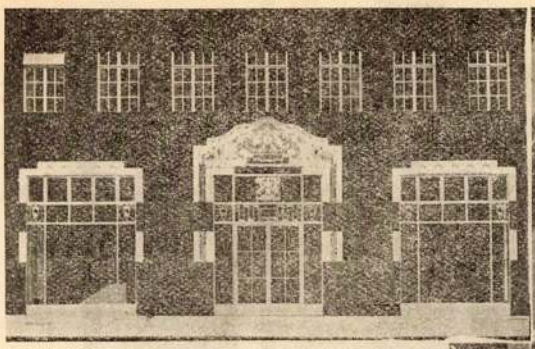
3



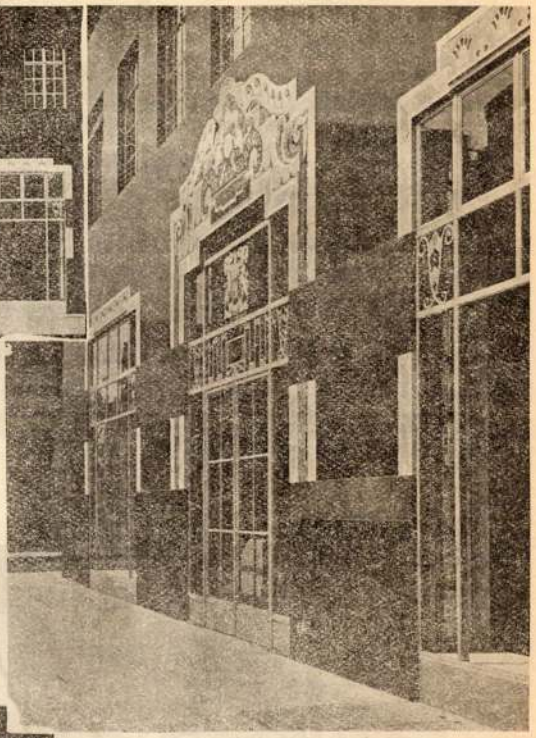
今日の商店建築

1 自動車ショールーム（巴里）
2 食料品店店頭設計案
3 自動車ショールーム設計案

1



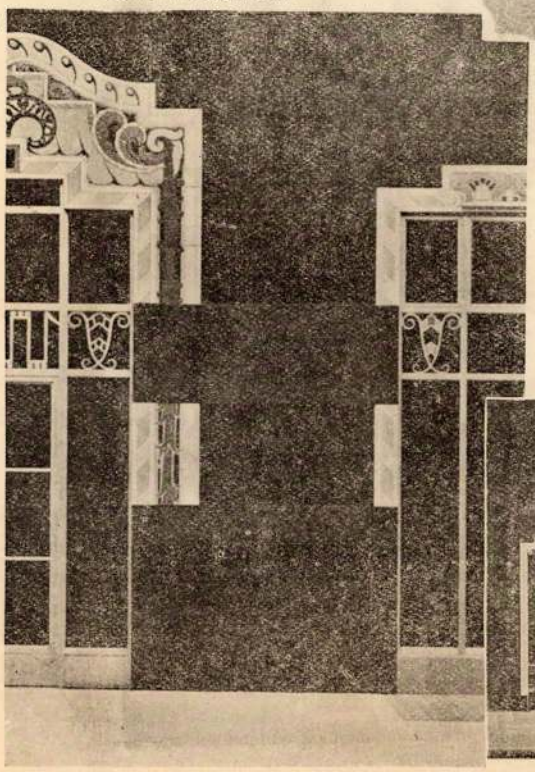
2



今日の商店建築

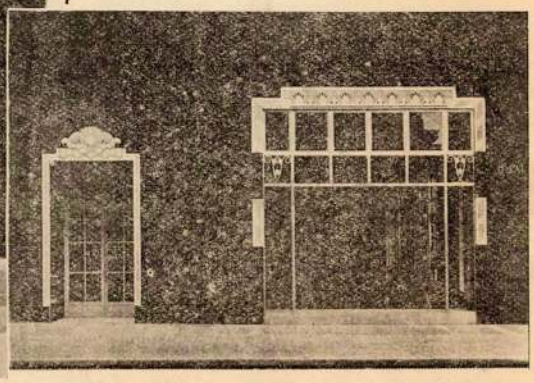
1 アイデイアル・ハウス（倫敦）
正面・入口及陳列窓委圖
2 同上（凸出せるエメリーバンド
及研ぎ出し腰石を示す

3

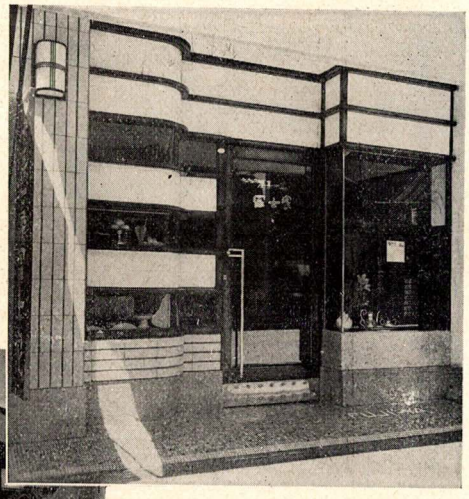


3 同上 詳細
4 側面 階上オフィス入口及陳列窓

4



1



2



3



商店制作

1 外觀
2 內部(1)
3 內部(2)

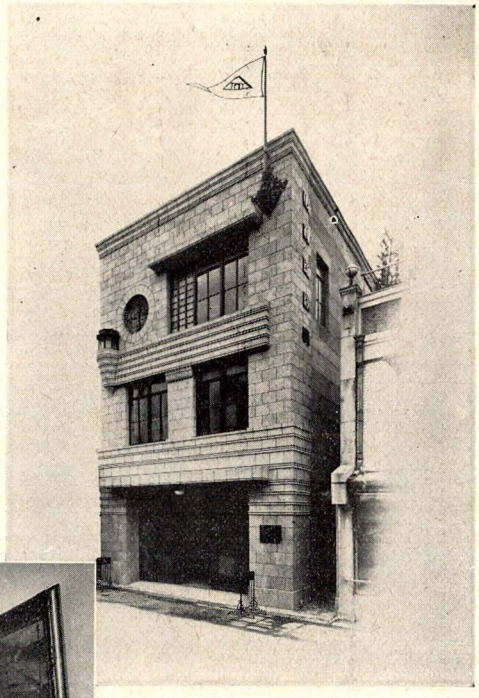
大阪・富士屋菓子店
設計者　本間乙彥氏

商店制作

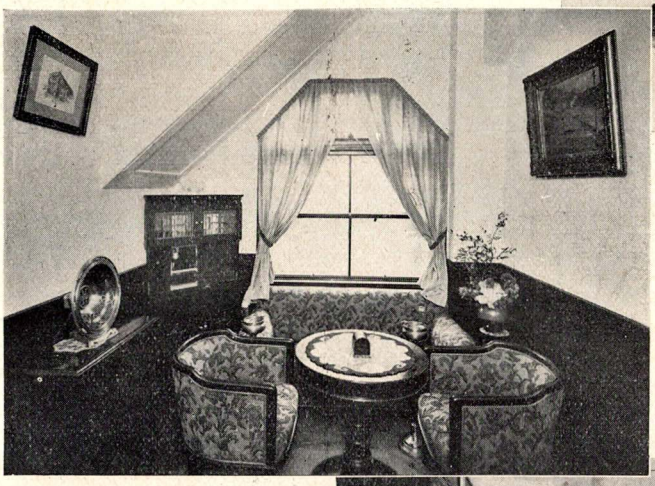
1 外觀
2 應接室
3 商品室

大阪・鳴神羅紗商店
設計者　村上徹一氏

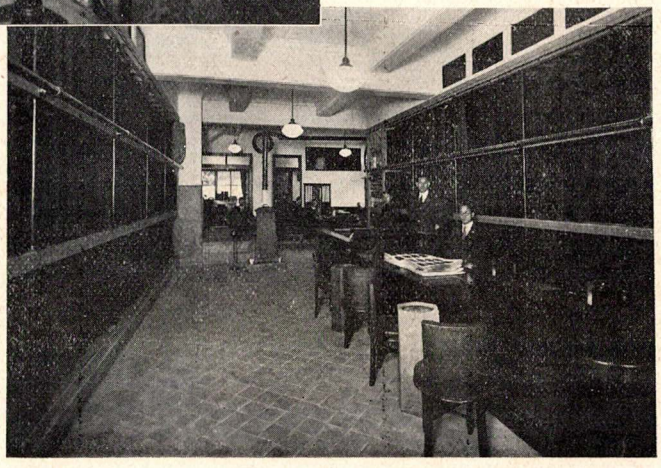
1



2



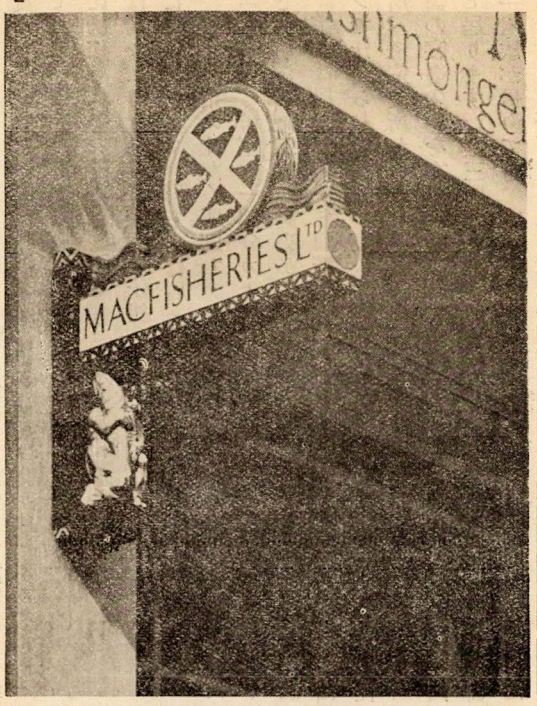
3



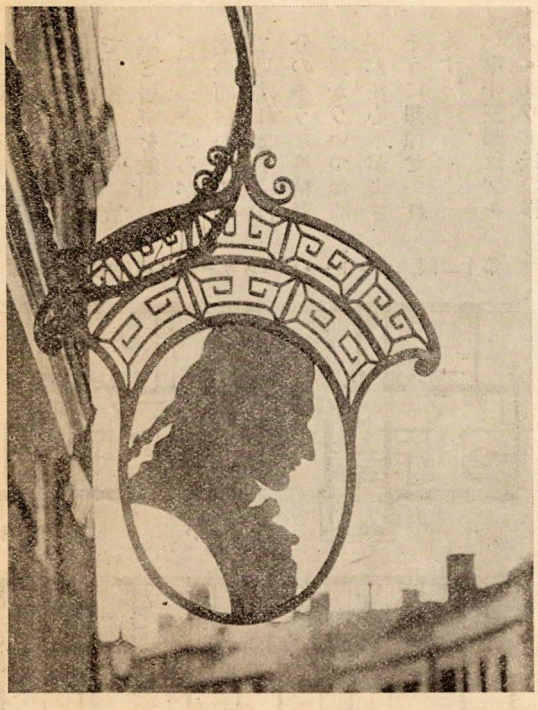
1



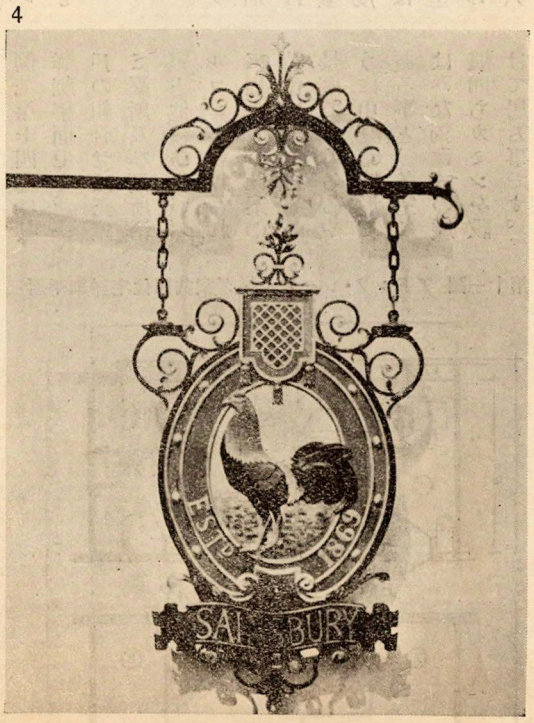
2



3



4



藝術的な商店看板

1 腐蝕半面像付銅板製箱型看板
2 着色木製看板
3 闘鶏着色浮出模様付錬鐵看板
4 銅板浮彫付錬鐵製看板



アパートメントハウスの實例 (2)

工學士 葛野壯一郎

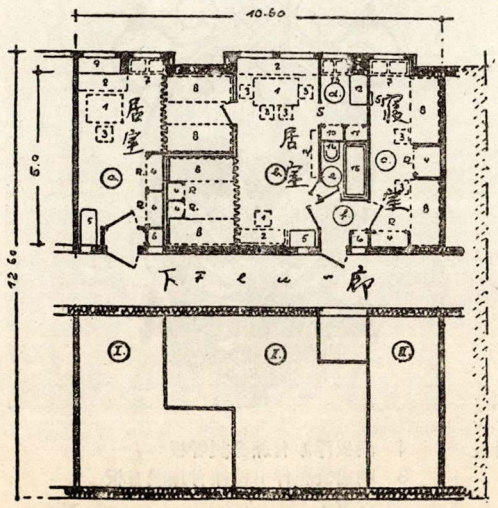
前號の第十一圖は製版の間違ひで第十二圖と入れ替りになつて居ます。こゝに改めて第十一圖をかゝげます。第十一圖は第十圖即ちアドルフ・レーデイング氏案の共同貸家の一區域を示した詳細平面圖で、一戸の分がI、II、IIIと三區に仕切られ、一所にまとめても又は別々にも貸し得るやうな仕組みになつて居ます。即ち一は居室、簡單な茶の仕たく所即ちテーキュツヘと、居室の一部分カーテンで仕切られた二箇の寢臺からなり、第二は居室と第一と同樣カーテンで仕切られた二箇の寢臺、小臺所、浴室便所からなり、第三は二箇の寢臺のみを有する寢室となつて居ります。全三區分をまとめて一家族が借りても、或は又一區づゝ別々に借りても何等支障のないやうに工夫されたのが此案の特色です。なほ此案では前號に記したやうに中央部に、共同用の大調理室、大食堂、大談話室、音樂室休憩室の設けがありアパートメント・ホテルと云つた感じの強いもので有ります。

◇

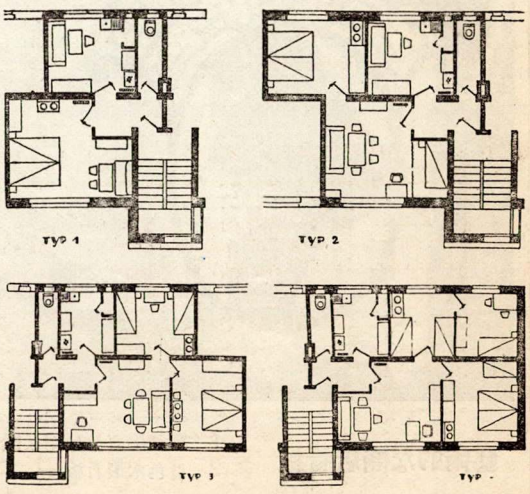
第十二圖はオツトー・ヒースラーの作例で四つの型が示されて居ます。第一は二室及び便所、第二は三室及び便所で、ごちらも特に臺所を設けず部屋の一隅に茶の仕度場が設けてあるのみです。第三は三室と臺所及び便所、第四は四室と臺所及び便所で、前者は四箇の寢臺を具へ後者は小供用ともに六箇の寢臺を具へて居ります。第一と第二が最簡便主義で居室と臺所、寢室と居室を兼用して居るところが此案の面白いところと思はれます。自分のやうな無精者にはかういつた部屋が住心地がよさそうに想像せられます。

第十三圖はブルノ・タウト氏の作例で第十四圖は其詳細平面です。一戸の組合せは三室と臺所及び便所浴室と他にひろいバルコンが設けられて居ます。此案の特色は第十三圖の景觀でみらるるやうに中庭が圓形である事と、各室にはみな獨逸式の煖爐即ちカミンを設けて居る事です。

第十一圖　アドルフ・レーデイング案共同住宅詳細平面



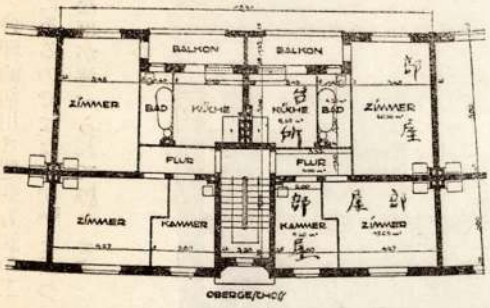
第十二圖　オツトー・ヒースラー案共同住宅詳細平面



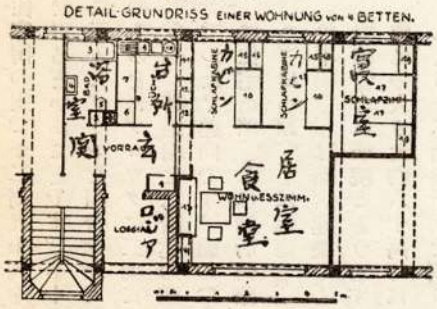
第十三圖　ブルノー・タウト案共同住宅景觀（ベルソリン附近）



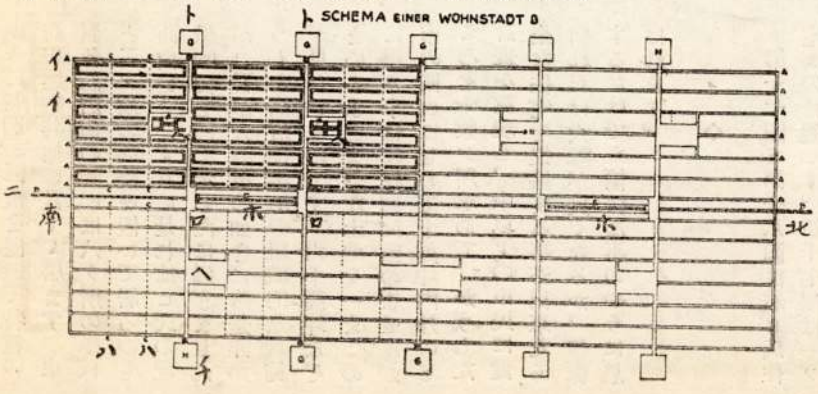
第十四圖　ブルノー・タウト案共同住宅詳細平面(ベルリン附近)



第十五圖　ルードウイヒ・ヒルベルザイマー案共同住宅詳細平面



第十六圖　ルードウイヒ・ヒルベルザイマー案理想的住宅街



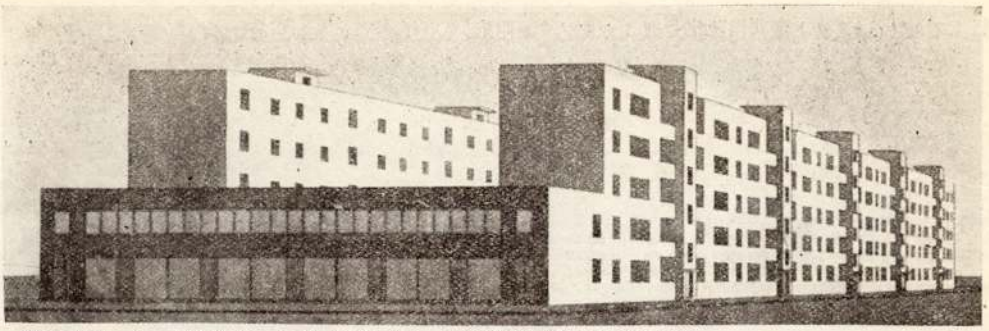
プランで觀らるゝ様に二戸を一組として外壁を少しづゝ内方に曲け全ブロックを圓形にした事は、採光や通風の點には色んな便宜があるでせうが、土地の利用率からいふと著しく不經濟なわけで、これは特種の地形の場合にのみ應用せらるゝ方法かと考へられます。

◇

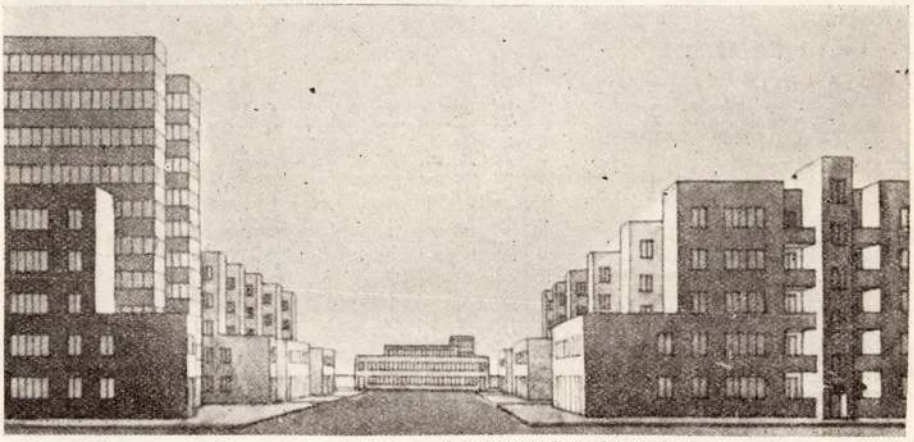
第十五圖はルードウイツヒ・ヒルベルザイマー氏の案で比較的廣い居室兼食堂の他に、大寢室一と小寢室二及び、玄關、臺所、浴室便所、ロジアが有ります。此案の特色ともいふ可き點は玄關のひろやかな事と、居室兼食堂を思ひ切つて大きくした事です。又小寢室はシュラーフカビンと稱せられて思ひ切つて面積が無駄のないやう切りつめられて居ます。一般にアパートメント・ハウスでは玄關がせまくるしく如何にもきうくつらしく感ずるのですが、此案は特に其點を考慮されたらしく、玄關から開放的なロジアに續いてまことにのんびりとして居るやうです。シュラーフカビンの考案も小供用單獨のものとしては面白い經濟的のもの、様に感ぜられます。床面積を少なくする爲に兎角此種の建築では居室が狹きに失する欠點が多いのですが、此案はさう云つた點をも充分考へられたやうに觀られます。同氏の意見として『つとめて建築を安價にする目的で無暗と床面積を切り

つめるのは面白くない。建築を安くするといふ事はむしろ其土地と資金の合理的活用と建築方法の工業化にあるのではないか』と云つた様な事が述べられて居ります。

◇



第十七圖　ルードウイヒ・ヒルベルザイマー案理想的住宅ブロック景觀



第十八圖　ルードウイヒ・ヒルベルザイマー案理想的住宅街路東西景觀

第十六圖はヒルベルザイマー氏の住宅街の案で十二萬五千人を住ませ得るといふことです。第十五圖に示したプランを組合せた五階建のものを毎ブロックに二列にならべ、其兩端を二階建の商店でつなぐ趣向です、圖の(イ)は住宅道路(ロ)は商店街路(ハ)は小路(ニ)は鐵道(ホ)は停車場(ヘ)は商店建築(ト)は學校(チ)は病院とあります。敷地の大さ大約六十萬坪に對し人口十二萬五千人を割りあてると、一人當り五坪弱となります。吾が邦の郊外住宅地では餘程建て込んで見えるところでも、一人當り土地二十坪內外、ヒ氏の計畫のざつと四倍はつかつてる事になります。かうした高層住宅街の設置がいかに土地の利用策になるかはこれに觀てもよく知られます。鐵道は街區の中央を通つて南北に通じ、中間に二ケ所の停車場を置き、乘換へなしに最短時間で主都に連絡する事を理想として居ます。東西は凡て商店街でこゝには二階建の商店長屋をならべ、處々に特別の區畫を置いて特種の商店建築其他に當てゝ居ます。東西各商店街の端には八ケ所の學校と二ケ所の病院を置いて居るのも面白い。要するに是れはヒ氏の理想的住宅街を示したに過ぎませんが、吾が大阪市の如きにも是非かうした高層住宅街の組織的な實施が見たいものです。六十萬坪などといふまとまつた土地を一まとめに得る事は現在到底望めませんが市の四周にせめて十萬坪內外のところを十數ケ所求めて、かうした計畫を實現し、中以下の市民に健全な住宅を提供する事が出來たら何れだけ大阪が良くなるか、想像するだけでも愉快な事のやうに思はれます。

◇

第十七圖と第十八圖は右ヒ氏住宅街の景觀です。第十七圖は一ブロックを示したもので、南北に連らなる五階建のアパートと、東西に連らなる二階建の商店を示し、第十八圖は東西の商店街、正面に觀えるのは學校或は病院、左手に高く聳えるのは特種の商店建築でせう。(未完)

飛行機より見たる建築と社會 (五)

5 政經界の巻
6 新聞界の巻

下浦光衛

十 經濟社會の俯瞰

金融業者と云へば社會的に花形役者である。機上から見た街角の洋式建築は大小の都會を問はず、銀行の建築ならざるなしと云ふ盛況である。只遺憾に思ふ事は、鐵扉を閉して休業と云ふ貼札の多い事である。然も向ふ一週間位いなら兎も角甚だしいのになると永久に開店しないのもある。重役共の放慢な經營の結果、百圓未滿は全額支拂、百圓以上は幾割支拂ふべしてな事を、頗る平氣で公表して居るさ云ふ極めて不可思議な場面を現實にして居る。勿論不拂の預金者の中には、不自由を感じない者もあらうが、之が爲め殆んど一家離散せねばならぬ者も數ある事であらう。命から一番目の金であるから無理もない事である。景氣のよい時には思ふ存分配當をして遣り繰りか出來なくなるさ、整理に名を借りて拂はない重役共は家族の名義に私財を貯へて涼しい顏をして責任などは解せざる者の如くである。第一大藏省あたりの銀行監督局などは何を監督して居るのか、帖簿の上を形式的に一覽して、出張だ歡迎だと云つて國費を徒費して居る。之では監督の必要更になしである。宜しく會社銀行の重役は、無限責任として然るべきである。安い利息で預つて儲けさして貰つて居ながら休業して支拂はぬ。借家人が家賃を支拂はずに居て、却つて立退き料を要求するのも必ずしも無理とは云へなくなる。上の行ふ所下之に倣ふと申しますが思想の惡化は資本家と稱せられる者の責任觀の廢退より生ずるものである。之等銀行家は、打續く不景氣で大分苦しいさ見えて、近頃

金解禁を盛んに唱導して居る樣である。面白い事には異口同音に解禁に依つて爲替の相場が上り財界が安定するかの如く考へて居る。千兩の形に編傘一つの例へ、或は一時的に活況を呈するやも知れないが、頗る影のうすいものである。日本人と云ふ家族が揃ひも揃ふて、丁度銀行家の樣に無暗さ洋館を建て機械を買ふ。洋食だと云つて、トンカツとかビステキと云つて馬や牛を無暗さ食ふ。遊ぶ踊るのどの詰りが首も廻らぬ、幾十億と云ふ借金を、英國屋さか米國屋から、肴負込んだ今日では如何に擔保物件を提供しても、此上金を借して呉れない程信用がない。內に實力充實すれば期せずして、好況を來たすや、明白な事である。金解禁の如きは末の問題である、何ぞ解禁の可否を論ずるの要あらんやだ。むしろ解禁に依つて混亂こそすれ、決して好況を招來するが如き事は萬に一つもないさ云つても過ちはない。然るに之を以て景氣挽回策と云々するが如きは、實に國民を愚にするものである。一事が萬事此筆法であるから、營業上に蹉跌を來たすのも但し當然の事である。時勢の推移とは云へ馬車曳が積荷が重いさ云つて罰金を徵收せられるかと思ふと他人の頂金をスックリ臺無しにしても有限責任と云つて、何等罰せらる事なく、我關せずエンで濟むさ云ふ。薄志弱行の徒が社會主義に傾くのも斯かる不合理なる事相をうらむより出ずるのではなからうか。

經濟學者は自身で勝手な經濟組織を案出して置きながら其結果が豫期に反するからさ云つて、社會科學さか云ふ者の研究に熱中する。然かも學問の獨立さか自由に名を借りて、マルクスや平等もあつたものでない。研究する必要も價値もないものを、やつて見やうと云ふ所に抑々も禍ちが生ずるのである。學者が考へる如くんば早くに大金持ちになるべきだが皮肉な事には、前垂れ掛けで働いて居る者が何時も機を見るに敏である

のが面白い。何か知ら學者は理窟を研究發表せねばならぬ者と焦心する。京大の或博士の談として、日本はなる程瑞穗の國と云つて米はよくとれるが、大體國民生活に不適當である云々と、尤もらしく口述すると、印字機の如き記者が仰々しく天下の大新聞の半頁に亘つて書き立てる、何と云ふばかげた事であらう。何れビタミンかカルチユーム位いの事を考へての事であらうか、事實が承知せぬを如何にせんやである。如何に米が日本人に不向であつても、三千年來米を以て常食とし然も今日人口の增加率に於て他國に其比を見ないと云ふ、其事實すら見えない程あつぱれの理窟家が多いのである。事實に即しない學問は何時が來ても現實化さない、殊に經濟學者になると理窟通りに金儲けが出來ない、却つて理窟抜きの人が經濟的に成功する。そこで現在の

社會制度　が悪いからだと云つて社會主義だ共産だ自由だ平等だと云つた風に、貧乏人に耳寄りな宣傳をする。所が皮肉な事には、貧乏人が共鳴せずに金持の子が共鳴する。日本人の實際生活に不必要且つ有害な研究は、閑人がする仕事らしい。小人閑居して不善をなすと云ふ諺の通り、裕福生活者の子弟は此點に留意すべきであるまいか。勞働運動屋と同じ樣に飜譯學者は妙に悪い解釋で以て宣傳をする傾きのあるのは悲しむべき現象である。曰く自由、平等、デモクラシー共産主義等々に關して學者の中には、何等の束縛をも受けず、物質的にも平等な分前を受け無智なるも老幼をも問はず平等なる個人が、何等の統制なく雜然たる群衆生活を意味するものゝ如く、宣傳する事である。殊に甚だしきは、研究に名を籍り最高學府の教授たる者が、財産の所有を否定せんとする、共産主義の是非を云々してゐる、之等は斷じて見過すべきでない。

本家本元　の學者は却つて傾聽に値する說を有して居る。即ち自由とは、人間個人が生れながらに具有する能力を充分に發揮せしむる樣道を開き、各人が夫々人格の發達を圖り、民衆幸福の增進に向つて、自由に職を選び、平等とは各人の能力を極度に發揮するための手段として、人間各自の能力に相當した職を持ち働きに應じ財産を所有し、地位を獲得する事であるとしてゐる。之が一番大切な事で此自由平等を根本とした政治が即ちデモクラシーである。即ち之が大日本帝國三千年來の立國の精神である事に御氣を付けて貰ひ度ひ。近來富豪と稱する者の中には自分一人の欲望を滿足するために財産を所有するかの如き振舞を敢てする徒輩のある事は大いに反省すべき事である。然らざれば働かずして人間並の要求をする者が數を增す傾向を生じ、共産主義者は勿論、之が研究を志す徒輩は態のよい盜人の團體となるのである。要するに近來民衆運動にたずさわる文士學者の多くは餘りに理窟に片より、矛盾と撞着ならざるはない。殊に看過すべからざるは、眞に國民の福祉を熱望すると云ふよりも、自己の名を賣る爲めに民衆を利用せんとする事である。其云ふ事たる、一として穩健なるものがない。曰く勞農々民黨、無產階級、ブルジョア、デモクラシー、軍閥、帝國主義、更に甚だしきは電鐵業者までが新調車輛を名けてローマンスカーと云ふ、營業政策本位に極めて不用意の內に命名した事ではあるが、斯かる言葉がやがて、國民思想を惰弱ならしむるものである。何を好んで勞農ロシヤにまぎらはしき、勞農とか無產と云ふ名を必要とするか、要するに質朴な農民や貧困な階級を煽動して、一方の旗頭たらんとする卑劣行爲に外ならないのである。第一無產無產と云ふ聲が自覺ある國民の耳を通じて不快ならしむる事夥だしい。如何なる人間にも無產と云ふ事は決してない、大小幾何かの所有をしない者はない。物質的所有の少ないのは貧者とは云へるが然し物質上の貧者必ずしも精神的の貧困者にあらずである。

一人の英雄　出でて善く民衆を支配統一する如く又一人の誤まれる思想家出でてよく民衆を害ふものである。其一例は香川縣に於てよく證明せられて居る。小作爭議相次いで起る、其結果疲弊困窮するだけが落である。國民の幸福は輕薄なる學問や思想や運動では增進せられるはづのものでない。口に質實剛健を叫んでも、斷々呼として行はねば業績は上らない。今日の急務は國民擧つて己れを知り分

にあまんずる事である。自然界に於ける動物の生活狀態を見ても、猿の如く木から木に飛び得る者もあれば、水陸兩棲もある、牛馬の如く家畜として飼はれるもある。然して之等が食物にしても、量に於て大小あり、能力に於て性質に於ても夫々異つてゐる。人間に於ても白黑黃其他樣々な人種が、夫々異なつた習慣風俗をもつて種族の繁榮に努力して居る所は動物と撰ぶ所はない。又同一民族の間に於ても、夫々能力に相違があり、體質、嗜好、趣味、性格、一つとして違はぬ者はない。甲に易しとする事も乙には難い事もある、體力ある甲が一日になし得ない仕事をも病弱な乙が知力を以て一日に易々として爲し得る事もある。明日の事も考へざる愚者もあれば遠き將來を慮かる賢者も有る、從つて各人能力に相應じて相異りたる地位を得、財產を所有する事は極めて自然であり當然の事である。

巨萬の富 を浪費せる貧乏人もあれば、徒手空拳にてよく幾百萬の富を作れる富者もある。よく働き儲けよく散ずる文なしもあればよく働きよく貯へる物持ちもある富豪必ずしも惡德家にあらず貧乏人必ずしも勤勉家ではない。裕福な家庭に人となつても必ずしも賢明な頭の持主でない、貧困に生れても必ずしも愚者に限らない、職工の倅でも一國の宰相たり得る道は開けて居る、華族に生れても禮遇を停止される事もある。社會は條理整然としてゐる。働けど稼げど金鎚の川流れと云ふ不運なくじを抽く者も數知れない程にあるが然し之も前世の因緣である、此所が人間と動物の別るゝ所であるまいか。自己の能力と、求めて得られない物質とを早く確めて、身分相應な所に安住する事が大切である。曰んや少なく働き、多くを求めんとする凡庸が、富の分配だ平等だと呼ばはるとは言語同斷である。同時に智あり努力ある世の成功者は、衆生愚と云ふ事を念頭に明記して、精神的にも、物質的にも決して私してはならぬ。名譽と云ひ財產と云ふも、社會を善導するの道具に使用するの權利である事を自覺する必要がある。法外なる邸宅を建て妾を貯へ幾萬の貴金屬を身にまとふを以て快々とするが如きは神人の共に許さぬ所である。

十一 政治家と新聞屋

密雲に閉されて居た偵察機の銀翼に旭光が輝き初める頃、雲間に白雪を頂いて聳ゆるのは富嶽であらう。富士に旭日は正に日東帝國の精神の表象とも云ひ得る程に崇高な光景である。富士に朝日を想合すると、機は間もなく帝都の上空に着いた。遙かに皇居を拜し思はず聖壽の萬歲をさけぶ。噫皇居やがては此皇居が世界思想統一の中心點になる事を思ふ時、更に吾人の精進努力の必要を痛感するのである。營々として復興に努力する帝都の有樣は涙ぐましい程である。未曾有の震災は國民の試練として神が與へた一大鐵槌であつたか。今宮城の西に位して大建築が正に竣成せんとして居るのは、有名な日比屋座であらう、每年末から春に掛けて政治劇が演ぜられる事は世間周知の悲痛事である。殊に近來此政治劇には、民衆政治とか、普選とか、民本主義とかさも新發見でもしたかの樣に、聲聲を張り上げて、國民の信望我に有りと獨合點をして居る粗忽議員が多いのに驚く。更に悲しき事は之等の政治劇全體を輿論なりと稱して筆先を以て活殺自在の權能を持つ新聞業の不思議な勢力である。從つて政治の爲めの新聞か、新聞の爲めの政治か、やゝもすると、了解に苦しむのである。故に政治を考へる時は必ず新聞を連想せしめる。爲政者も新聞の輿論には時に施政の方針をすら改變すると云ふ現狀である。そこで政治を論ずる前に新聞を考察する必要がある、元來

新聞の使命 は社會の報導機關であり、同時に指導機關である。然るに多くの新聞の中には、新聞本來の任務を忘れ、良風美俗を亂すが如き、社會の出來事を殊更に針小棒大に、記述して恥じざる者あり、偶々非難攻擊せらるゝあらば新聞は社會の鏡なるが故に、社會が惡ければ、惡く寫り、善ければ善く寫る、善惡の判斷は、民衆の自由にあると、遁辭を弄して平然たるは實に苦々しき極みである。然ちば何れの場合に於ても、無邪氣無條件に記事するかと云ふに、決して然らずである。殊に政治に關する記事の如きは、記者一個の

考へを以て輿論なるかの如く一黨一派に偏したる攻撃を敢てする。鏡であるからと云つても、思想を悪化し、病的たらしむる事は、差し控へねばならぬ。例へば戀愛關係、私通、犯罪手段方法等の如きは、詳細に報導する事は奬勵も同樣で害あつて益なきものである。孝子節婦とか其外善い事は之を大いに報導する必要があるが夫れでは新聞が賣れない。儲からないからと云ふので、矢張俗受けのする記事を暗に奬勵する、夫れでは指導機關もへちまもあつたものでない、兎に角近來

新聞記者の素質が一般に低下したのではないかと思はせる節がある。記者自ら尊としとする信念がない、有るのは只うぬぼれだけである。眞に思慮あり信念ある者は、しかく輕々に筆は取れない筈である。學校にストライキがあれば二段抜きで、さも學生に理があるが如く必ず書くものである。何々博士と女流文士が愛の巢を作つたと云つては、天下の大新聞ともあらうものが、五段抜きの大見出しで騒ぐ、愛が冷却したと云つて別れた女が理解ある人になら大いに改めて愛を捧げ度いと云つたと云つては又騒ぐ、甚だしいのは他人の別莊に入り込んで他人の妻と心中した文士を捕へて戀の勝利者だとか熱情的であつたとか云つて戀愛至上主義を謳歌するが如き筆法を敢てし、學生の同盟休校の如き際には殆んど大部分の新聞が筆を揃へてさもさも學生側に理がある如く、同情的、煽動的、記事を出す傾向が特に濃厚になつて來た樣である。同盟騒ぎを惹起せしめると云ふ事は、既に學校側に不德な點があるからには相異ないが、如何なる場合に於ても新聞が輕率に是非する事は面白くない事である。さもなくても近來學生は眞理を學ぶと云ふよりも講義振りとか學生に同情があるとか云ふ事のみを以て教師を是非する傾向であるが故に同盟休校の如きに際しても斷呼として其非なるを指適すべきである。或は一私事に關する家庭上の事件に於ても、相手の出方が氣に合はぬとか、常日頃餘り思ふ樣に金を出さないからと、單なる記者の感情から何等社會に知らしめる必要なき、否いたずらに名譽を傷けるより外に能なき事までも書き立てること云ふ有樣である。要之に新聞記者の人格が低下したのと、今一つは無責任極まる記事でも速ければよいと云ふ、競走心理と、何か知ら奇を好む現代人の虚を利用して販路を廣めんとする手段を撰ばざる政策が斯くも新聞をして權威なからしめたのであるまいか。勿論新聞も商賣である以上

儲けんと努力する事は當然の事に屬す。新聞をしかく權威のあるものなりと、期待する方が悪いのである。如何なる不確實なる廣告と云へども、如何に風俗を亂すが如き俗悪なる廣告たりとも、廣告料さへ入ればよいと云ふ樣な、現狀では、低級なる記事を以て滿たされるも止むを得ぬ事であらう。此點外國に於ける廣告は、市價より三割安と題する場合確實に調査した上にあらざれば揭載せぬと云ふ有樣である。特に苦々しく思ふ事は、人の名譽を傷けるが如き誤れる記事の取消に對して、極めて不親切にして、**欄外の如き眞に見**へない位ひに、御申分け的に記事する事である、調査輕率にして誤れる場合は、宜しく其記事と同樣の見出しを以てなすべきである。尤も背德の徒に對しては、堂々の陣を張り、大いに勇ましく、取りひしぐ事は結構な事である。要するに、新聞の使命は社會百般の出來事を善因善果、悪因悪果の法則に理解付ける樣せねばならぬ。然るに當今の如く數限りない出來事を書きつばなしでは餘りに無責任である。更に不都合な事は、事毎に煽動的態度を示す事である。例へば知名の士の息が

電車に轢殺された場合、其電鐵の社長が自ら弔意を表すべく、馳せ付けたるに名もなき人の子供の轢死の場合、一代人を差向けたりと稱して之を非難攻撃して曰く、人の子の生命は貧富によつて輕重あるなし、名士の場合自ら出で無名士の時に代人を差向けるが如きは餘りに、金權に媚びるや甚だし彼社長の如きは貧乏人の命など眼中になき物の如し、などと見得を切る。斯かる記事を見ると、何となく或る一部の者には、なる程彼等はけしからんと云ふ樣な、反抗心を增長せしめる事甚だしいのである。勿論人命の尊きは、貧富に依りて異なるはずはない。一應尤もの樣ではあるが、然し

親疎自ら別あり又其人の社會的地位に對して敬意を表するわけである　即ち斯くあるのが當然の事である。新聞自身ですら、高位高官乃至名士名人の死去の場合は、其人の履歷性格等を掲げて、弔意を表するも、一般市井の人の死に就ては、一々記載するの閑なきと何等變る所はない。要するに、個人を非難せんが爲めに、思想的に惡影響を一般に及ぼすが如き事は大いにつゝしまねばならぬ。今一つ觀過する事の出來ない事は、近來各新聞が新聞を賣らんが爲めに歐化亂醉の

運動熱を惡用　する運動競技である。元來運動は身體を適度に動かして肉體をすこやかにするのが目的である。然るに、歐化萬能の結果、學校當局者が西洋の運動を輸入し、同時に競技と云ふ事を奬勵し始め、現今に於ては、運動と云ふ事よりも、競技をする爲めにテームを作り、全國的競技に於て、強テームの名譽を得んがために、本來の修學をそつち除けにして、運動に浮き身をやつすと云ふ有樣になつて來た。此の傾向に油を掛け、體育奬勵を看板にして、各新聞社が各郊外電鐵會社と共謀して樣々なる名に於て、御手の物の新聞を利用して宣傳し益々國民に競技熱を狂的に鼓吹しつゝある事である。如何に時代相とは云ふ者の九人か十人の人間の運動を五萬も六萬もの人間がスタンドで我を忘れて、夢中になつて、然かも一週間も連續的に、ラジオを通じて肩入れをする者、到る所無數の揭示板に、仕事を忘れて集る者、事務所で仕事も手に付かずにゲームの豫想に熱中する、大供、小供、等々但し一競技中を通算すれば幾百萬人と云ふ人間が遊ぶ事になる。然かも之等の惰民の多くは男女學生、腰辨、小僧と云つた種類に屬するのである。

國家的の損失　は但し莫大なものである。米國の如き經濟的に惠まれた國とは、日本は違ふ。經濟的國難に遭遇して居る今日、大いに考へて貰ひ度い。或は云ふであらう、體育の奬勵だからと、體育の奬勵は數名の競技を夢中になつて見る事に依つて、得られるであらうか、ユニフォームを着てバットを振り廻したからとて、國民精神は少しも向上するものでない。質實剛健とは少々違いはせぬか、只此間に處して金儲けをするのは、電鐵會社と新聞だけである。

自分さへ儲かれば、國は亡びてもよいか、到る所我れも我れもで莫大な費用を投じて、大スタンドを建設し、益々國民を過らんとする。事小なりと雖も時に重大なる結果を招來するものである、曰んや現今新聞がこぞつて、國民を過るが如き競技を、むしろ亂暴に鼓吹する事は、事重大にして、重大なる結果を國民生活の上に及ぼすものである。個人の名譽に關するが如き記事を輕率に發表し、事實無根なる旨記事取消を要求するとも、申譯的に、欄外に一寸入れると云ふ、要するに醜惡なる事件、又は輕薄なる記事を享樂する、人間の弱點を利用して、漁夫の利を占めんとする新聞も世間には多い樣であるが、結局國民が新聞記事を嚴肅に批判する批判力が足りないからである。又斯かるいか者を徹底的に批判すべき機關がない爲め、まるで昔の暴君の如き振舞を敢てする樣になるのである。此恐ろしい筆力を稱して言論機關とか申しまして、最も之を懼れ且つ之を利用するのが

政治家である　當今の政治家は昔の政治家と異り眞劍味がない、主義の爲めには一命をも投げ打つ態の意氣は藥に仕度くもない。只反對せんが爲めに無責任に民衆に媚びる政策を盛澤山に揭げて、我獨尊しと威張つて居るのは、哀れと云ふよりも愚かと云ふべしである特に近來目新らしい事は、結合、分解作用が極めて簡單に、然かも速かに行はれて居る事である。尙ほ又作用を起す度毎に聲明とか辯明と云ふて必ず、是々非々主義を云ふ程、是非、非是を實行して居る、從つて、何事に限らず反對黨の揭げる政策は善惡共に之を非なりとなす。夫れが爲め自黨の政策を揭げる場合何か知ら異つた物を無理にでも捻へねばならぬ。又他黨で何か新政策を發表すると、直ちに之に對抗すべく、考慮を拂ふて無理と知りつゝ何か發表する。然して、自黨が其局に當るとなると、實現が不可能となり、遂に自繩自縛に陷るのが常である。其代表的なものは

普通選擧法　である。普選の約手の發行は民衆に眉びんが爲めにし

たのが、成行上止むを得ず、出來上つたのである。此普選ほど矛盾の甚だしい者は又とない位いである。或一部の選擧狂を除けば決して國民の聲でも何でもないのを、無理に選擧權を押し付けた事になる。何故ならば、與へられたる投票の權利を行使せよと云つて盛んに宣傳をしても、僅かに半數位しか出ないのに見ても明かである。今日の生活にさへ追はれて居る者には投票に費ひやす時間が大切なのである。又實際貧乏人には誰れが代議士に當選しても生活共者には何の得る所がない、國民經濟の上から云つても、一々候補者の名を假名文字でビラを散布しないと投票する時に間違へられて無効になつたら困ると云ふ様な無智な、車夫や下直駄しから皷鰊にまで、或は一家内に於て親子に一々個人の意志を即ち權利を行使さす事は誠に愚な事である。眞に夫れ程普選がよいのならば、徹底的に無制限に婦女子も未成年も、投票をなさんとするものは何人たるを問はないまでにせねば不徹底である。三十才にして尚且つ低能者もあり未成年者にして、世帶主より賢明なものは、いくらもある。小學卒業者にして、中學卒業者よりも、より多く政治を解せる者も多くある。

制限選擧 の悪弊を叫んで普選を推奨せる政治家は何故に、世帶主とか、婦人とか云ふ具合に制限を設けしや、之等政治家が眞に普選を以て政治の理想化を願ふならば何故中央日比谷座に於ても、議員各個の意志を尊重せざるや、彼等が議會に臨むや、黨議なりと稱して、數名の幹部會に於て決定せる事項を、無理強ひに贊成せしめて居る。即ち贊成議員の稱ある所以である。反對黨の揭ぐる政策であつても、諸手を擧けて贊成すべき事件は必ず澤山あるべきはずである。普選に依つて中央に送られた議員が、昔ながらの絶對服從とは、之より矛盾も大なるはない。が然し代表的少數者の意見に服從するのが、當然の事である。政治は一人一人の意見を聞いて居ては統一が取れない。あらかじめ、研究した政策に小異を捨て贊成せしめて、初めて實行力が出來るのである。宜しく選擧も、相當な制限を設けて、選擧の繁雜を簡單化さねばならぬ。一家は戸主が代表となり、貧乏人等には、有閑の人に代表になつて貰ふのは極めて當然の事である。此點からして政治家諸君も普選は實施したものの徒ずらに、變な無産とか、勞農左傾派と云ふ代議士連に道を開いてやつた、だけならよいが、之が如實に妙な活動を始め出したのを見て、反對をせんが爲めの政策は、國民を更に不幸に導くものである事を自覺せられた事と思ふのである。要するに普選は尚早であつたと、政治家自身が今更ながら歎聲を漏らして居るのは事實である。貧乏人が仕入れ辯士の出多羅目演説を夜の十一時すぎまで聞いて見た所で、簡單に是非を判斷出來るはずもない。專門の代議士すら何れが是非に迷ひ抜いて、脫黨、變節、中立等で去就に苦しんで居る位でないか。夫れよりも稼ぐに追付く貧乏なし、車屋も直し屋も鳶取屋も、一生懸命に働くに限る。餘り勝手に輿論輿論は、云はないで置いて貰い度いものである。賴まれもせないに親切がしに、民衆に眉ひる例は幾多もある。其第一は

悪税呼ばわり である。曰く、自轉車税、曰く營業税、曰く所得税等々である。殊に相等な實業家であり政治家たる者が悪税悪税と云ふ事は、如何にも悪政が布かれて居るかの如く、國民を誤解せしめるものである。重税であると云ふなればまだしもであるが、悪税と云ふ聲だけで納税の義務を怠り易くなる。自轉車税を悪税なりと云ふ理由が極めて滑稽である、曰く今日に於しは自轉車は實用品なるが故なりと云ふ。使用して居る者には實用であつても、未だ自轉車すら購ひ得ざる人に取つては正に贅澤品である。自轉車から見れば自動車は贅澤品に見ゆれども、之を常用する者に取つては明かに實用品であらねばならぬ。自轉車に課税する事は、贅澤品なるが故ではなく、快速を以て走り得る權利を附與され同時に、夫れだけの重量を以て路面を損する爲めの代償であるは明白な事である。從つて自動車にしろ、荷馬車にしろ、與へられたる權利の多少に應じ相當の税金を負擔する事は、當然の事である、成る程自轉車の所有者は税金を納めなければ、都合がよい爲め大いに耳を傾け贊成を表する

であらうが、斯くの如き筆法を以てするならば、今日一つとして、課稅すべき者はない。徵稅をしなければ、共同の事業は何一つ實行は難いのである。諺にも大きな傘には雨多しとか、國民其所有する物使用する物に應じて相當の稅金は喜び進んで負擔すべきである。一人の代議士樣が得意然として、不謹愼な言を用ひるとか、府縣會の議員候補までが蓄音機の樣に一本調子で聽衆に過つた考へ方を注入する。國民が納稅の義務を怠る事は、國家に取つて重大な事柄である。其二には

義務教育問題 である。一方が地租移讓を振り翳せば、反對派は義務教育費の國庫全額負擔を新政策なりと宣傳之勉む。何れも國民の負擔を輕減せんとする目的は一つである。斯くの如き輕減競走を以てすれば、將來國民は稅金の負擔なしに生活の出來る時期が來るかも知れないが眉唾ものでなくて何であらう。之等の政策は何れにしても、大して可もなし不可もなしであるが、只其宣傳方法が、頗る脫線して居るのに驚くのである。曰く、義務教育なるものは、國家が普通教育を必要なりと認めて國民に強ゆる以上當然之が教育の費用を國庫から負擔せしむべきものである。何ぞ國民義務教育費を、負擔すべき理由あるや、即ち我黨が義務教育費全額負擔を主張する大なる理由であると、成る程說明を聞くとか貧乏人共には、確かに耳寄りの話であるから、直ちに贊成も仕度くなるが、然し靜かに考へて貰ひ度い。性に目覺めたか否かは知らないが、何れにしても夫婦が間に出來た子供である以上、夫れが序に生れたにせよ、子孫の繁榮を願つて產んだにせよ、親として、文明開化の今日、せめて、何はなくとも、東西のわかる樣、明盲では困る、親として是非共小學教育だけは敎へる義務がある。即ち之が親の義務教育であるまいか如何に理性的判斷を失なつたにせよ、縣會議員候補とか代議士などが無責任極まる愚論で以て、民衆をして依賴心を高め、義務觀念を忘却せしめつつある事は誠に悲しむべき傾向である。其三には

外交問題 である。即ち現代の政治家とか云ひますか、政黨と申しますかは、日本の不利なるに事を知つてゐても、反對せんが爲めには、隣邦と相謀る樣な宣傳を敢てする、自分が其局に當つた場合に出來ない樣な事件でも、頗る易々たる如く云ふ者がある。例へば青島出兵問題の如きも、幸ひ事なきを見て、多額の國費を投じ却つて隣邦の反感を買ふが如きは愚も又甚だしとか云ふが、若し夫れ出兵以前に不祥事でもあらふ者なら口を揃へて、柔弱外交を惡しざまに云ふ事であらう。一面から考察すれば出兵の爲めに、或は不祥事件を未前に防止し得たとも解せられるのである。兄弟垣にせめぐとか雖も外敵に對しては、宜しく協力一致最善の努力を要するものである。輕卒に是非を云々する事は大いに謹しまねばならぬ事である。其四は政治家の云ふ

輿論である 支那は古來針小棒大實に形容の上手な國であるが、近來日本の政治家も、支那式が上手に出來る樣になつた。追々日比谷座も季節に入つて、面白い光景を演ずる事であらう。殊に輿論だ、民意だ、と盛んに獨判斷の手前味噌が始まる事と思はれる、日比谷公園邊りで、尻切れ袢天連中や閑人の五六千人も寄ると其面前で、二三の有志が作つた宣言書とか云ふのを勝手に讀んで、七千萬國民の民意我にあり、政府一日の存在は七千萬國民の損失なり、宜しく我黨をして一日も早く國政に當らしめよてな事を。手前味噌も聞いてあきれる輿論も之では恐れ入る外はない。其外平和論者の、軍縮にいたしましても、輕卒に論斷は出來ない問題である。自由貿易を我一人實行しても其結果は自由輸入國となる如く、世界の平和も、人間と物資の自由移動が出來ない限り、望まれない問題である。要するに積極も消極も、よくない總て中庸を得なければ眞の幸福は得られるものでない。願はくば政治家が今少し冷靜ならん事である。其五は、普選の結果

無產議員 がぽつぽつ出現した事である、之は金權議員は下級民の利害を無視するから、無產者の利益を代表するのであるとか云ふが然し、貧乏勞働者を無暗と輕蔑するのは、貧乏中間のものである如く、無產議員必ずしも下級民の代表者ではない。有產議員の是非は別問題として、今日まで兎に角國

民のために努力して呉れた事は爭はれない事實である、要するに、自分が議員になり度い一ぱいに、普選を好機來れりと云ふ具合に、利用したにすぎないのである。自ら働いて食はんとする者には、何等彼等から御蔭を蒙る事はない、衣食足りて禮節を知る。恒産なければ恒心なしとか云ふ諺の通り、必ずしもとは言へぬが百分率から申しますと、間違いはないのである。歳費の三千圓をあてにして居る様な代議士様では、眞に政治は出來るものではない、如何に世間を瞞着するにしても、禮服一着すらないと云ふ様な者は、議員の資格はゼロである、裏長屋の貧乏人でも少し氣のきいた者は、紋附の羽織位は持つて居る。今後禮服を所持しない様な代議士は、日本國民の名譽に關する一大恥辱であるから、議院に送らない事である。近來やゝもすると

職業政治家 なりと、攻撃をする様であるが之も大いに間違つた事である。空から見た現代社會の要求する政治家は、職業的專門の政治家であらねばならぬ。ぽつと出の先生や實業家では、何事も出來るものではない、眞の政治は恒産あり人格あるの士が私財を投じて研究を積み職業的に更に進んで道樂化するていの、人に依つて始めて精華を揚げ得られるのである。近來議員の不信用は、階級の如何ではなく、人格の缺乏に依るものである。苟も一國の總理大臣ともあらう者が判事から二度も取調べを受けねば、其證言が信用されない程、人格が失墜したのである。明治維新の大事業が斯くも立派に出來たのは、上に英聖文武の明治大帝の御在せしは申すまでもなき事ながら、一命を賭してもと云ふ信念で眞劍に、働いた政治家があつたがためである。近世式代議士は、あまりに口上手になりすぎた様である、換言すれば熟が消滅したのである。政治家だけではない國民擧つて古きを溫ね新しきを求めるべきであるまいか。



(以下次號へ續く)

國際聯盟新會館設計の決定

國際聯盟事務局東京支局報

國際聯盟では豫てより聯盟會館を新築する計畫の下に、建築設計の懸賞募集を行ひ、全世界より應募したる三七五の圖案につき安達大使を委員長とする建築委員會に於て審査の結果フランス建築家ネノー氏の案を基礎案として採用することに決し、ネノー氏をしてフレーゲンハイマー氏(スヰス人)、ブロツギー氏(イタリー人)、ルフエーブル氏(フランス人)、及びヴアゴー氏(ハンガリー人)の四名と共に共同新案を作らせることになつた、その後建築豫定地の變更、米國ロツクフエラー氏嗣子よりの聯盟圖書館建設費二百萬弗の寄附金等の事情により建築設計の決定は延び々々となつて居たが、去る六月十日マドリツドに於て開催せる第五十五回聯盟理事會で大體成案を得たので來る九月の聯盟總會の承認を經て實施されることになつた。

新建築はロツクフエラー氏の寄附を合して約千二百萬圓の豫算を以つてジユネーヴ湖畔のアリアナ公園に建てられ、聯盟總會議事堂理事會室、聯盟事務局、圖書館の四部より成る。事務局には政治、保健、委任統治、社會人道等十數個の部門の事務室及び五百人を容れる會議室、經濟、軍縮、學藝協會等各種の委員會室が設けられ、圖書館は百萬卷の藏書を容れる準備あり。之に讀書室、講演室、研究室等が附屬してゐる。

建物の中樞をなす總會議事堂は二千七百名の議席を有し、その外廊には六十ケ國の代表控室、聯盟事務局員控室を設け、第一ギヤラリーは六百名の新聞通信記者、第二ギヤラリーは約一千名の一般傍聽者を容れるに足る。なほ議事堂は區切つて小會議にも使用出來る様になつてゐる。演壇にはラウド・スピーカーを置き代表席には先年より國際勞働會議場で使用せるが如き通譯電話器を設備しある演說を同時に三四ケ國語に通譯する仕掛とし、あらゆる最新の設備を施す筈である。

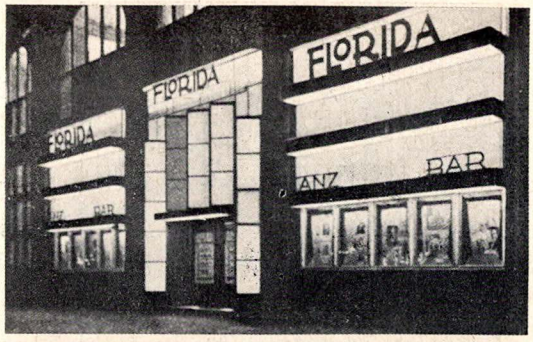
來る九月二日より開催の第十回聯盟總會に於ては、聯盟成立十週年記念に際し、新會館設定礎式が行はれる。完成までには約二年を要する見込みである。

1



1 興味ある寫眞機店店頭設計案

2



3



2 フロリダ酒場(伯林)
3 アルシエ美術品店(里昂)　設計者(佛)ジユールダン氏

切取線

標商錄登

LION BRAND

資本金　五百万円
年産　百五十万樽

ヨロギヨセメント
ヨロギヨ高級セメント
(特許七二八四五)

二日で普通セメント四週の強度

耐壓力
一二日　三〇〇〇
七日　四〇〇〇
二八日　六〇〇〇
瓲平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期
三日で八噸ローラーに堪えて
完全なりき

「早期高强度」時代の要求
脫枠迅速工事期間の短縮は
弊社高級セメントに
依りて得らる

終局强度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩市等に御使用の榮を得たり

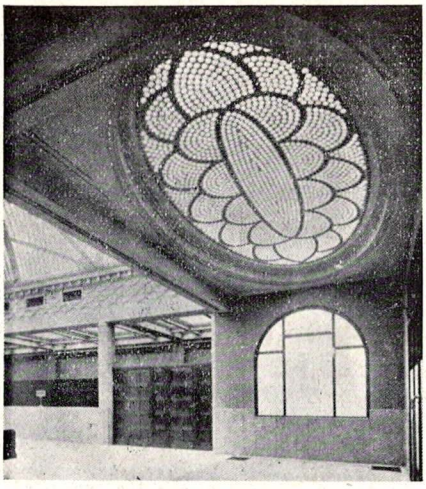
大阪窯業セメント株式會社

大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北自一一〇至一一三番

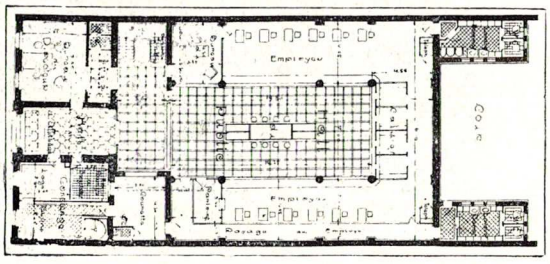
工場
大阪市港區南恩加島町
電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目

1

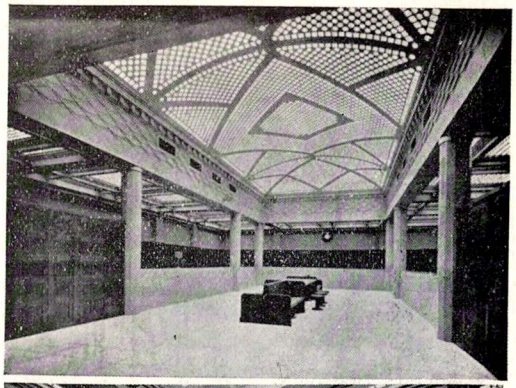


2



デエポン銀行アミアン支店(佛)
1 營業室入口圓天井　2 平面圖

3

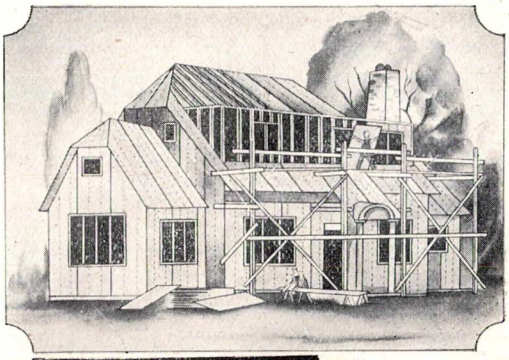


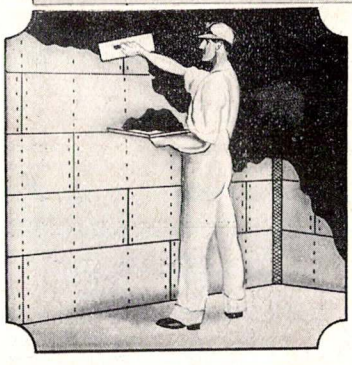
4



設計者　J.・アントアーヌ氏
3 營業室客溜　4 事務室内部

切取線





ファイバーコート
絶對防水
耐熱耐酸
石綿溶劑

本品は火に焼けず萬代不變質の石綿纖維を主要材料とし之に各種の防水原料を加へて製品と致しました最も進歩せる防水、耐熱、耐苛、電氣絶緣等の特質を具備せる糊狀溶劑であります。使用簡易加熱の必要なく素人にて施工し得且つ價格の低廉等眞に理想的製品たる事を確信を以て御推奨致します。過去四ケ年鐵道省、海軍工廠、砲兵工廠、汽車會社、其他の御採用を蒙り其効果を證明されました。本品塗布後、膨脹、龜裂、剝脫等の憂なく非常の高熱に耐へ得る事は其防水力の强大と兼備せる特徴であります。

ファイバーコート

大阪市西區京町堀上通一ノ一四
關西發賣元
關城化學工業株式會社
電話土佐堀五八二五番

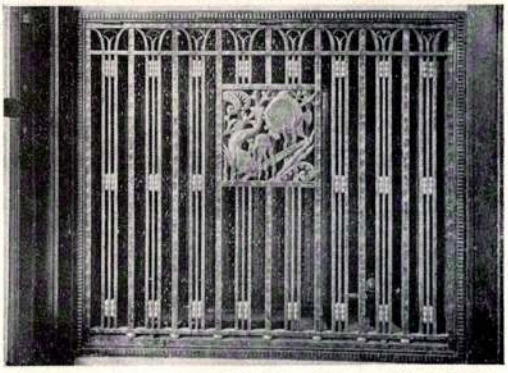
1



2



3



北米ブリツヂポート市シチー・ナシヨナル銀行及信託會社
1 正面入口詳細

設計者　デニソン・ハイアン兩氏
2 營業室　3 暖爐側の鐵格子

切取線

庭園
設計と施工

造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案内進呈



橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ヶ丘
電話特長天王寺（七）一三三四番

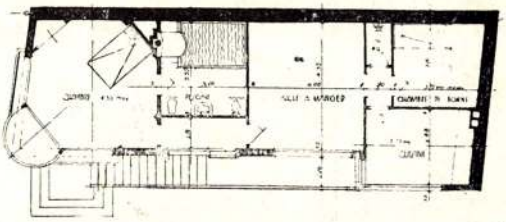
1



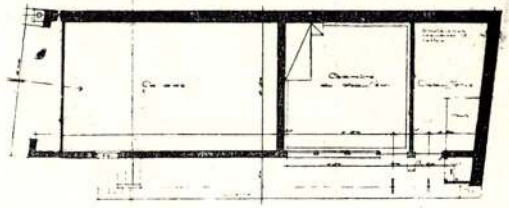
2



3



4



1 西北面
2 正面
3 一階平面圖
4 二階平面圖

アンドル谷に新築の別莊「レ・ボミエ」(佛)
設計者　P・アブラーム氏

切　取　線

セメフアルト

◎「**セメフアルト**」工場の完成

「**セメフアルト**」は一セメント」製品又は「セメント」「アスペスト」混合製品並に燒成「ブロック」に絶對の防水耐酸工程を施したるものにして破壞、剝落、風化を防ぎたるものなり

◎青色淡黃色褐色「**セメフアルト**」の發見

從來の「**セメフアルト**」製品は黑色の一色なりしが今回研究の結果之を淡黃褐色となすことを得たり今後は如何なる防水耐酸色料も之を製造し得ることを豫告す

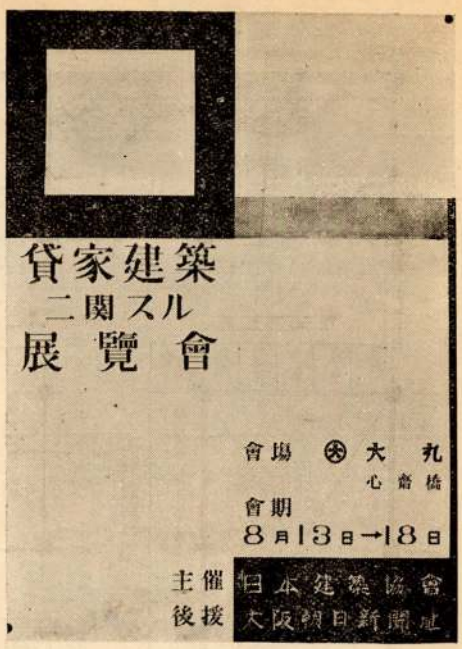
營業品目

『**セメフアルト**』瓦
『**セメフアルト**』ブロック
『**セメフアルト**』スレート
『**セメフアルト**』タイル

工材社

大阪市西區京町堀一丁目四十番地
電話土佐堀五八〇九番

長尾薰
阪口芳三郎



貸家展見たまゝ記

本間乙彦

昨年から日本建築協會の年中行事として、年一回必ず開催する事になつた展覽會、今年の範圍が『貸家建築に關する』と決められたことは、時宜に適した、面白い狙ひ所だと思ふ。

考へても御覽んなさい。都會の住民で、自分自身の家に住み、店舗をかまへてゐるものが幾%あるかを、一〇%にも及びますまい。

そしたら……そしたら、餘りの九〇%は、他人樣から住居を店を借りてゐる所謂借家人階級であります。この九〇%の大衆と、その家で利益を擧げてゐる或は往く往くは貸家でも建てる望みをもつた一〇%、その何れにも無關心には過ごせない、貸家建築といふ名題を撰んだ人は實に賢明である。

『貸す人にも、借りる人にも爲めになる』展覽會である。

事務所につめた人の話によると『あの貸家は幾何で建つか』『建築を引き受けて呉れぬか』とか實際にふれた問題を持ち出されて、即答に困つたそうである。又、展覽會を機會に作つた貸家と小住宅の懸賞圖案集が、千數百部賣れたことにも觀衆の眞面目な態度がうかゞわれるではないか。

會場大丸の都合で、會期が八月十三日から十九日といふ、暑い眞つ盛り、分けて、死の苦熱九十六七度にも水銀が暴騰を示した今年の暑さにもめけず準備された、展覽會委員の努力は實に感激に値するものである。

あと幾日で水源池が枯渇するといふ暑さに、觀衆の足が向くかしらと案ぜられたが、後で、大丸の統計に表はれた數字一週間の入店客卅萬人その半分の十五萬が展覽會を見たとしても、大した成功である。此點でも名題の撰擇の巧みさを讃美せねばなるまい。

大丸五階の會場にエレヴエーターを乘り捨てる。

何んと、落ち付いた感じであらう。殊更に誇張された裝飾も、廣告も見られない。中央に呼び物の當選貸家模型をすへ、一例に線につゝまれた實大の家屋(實は浴室と化粧室)があり、廣々とした通路に、點在する中の島式の陳列棚、全體のバックグランドをなすダークグレーの色調が一層、落ち付きと涼味を感じさせる。

模型になつた貸家當選案

この展覽會のセンターである貸家建築模型から見たまゝ記を進める。

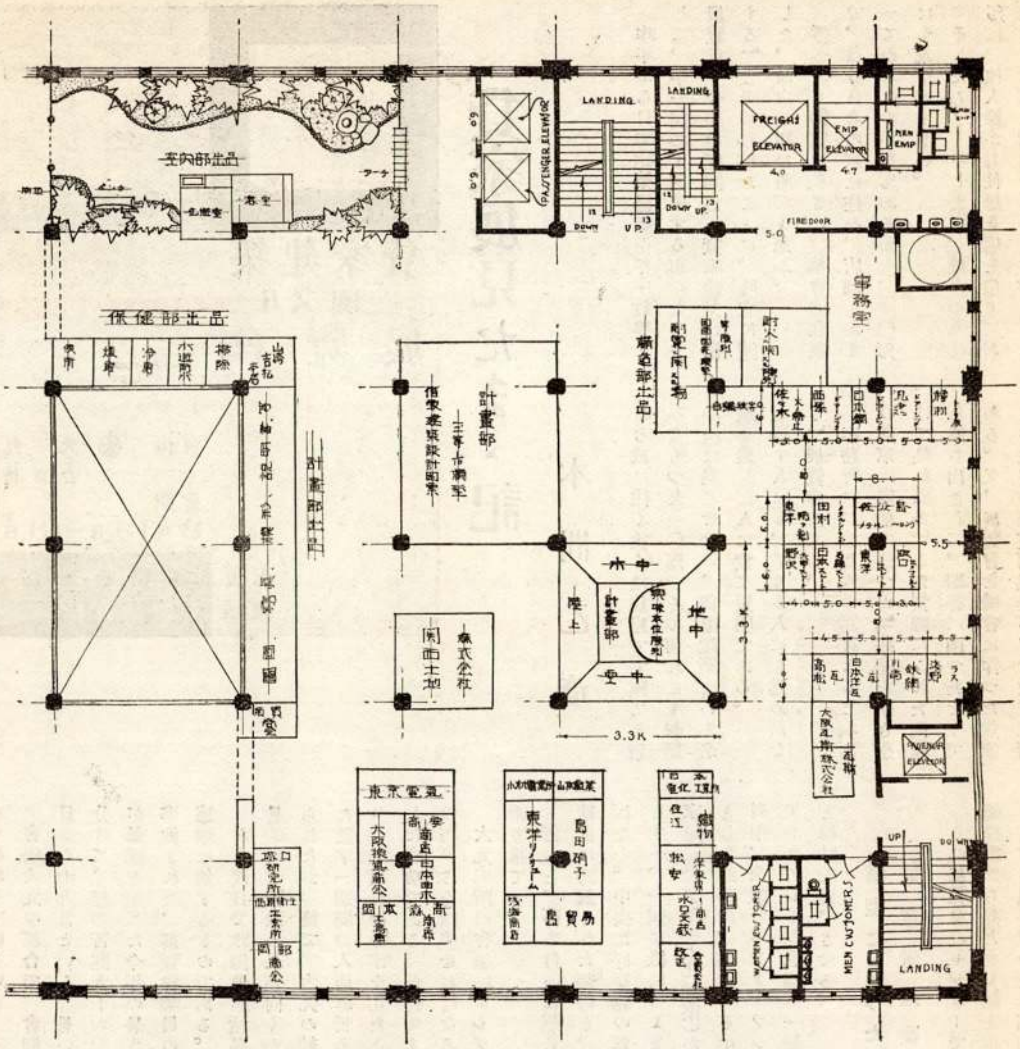
協會が現社會の最も痛切に要求してゐる程度の貸家住宅、家賃卅圓内外を條件として廣く全國の建築家に募集した六十幾通の内から撰ばれた一二等案である。それを府立西野田職工學校と同今宮職工學校に依囑して夏季休暇中にも不拘實習教員及生徒諸氏が美しき獻身の努力になつた實物十分之一大の模型の美事さ、瓦や杉皮張、板張、左官仕事に至るまで實物を見る通りの入念さ、清々しく立木に圍まれて、内部に電灯まで點じた可愛らしい二戸建の貸長屋は夏の國に相應しく風通しよく涼しそうなのが何より結構である。そして前面の對照して觀易い位置に十分之一の平面が展げられてゐる。

その平面圖をノートする熱心な觀衆の多い事にはこの企ての無意義でなかつたこと、否むしろ多大のセンセーションの起こし得たことに感激せしめられる。

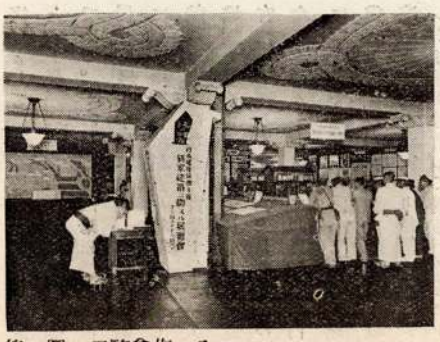
若夫婦らしいのが睦しげにさゝやきながら見惚れてゐるのは、今貸家を探してゐるのかも知れない。品の好い老夫婦が、眼鏡越しに模型と平面を半々に見較べてゐるのは、老の慰安所に一戸を當てゝ一戸を然るべき人に貸そうといふ相談でもあらう。

一等弘永、堀井、古谷の三君、二等の鈴木、杉本兩君の得意思ふべしである。

模型陳列臺の兩側の斜面には、此等の入選案と選外佳作案が展覽されて、



第一圖

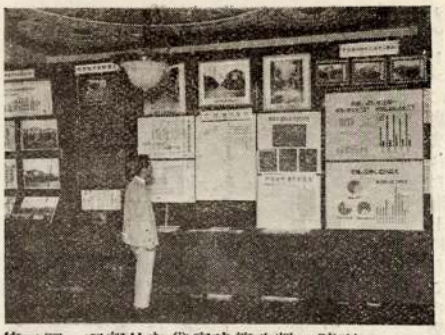


第二圖　展覽會場の入口

これまた、熱心な觀客の研究材料となつてゐた。

理想的に扱はれた貸家建築の資料

現在日本の貸家建築の尖端を語るものとして、大阪市營今宮アパートメント(先月號參照)東京文化アパートメント同潤會アパートメントがあり、改良された貸家住宅の實例としては大阪市營住宅(平面圖)、丸龜市營住宅(同上)大阪府泉南郡大津町の町營住宅(同上)大阪北港株式會社の貸家住宅(先月號參照)があり、何れも地方々々の地方色と生活の半面を遺憾なく現はしてゐる、兵庫縣公舍(平面)は普通の貸家とはいへないかも知れないが算盤勘定許りに囚らはれない良き實例と見ることが出來やう。



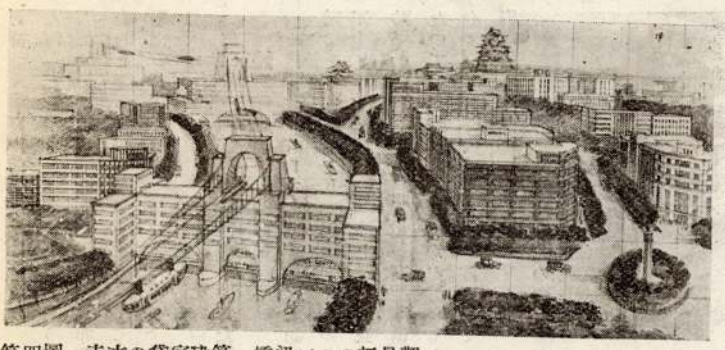
第三圖　理想的な貸家建築資料の陳列

關西土地株式會社の出品物は多少毛色が變つてはゐるが、會社が、住宅の大量工作に着々歩を進めてゐられることが見られて何より嬉ばしい、住宅の工費低減をするには大量工作法に依る以外に策はあるまい。然し日本人の通有癖として市場品―標準型のものを嫌ふのは何んたる愚なことであらう。金もない癖に自身の好みを出したがる、低利資金の融通を受けて建てる程度の住宅にまで、この癖を出す。そして工費と没交渉に色々六ヶ敷い好みをするのである。こんな狀態では安價に、多くの人が自身の住宅を有ち得る時は仲々來ないであらう。この點米國なぞは甚だ羨ましく思はれる。今の世評に合ふか否かは問題として住宅の大量工作に着手されたことは何より嬉ばしく感ぜられる。

又同社虎の巻の建築工費實費算定表を出品されたことも益するところ大であらう。×田園都市の計畫案も一日も早く實現させたいものである。

未來の大大阪貸家建築はどんな形に發達するか！

この興味深き問題を、建築家の囚らはれざる空想によつて畫き出したのが未來の貸家建築四景である。觀る人よ決して馬鹿な空想と笑てはならない。



第四圖　未來の貸家建築　橋梁ビルの新景觀

ツエ伯號が世界一週の航空路を開拓し得る事を卅年前に豫斷し得たか、ツエツペリンの試作時代の一千九百年代にさへ伯は狂者扱ひされたではないか……現在の都市計畫が何年後を目標にしておるのか、卅年後の生活、交通等の科學の發達を意圖に盛れて作られておるか……といふ大氣焰のもとに立案されたものである、先づその說明札に目を向けやう。

第一景　大阪城天主閣を背景にした橋梁ビルディングの新景觀

水の都大阪に獨自の形式をもつて發達したものに橋梁ビルがある。橋にしてアーケードとアパートメントを兼ねた河上の大ビルディング、中央の高塔には京都を十數分の距離に縮めた高速度電車が彈丸のやうに飛びかう。

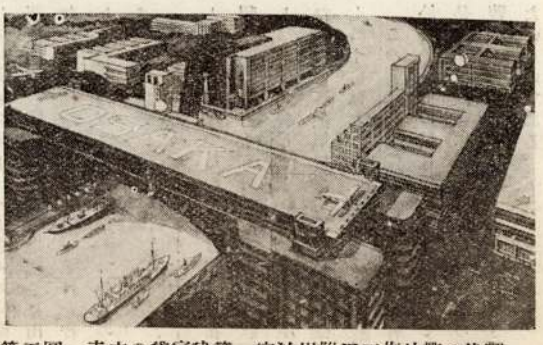
三十年前の群小家屋は姿を消して、大ビルディング、大アパートメントに集約される。

實に三十年後の大大阪は滿目綠滴る樂園である。都と呼ばれて嬉んだのは昔の大阪人です。清淨無垢の澄明鄉、大大阪！

見る人、見る人が驚ろきに眼をみはつて居るのも愉快である。

第二景　安治川附近工場地帶の偉觀　跨川大ビルディング……

兩端が製造會社の事務所用貸室、大アーチの下は五萬噸級大貨物船横付けの岸壁、屋上のエヤーポートには國際航空路の旅客機、貨物機が間斷なく發着する、三十年後の安治川口である。世界各地から集つた原料品は岸壁から地下道を經て直ちに工場へ、精製品は工場から直ちに岸壁に、屋上エヤーポートに。

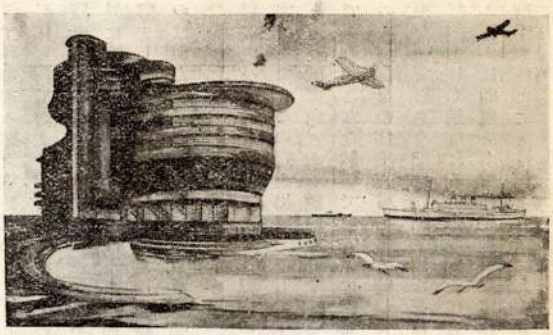


第五圖　未來の貸家建築　安治川附近工場地帶の偉觀

工場地帶の心臟が跨川ビルディングである。

公園の如き綠地中に白玉の如く輝くのは、小工業者の地下共同工場と獨立の大工場で、地上にはその尖端だけを現はして主要部は地下に隱されてゐる大阪の心臟、否、日本の心臟が空中襲撃に備へるための心盡しである。

兩岸の連絡は主として河底トンネル



第六圖　未來の貸家建築　築港外の海中ビル

に依る。

次の第三景が甚だ奇抜である。

第三景　**築港外の海中ビルデイング**

築港外の海底岩盤にいかめしく礎を持つ海中ビルデング

陸上との連絡には水中トンネルあり飛行機あり、快速艇あり、水面下にはお伽話にきく龍宮をそのまゝの硝子張りの大レストランあり大ダンスホールあり。

海面一の大建築は下層が大劇場を中心にした大娯樂室、上層がホテルで屋上は飛行機發着場である。六十%以上の綠地をもつ三十年後の大阪市民は、オゾーンに惠まれた海上にもこの樂園を持つであらう。

何んと素振らしい歡樂境であらう、現在の道頓堀、千日前、新世界の非衛生的な慘めき憑くどさと比較してこの樂園の實現を望むや切なりである。扨て次は

第四景　**御堂筋大路を中心にした立體的商店街**

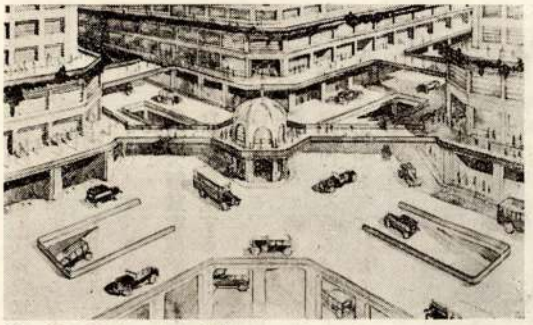
三十年前にニースを賑はした交通地獄、その解決策として立案されたのが立體的商店街である。地上路面は交叉點では必ず一方が地下道の高速車道となつて、自動車はいさゝかの淀みもなくスピード時代の實を擧げるとして人影は姿を消す。

新意匠に、新流行に時代の尖端を競ふ商店の飾窓の列は地上二層毎に持ち出された遊歩道に沿ふて設けられ、のんびりとした通行者と握手することになる。對側の連絡には安全橋が架けられる。カツフエー、バー等々の享樂機關は地下數層にその安全地帶を見出す勿論、高速地下電車が壁一重外を音もなく二百哩の快速力で飛んでおるのであるが、

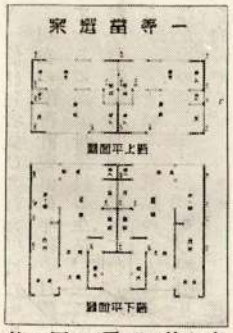
「おゝ我等のユートピア！大大阪！」

と叫びたくなつたのであるが、現在、昭和四年八月十五日の眞晝の無風狀態と、一面におし潰されたやうな瓦屋根の發散する熱氣は、幻滅の悲哀を嘆ぜしめずにはおかない。

この興味を本位にした出品は協會に於て始めての試みであるが、苦るしい是非論は抜きにして、大衆を相手の展覽會としては、モツトモツト發展させたいものである。



第七圖　未來の貸家建築
御堂筋大路を中心にした立體的商店街



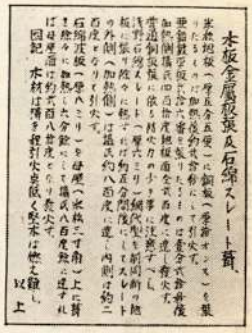
第八圖　耐震壁の施し方



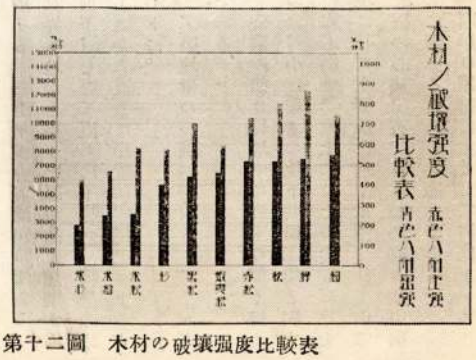
第九圖　耐震壁の功率表



第十圖　同上



第十一圖　同上



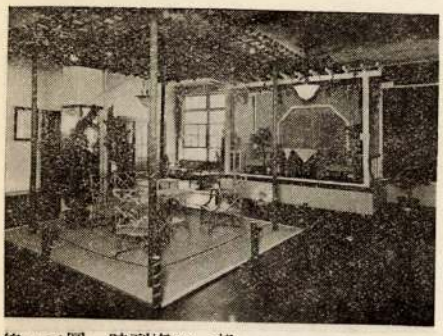
第十二圖　木材の破壞強度比較表

平易に說明された難解な耐震や耐火構造

構造部の協會出品はグット碎けた態度に出て、現在の貸家建築の九十%を占める木造建築に全力を集中せられたのは甚だ當を得たこと丶感ぜられた。

懸賞當選圖案の耐震構造はといふことは誰れにも直ぐ注意されることである、各等の平面に耐震壁を充分に設けた構造圖とその局部の詳細圖が第一に目に付く、

次は貸長屋の耐震構造として『筋違の入れ方』柱と筋違の取合せ、基礎と土臺、柱と土臺、柱と二階梁又は胴差小屋梁と柱又は敷桁の取合せ等の各種の場合を擧げて素人にもうなづけるやうに圖解されてゐる名付けて、借家建築を耐震的にする方法、



第十三圖　陳列場の一部



第十四圖　化粧室及浴室實物模型室内部

『大阪舊市震度比較圖』は、見る丶によつては甚だ恐慌を感ぜしむる種類のものに相異あるまい。こゝで『耐震七則』も大に効果があるのであらう。

防火に關する出品としては『防火材料の防火功率比較表』が目を惹く、一般に行はれてゐる金屬板張、メタルラス、モルタル塗、鐵網コンクリート、木摺漆喰塗等に就て實驗の結果を示されてゐるが、丈夫そうな金屬板張が殆ど防火の効果をなさないのは世間に注意を與へたであらう、其他には『業體別出火表』、實物見本と對照した『木材强度比較表』があつた。

この部の異色の出品は伊藤元氏出品の白蟻の各種類と、被害を受けた實物寫眞その驅除、豫防法である。伊藤氏は、白蟻研究一方の權威で、木造建築に巢喰ふ白蟻の被害の甚大さを、かく如實に見せられては、肌に粟を生ぜざるを得ない。

展覽會場内のオアシス庭園に圍まれた浴室と化粧室

蔓艸のからんだ竹の枝折門に竹の垣根で區切られた、廣々した綠の一區劃竹樋の涵養に涼味あふれる。實物に寸分違はず、コンクリートで構造された石燈籠やつくばひに、簡約の赤札がはられる。貸家に石燈籠でもあるまいと値段を見て、はじめて、なる程とうなづける。この値段ならこそ三十圓程度の貸家の庭にも欲しくなる。橋本庭園工務所の出品である。

この庭に杉皮張の瀟洒な構の一部を見せておるのが、實大の浴室と化粧室である。

貸家に浴室や化粧室といへば、或は贅澤だと聞こえるかも知れないが、中流向貸家には此位な設備が是非欲しいものである。古來の習慣から氣付かれないでゐる無駄唯體裁のみ、虚飾のみの無駄を節減すれば、この程のものを附隨せしめることは困難ではあるまいと思はれる程、簡素に氣持よく出來ておる。建築は室内設備部委員が計畫されて、大林組、竹中工務店、大阪橋本組の手をお借りして出來たものと聞く

この建築に使用された、器具、設備材料は次の通りであります。

設計施工　日本建築協會
庭園一式　橋本庭園工務所
リノリユーム　東洋リノリユーム株式會社
セロテツクス　淺野物産株式會社
湯沸及ガス風呂一式　大阪瓦斯株式會社
電燈器具　日本電化工業所
衛生器具　浪速商會
タイル　山本窯業商店
レヂスターファン　立花商會
壁紙（サルブラ）　海外通商株式會社
家具化粧品　大丸

漫畫で巧みに宣傳効果を擧げた保健衛生部

堅苦るしく云へば燧房換氣、冷房、水道、便所で甚だ無味乾燥になり勝ちな問題に、

（夏を知らぬ冷房
（苦熱に喘ぐ家
（冬を知らぬ燧房
（非衛生的は燧房
（理想の掃除
（めざめない掃除



第十六圖　同上



第十五圖　漫畫の效果あつた宣傳



第十七圖　陳列場の一部

と誰れが見てものみ込み易い見出しを與へそれでも解らぬならと、藤原せいけん氏の輕妙な漫畫で笑ひの急所を衝いてもうなづかせ、それに、下には理想的でかつ經濟的な冷房換氣裝置、煖房、掃除器、水道ポンプ、改良便所等の實物出品を見せた、用意周到さである。

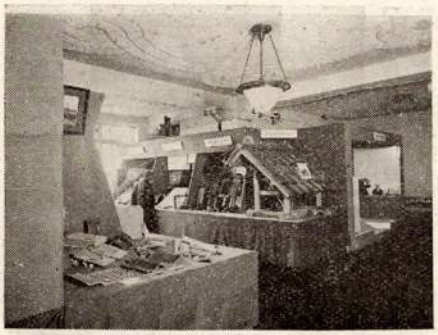
（恐るべき井戸水
安全なる上水
（昔の便所
（現代の便所

氣持よく整頓された個人出品

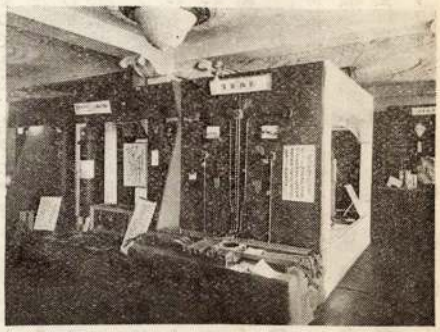
落ち付いたダークグレーで覆はれた陳列棚、此種の建築展覽會にいつも見る亂雜な觀工場然とした空氣がなく、控え目に陳列されてゐるのが、却つて觀る人に親しみ深く、觀賞する餘裕を與へてゐる。

個人出品の陳列棚が少なかつた故か陳列されたものは、いづれも選ばれた一人といふ感を深くされる。贅澤にならない程度で、貸家建築向き——勿論木造から鐵筋コンクリート造を含むのではあるが——の材料設備品を選定することは可なりの難事であつたらうと委員諸氏の努力に敬意を表したい。

構造材料としての出品は天井材としてメタルシーリング（田村商會大阪出張所及佐渡島建材部）は外國品を驅逐して純國産品を誇り續々新しい試みを見せ、鐵網、山形鐵網（川崎鐵網工場）米國GE會社ラス（淺野物産株式會社）は防火的壁下地材としての廣い用途を示し、木材防腐劑、同注入木材（東洋木材防腐株式會社）は前面に陳列された白蟻の被害物と對照して深い印象を與へる。不體裁になり勝なトタン板に、我國人の好みの意匠を加へた點に簡易な防火材料としての生命をもつ竹生子板（龜村商店）簡易な住宅工場等の耐震耐火的屋根材としての定評は定まつてゐる、六甲スレート（野澤幸三郎商店）スレート（日本スレート販賣株式會社）東洋スレート（東洋スレート株式會社）日本瓦の改良品として親み易く普及性をもつたものである昭和瓦（高松菊次郎商店）實用的なフランス瓦其他外觀美をねらつたOS瓦等新築意をそゝるに充分である洋瓦各種（日本洋瓦株式會社）木造建築にまで應用の範圍を廣めてゐる現在世人に益々必要を示したいものであるスチールドアースチールサッシュ、スチールシャッター（汎建製作所）日本鋼製建具株式會社、西孫商店）煙突からの先火を防ぐための火の粉止自然回轉助燃器（佐々木工作所）石綿板とアスファルトの長き性質を兼備したセメファルト（工材社）等何れも觀衆の熱心なる研究心をそゝつてゐた。



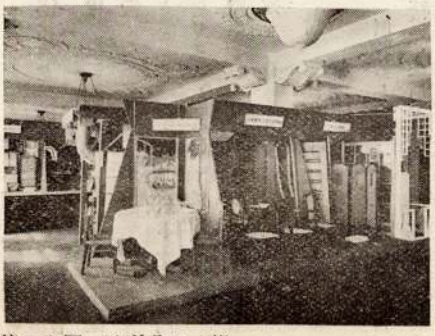
第十八圖　陳列場の一部



第十九圖　陳列場の一部

次に室内設備部の出品には、構造部とは異つて實用的なものにも色と形の美しさが多分に取り入れられてゐる。

近來裝飾的でなく眞の用途を認められてきたリノリューム（東洋リノリューム株式會社）値段の點で實用期にはいらないが必要は認められるロールスクリーン、疊下の防濕材としてのコルカシート（島貿易建材部）世間の人に理解のうすい電氣裝置を明快に示した（淺見商店）新らしい傾向の電燈器具（島田硝子製造所、小林電業所、日本電化工業所）用ひ方で實用にも裝飾にもなるタイル、テラコッタ類（山本窯業商店、政正合資會社）防盜裝置等のある



第二十圖　陳列場の一部

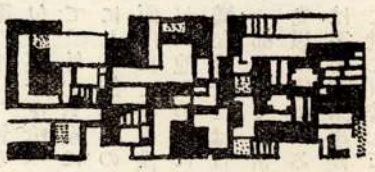
建具(高安商店)大量生産の强味をもち簡素な味をもつ曲木家具(日本曲木工業合資會社)子供用机(水口文藏商店)生活の必然的な歐化と共に實用化した洋服ダンス(松安洋家具商會)と洋食器(森高商店)贅澤な裝飾品でなく家庭の潤ひとしての織物(住江織物合資會社)等に如何に僅かの費用で吾々の生活内容を豐かにし得る材料があるか、生活上の節約は單に節約のためではない、内容を豐かにするための節約が存することを觀賞に印象せしめたことであらう。この意味でこの部の出品は借り手側の興味をそゝるものといひたい。

更に保健衛生部の出品物は家主に是非採用させたいもので一杯である。

不潔、病毒、惡臭の根源である溜壺式に取つて替るべき簡易改良便所、淨化裝置の數々(須賀商會、城口研究所、西原衛生工業所、岡部商會)ともすると忘れ勝ちなしかも保健に重大な關係をもつ換氣裝置(大阪換氣商會)ベンチレーター(山崎吉松)コンクリート造には是非必要な室内煖房器(岡本工務店)貸家建築の理想としてアパートメントを考へる時、必要を感ぜられる、電氣及瓦斯の煖房、冷藏、炊事、洗濯用器具類(東京電氣出張所、大阪瓦斯會社)等々、

兎に角この保健衛生部の出品物の一般化は今日直ちに望まれないにしても吾々の理想として一日も早く實用化されることを希望して止まないもの許りである。

大分長々と書き立てましたが、一巡見て見ると、是非、只今、改善されねばならぬもの、よりよき生活形式の理想を示すもの、それぞれ意味深く、觀る人々の目を惹いてゐる點で今回の出品物の選定は甚だ當を得たものであることを述べてこの見たまゝ記を終ることに致します。



住宅の裏から覗いた保健衛生的設備

白石登喜男

近來工業の發達につれて都市に多數の人々を吸收した爲めに、住宅に拂底を來たしてから所謂住宅問題を喚起しつつ有りて、文化史上嘗て見ない現象を呈し之れが爲め國民の眼中になかりし住宅其の物が人々の意識の中に重要な位置を占むるに至り、引いては住宅の改善ともなりて之れまで住宅建築に餘り筆を取らざりし新聞雜誌にも、之の問題に對しては紙面を分つ樣になり懸賞募集だの展覽會だのと今頃に遲そ蒔きながら紹介報導する樣になつた事は、喜ばしき次第で有ります。

之の時に當りて當協會が未だ曾て見ざりし貸家住宅展覽會を計畫して、建築の趣味知識向上の普及に力を致すは當を得し計畫と云はねばならぬ。

そもそも住は人生に最も密接なる關係を有するものにして、最も人生に交涉の深いもので有り殊に住宅の内部と云ふものは人生に多くの關係を有し内部の新設備の重要な點は多く之に集るのである。

西歐にては『不潔な思想は不潔な住家より生ずる』と云つて居る樣に、我國の如き粗製濫造の品物商品、又は商業道德の欠乏の基因及其他惡思想の發生等は一面にして眞理であると思ふ。不潔なる倭屋は決して人の精神上に良き影響を齎すものではない。尤も例外はないでもないが、かの賀川豐彦氏の如き貧民窟裡に居住しての彼の人の如きも有るが、多くの場合は陋屋は自然不潔に流れ易くて引いては危險思想の發生地となりて、以上の如き精神上及肉體上に及す影響も亦看過する事は出來ない。

吾々の肉體は吾々の精神の住宅なるが如く、吾々の住宅は吾々の生活の住宅の役目を完うしなければならぬ。故に住家が心情に、心情が生活に然して住家は一人の住家でなく家族全體に其の感化の及す影響は甚大である。

茲に於いて住家は、使ひ勝手の上に於いても住み心地の上に於いても、保健衛生的清潔な家の完全を期さなければならぬので有ります。

然してこの家に住する主人なり主婦は、住宅其の物を女の衣裳か

一寸した家具の仕入か手入れ位ひの輕い氣持ちでなく種々の點に注意し、外面的の衛生家、即ち世の履き違ひし衛生家でなくて、家庭の內面設備に於いても或る程度迄徹底的の衛生家で有りたいので有ります。

一　玄關に手洗裝置の必要

よく夏になつて來ると見受ける事だが、之の暑さに耐へ兼て上衣一枚でも脫ぎたい樣な思ひのする時に電車の中に、暑苦しい手袋をはめて居らるる紳士の姿を見受ける。手の甲の日除けの爲めか（禮式の時は別）其れとも手の外皮を直接人目に掛るは無作法との思ひか、然し大抵の方は其の辨明的に曰く、電車の扉の引手や釣革等に直接手を觸る事は非衛生的だから手袋を使用して居るとの事。然し建築の裏から見た保健衛生の設備上より云へば、其の樣な方は履き違へた衛生家と申したい。其の方々の住宅の玄關即ち入口に、手洗の裝置が有るかと尋ねたいので有ります。

玄關即ち入口に、手洗の設備のないのは主人始め家人に取つても來客に對しても現在の日本住宅としては不都合で有ると思ふ。

在來の日本家屋は、洋館と違つて他の履物と共に靴を脫ぎ穿きに手先を使はなくてはならぬ。殊に編上げ靴に至りては、一層手先を働かせる必要がある。故に玄關に手洗の裝置がなければ、靴を穿く時其れに觸れし手は、其の儘外出して不潔な手袋を以て其の不潔の手に手袋をはめて紳士然と最もらしき淸潔家の樣に辨明し、其の不潔の手にて髯を捻り煙草も喫し麵包や菓子を喰べてると云ふ有樣にて、外から家に歸りし場合は同樣にして然し其の時は、便所なり洗面所にて手を洗ふ事は容易で有るが、他人の家に行きし場合は其の樣な都合には行かぬ。

都會にて日常活動する人々は、先以て家に入る時又は家を出る時は手を洗ふ事が必要と思ふ。然るに靴に附着して居る塵埃泥土等を除去する爲の塵拂ひや、柄付の刷毛を玄關に備へて居る官廳會社等が有るが、其れよりも尙必要なる手洗の裝置の設備が極く簡單に出來費用も餘り要せぬ事故、中流以上の邸宅に玄關なり入口に保健衛生上設備を望む次第で有ります。

二　飯櫃の干場設備

家の主婦たるものは、裁縫料理に明るいことが必要と同時に、風習慣例とは云ひ條飯櫃の干場を考ふる事も保健衛生上から見て必要と思ふ。

飯櫃に濕氣が有りては飯の腐敗を招き易い、然し之れを乾燥させると云ふ場合は、殺菌力も有り且つ費用も手數も要せぬ日光乾燥を見受ける、然し日光乾燥は屋外にしても又は窓口椽側にしても、蠅及塵埃殊に風の有る日は砂埃が掛る。然し濕氣を除く事が最大の目的故再び之れを洗ひて使用する事は不可能で有ると云ひて、布片で拭た位の事では其の蠅糞塵芥を完全に取除く事は出來ぬ。

故に臺處の側壁の一部に日當りの良き方向に出窓を設け、內外二重の硝子戶を建てて其の硝子戶の距離即ち奥行は、最小限度は勿論飯櫃の大さに準じ其の中に入れて硝子戶を透して直射する日光にて乾燥し一面には普通窓と同樣採光の用を爲すので有るから一擧兩得で有る。

右は單に飯櫃の乾燥場でなく梅干等の食料品の乾燥場にも適するので有るから普通住宅には適當の方法にて簡單に設備の可能の事故衛生保健上必要の事と思ふ。

三　俎庖丁等の置場設備

臺處に於て一般的に困る昆虫塵埃鼠等を防ぐ爲めに俎、庖丁、杓子等を入れて置く場所が必要にて俎、庖丁等は何れの家庭に於ても用途を區別し、第一に傳染病毒媒介の虞れある生野菜用のものに使用するもの、第二に淸潔にして比較的危險のなき野菜及漬物果物等を切るもの、第三は生臭用のものに使用する俎、庖丁等少くとも三種以上は必要とす。

然して之れを區別して密閉し得可き引戶を付せし特種なる戶棚の中に、夫々境界を設けて有る簡單なる納場所の裝置も衛生上必要と思ふ。

四　野菜取扱ひ置場の設備

家庭の臺處にて主婦なり女中が

出入の八百屋より受け取りし野菜又は注文に應じて八百屋より配達されし野菜は、普通は一時的なりとも臺處の板の間か、又は流臺の上に置く場合は多い。其れに對して主婦は何等小言も云はない事を見れば、其の行動に對しては是認して居る樣に見受ける。多年の習慣上何等其の不潔の感じも與へぬ樣なれども、大根でも菜でも葱でも八百屋の店頭に陳列して有る場合は、一見して綺麗の樣なれども仔細に之れを點檢すれば、假に一度洗て有る物でも尙ほ幾分の粘土も附着し元々大小便を灌きかけて耕作せしものにて、勿論葉や莖にも附着し居るものと考へねばならぬ。又其他運搬の道中に於ても種々と不潔物に汚染せられ居り、自然消化器傳染物は主として之の經路も跡み居る事故、之れが取扱ひ上大低臺所の流臺の上で洗ふとか切るとかは、野菜其の物は不潔なものでなくても附着して居るものは不潔なものと思はねばならぬ。流し臺は飲食器物の洗淨する場所故清潔で有りたい所に其の不潔なる野菜を流臺の上に置き、且つ其の上にて取扱ひするは所謂味噌も糞も同樣に取扱ひして居るものと思はる。

保健衛生上から見ても、野菜の取扱ひ場所を全然臺所以外の場所にて約半坪位の場所に水栓及流臺を新設し其れのみ專用に供し、普通の流臺は炊めても何等差支なき程清潔を保つ樣になし、兩者の間に境界を設けて其れに使用する器具も全然別途のものに致したい。之れに要する設備費も、餘り要せず普通家庭の臺所には其の新設備が必要と思はるる。

五　住宅内に産室（病室）の設備

世は文明に進み居るに、出産は生理的なものであるからとして或る點は、不自然になり居り人間の産までは非文明的、非衛生的に家庭にて取扱するは隨分危險なものらしく思はるゝ。

其の家庭の生活能力に應じて、充分なる準備をするのが人間として生殖上誠意ある義務と思はるゝ然し産婦や病人の狀態上又は經濟上より入院は必ずしも適當と思はれない場合は、普通の家庭に於て多い事であらうと思はれます。

故に在來中流級以下の日本住宅は、間取上及構造上より開放的の建物には産室又は病室として適當なる室を一室設備して置く事はかなり困難なれども、産婦又は病人其物にしては隨分氣兼もし氣苦勞又は一種の恥辱心も有れば、本人も家族も共に神經を用ひて悲しき努力をしなければならぬ。

故に斯くした目的上適當なる洋風構造の室を設け、音響的に室を獨立なし、床は板敷き、寢臺式として産婦又は病人の取扱上便利として採光の點では産室なれば、産婦の脚部の方より光線の入り來る樣な窓の設備をなし、其他病人としては其の患部や其他診察上必要な部分に、彩光が充分になる樣窓の設備をなして、强き彩光には適當なる「カーテン」を窓に付して調節を量る事の出來る設備が必要にて、室の溫度としては、華氏六二度位を保てる樣になし、其れには在來の日本間よりは洋風の方が適當とし、若し日本間ならば椽側の外側にも一つの硝子障子を用ひ、成る可く紙張り障子を使用せない方が良いと思ふ。在來の紙張り障子の棧は、丁度塵芥の溜り場の樣な棚の如きもの故、衛生上餘り感心したものとは思はれない。硝子障子も成る可く大なる面積の硝子を使用する方が適當と思ふ。

其他通風及室の方位等にしても單に新鮮な空氣を滿たし日光を充分取り入れの出來得る方位の位置に有りたい。其れには東南に開きて、南北に風の通る樣な室が適當と思はれる。

室内の壁體及天井等は、愉快な色彩を以て取扱ひ其の本人をして樂しましむる樣な心掛の設備が必要と思はれる。

之の外に、なほ設備の望みを申せば室專用の附屬室、即ち準備室か汚物處理室として用ひらるゝ一室を接續なし、之の處に冷水、溫水、又は流臺、戸棚及患者專用器具を納むる戸棚及消毒藥其他衛生材料納入戸棚（之の戸棚の準備は普通の家庭には是非押入の一部でもさいて設備して置きたいと思ふ）然して之の附屬室は、耐水性材料にて床及壁體を仕上げるは有效と思ふ。

其他に患者專用の便所を設備すれば結構と思ふ。便所は出來る限り水洗式として風の入らなき樣設

備なし、殊に臭氣や蠅の産室又は病室に入らぬ樣の設備が必要ㇲ思ふ。

其他産室なり病室なりの照明上の電燈は、一燈は固定とし一燈は移動式として出來得れば停電の場合の準備ㇲして瓦斯を引くか、大形蠟燭及マツチ及懐中電燈等を納箱に入れて室の一定の場所に準備なし置く必要有りㇲ思ふ。

以上の樣に住家建築は、注意の上にも注意して封建時代の遺習である雨露をしのげば足ると云ふ樣な輕い氣持ちの思想より離れて、如何にして保健衛生上より不潔なる點を改良し有意義に、吾々の肉體と吾々の精神との間の關係の如く有機的に有りたいㇲ思ふ。



白蟻の驅除及その豫防法

伊藤元

現今驅除及豫防を專業とするもの九州地方に多數あれども孰れも毒藥劇藥等にて製造せられたる驅除劑を使用するものにして、人體に害を及す虞れあるのみならず多くは揮發性に富み永く其性分を保留する事能はず、或期間を經過すれば効力を失ひ驅除及豫防法ㇲしては不適當となり、且つ素人が妄りに藥品を使用する事は危險多きのみならず場合により反て蟻害の範圍を擴大する事あるを以て驅除に對し經驗あるものに依賴するを安全ㇲす。新築家屋にありては特に建築の當初に於て少しく注意せば被害を豫防する事は素人にて左程難事たらざるのみならず、非常に有効なるを以て以下左の數項に分ち說明すべし。

一、白蟻の種類
二、白蟻の發生したる時の應急處置法
三、白蟻の驅除法
四、白蟻の豫防法
五、其他附帶注意事項

一、白蟻の種類

內地に發生する白蟻は今日迄發見せられたるものは九種類あるも建築物に害を及ぼすものは家白蟻、姬白蟻、大和白蟻、黃足白蟻の四種なり、大阪地方に發生するものは重に大和白蟻にして被害の猛烈なる家白蟻は濱寺和歌山、舞子の一部にて發見せられたるのみなれば其初期に於て適當の處置を施せば簡單に其害を除く事を得。

二、白蟻の發生したる時の應急處置法

場所に應じ熱湯（沸騰中）昇汞の水溶液（五百倍）石油「ホルマリン」（十倍位）溶液の類を注ぐべし特に四月下旬より五月下旬の間に於て建築物より大和白蟻の羽蟻の飛去るを發見せる際には孔口に前記藥液を注入すべし

三、白蟻の驅除法

前述の應急處置により羽蟻を擊殺するも之れにて全部驅除せりと思ふは早計にして右羽蟻は家族蟻の一部が成虫となり他に新しく生活を營み種族の繁榮を計らんがため飛去るものにして其床下に大部分白蟻生息し其後も益々繁殖し建物に害を與ふるものなれば床下を取調べ蟻道を發見し地下巢窟に對し「クレオソリユーム」又は「クームヒン」の如き防蟻劑を注入し然る後被害材を取除き又は解體するを要す其際白蟻に關し知識なき工人に依賴し被害材を取除き防蟻劑を

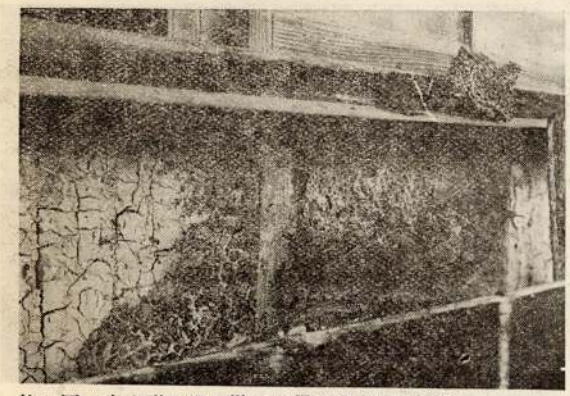




第一圖　家白蟻の王（上）同擬蛹（下）

第二圖　家白蟻の女王

塗布せしものゝ取替ふるも巣窟を其儘ゝなす時は將來一時に四方に擴がり床下全部の改造を行はざるべからざるに至ることあり又被害材取替への際蟻道を知らずして取外し後に被害調査を依頼せらるゝも斯くては蟻道ゝ巣窟の系統を失ひ專門家もこれを發見するに非常なる手數を要し困難を來すこと多きが故に相當被害の甚しきものは白蟻發見の際は枯息なる驅除豫防法をなさず相當知識ある專門家に鑑定を依頼するを得策とす。



第三圖　家白蟻が窓下壁に分巣を造りたるもの

被害材は場所及程度により之を完全に取除き速かに燒却し被害輕微にして猶耐久力ありゝ認めらるゝもの又は存置して差支なきものは左記消毒法を施行するものとす。

1、被害甚しき箇所の束石、各礎石を悉く熱湯又は石油を以て洗滌すること

2、中柱及內部土台、大引、足固め、根太、床板等の床組材は「防蟻劑に浸漬し、取外し不可能の箇所は之れを三回以上塗布し穴柄、柄、小口、繼手等の仕口は特に注意し同劑の「ポンプ」注入を行ふべし

四、白蟻豫防法

1、通氣の惡しき事、暗黑なる事濕潤なる事の三者は白蟻繁殖を助長する絶好の條件なれば特に換氣、採光、乾燥に注意し構造すべき事。

2、床下採光及通風、床下には構造に差支なき限り多くの換氣孔を設け採光及通風をよくする事

3、地中に埋設せる樹株又は建築の際床下に落せし木片鉋屑等は將來白蟻の巣窟ゝなる虞れあり必ず之を取除く事

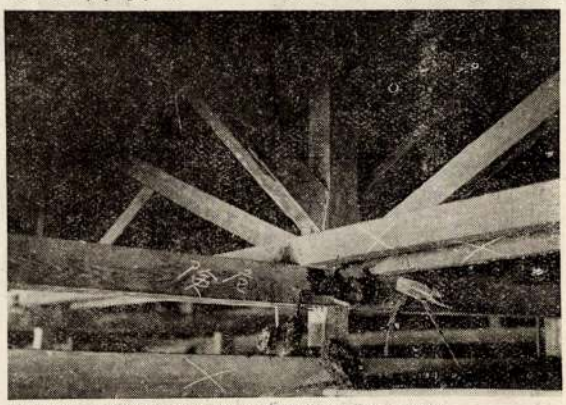
4、床下及建物の周圍は乾燥せしむるを要す若し床下の濕潤なる場合には排水の設備か又は荒目の川砂にて補充する事

5、建物の周圍及床下は庭面より三寸以上高くする事

6、排水處置、軒樋及竪樋の破損せるものは速かに修復すべく建物の周圍の排水に注意し溜桝及排水管內共時々掃除をなす事

7、材料の撰擇、木材は殆ど蟻害を受けざるものなきも其の內松は白蟻の最も好むものなれば出來得る丈け之が使用を避くべく殊に床下の大引土臺、貫、根太、床板等は絶對に之れを使用せざるを可とす耐力及經濟上松材を用ひざるべからざる場合には防蟻劑浸漬となす事

8、白蟻は地中と木部水分の連絡なくしては一日も生活出



第四圖　家白蟻が小屋組小屋束分巣を造りたるもの



第五圖　家白蟻が床下に本巣を造りたるもの

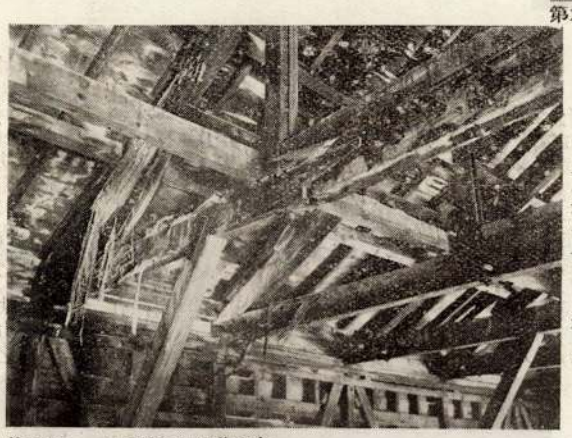


第六圖　二階梁の白蟻被害

來ざるものなれば木部と地盤と接近せざる樣注意すること肝要なり故に土臺の被害材を取替ふる際は現在の柱を切上げ下は石材又は燒過煉瓦の類にて積上げ床束は必ず吸水性少き堅石、防水「コンクリート」又は燒過煉瓦等に取替ふべき事

9、防濕のため木材と石材の接觸部には「アスファルト」銅板又は鉛板を敷込むこと

10、床下掃除、驅除工事完成の上は床下は勿論建物の周圍



第七圖　小屋組の白蟻被害

共杭木、木片、鉋屑等殘りなき樣充分掃除し其後は毎年二回位は床下の掃除を行ふ事、掃除に便なる樣各所室の床板を揚板の裝置となすべき事

11、臺所、流し場、浴室、便所等濕氣を帶び易き床及周圍の腰廻りは鐵筋コンクリート打の上吸水少なき化粧瓦人造石、及防水「セメントモルタル」塗となすべき事

12、小屋及屋根に關する注意、小屋及天井の換氣を行ふため面戸及蔓等の一部を開放し屋根は改造の際は引掛桟瓦の類を使用し出來得る丈け屋根土を使用せざる方針を取りたし下地は防濕法を行ひ天窓、谷等は雨漏なき樣特に注意すべき事

五、附帶注意事項

1、板塀に關する注意

塀の下部は最も濕腐し易く同時に蟻害の虞あるを以て其控へ柱の如きは直接地盤に接せざる樣構造し且つ石又はコンクリートの接觸面には充分「クレオソリューム」の類を浸漬するか銅板を挿入すべし柱は鐵筋「コンクリート」製とせば最も安全なり

2、庭園の處理

老樹の空洞を生じ或は



第八圖　白蟻被害の佛像

限り之を堀去るか或は防蟻劑を用ひ白蟻發生の虞ある原因の除去を期すべき事

特に前述の羽蟻の飛翔する季節に於ては庭内の檢分最も肝要なり緣側、中庭に接して樹木を繁茂せしむるときは雨滴は枝葉を傳はり袖垣等を濡らし建物に及ぶこと珍らしからず注意を要す

3、一特約假設物に多く用ひらるる堀建柱は白蟻繁殖の原因となる故出來得る丈け他の方法に依る事

以上述べし處は大和白蟻黄足白蟻に對する驅除及豫防方法なり、家白蟻驅除法は毒藥及劇藥を使用せざれば不可能にして其巢窟も專門家にても深き經驗ある者にあらざれば發見不可能なり故に之に對しては特に經驗ある專門家に鑑定と驅除を依頼する事必要なり(了)

誌上講座

建築工事の勘定と事務 (4)

由良基夫
中島智喜

第七章 建築簿記の概要

建築業に於ける簿記計算の方法は他の製造工業のやうに完全でないと云ふ事は吾々の常に耳にする所である。之は遺憾乍ら事實であらうと思ふ。即ち殆んど凡ての建築業者は極めて幼稚な簿記法に滿足し原價計算に至つては全然實際化せられて居ない狀態に在るのである。

次に建築費が高いと云ふ聲も屢々聞くことである。之に就て吾々は他の工業が其の發達の初期に於て莫大なる經常費を使つて居た事實を想起するのであるが建築業に於ても或ひは其の轍を踏みつゝあるのではあるまいか。此點は充分考慮を要することゝ思ふ。

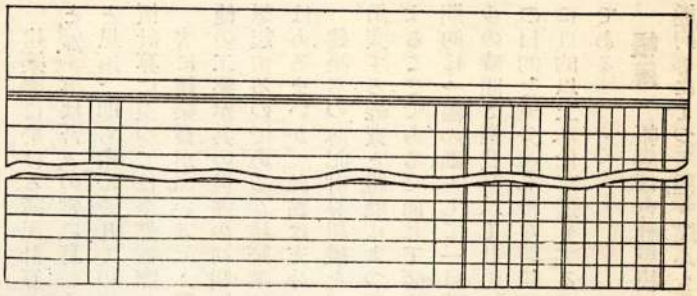
建築業の簿記計算組織を成立するに當つて注意すべき事は其組織が消費する經費と組織によつて得らるべき結果の齎す利益とがバランスすることである。而して簿記計算組織の目的は會社の財政の現狀を定期的に一幅の畫として一目瞭然ならしめるに至るのである。從つて最少の時間と經費を以て此の目的を達成する組織が最も必要である。此の目的を充分達し得ない組織は經費の多少に拘らず無益である。同樣に目的以上の仕事迄もする樣な組織も亦冗費を生む贅澤物と云ふべきである。

帳簿 帳簿は會社規模の大小、仕事の性質、範圍或ひは計劃者の趣向等によつて種々違ふものであるが普通用ひられるものは大體次の通りである。

仕譯日記帳
仕入帳
元帳
金錢出納帳
銀行當座帳

この外種々の帳簿を使用することがあるが之等は前記各帳簿の特に一科目に就て其詳細を記述せんとする補助帳簿に過ぎない。大會社では特殊の帳簿の形式を考案して居るが普通は出來合品で相當役立つものである。

大形のルーズリーフを使用するときは各欄を自由に作ることが出來て如何なる仕事にも應用せられ極めて便利である。帳簿を有効に使用するには其形式に最も注意を拂ひ凡ゆる意見、參考資料等を蒐めねばならぬ。即ち簿記計算は一つの專門的の仕事に屬するものであるから一册の參考書を讀んだ位で會得することは到底困難である。簿記組織の成立には滿能なる會計士を依賴し會社の財政狀態を評價整理し之を帳簿に記錄して先づ一覽表を作成するのが最も適當な方法である。尤も計上すべき財產は個人或は會社經營により、又從來の事業を繼續せるものゝ新規に初めるものゝによりて相違するのは言ふ迄もない。計算組織の基礎が確立すれば其後は簿記學上の常識と注意を以て進んで



第十二圖 (イ) 複式仕譯帳

行くのである、併し一年一度位は會計士に帳簿整理の狀況を監査して貰ひ其の可否を確かめる必要がある。

最も單純な場合即ち個人經營による場合の記帳開始は極めて簡單である。

第一に起る記帳は資本金であるが之は(貸方 資本金)(借方 現金又は有價證券)とすればよい。尙資本金、現金又は有價證券の內容に就ては適當なる補助簿によつて詳細なる說明を加へ一層其意義を明瞭にすることが出來る。

仕譯日記帳 仕譯日記帳は從來其名の示す通り每日の各種取引を詳細に記述して居たものである。併し乍ら現今は一般に金錢出納帳又は元帳に取引の詳細を記し仕譯帳にも之を省略する。普通用ひられる仕譯帳は複式である。(第十二圖)これは金額欄の右の方を貸方、左の方を借方とするもので凡ての取引は必ず相對應する勘定科目を以て貸借兩方に記入せられる。從つて貸借兩欄の合計金額は相等しくならなければならない(譯者註、貸借平均の理)若し貸借がバランスしなければ何所かに誤謬があるのである。

個人經營を初める場合の例をとつて記入例を示すに先づ事業に放資すべき資本金を記帳せねばならぬ。即ち仕譯帳の最初の記入は次の通りである。

第十二圖 (ロ) 仕譯日記帳の一例

日附	摘要	元丁	借方	貸方
1	(現金)		10,000	
1	(資本金)			10,000
	ハイラム、ジョーンス投資			

之に依つて見ると別に資本勘定に對する補助簿を設けずとも一目瞭然であるが補助簿を設けると資本主は其によつて始終投資額の增減を知ることが出來る。

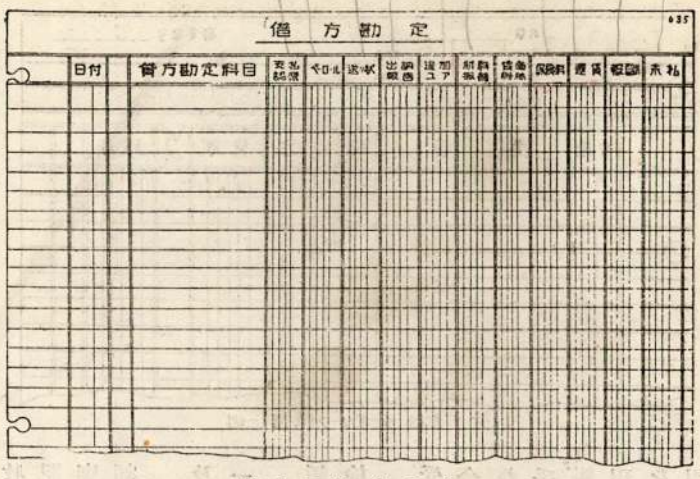
簿記計算に最も普通なる取引例へば購買、材料代金の支拂、勞銀の支拂又は請負內金の收入等には仕譯帳に詳細の說明をせず補助簿に其の詳細を記入する。殊に購入材料を組織的に整理し之に對して支拂認票(Voucher Check)を使用する方法では仕譯帳は最も簡單である。

併し乍ら特殊取引例へば事業に對する投資、減資又は振替勘定の如きものは仕譯帳に其說明を記錄する必要がある。(之には普通帳簿を設けぬから)

或專門家は現金勘定は仕譯帳を經由せず直接金錢出納帳に記入すべしと云つて居るが(仕譯帳の代用をせしめる)之は實際の取扱上非常に便利なものである。但し事業創始の投資に關する記錄の如きは他に詳細の說明あると否とに拘らず一應は仕譯帳に記入して說明するのが順序である。

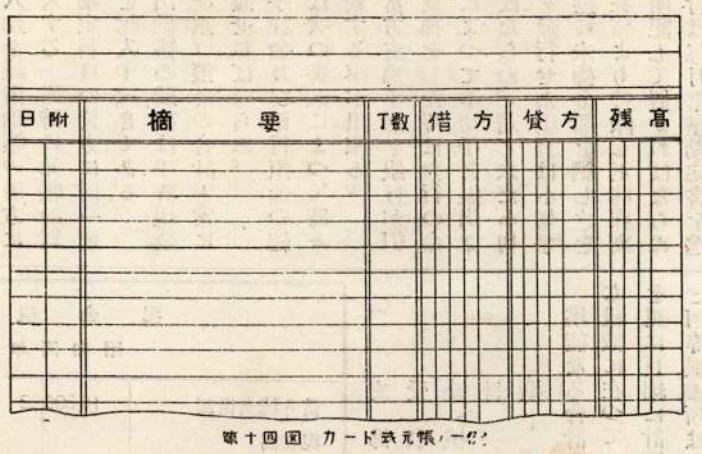
仕入帳 仕入帳は特に必要欠く可らざるものではないが仕譯帳の代用として重寶なものである。殊に建築業に於ては此種の帳簿は極めて有效で常に各工事の財政狀況に就て元帳には現れて來ない事實を表示するものである。

仕入帳は各工事每に頁を改め且工事名及び工事番號を上部に記入す


借方勘定

日付	貸方勘定科目	支拂證	ペロル	送水	出納	追加工	材料振替	備品	保險料	雇賃	報酬	未拂

第十三圖 仕入帳


日附	摘要	T數	借方	貸方	殘高

第十四圖 カード式元帳ノ一例

る。購入材料は現場より來る承認濟送り狀によつて日附順に記入せられる。勞銀も同樣である。此帳簿の貸方勘定は請負內金を除く總ての貸方勘定を記入する 故に仕入帳貸借双方の合計の差額は當日迄の工事費及び經費の總額を示すことになる。仕入帳の最初の金額欄は次に續く多桁欄の金額の合計を示すものである。多桁欄に記入の各金額は夫々元帳人名勘定の貸方に記入せられ各欄の合計は元帳未拂金勘定貸方へ一度に轉記せられる。

仕入帳を使用するに元帳の工事勘定に一々記入する手數が省ける。從來は凡ての取引を一々工事勘定に記入したものであるが仕入帳を用ふれば其合計金額を一度に纏めて轉記することが出來る。近時工事別に勘定を設けるのが一般的の傾向である樣である。第十三圖は一般會社で實用せられつゝあるものである。同書式に示す各欄の工事費目は可成適當に分類されて居る樣である。この仕入帳より一週間乃至一ケ月毎に左記項目の一覽表を作成する。

1 未拂金總額、2 勞銀、3 現場雜費、4 購入材料(單價)、5 同上(總額契約)、6 下請支拂金、7 保險、8 運賃、9 機械損料、10 報酬金、11 諸口拂

以上の各項目は仕入帳內譯欄の帳尻を轉記するものである。但內譯欄の追加工事及び材料振替は購入材料(總額)に合算する。

報酬金は實費精算式施工によるものは施工主より受くる報酬金を一式請負の場合は請負金と支拂工事費との差額を記入する。この差額がプラスなるときは利益でありマイナスなるときは欠損である。

元帳 元帳には帳簿式、ルーズリーフ式或ひはカード式等がある。或る場合には之等を混用し資本金勘定の如き恒久的の勘定は帳簿を用ひ仕入先勘定の如き一般的のものはカード式を用ふることがある。第十四圖はカード式第十五圖はルーズリーフ式の一例である。

大會社にありては各種の元帳を使用して居る。例へば資本金勘定元帳、損益勘定元帳、未收金元帳或は未拂金元帳等の如きものである。元帳の分割は便宜上より生るもので簿記の一般法則には關係がない。

元帳は各勘定科目毎に頁を改める。仕入帳なき場合は工事勘定元帳を設ける必要がある。而して購入材料及び勞銀等は其の借方欄へ記入する。工事が完了したときは請負金額を其の貸方欄へ轉記し貸借兩欄

の差額を其の少き方の欄へ記入してバランスせしめ玆に工事勘定は結末を告げ差額は損益勘定に轉記せられて營業損益を表はすのである。

仕入帳を以て工事勘定を取扱ふ場合も元帳の場合と同樣の締切を行ふ。

或る人は工事は細目に亘つて元帳を設くべしと主張して居るが之は到底原價計算程の目的を達し得ないと思ふ。

金錢出納帳 金錢出納帳は元帳の一部を分擔するもので之が記錄は元帳の現金勘定と同一である。唯現金に關する取引は他の勘定に比して非常に多いので特にこの帳簿を設けるのである。現金、小切手の收入は金錢出納帳の借方に記入する。同時に元帳の對應勘定科目の貸方に同一金額を記入すべきである。

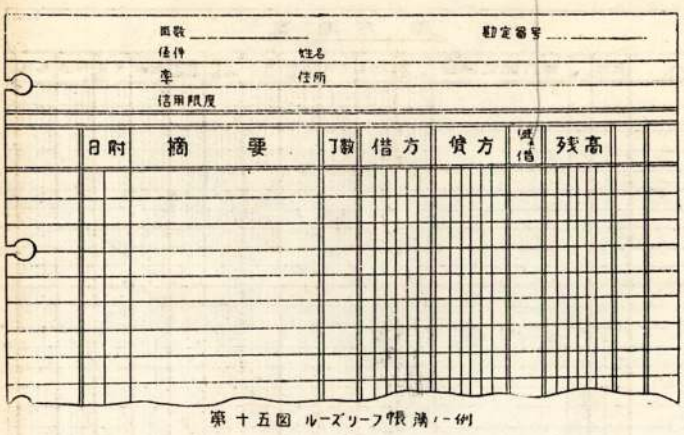
出納帳の殘高は手許現金及び銀行預金の合計と常に一致せねばならぬ。

手許金及び銀行預金の總額は次の書式によつて時々檢査する事が出來る。

當方支拂手形を銀行が引受支拂をした時は銀行の命令によつて小切手を振出さねばならぬ。若し未だ小切手を發行せぬ場合は小切手帳控に未拂金額を記し之を現在高より控除し正味在高を明記して置かねばならぬ

銀行は毎月當座勘定書を送つて來る。其際一緒に返還される支拂認票をチェックの上小切手帳尻額に未拂の支拂認票總額を加へると勘定書と一致するものである。

小切手帳、或る會計士は銀行との取引狀況を明示する爲に元帳を新設すべしと言つて居るが、之は小切手帳の控に計算して置けば夫で充分である。



第十五圖 ルーズリーフ帳簿ノ一例

現金現在高表

昭和四年八月一日

當月總支出額	18,300 22	七月一日現在高	10,250 67
現在高		當月總收入額	25,750 25
アトラス國立銀行	3,122 10		
トロイ信託會社	14,200 75		
手許金	377 85		
	36,000 92		36,000 92

第八章 損益勘定

普通各工事に對して總勘定元帳へ記帳せられる損益勘定に加ふるに各會社は左記の諸勘定科目の使用を必要とするものである。

利息及び割引料

支拂手形

受取手形

機械器具

材料 (貯藏品として手許に所有する場合)

損益

堪能なる會計士の立案のもとに練達せる簿記係を使用せる最も完全な組織に在つては右の外に各種の損益勘定科目を設定して財政の狀態を更に巨細に計算するものであるが原則としては以下述ぶる所のものと何等異る所はない。

利息及び割引料 利息及び割引料勘定は借入金に對して支拂はれる利息、未拂金を一定の滿期日を超えて支拂の猶豫を許可せられるこゝに對して支拂はれる一切の費用、未收金の即時拂に對して許容する値引、現金拂割引によつて得る利得、貸金より受くる利息及び未收金の滿期日を超えて支拂を猶豫する事により得る一切の費用を包含するものである。

引受けせる手形を受取つた時は割引の有無に拘らず其額面金額を未拂金勘定貸方へ記入する。若し手形が割引を受け得るものなれば支拂の際割引を受け未拂金借方欄へ支拂金額及び割引金額を明らかにして記入する。支拂金と割引金の合計は貸方金額と勿論一致する。

金錢出納報 の記錄は既に述べた通りである。而して利息及び割引料勘定貸方勘定には相手勘定と共に割引料を記錄する。受取手形の割引をした場合は受取手形勘定の貸方へ收入金額と割引額を記入し貸借平均せしめる。同時に現金勘定借方へ收入金の記錄をなし利息及び割引料勘定借方へ割引金額の記入をする。

借入金の利息として支拂ひたる金額は貸主が銀行と其他とに拘らず利息及び割引料勘定借方へ記入せられる。同樣に貸金の利息として得たる金額は同勘定貸方に記入せられる。一定の期末に於ける同勘定の貸借殘高は夫々損失額又は利益額を表示するものである。而して適當なる仕譯により本勘定を締切り損益勘定へ轉記するのである。

支拂手形及び受取手形 借入金、材料支拂代金又は未收金受取等に對して手形を利用し相當大規模の經營をなす場合には一定の支拂手形及び受取手形に對する帳簿を備ふるこゝが必要である。この帳簿には支拂又は受取金額の詳細なる說明、支拂場所、滿期日及び利率等に對する適當なる欄を設ける。併し乍ら一般建築業者の取扱ふ手形數より考へると斯る帳簿は殆んど其必要がない。從つて滿期日の如きは備忘帳又はカードに摘記して置けばよい。元帳では支拂手形及び受取手形に對して別個の科目を設け前者は當方發行の手形を記錄し後者は受取つた手形を記錄する。

銀行より借入れをなし利息を前引せられた場合の手續は次の通りである。

仕譯帳の記帳は

3/15 現金(借方) ¥ 2,985.00
利息及び割引料勘定(借方) 15.00
支拂手形(貸方) ¥ 3,000.00
手形 ¥ 3,000.00 = 對シ第一國立銀行ヨリ割引支拂ヲ受ク
但シ手形期限一ケ月利率年6分

此に伴ふ記帳は既に述べた通り現金勘定及び元帳の利息及び割引料勘定に就て行ふ。又支拂手形の貸方へも記帳せられる。同欄に於ける貸方殘高は發行手形に對する責任債務額を示すものである。

而して手形を支拂ひたる時の仕譯は

4/15 支拂手形(借方) ¥ 3,000.00
現金(貸方) ¥ 3,000.00
三月十五日附手形第一國立銀行へ支拂

此に伴ふ記帳は元帳の支拂手形欄及び現金勘定に就てせられる。若し利息を前引きせず。手形の滿期日に至つて支拂つたとすれば仕譯は次の通りである。

3/15 現金(借方) ¥ 3,000.00
支拂手形(貸方) ¥ 3,000.00
第一國立銀行ヨリ借入、手形期限一ケ月利率年6分

4/15 利息及び割引料勘定(借方) ¥ 15.00
支拂手形(借方) ¥ 3,000.00
現金(貸方) ¥ 3,015.00
三月十五日附支拂手形第一國立銀行へ支拂

勿論之に伴ふ元帳への記帳は仕譯帳の此等諸勘定によりなされるのである。

機械器具 機械勘定の記帳法は所有機械の種類及び仕事の性質により非常に異るものである。一般の建築業者は機械勘定を一つ設ける丈けで充分である。即ち其借方には購入代金、維持費及び修繕費等を記入し貸方には收入賃貸料を記入する。小器具は機械器具勘定に擧げないことゝする。

機械勘定の損益を計算するには機械の現在價格の評價をすることが必要である。この評價額を同勘定の貸方に加算し貸借差引を行ひ貸方側に殘高を生じたるときは其丈け利益を得て居るのである。若し少なければ損失を生じつゝあるのである。

會社によつてはスチーム、ショベルの如き大型の高價な機械を使用して居るから此等各機械に就ての損益を知り度い場合がある。かゝる場合は各機械に就て別個の勘定を設けることゝする。例へば『シューショベル第一號賃貸勘定』と云ふ一つの勘定科目を設け其借方には機械の維持費及び修繕費を記錄し他社への賃貸又は自己の工事に使用することにより收入する賃貸料は貸方側へ記入する。但し損益を定める場合には機械の償却高を決定することが必要である。

機械償却勘定 一般の目的としては機械の償却は機械勘定と損益勘定の記帳によつて處理されるものである。併乍ら所得稅に對する關係より言へばむしろ機械の償却高を速かに定めることが得策である。而してこの償却額は機械償却勘定に入帳せられるものである。

機械の償却には毎年一定率を前年の機械價格から控除するのが最も普通である。此の方法によるときは常に機械價格は幾何かの殘存額を有することになる。然るに若しこれを購買價格より一定率を減ずることにすると遂には全金額を償却し去ることゝなる。勿論眞の意味の償却額は其時に於て賣却し得る價格と購入價格との差である。

各會計年度末に賃貸機械勘定借方には償却額を加算し同一額を償却勘定の貸方に記入する。

勘定を締切るには次の仕譯をする。

機械賃貸勘定(借方) シューショベル第一號資本勘定(貸方)
償却金額ヲ機械ニ記入ス

シューショベル第一號賃貸勘定(借方) 損益勘定(貸方)
利益ヲ得タル場合トシテ貸方超過金額ヲ借方ヘ入レル
損失ヲ生ジタルトキン此ノ反對トナル

機械資本勘定借方は新機械の購入に充當し又は機械の改良、增設等を記錄する。但し維持修繕等は別に記錄する。機械資本勘定の貸借差引殘高は機械の現在價格を示すもので此の數字は後に述べる財政一覽表の資産中に計上せられるので尙次の合計年度に繰越さるべき性質のものである。

事務所用什器も同樣に處理せられる。一般に之等に對しては一つの資産勘定を設けるのが普通である。

小器具 ハンマー、ショベル、ピック、長靴等の如き小器具は之等を使用せる工事に直接賦課する。若し之を他に轉換せる場合は償却せられた金額を以て振替計算する。此の方法が他の方法に比較して最も實際の狀態に近いやり方である。

材料勘定 材料勘定は必要とする詳細の程度及び取扱材料の種類等によつて記錄法の異るものである。特に一定の工事の爲に購入したる材料は一般材料勘定に記入しない。これは却つて帳簿の混雜を招くものである。貯藏の材料が極めて些細のものであるときは建築材料と稱する一つの勘定科目で充分であるが若し各種の材料が多量に貯藏せられる場合には各材料に就て勘定科目を設けた方が便利である。材料勘定は購入又は現場より振替來りたる材料の價格を以て借方金額とし庫出材料の價格を貸方に記入する。

損益勘定 損益勘定は元帳中にて最も重要なる勘定科目である。

即ち之が正確な記錄は損益の狀態を最も明かに示すものである。勿論確實なる巨額の財產を有する場合は財政一覽表又は最終の損益勘定の記錄をする前に常に現在の價格を決定する事が必要である。建築業の一般方法としては損益勘定は工事の終了後になされるものである。若し工事に利益があれば借方に利益金額を記入して貸借平均せしめる。同時に損益勘定貸方に同一額を記入する。損失の場合は之と反對である。尤も營業費、販賣及び廣告費、機械器具、支拂手形、受取手形、利息及び割引料等の諸勘定は會計年度末に一括して損益勘定に振替えるのである。一般に損益勘定は貸方に超過金あるときはそれは其期間に於る利益であり反對に借方の超過金は損失となるのである。

統轄勘定　支拂金又は受取金に對する勘定を各々カード又は補助帳簿に記錄する場合には之等に對する元帳への各別の記入を省略し統轄勘定を設定して定時に合計額を元帳へ記入することゝする。即ち未拂金統轄勘定の貸借差引殘高は支拂義務ある金額を示し貸方のみの合計額は一定期間中に發行せる手形の金額を示すものである。又借方金額の合計は其期間中に辨濟した總金額を表はす。

試算表　帳簿の貸借が平均せりや否やを隨時に確かめる爲に試算表を作成する。試算表は現金勘定及び元帳各勘定科目の貸借兩側の合計を記載した簡單なる一覽表である。若し記帳が正しければ貸借平均すべきである。然らざれば何處かに誤謬が存在して居るのである。試算表は經驗ある會計士又は熟練なる簿記係にとつては正式の報告書として多くの貢獻をなすものである。故に每月試算表を作成するときは業務の狀態を大體察知することが出來るのである。

財政一覽表　定期に財政一覽表を作成して財政の狀態を明示する普通每年末に一回行ふ。本表は單に財政の狀況を明らかにするのみならず之を以て銀行並びに取引先に對する信用を維持するものである。

財政一覽表は個人經營と會社組織とにより其書式が全然異るものである。或州に於ては法律によつて財政一覽表の形式を制定せるものがある。斯る場合は注意して適法のものを作らねばならない。

個人經營又は合資會社の財政一覽表は比較的簡單で凡そ次の如き形式を有するものである。

財政一覽表

昭和　年　月　日現在

資產ノ部	
現金(手許金及び預金)	$ 10,500.00
現場小拂準備金	1,500.00
工事費未收金	25,900.00
工事費保留金	5,500.00
機械器具	5,000.00
事務所用什器	1,000.00
合計	$ 48,500.00
負債ノ部	
未拂金	$ 30,000.00
支拂手形	5,000.00
合計	$ 35,000.00
正味財產高	$ 13,500.00

株式會社の財政一覽表は稍々複雜である。資本金は負債として計算し之が利用に對する凡ての勘定科目を擧げなければならぬ。會社に贈與又は會社が買戻したる株、所謂金庫株は資產として計算する。其他會社の設立に要したる各種の費用は一時創業費として處理せられる。資本金は名目上の負債であつて株式の所持者は利益の分配及び資產の分配に與かる權利を有するものである。勿論資產の分配の如きは會社の解散する時のみに於て起る現象である。創業費として費消した金は名義上資產に屬せしめて居るが再用する事及び他の目的に用ふる事の出來るものでない。勿論流動的の價値を全然有しないものである。

株式建築會社の標準的財政一覽表を示せば次の通りである。

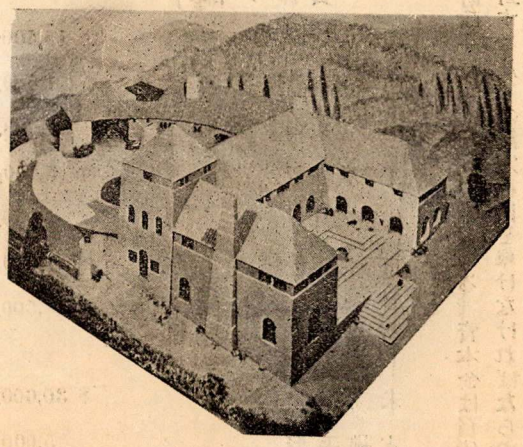
財政一覽表

資産ノ部		負債ノ部	
現金(手許金及び預金)	$ 10,500.00	優先株	$ 10,000.00
現場小拂準備金	1,500.00	普通株	5,000.00
工事費未收金	25,000.00	未拂金	30,000.00
工事費保留金	5,500.00	支拂手形	5,000.00
機械器具類	5,900.00	當期利益金	4,000.00
事務所用什器	1,000.00		
創業費	500.00		
金庫株	5,000.00		
	$ 54,000.00		$ 54,000.00

利益金を負債側へ記入するのは單に貸借を平均せしめる爲である。會社の正味財産は個人の場合と同樣總資産から總負債を控除したものである。併し乍ら兩者の間には重大なる相違がある。即ち第一の例に於て正味財産である千三百五十弗は一般に經營主の意思の儘に使用することの出來るものである。然るに第二の例に於ては同樣に正味財産を有つて居るが利益金として示された四千弗は一般の州法に於て制定する如く配當金として分配さるべき性質のものである。

註　本書の用例は凡て仕譯帳に於て現金の仕譯を行ひたり、最近或る會計學の權威は現金仕譯を仕譯帳に行ことを省略し直ちに金錢出納帳へ記錄する方法を主唱せり。兩者は原則に於て異る所なし、讀者は然るべく兩者を吟味し適宜の方法に據られ度し。

(以下次號へ)



1

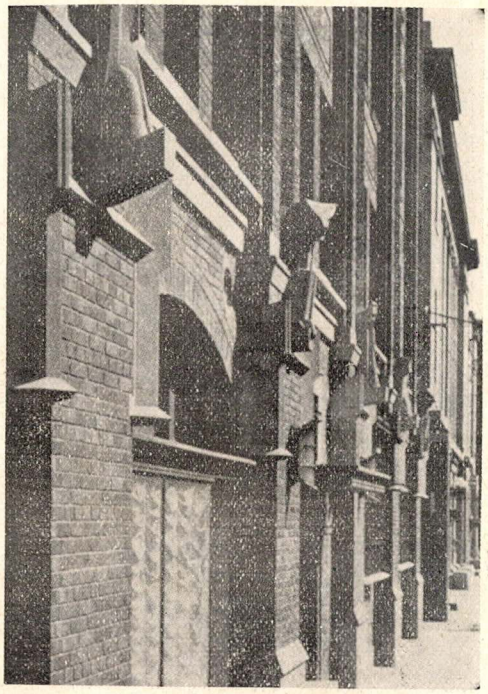


1 外觀
2 ビルヂング玄關
3 外部詳細

2



3



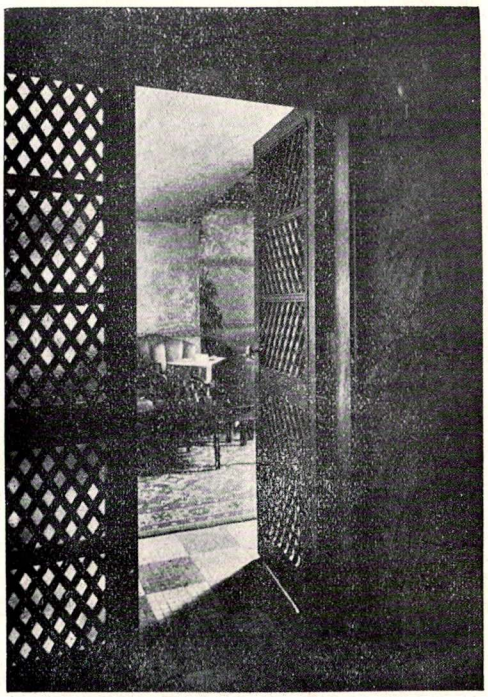
日本興業銀行神戸支店
設計者　渡邊建築事務所
施工者　株式會社大林組

1



1 ロツビー
2 銀行營業室
3 休憩室入口

2



3



日本興業銀行神戸支店
設計者　渡邊建築事務所
施工者　株式會社大林組

1

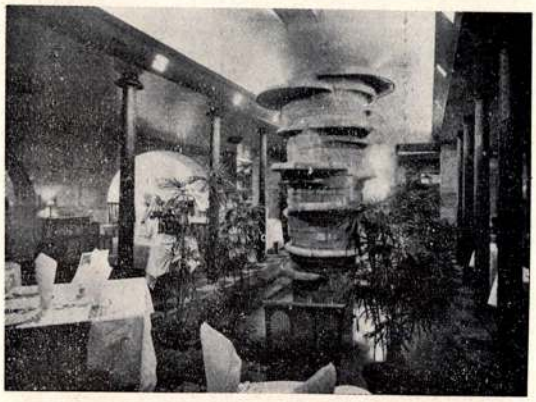


1 喫煙室
2 食堂入口
3 食堂
4 酒場

2



3



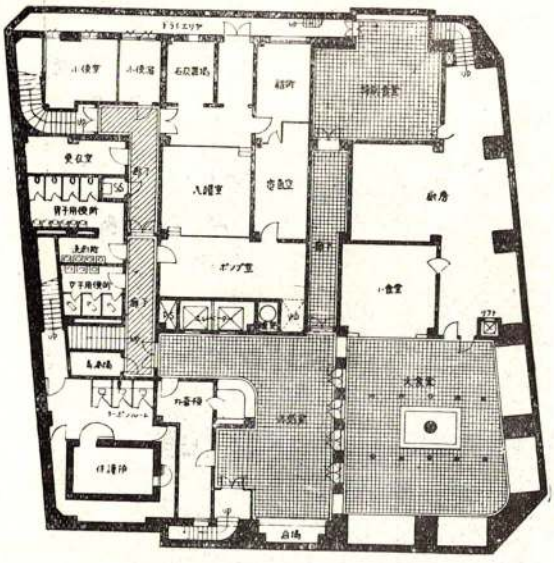
4



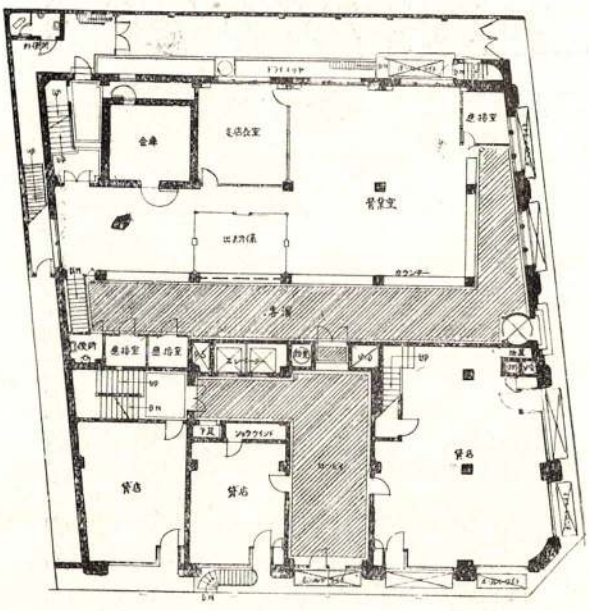
日本興業銀行神戸支店

設計者　渡邊建築事務所
施工者　株式會社大林組

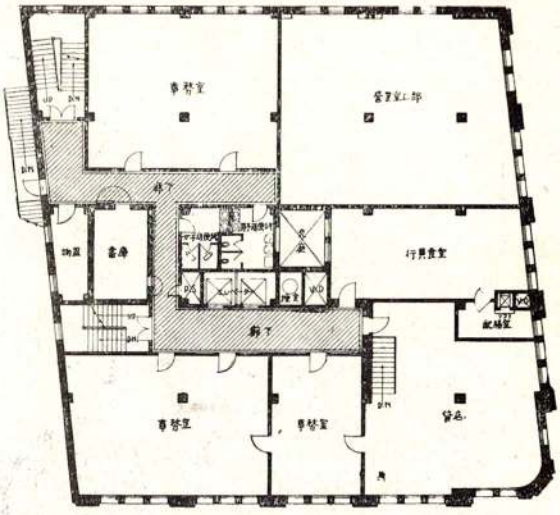
1



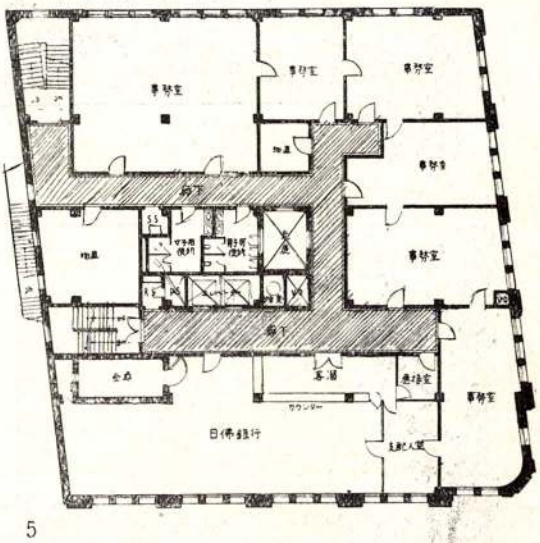
2



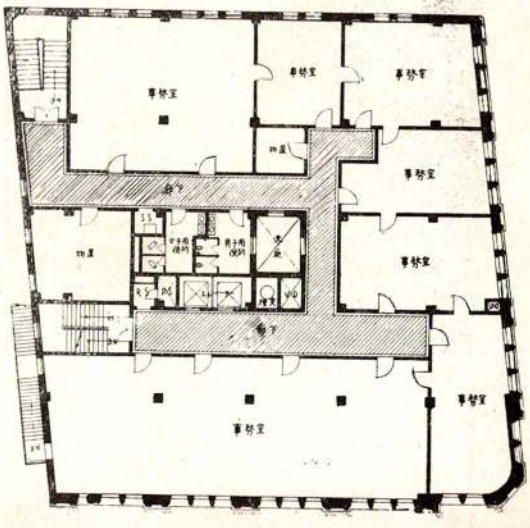
3



4



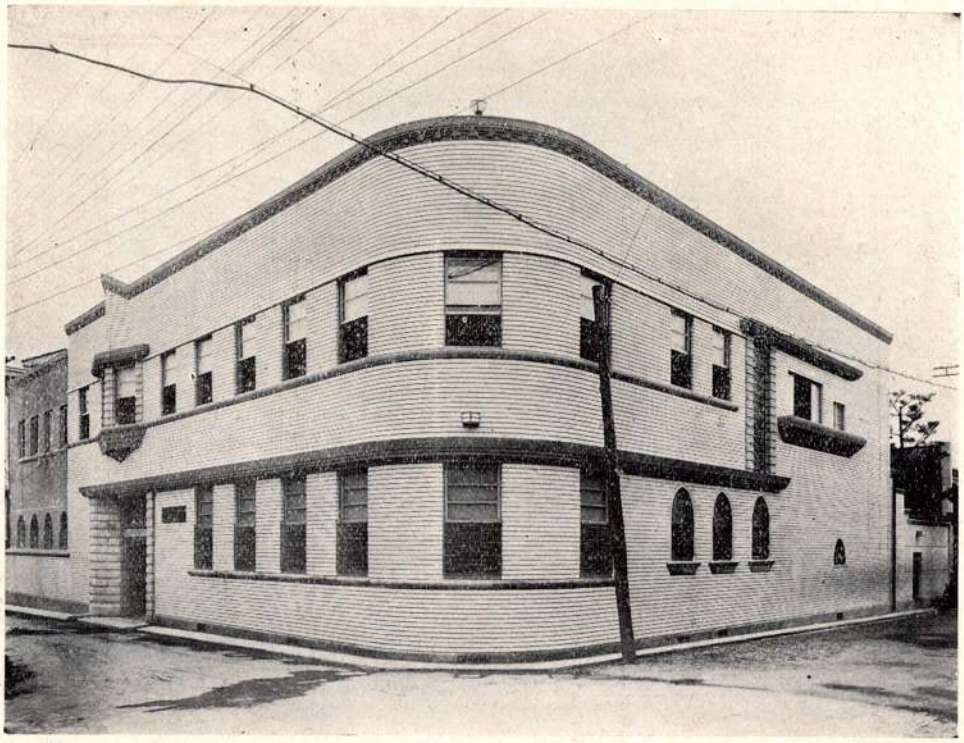
5



1 地階平面圖
2 一階平面圖
3 二階平面圖
4 三階平面圖
5 四・五階平面圖

日本興業銀行神戸支店

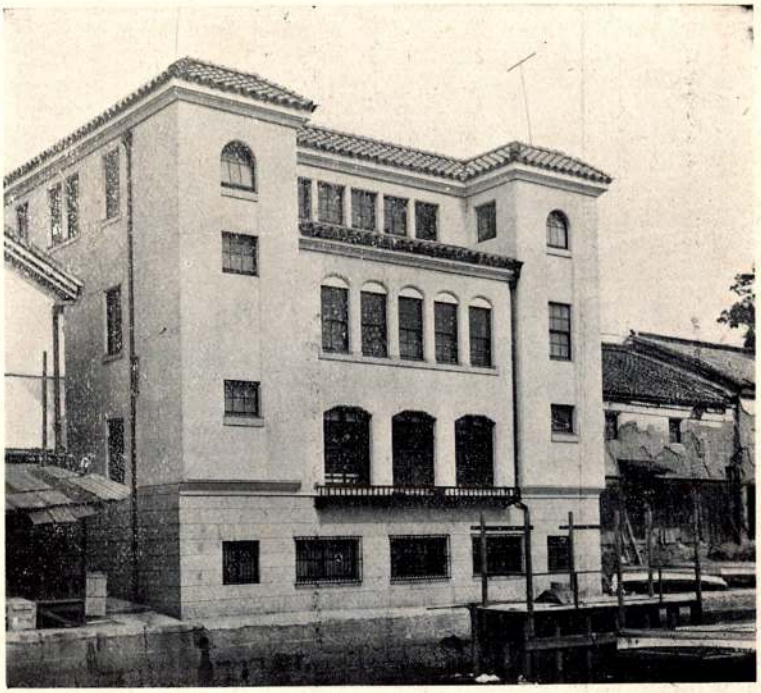
設計者　渡邊建築事務所
施工者　株式會社大林組



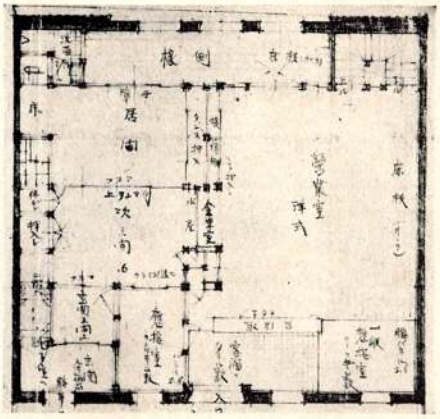
外觀

大阪・阪本印刷所
設計者 春日井建築事務所
施工者 久保田組

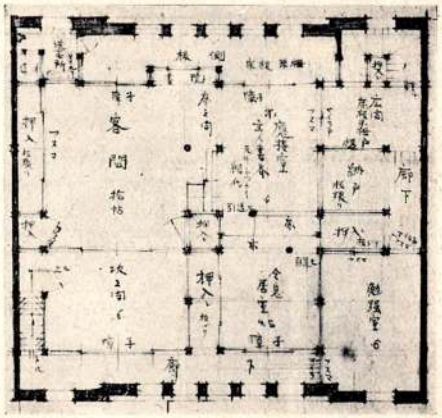
1



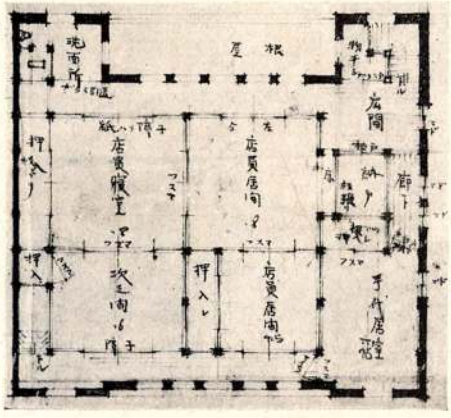
2



4



3



1 外觀
2 一階平面圖
3 二階平面圖
4 三階平面圖

大阪・某肥料商店

設計施工者　森本建築社

社團法人日本建築協會會報

六月例會

日時　六月二十日　午後六時三十分——九時三十分

會場　大同生命ビル八階第二第三集會室

記事　定刻片岡會長開會を宣し本夕講演會を催したる趣旨に付簡單なる挨拶ありて天沼博士を紹介す

同博士は左記演題の下に一時間半に渉る長講演をなし拍手裡に降壇會長より謝辭を述ぶ

醍醐寺三寶院及五重塔に就いて

次いで會長の紹介に林學士江崎政忠氏登壇

醍醐寺の沿革及美術に就ての題下に是亦時餘に渉る熱辯を振はれ聽講會員の大いに得る處ありたり

宗副會長講演者に叮重なる挨拶ありて拍手裡に散會したり　聽講者三十一名

定款改正特別委員會

日時　六月二十一日　正午——午後二時

會場　住友倶樂部二階談話室

出席者　幹事　德政金吾　酒井勇三郎

委員　和田貞治郎　横濱　勉

森本藤吉

研究事項一、本日は前回に引續き第十八條より研究討議をなす

展覽會宣傳部會

日時　六月二十五日　午後五時三十分——九時

會場　大同ビルライオン食堂

出席者　宣傳部長　德政金吾

委員　小川陽吉　中島　智喜

小西一良　須賀藤五郎

大丸委員長　安田孝次郎　大丸委員

刀根啓祐

記事一、德政部長座長となり初回の當部會開會に付一場の挨拶をなし次て當部のなすべき仕事豫算の僅少なること及今回の展覽會には大阪朝日新聞社が後援をなし呉るゝこと等に付說明ありたる後本夕は此僅少なる經費支出を以て最も有效なる宣傳方法を講じたく御協議する次第なりとて協議に入り、種々凝議の結果左の宣傳方法を取ることに決定す

1、ポスター配付　2、案內狀發送

3、ラヂオ放送　4、パンフレット配付

展覽會幹事會

日時　六月二十六日　午後五時三十分——同八時三十分

會場　協會事務室

出席者　委員長　宗　兵藏

總務部長　坪井　誠一

幹　事　今林彦太郎　波江悌夫

松本　儀八　阪井米吉

協議事項一、プランに就て

二、五日會案內の件

三、印刷物に關する件

四、會誌公告の件

五、材料出品割當の件

六、豫算其他

七、次回幹事會日取決定の件

定款改正特別委員會

日時　六月二十七日　正午——午後二時

會場　住友倶樂部三階小集會室

出席者　幹事　酒井勇三郎

委員　和田貞治郎　八木幸次郎

森本　藤吉

研究事項一、初回より審議の結果改正意見の個所に付書記をして摘指せしめ記錄により研究す

一、次て前回に引續き逐條的に研究審議をなし第一讀會を終了す

第三部（資料）委員會各分科會

日時　七月一日　午後六時——同八時

會場　大同ビルライオン食堂

第二分科會

出席者　主査　中村　義雄

委員　福澤谷藏代　木村　一

記事一、防水布の規格に付て調査の依頼をなす

第五分科會

出席者　主査　森本　藤吉

委員　藤村　愛資

記事一、スチールサッシ硝子平均寸法大阪建材商會提出の數量書に依り調査す

第六分科會

出席者　主査　阪井　米吉

委員　伴　秀雄　城口　龜吉

須賀藤五郎

記事一、洗面器のからん穴の寸法を大體決定す、但し尙充分の調査を必要となすに付次會に事業者の來會を乞ひたる上決定すること

展覽會幹事會

日時　七月四日午後五時三十分——同八時三十分

會場　協會事務室

出席者　委員長　宗　兵藏

幹　事　池田谷久吉　波江悌夫

本間乙彥　光安梶之助

小川安一郎　松本儀八

阪井　米吉

記事一、左記事項に付協議をなす

一、實習生使用の件

二、懸賞圖案審査日の件

三、豫算

四、委員追加の件

五、五日會宛書簡發送の件

尙各部の經過報告あり次回幹事會は必要の時招集することとして散會す

定款改正特別委員會

日時　七月九日午後五時三十分——同九時

會場　住友倶樂部二階小食堂

出席者　委員長　波江　悌夫

幹　事　酒井勇三郎

委　員　大澤幸平　和田貞治郎

高田利一郎　樋口辰太郎

研究事項一、現行定款と第一讀會とにて得たる改正案とを對照して第二讀會を始む

常務會

日時　七月十日午後五時三十分——同八時

會場　協會事務室
出席者　理事　片岡安　宗兵藏
　　日高胖
　　常務　德政金吾　坪井誠一　波江悌夫　岡部顯則　山脇友三郎　本間乙彦　松本儀八　酒井勇三郎
　　監事　横濱勉
報告一、六月分會計報告
一、定款改正特別委員會委員長更迭の件
議事一、七月例會に關する件
日時　七月二十日(土)
場所　嵐山納涼會を開催
電車賃　自辨
會費　金二圓五十錢其他協會補助
第四部(災害)委員會
日時　七月十日　午後五時——同八時三十分
會場　大同ビル地階ライオン食堂
出席者　委員長　光安梶之助
幹事　池田宮彦
委員　中島智喜　黒田茂　鹽路惣吉　篠原太郎　林豪藏　岡本弘
第一分科
記事一、高さに依る風壓の變化に就て各方面へ別紙照會狀を發送すること(別紙略)
第二分科
研究事項
(イ)光安委員長提出の鹽分を含有して良しからざる理由を建築學會々長宛問合すること
(ロ)コンクリート許可强度增加の件(鐵筋用)
現場實施のコンクリート供試材により破壞强度の數字的統計を取ること各委員其他の便宜により試驗結果を集めること
(ハ)(ロ)項に對し仕樣及施工方法の研究
一、學會仕樣書の研究
二、其他委員の研究調査に待つ
以上の條項漸進的努力に待つこと
定款改正特別委員會
日時　七月十三日　午後五時三十分——同九時
會場　住友倶樂部三階小集會室
出席者　幹事　德政金吾　酒井勇三郎
委員　中島智喜
記事一、前回に引續き現行定款と第一讀會にて得たる改正案と對照して第十七條より審議す
第三部(資料)委員會分科會
日時　七月十五日　午後五時三十分——同八時三十分
會場　大同ビルライオン食堂
出席者　三木矢倉　永田
記事一、主査缺席なりしも三木氏持參の見本により三氏に於て種々意見の交換をなす
尙矢倉及永田兩氏は各々所屬會社に於けるペイントの成分表及價格表を提出せらる
第六分科會
出席者　主査　阪井米吉
委員　井上國助　伴秀雄　城口龜吉　須賀藤五郎　東洋陶器澁谷經久氏
記事一、本夕は東陶專業者に來會を乞ひ本日迄決定せし事項を說明致し且決定寸法表を一時貸與し尙充分專門的に研究の上次回九月第一會合日迄圖面を作製し提出を願ふことに決定す
展覽會幹事會
日時　七月十五日　午後五時三十分——九時
會場　協會事務室
出席者　委員長　宗兵藏
幹事　坪井誠一　岡部顯則　德政金吾　本間乙彦　池田宮彦　小川安一郎
報告一、追加豫算承認の件報告
一、各部經過報告
一、五日會より多忙の爲出品辭退申越の件報告
協議事項一、懸賞圖案集を作成し展覽會場にて發賣しては如何の問題起り協議の結果作成のことに決定し本間幹事に計畫を立てゝ貰ふ事に決定す
評議員會
日時　七月十六日　午後五時——同八時三十分
會場　大同ビルライオン食堂
出席者　伊藤幸太郎　本間乙彦　大野直平　小川陽吉　渡部圭吾　和田貞治郎　高田利一郎　坪井誠一　村上徹一　久保田筆雄　前内文二郎　小西一夏　酒井勇三郎　下浦光衛　樋口辰太郎　森本藤吉　片岡安
記事一、本夕出席者十七名なるを以て、會長、會の不成立の旨を述べ切角の來會に付懇談會を開くことゝせり
展覽會宣傳部會
日時　七月十八日　午後五時三十分——同九時三十分
會場　大同ビルライオン食堂
出席者　宣傳路長　德政金吾
幹事　池田谷久吉
委員　中島智喜　小西一夏　須賀藤五郎代
大丸委員　安田支店長代
協議事項一、ポスターに關する件
一、パンフレットに關する件
一、案內狀に關する件
一、ポスター配付の件
一、入場券發行の件
一、其他
評議員會
日時　七月十九日　午後六時三十分——七時三十分
會場　住友倶樂部大集會室
出席者　議長　片岡安
評議員　横濱勉　高田利一郎　宗兵藏　坪井誠一　姫野武
第一部委員會幹事　小川安一郎

記事

議案第一號　建築士法案特別委員會に關する件
議案第二號　名譽賛助員推薦及削除の件
議案第三號　財産管理に關する件
議案第四號　美觀地區並風致地區指定促進建議の件
議案第五號　大阪府令湯屋取締規則一部改正意見建議の件

轉勤轉居

會員

中根　龜一君　大阪府中河内郡高井田村鴨高田神社前
小川　久市君　大阪市住吉區南田邊本町六丁目三八
長田岩次郎君　神戸市六甲停留所前
佐藤正次郎君　大阪市西淀川區大仁西一丁目二〇政正合名會社
谷田　實君　神戸市西灘上野字桑原六〇七ノ一

會員（地方在住）

中村　庸二君　東京市日本橋區蠣殻町一ノ一中村庸二土木建築事務所内
小野　武雄君　東京府豊多摩郡井萩町上井草一四五八（西荻窪下車西北一丁半）
山木　喜一君　東京市外碑衾町二六三五
森　義弘君　兵庫縣明石市太寺二九六〇番地
堀本　義雄君　倉敷市外酒津倉敷絹織株式會社增築建築場　藤木工務店出張所
黒住福三郎君　富山縣婦負郡西呉羽村字小竹　呉羽紡績株式會社工場新築工事場　大林組呉羽出張所

普通賛助員

井上新太郎君　神戸市中山手通三丁目五十五番ノ二
藤井　潔君　臺灣臺北市大正町三丁目三二
永井　亨一君　廣島市船入町公園通り九一五ノ四
福山平太郎君　大阪市外千里山住宅地六號　新京阪鐵道株式會社地所課
小宮山　實君　山梨縣第一建築工營所宿直内
荒井　龍吉君　下關市後田町下關中學校新築工事場　大林組下中出張所
中村　重壽君　德島市前川細町六五
森村　正義君　京都市下京區東堀川松原下ル樫橋町十四番地
若宮　虎吉君　大阪市住吉區南田邊町昭和園

入會者

會員

秋田喜代治君　大阪市東區餌差町二〇五
福井　鎭夫君　大阪市東區東阪町四八二番地
小室千代松君　大阪府三島郡吹田町旭町中通一、一〇六
吉田　信武君　大阪府北河内郡住道村
阪田　春彦君　京都市左京區吉田神樂岡町十九番地
福田繁太郎君　大阪市西淀川區浦江上一丁目一七
高門助次郎君　大阪市東淀川區北大道町二〇八八
坪井　利雄君　大阪市東區横堀五丁目一〇番地

退會者

普通賛助員

佐藤　正輝君

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社
都人　每號　其　社
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　其　社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
工政　每號　其　會
經濟資料　每號　東亞經濟調査局
土木建築　每號　其　社
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業俱樂部　每號　其　部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　每號　其　會
工業評論　每號　其　社
電氣學會雜誌　每號　其　會
鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　每號　關西園藝會
土木建築之日本　每號　其　社
工業ト社會　每號　東京工業會
工業　每號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　每號　其　協會
庭園と風景　每號　日本庭園協會
圖書室月報　每號　東京市政調査會
大阪工業俱樂部　每號　其　部
エンヂニヤリング　每號　其　社
工業要錄　每號　其發行所
名古屋工業會々報　每號　其　會
大阪　每號　大阪都市協會
都市問題　每號　東京市政調査會
新建築　每號　其　社
京都の實業　每號　京都商工會議所
都市創作　每號　其　會
木材彙報　每號　大阪木材協會
建築學研究　每號　其　會
大阪土木建築業組合報　每號　其　組合
木材新聞　每號　關西木材商報社
工業新聞　每號　其　社
日本建材新聞　每號　其　社
日本建築士　每號　其　會
東洋建材時報　每號　其　社
朝鮮鐵道協會會誌　每號　其　協會
住　每號　其研究　社
超科學　每號　大阪網島工業會
建築業協會々報　每號　其　協會
建築畫報　每號　其　社
土木建築工事畫報　每號　其　社

社団法人 工業之大日本 動力之節約 毎號其題目ヲ掲ケ工場能率増進研究會

役員

會長 理事 評議員 片岡安
副會長 理事 評議員 宗兵藏
副會長 理事 評議員 日高胖
監事 評議員 池田實
院事 評議員 横濱勉
主記 常務 評議員 德政金吾
同 常務 評議員 坪井誠一
同 常務 評議員 波江悌夫
主計 常務 評議員 岡部顯則
同 常務 評議員 吉井長七
同 常務 評議員 山脇友三郎
編輯 常務 評議員 池田谷久吉
同 常務 評議員 木間乙彦
同 常務 評議員 松本儀八
同 常務 評議員 酒井勇三郎
評議員 伊藤幸太郎
評議員 小川陽吉
評議員 大野直平
評議員 大澤幸平
評議員 渡部圭吾
評議員 和田貞治郎
評議員 高田利一郎
評議員 竹内綠
評議員 竹田延朗
評議員 中村義雄
評議員 中鳥智喜
評議員 村上徹一
評議員 久保田肇雄
評議員 熊澤榮太郎
評議員 山脇友三郎
評議員 八木幸次郎
評議員 前内文二郎
評議員 增山新平
評議員 牧野利秋
評議員 小西一良
評議員 阪井米吉
評議員 芝田知重
評議員 下浦光衛
評議員 姫野武
評議員 樋口辰太郎
評議員 森本藤吉

編輯後記

◇空高く澄んで來た日、水氣を失つた梧桐の葉ずれ、巷を行く斷髪のモガの襟元からフエルト草履の足裏にまで秋の氣配はひたゝ〳〵としのびよつて來た。

◇世紀の奇蹟空の巨人、Z伯號は世界の驚異の嵐をまき起しつゝ、遂にわが國を訪れた。

◇「時」といふ縦の關係において、また「空間」といふ横の關係において、距離といふ概念の内容が甚だしく變つて來た。

◇距離の短縮は、換言すればわれわれの實生活が益々擴充され、われわれの眞生命がいよいよ延長されて行くを物語る。

◇商店建築特輯號を、燈火親しむの机上におくる。

◇本號は最近小地震が頻々と各地に起つて居る折りから紀伊半島に於ける地形變動に就いて權威今村博士の御發表を得た、讀者諸士の味讀を願ひたい。

◇村野氏は久方振り、新名氏は最初共に商店記事、宮飼氏のものと併せて好資料敢て奨む。下村氏のもの益々熟加わる、來月を以つて打切り更に稿を改めらるゝ由、

◇八月中旬の本會主催貸家展大成功裡に終る、詳細は貸家展見たまゝに依りて知られたい。

◇本會發行の「住宅懸賞圖案集」は第六版を重ね、賣行ますます盛んなり、まだの方はどし〳〵申込んで頂きたい。

本誌定價表

册數	定價 郵稅
一册	五拾錢 貳錢
十二册	六圓 貳拾四錢

昭和四年八月廿八日印刷（毎月壹回）
昭和四年九月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人 鷹取陽

大阪市東區内淡路町一丁目七番地
印刷所 大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所 社團法人日本建築協會
電話土佐四一六五番
振替口座大阪三九九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店 柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

國産

アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御參考上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目〇

東京本社 下関 小樽

S

設計監督

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

T

設計監督

朝永建築事務所

朝永國次郎

大阪東區空堀通一ノ八六

電話東四四五七番

T

設計監督

田村事務所

工學士 田村啓三

大阪市北區中ノ島二丁目一四日本産業内

電話本局自二六〇番至二六四番

東京事務所 東京市丸ノ内ビル三一五區

電話丸之内(23)一八七四番

U

設計監督

上野建築事務所

上野伊三郎

京都市上京區竹屋町通河原町東へ入ル末丸

電話上二九五二番

W

設計監督

和田建築事務所

建築士 和田貞治郎

大阪市北區中ノ島中ノ島ビル三階

電話土佐堀七三二三番

Y

設計監督

横濱建築事務所

建築士 横濱勉

工學士

大阪市北區大江橋北詰

堂島ビル四〇六室

電話二三九九番

Y

設計監督

横河工務所

工學博士 横河民輔

工學士 松井貴太郎

田中綱

大阪市東區高麗橋三丁目二八

千代田生命保險建物三階

電話本局二九六四番

東京市麹町區有樂町一丁目

一番地 帝劇事務所四階

電話丸ノ内(23)一〇九三番

Y

設計監督

安井建築事務所

建築士 安井武雄

工學士

大阪市東區高麗橋筋二丁目

高麗橋野村ビルヂング六階

電話本局二〇七二番

建築事務所錄

O—O　　O~S

O
設計監督
小笠原建築事務所
建築士　小笠原　釿（マス）
大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビル第四十一號室
電話北二一五五・二一五六番

O
設計監督
置鹽建築事務所
工學士　置鹽　章
神戸市榮町二丁目山口ビル四階
電話三宮(3)三四七〇番

O
設計監督
小野木横井共同建築事務所
工學士　小野木孝治
工學士　横井謙介
大連市紀伊町八五
電話三五四五番
電話五一九九番

S
設計監督
宗建築事務所
建築士
工學士　宗　兵藏
建築士　須川廉太郎
工學士　脇永一雄
大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

O
設計監督
大阪建築所
建築士　熊澤榮太郎
大阪市北區中ノ島七丁目十七番地
電話土佐堀二二八〇・六一〇三番

S
設計監督
島田建築事務所
島田良馨
大阪市西區西長堀北通
一丁目一五大阪實業協會
電話新町一四九四・一四九五番

O
設計監督
岡部建築事務所
建築士　岡部顯則
大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビル三階K室
電話土佐堀五三二三番
宅　大阪市住吉區天王寺町二二九
岡山出張所　岡山市石關町一二〇番

S
設計監督
清水榮二建築事務所
工學士　清水榮二
神戸市六甲八幡友田三三
電話御影二三九九番

K
設計監督
春日井建築事務所
建築士　春日井政一
大阪市北區南森町交叉點天滿ビル
電話北三三〇三・三三〇六番

K
設計監督
片岡石本建築事務所
工學博士　片岡安
工學士　石本喜久治
大阪市北區堂島大每ビル五階
電話北四〇六四番
東京市丸ノ內郵船ビル六階
電話丸ノ內(21)二九八一番

K
設計監督
葛野建築事務所
工學士　葛野壯一郎
北區絹笠町大江ビル
電話北二四九二番

M
設計監督
眞水三橋建築事務所
松下由藏
早大工學士　太田正之
大阪市北區眞砂町四一
電話北二〇四一番

M
設計監督
村上建築事務所
村上徹一
大阪市東區淡路町三丁目船場ビル
電話本二七五〇番

N
設計監督
野村一郎事務所
建築士
工學士　野村一郎
大阪市北區梅田新道大平ビル內
電話北三〇四番
東京市丸ノ內仲通十四號館四
電話丸ノ內二三八五番

N
設計監督
中村建築事務所
中村義雄
中村勇
大阪市天王寺區上本町九丁目四九
電話南五三七九番
東京出張所　東京市神田區旅籠町萬世アーケード內
電話下谷一一八八番

N
設計監督
浪花設計事務所
佐藤松太郎
大阪市東區大手通一丁目一五
電話東五六八三番

F
設計監督
古塚建築事務所
古塚正治
西宮市市庭町四二
電話西宮一〇三八番

H
設計監督
橋本建築事務所
建築士 工學士 橋本勉
大阪市西區土佐堀通一大同生命ビル第八階
電話土佐堀九三八番
東京事務所 東京市丸ノ内八重州ビル四階
電話丸之内一六三五番

H
設計監督
原科建築事務所
原科準平
神戸市中山手通一丁目柴田ビル二階
電話葺合(2)四〇五三番

H
設計監督
本間建築事務所
本間乙彦
大阪市西區土佐堀通一大同生命ビル第七階
電話土佐堀四三四三・四三四五番

I
設計監督
井原建築事務所
井原國三
大阪市西區信濃橋交叉點
電話土佐堀一七二三番

I
設計監督
伊藤建築事務所
伊藤幸太郎
大阪市港區夕凪橋畔佐伯ビル
二階第二號室
電話西二六八一番

I
設計監督
池田建築事務所
工學士 池田實
大阪市南區難波驛前鴻池ビル
電話戒一一二三番
宅 大阪市住吉區住吉町一七四

I
設計監督
池田谷建築事務所
建築士 池田谷久吉
大阪市西區京町堀上通一彌生ビル
電話 土佐堀 一五八一・二九五五 三四〇八・四八六七

K
設計監督
國枝工務所
工學士 國枝博
大阪市西區本田通一丁目住友ビル三階
電話西三四三三番
東京市京橋區南紺屋町實業ビル五階
電話京橋五六六九番

西原式 汚水淨化裝置

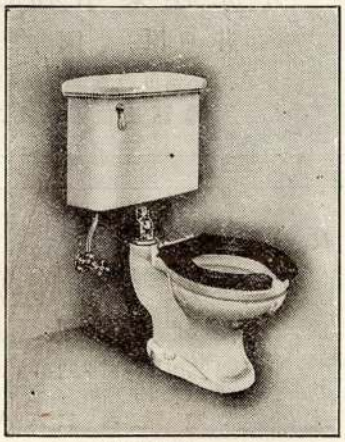
專賣特許 第四二五九二號　新案特許 第四三二一號 第六一三五四號 第六一四二三號 第六〇七二號

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

大阪市北區中之島五丁目三十番地

西原衛生工業所大阪支店

電話 堀佐土 三七八一 一五八一番

京都市萬壽寺通烏丸東入

西原衛生工業所京都出張店

電話 下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話 局北一一五七番
北一五〇七番

大阪市東區釣鐘町二丁目廿九番地

大倉土木株式會社
大阪出張所

電話東長 自三二一 至三二五
一三一二・六二五〇

和洋住宅專門

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話北 一五六二
一五六三

衛生工業設備一般

設計施行及器械販賣

給水裝置　排水裝置
防火裝置　衛生裝置
煖房裝置　給汽裝置
給湯裝置　換氣裝置

大阪市北區中之島七丁目
（河野ビルヂング）

衛生工業商會

電話北一〇六・〇八二二番

建築請負業者案内

（次第不同）

大阪市東區農人橋二丁目十二番地

合名會社 **大阪橋本組**

代表社員 橋本政吉

電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

東京市麹町區八重州町一ノ一 八重州ビルヂング四階

東京支店

電話丸ノ内(23)四七八〇番 (四七八一番)

小倉市大阪町十丁目百廿二番地

九州支店

電話長四三〇番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店 東京、横濱、名古屋、小倉

營業所 京都、神戸、

工作所 大阪、東京、

特許ORC式テーパー型鐵筋コンクリート造

煙突工事

（カタログ進呈）

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三

電話櫻川長一〇八六・二六二二

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

石川屋

電話本町八三四（本店）

櫻川一六七（工場）

岡本工務店

岡本武藏

岡本新次郎

山中茂一

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

中新工事負請業

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北一五三番

東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目參番地
電話神田(25)三〇五番

足代(假設)
材料(損料)
鳶方(手傳)

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ内郵船ビル　丸ノ内(23)長一二五〇
神戸市熊内町六丁目　貯合　八〇六
名古屋市西區菅原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
長電町局番(三)

製作所
大阪市港區南境川町　西長八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

建築請負業者案内

（次第不同）

諸石材販賣彫刻請負業

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番

出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
高島產錆色（人造石用）石粉各種
黃龍石材各種）幷ニ

株式會社

松村組

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東長（二一七一番 二一七二番 二三五三番）

東京本社
東京市麹町區內山下町一丁目一番地
電話銀座（二二三三番 二二三四番 二二三五番 二二三六番 二二三七番）

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

合資會社

山田大理石製作所

大阪市此花區吉野町二丁目一六
電話土佐堀四三四二番

長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

大阪市港區小林町七十五番地

藤木工務店

藤木正一

電話淺櫻川（64）一五五八番
一五八八番

東京市深川區平久町二丁目一一番地

東京支店

電話本所（73）二六四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目六
電話土佐堀（長二六二・四二一七）二六三・四二一八）番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番 一九九一番）

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

合名會社 **有山組**

大阪市東淀川區十三西之町
電話 自宅用 北二〇五〇
營業用 北三〇五一

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話 櫻川（六五八八）二八六番

安藤組大阪支店

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **佐伯組**

本店 大阪市港區市岡元町五丁目八番地

市電築港線夕凪橋停留場前

電話 長西一〇九〇番 西二六八一番 西五七〇九番

出張所

東京 鹿兒島

横濱 宮崎

福岡 大分

熊本 出坂

森本建築社

大阪市南區高津三番丁三番地

電話局戎二八一〇番

東京支店

東京市日本橋區濱町三丁目一番地

電話浪花三二四六番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地

電話局土佐堀（六六六番 六六七番）

（本店）東京

（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（局三四一七 三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（長四二九二番 長四二九三番 長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所

電話東三五一八番

橫濱市高島町六丁目一二

橫濱出張所

電話本局三〇七六番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式 特許第七四四七七號
製造法式 特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

コンパウンド
パーマネントルーフイング
疊下用紙
建築用紙
フエルト
C印フエルト
ルーフイング

國産として優秀なる



御用命

三菱地所部殿
東京府市殿
大藏省殿
文部省舍殿
鐵道舍殿
陸軍廳舍殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高組殿
橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

佐久間建材工業所

所主 佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所 電淺草五〇〇六番
千住工場 電千住四〇〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場 電淺草二五六番

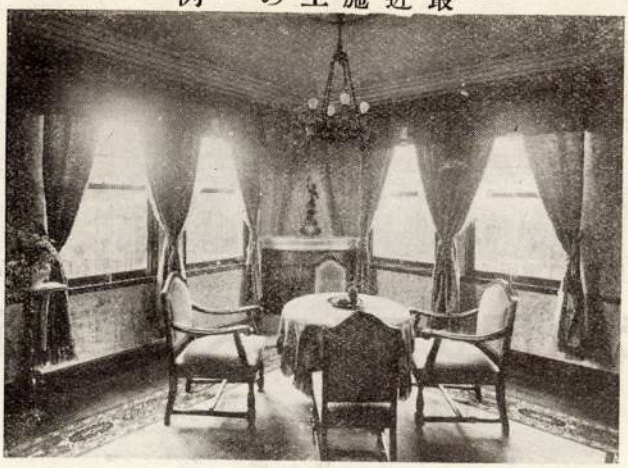
東京工業試驗所報告

品名	抗張力 縱	抗張力 橫	水壓力 氣壓	加曲試驗 丸棒直徑	加曲試驗 回轉度	加曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓩 70·5	瓩 42·9	1.4	糎 0·5	° 180	生ゼス	大正十四年二月甲二十六日
菜舶來一流(1)プライルーフイング	瓩 53.7	瓩 21.8	1.2	同 1.3	° 180	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓩 74.4	瓩 55.9	1.7	同 0.5	° 180	生ゼス	大正十五年二月十日
菜舶來一流(1)プライルーフイング	瓩 80.3	瓩 39.3	1.2	同 1.0	° 180	生ゼリ	同上

（見本カタローグは御申込み次第贈呈）

家具と裝飾

最近施工の一例



弊店は眞面目がモットー皆樣方の使用人

大阪市西淀川區海老江上三丁目一一七

岡家具裝飾店

電話土佐堀二九六九(福祿)　振替大阪七九七三三

特許

煤ト煙ハ出マセン

專賣

動床式

鐵ダマ入
燃燒裝器

風呂

竈

長州風呂
箱風呂
他種應用自在



用途

長州及箱風呂
製飴用煮竈
飲食屋竈
染晒沸釜竈
酒造其他煮沸釜竈
澤其他殺菌竈
工場其他雜用沸竈
錢湯用風呂釜

最近御採用先

一住友工作部建築課殿
一三菱造船所建築課殿
一竹中工務店殿工事先
一京大工教授山田氏邸殿
一京大工教授岡本氏邸殿
一工學博士井口氏邸殿
一武田長兵衛氏邸殿
一醫學博士藤田氏邸殿
一山本東作氏邸殿
一高島味淋釀造所殿
一大黑正宗釀造所殿
一株式會社壽屋殿
一府下山崎釀造所殿

發明者燃料實驗所長
工學博士　內藤游
燃燒有利
煤防除ニ關スル工事設計

㊥ 波江野工生所

大阪市西區江戸堀下通四丁目十三
電話土佐堀七〇三九番

特賣店　株式會社　須賀商會

大阪市東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番

スチール サッシュ
スチール ドアー
スチールシャッター
手動昇降機

合資會社

榮進社

營業所 東京市 京橋區 南鞘屋町 十二番地
實業ビルディング三階
電話 京橋(5)二二二九番

第一工場 東京府下日暮里町日暮里 一二八番地
電話 下谷(83)一〇二七番

一四〇二番

第二工場 東京府下日暮里町大字
谷中本二五六番地

一四八三番

出張所 横濱市 中區 常盤町 一丁目一番地
常盤ビルディング三階
電話 長者町二七一四番

大阪市北區梅ヶ枝町梅ヶ枝ビル 二階
電話 北 三一二五 五三五九
五八六八 二八四六

神戸市 平野下濱通町 一三番地
電話 元町 二七〇九番

大連市紀伊町八五 滿洲鐵物協會ビル階下
電話 四六〇二番

Fujita Super-Septic Tank

藤田式汚水淨化槽

給水衛生工事設計請負

藤田商會

電話 土佐堀 2336

大阪市西區京町堀上通三丁目七番地ノ一

大理石工事請負

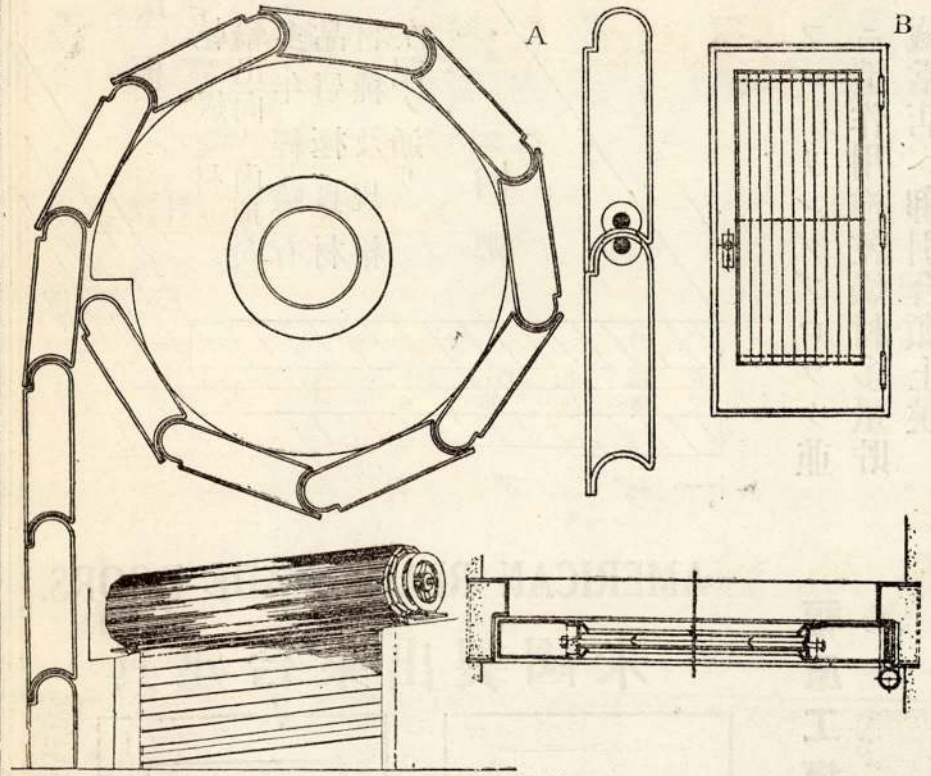
合資會社 矢橋大理石商店

本店 岐阜縣不破郡赤阪町 電話 長 五 番

出張所 東京市麹町區丸之內町二丁目八番地 電話 長 丸ノ內四六三九番

大阪市東區北濱四丁目二十二番地 電話 長 本局五三一九番

高級 ユニオン特許（パイプ）シャッター ドアー



ユニオン特許（パイプ）ドアー

一、本**ユニオンドアー**ハ上圖(B)斷面中空管ノ多數ヲ各々其ノ凸凹部ヲ相嵌合セシメタルモノヲ縱又ハ横ニ組合セ框ト共ニ「**ボールト**」ヲ以テ締付ケテ組立テマス故ニ自體ガ高尙ナ多管式ニ裏張リ戸トナリ輕量且ツ堅固ナリ然而各中空部ニハ防火資料其他ヲ填充スルハ自由ナリ故ニ防火、保溫、保冷、防音等幾多ノ効果ヲ有ス尙斯クノ如キ構造ナルヲ以テ戸面積ノ如何ニ不拘歪ヤ捻レヲ生スルコトナシ又中空管ノ各接合部ハ精巧ナル技術ニヨリ單ニ糸線ヲ劃シ々程度ノモノニテ却ッテ美觀ヲ呈シマス

一、製作種類
縱ヘハ横桟式入各種唐戸
硝子入リ、開、引分、釣戸
雨戸用、間仕切等各種

本品ハ總テ亞鉛鍍金ヲ施シ錆止トナスコトヲ得

ユニオン特許（パイプ）シャッター

一、本**ユニオンシャッター**ハ上圖(A)斷面中空管ノ多數ヲ各々其ノ凸凹部ヲ相嵌合セシメ連綴シテ成ルモノナリ
一、中空管ナル故ニ防火ノ効果偉大ナリ
一、中空管ナル故波狀ノ要ナク充分ノ强度ヲ有シ且ツ捲納リ徑ハ山型ヲ有セザルモ「**キネヤ**」型ト變リナシ
一、中空管ハ長方形箱ニシテ繼手金具ハ外面ニ露出セス碍害ヲ防キ一枚板ノ如ク表裏トモニ**スツパリ**ト丁裁ヨク**レール**及楣等ニ間隙ヲ生セス火煙ノ浸入ヲ防遏ス
一、製作種類捲揚式、竪捲込式、横引式各種

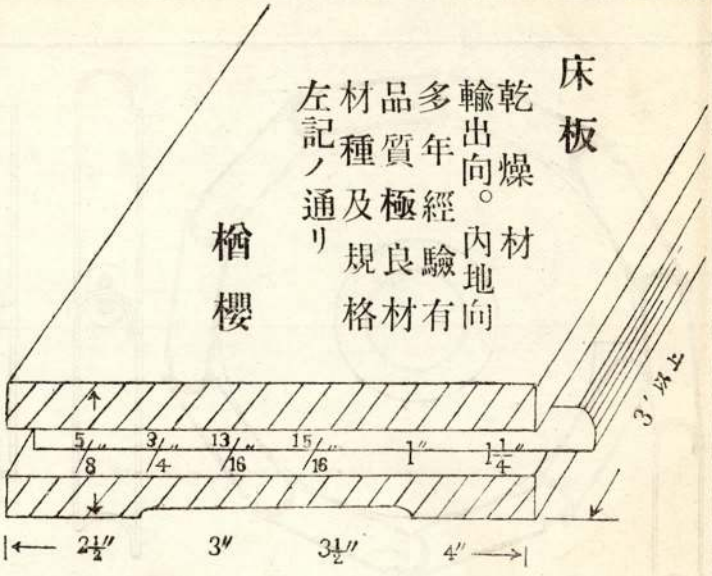
西孫南店建築金物部（直輸出入部 大阪市南區順慶町二丁目 電話船場一六九、一九七、三〇二九）
大阪市北區南森町・電話北二八五番

候上願覽熟御下被寄立御ハ際ノ序御間候居申列陳ニ店弊ハ物實

床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢
櫻



フローリングブロック並
ニ造作用楢乾燥材多量貯
藏當店へ御引合願上候

貯藏板子材厚ミ
1″
1¼″
1½″
2″
2½″
2″

AMERICAN READY-MADE DOORS.

米國製出來合建具

今回第一着手トシテ米松製ノミヲ輸入致シマシタ貸事務所、學校、病院、簡易住宅、等ニ比較的豫算ノ少ナキ御建築ノ際御引合下サイ絶對歪ハヌ建具ヲ安ク差上ゲマス

Door List of Size
出來合建具寸法表

高	巾	厚
6′6″	2′	1 3/8″
6′6″	2′6″	1 3/8″
6′6″	2′8″	1 3/8″
6′6″	3′	1 3/8″
7′	3′	1 3/8″

福原工場大阪販賣店
港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

東京販賣店
京橋三四六一

福原床板製造工場
小樽市入舟町二丁目三四番地
電話二五二九・一二三番
振口小樽二五六七番

名古屋販賣店
南三九〇

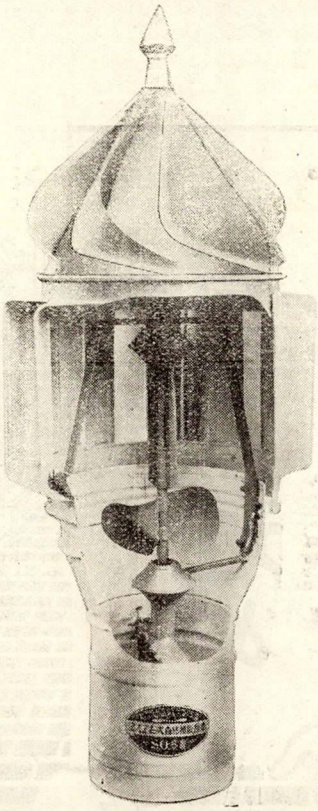

金剛煙突
◆材料販賣!!!
一、石綿セメント部
金剛煙突
金剛板
浪形スレート
二、アスファルト部
金剛ブロック及
プルバー
内外各種フェルト
及ルーフキング
ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
三、理想的壁材料
淺野理化學製
ソリテツト
安全壁及スタイン
ソリテチットタイル
四、實用向ニ出來タ
ダイヤ印ベンチレーター
◆工事請負!!!
金剛商会のモットー
上見て進め
下見て暮せ
金剛
アスファルト
ブロック
株式會社 金剛商會
本店 東京市芝區虎ノ門
大阪支店 大阪市北區中ノ島四丁目
名古屋支店 名古屋市中區南園町二丁目
電話 芝三九三・三九四・三九三
電話 土佐堀二〇二・五九二・四五五
電話 本局 一五三一

新案特許

プロペラー　特許　No. 118986
防水裝置　特許　No.　1306

エヌエム式自然換氣風車

最新考案特許二件ヲ有スル
理想有効保證ベンチレーター



外側笠ノ廻轉ニヨリ内部吸上ゲプ
ロペラーノ廻轉ニヨリ換氣量ヲ最
大ナラシム

大阪市北區梅田阪急前（第一曾根崎ビル四階）

總發賣元

SO商會工事部

電話北 2155・2156

製造工場　大阪市東野田四番地

佐々木工作所（電東 696）

建築衛生設備設計施工

営業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置 スプリンクラーシステム、消防用器具、サイヤーミンスコンネクシヨン、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼煖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣晩房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルフ製造會社 日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社 日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

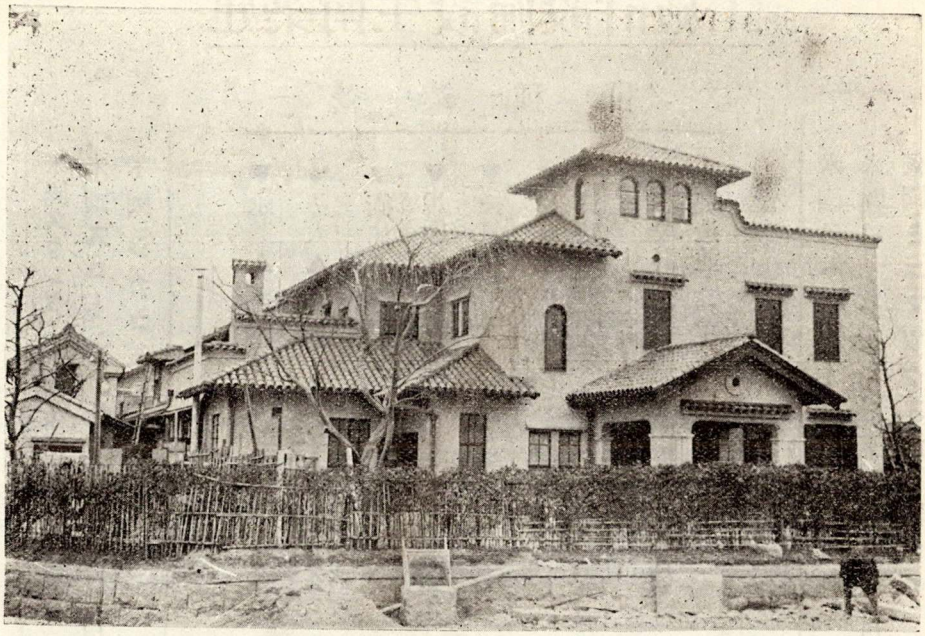
宮内省御用達

株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八八九四五番

支店
名古屋
京都
東京

支店
住吉
神戸
博多



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市西區堀江通一丁目四〇
（木綿橋停留所前）
電話櫻川一五八番

優良國產屋根材の權威



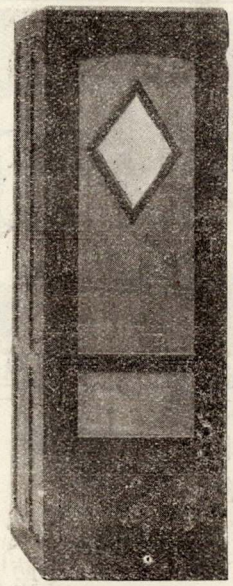
見本進呈

品種	材料	正價
No. 1	オーク	65.00
No. 2	オーク	65.00
No. 3	オーク	37.00

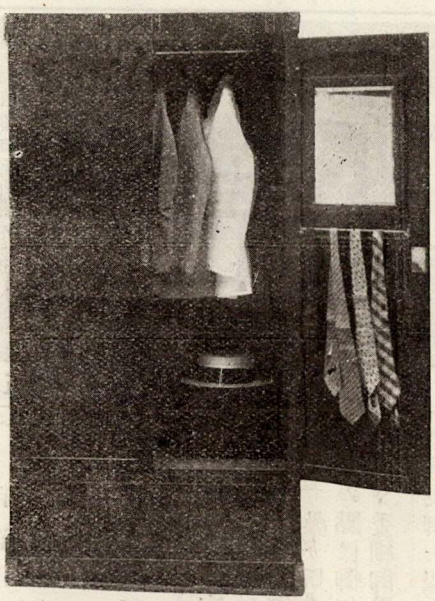
新案特許同業組合專用權受領
松安式(折疊ミ式)昭和服吊タンス

●特長

イ、折疊ミ分解　ロ、瓦材ヲ用フレバ絕對責任
ハ、高級ナル室內裝飾品　ニ、內部構造至便
ホ、大量製產ナレバ安價

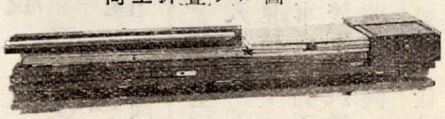


第三號品



第二號品組立タル圖

同上折疊タル圖



特約販賣店
大阪戸大神丸

大阪西區南堀江上ノ三ノ二四

發賣元
資合會社 松洋家具商會

電話櫻川二四七〇番

櫛實剝繼手付

櫻 **床板**

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）

三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產樽材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番

三熊製疊所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲當所の疊製品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀
疊内部防水防塵衛生裝置

新疊
院校用
寺學等
堂殿
社席
莊會茶
別省館
住宅官洋

負請事工般一疊

賣販地布綠及表疊
全國

販路—關西關東を始め全國各地一圓現場納入
▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はゞ委細御說明申上候
價格表御一報次第送呈仕候
出張所々在地　大阪　京都



各省諸官衙指定工場

日本エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

東京営業所 東京都千代田区神田旭町六〇七
電話神田(三)七〇六・(一)七七一・七〇三
本局長
神戸市下沢通二丁目

國産ドロマイト

マルコ プラスター

MARUKO PLASTER

特許 岩元式グラニツト

関西一手販賣

大阪耐火リノリユム工業合資會社

大阪市西區靱南ノ町一番地

新町4359

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙•工場•倉庫•撮影所•病院•溫室等•屋根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
内外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
内外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負
（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

タイルの山本窯業

大阪市北區芝田町

電話北 286. 5610

タイル と テラコッター

東京出張所

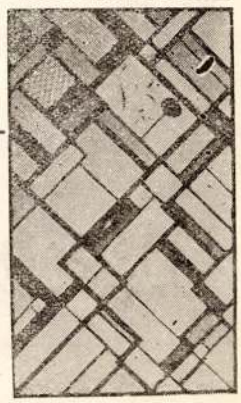
東京市日本橋濱町三丁目一地

(中之橋際) 電話浪速 1978番

ステインドグラス

グラスモザイク

VENUS STUDIO



大阪市東區谷町二丁目五 電東四二二〇

出張所 東京　代理店 京　城

ベニス工房

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコツタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

電話長西三四八九番

玲光社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

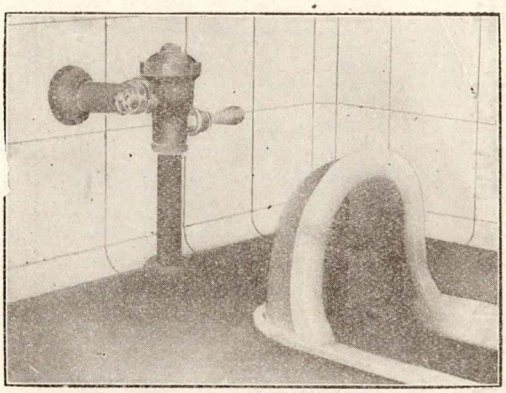
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

木三賓　内崎瀧　眞彌邦　太三太　郎郎郎

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝東京
可認御所役市都京・阪大・京東

製造發賣元　米本商店

二丁目三町幸區西市阪大
電話櫻川三八八〇番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

特約 インターナショナル石油發動機
のぐち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ・ベリル
グライングヴィ・マグネット・ナイール

..TRADE MARK..

資本金 五萬圓 N 商社

大阪東区平橋貳丁目一三地

大キナ商店

代表社員 小川繁太郎

電話本局 一三八九
五九三二番
振替大阪 一〇六一一番

陸屋根地下室用防水布



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度仲度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

専賣特許
富士印クロースルーフ井ング

クロースルーフ井ング製造所

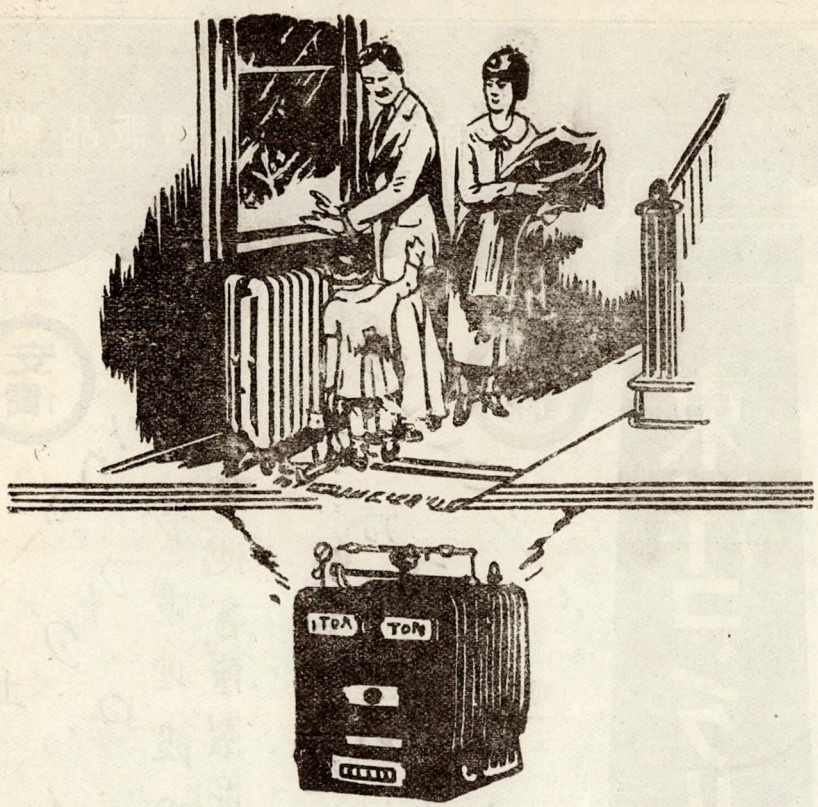
工場　大阪住吉
大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

營業種目

田中式天窓（スカイライト）裝置
岡田式耐酸アスファルト
大橋及東洋式各種ラス
階段辷止金具ノンスリップ
高陽スレート
各種ルーフイング及フエルト
タービヤ及アスファルト
陸屋根地下室防水工事

岡田建築材料店

名古屋市西區西菊井町二丁目
電話西局一一一番一〇八七番　振替名古屋五五九六番



營業案內

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

株式會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

株式會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル三九八
電話丸ノ内(23)一七九六番

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價

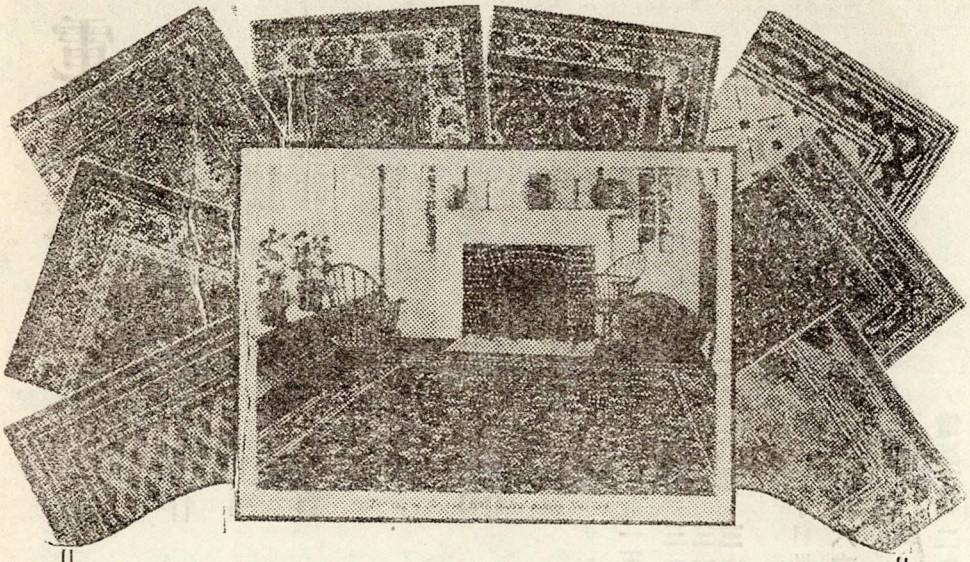
土管
ブロック
鐵筋コンクリート
電纜埋設用トラフ
其他各種製品應御注文

迅速

煙突
ブロック
鐵筋コンクリート
一般土木建築工事
特殊ブロック建築
塀

カタログ進呈

大阪市西淀川区海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話主佐堀三八三四番



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
　　電話直通　北一五七六番
交換北一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番

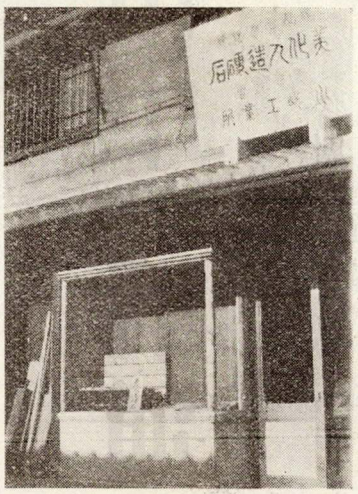
東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

建築界の美化と經濟に
貢献する

專賣特許

美化人造硬石

用途　大理石並ニ各種石材代用



硬石製ウインドー及彫刻看板

特長
實質堅牢
色彩優美
吸水絶無
色澤不變
耐寒耐熱
寸法模様
型態自由

御申越次第カタログ進呈

我美化人造硬石ハ多年研究ノ結果本年一月專賣權ヲ得タル嶄新ナルモノニシテ從來各地ニ製造シツツアル人造石ノ比ニアラズ御試用ヲ乞フ

製作販賣

川崎工業所

大阪市東區横堀四丁目
電話本町八四六

負請事工計設量測

大正九年創立

資本金貳百萬圓

日本水道衛生工事株式會社

營業課目

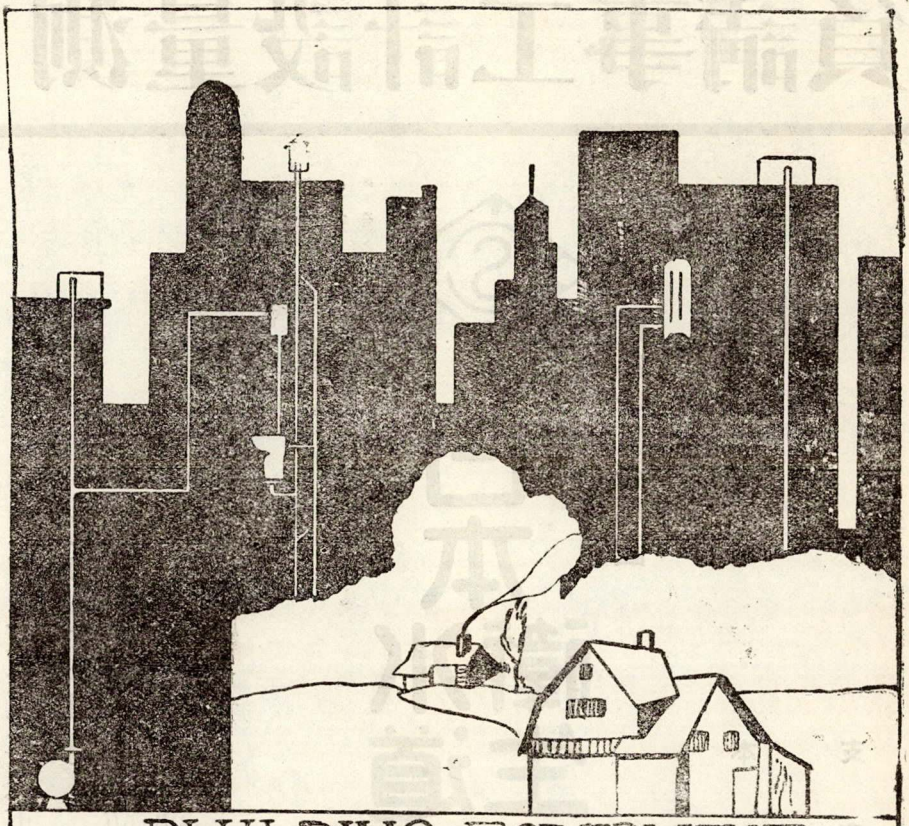
上下水道工事（市、町、村住宅地、官衙、兵營、工場）
水力電氣工事
建築衛生工事（防火、給水、給湯、排水、汚水淨化）
煖房、換氣工事（通風、冷房諸機械設備）
諸官廳ニ於ケル右工事手續代理行爲

電報略號　受信 ニチスイエイ　發信 「ニス」又ハニ
振替口座　東京 五一五七五番　大阪 五三七一五番

本社　大阪市東區高麗橋詰町六〇　電話東長（二一四二二番）（二一四二三番）

支店　東京市京橋交叉點第一相互館　電話京橋（四〇〇一番）（四〇〇二番）

出張所　京都・神戸



BUILDING EQUIPMENT.

都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

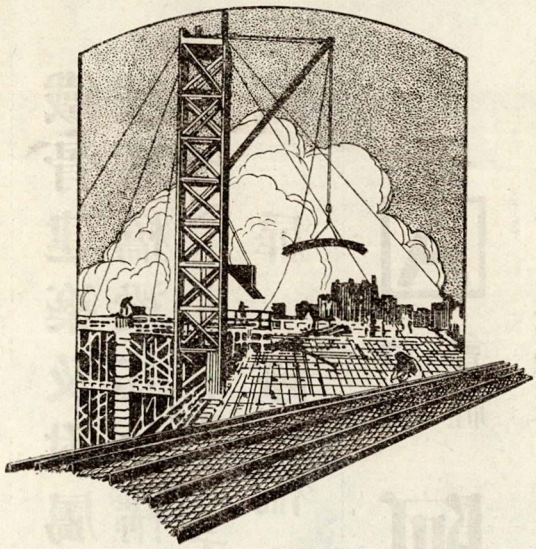
大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

鐵道省、大藏省、各官廳指定品

Nippon
DIAMOND RIB LSTILL

日本ダイヤモンドリブラス



國立大阪工業試驗所の試驗表(輸入品と比較)

御用(るたし)の節は御申越次第型錄に共に已に既は時のるす用使を品入輸。すまし致附送に去りまたしたら。切に國產品の御愛用を希ますい。

全國一手販賣店

三共貿易株式會社

東京市日本橋區江戸橋一丁目四
二四八番
三四八七番
電話日本橋
三九九一番

關西、鮮、滿、臺、總代理店

奥村重兵衛商店

大阪市北區中ノ島六丁目
電話土佐堀 四六一番

製造元

合資會社 日進製作所

大阪市此花區四貫島旭町一丁目
二八四一番
電話土佐堀
三一三三番

日本ダイヤモンドリブラス最近納入先の一部

總理大臣官邸・東京帝大圖書館・日本勸業銀行・東京歌舞伎座・東京市政調査會館・秋田驛機關庫・寶生會・鐵道協會・日本電氣株式會社・聖心女學院・上野驛・横濱生糸檢查所・陸軍第一衛戍病院・内閣書記官長邸・飛行館・横濱栗田谷小學校・横濱老松小學校・大阪造幣局・關西學院・大阪鐵道局大阪勞働共勵館・日本銀行大阪支店・日本皮革株式會社大阪工場・三井銀行新町支店・天滿織物株式會社・大日本紡績株式會社・第一生命京都支店・枚方菊人形新館・山一證券株式會社大阪每日京都支局・京都武田五一博士新邸・昭和レーヨン株式會社・東洋紡績一宮工場・明石警察署・姫路驛機關庫・廣島專賣局・福岡武德殿・佐賀市廳舍・九州水力電氣株式會社其他

●防火宣傳●

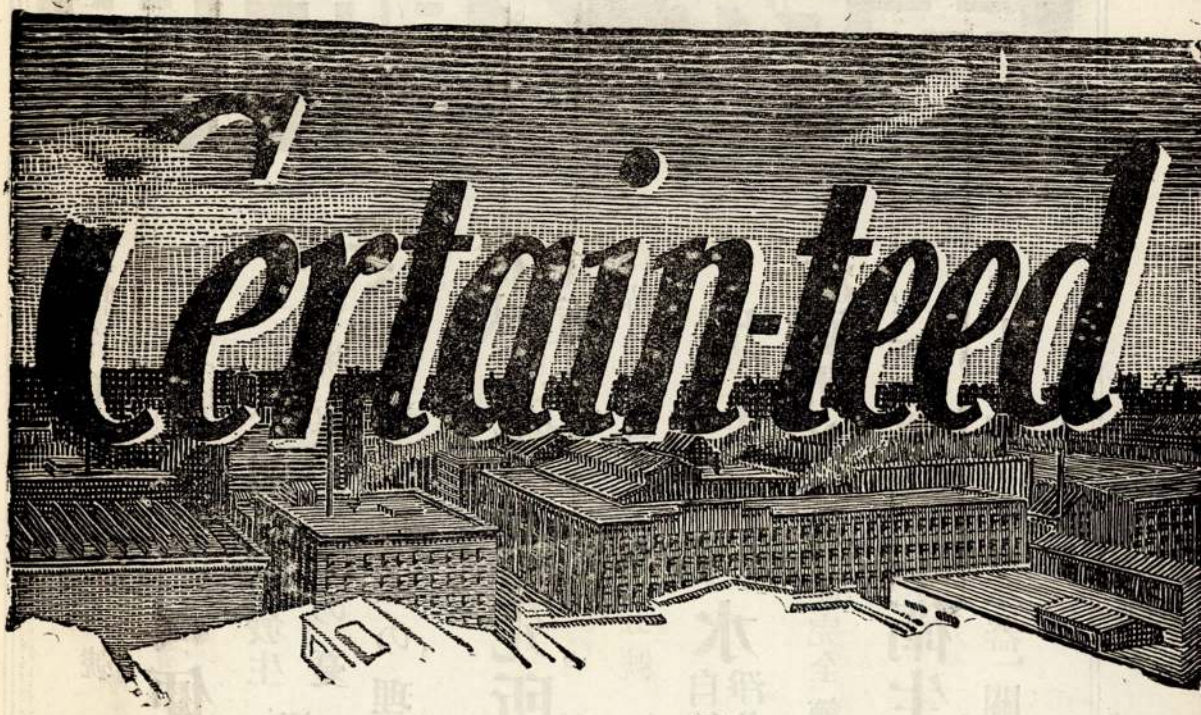
阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シヤッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀 長一八一四番 三八〇〇一四一番
振替口座大阪四八〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

内外建築大家御指定品



品質優秀

米國 サーテンティード 便利瓦

（ルーフィング）

アスファルト防水材料

價格至廉



主なる御使用先

丸ノ内ビルヂング
日本郵船ビルヂング
有樂館
東京帝國大學
東北帝國大學
早稲田大學講堂
三越呉服店
上野松坂屋本館
アメリカンスクール
東京女子大學
三菱地所部

三菱鑛業會社
久原鑛業會社
横濱ユーナイテッドクラブ
横濱スタンダード會社
横濱ライヂングサン會社
清水組
大林組
竹中工務店
安藤組
大倉土木會社
戸田組

日本總代理店

合資會社 **デウエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番
大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生絕對皆無
跳返、盜難の憂現在汲取式の理想的便所

專賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

『パームチット濾水器』關西代理店

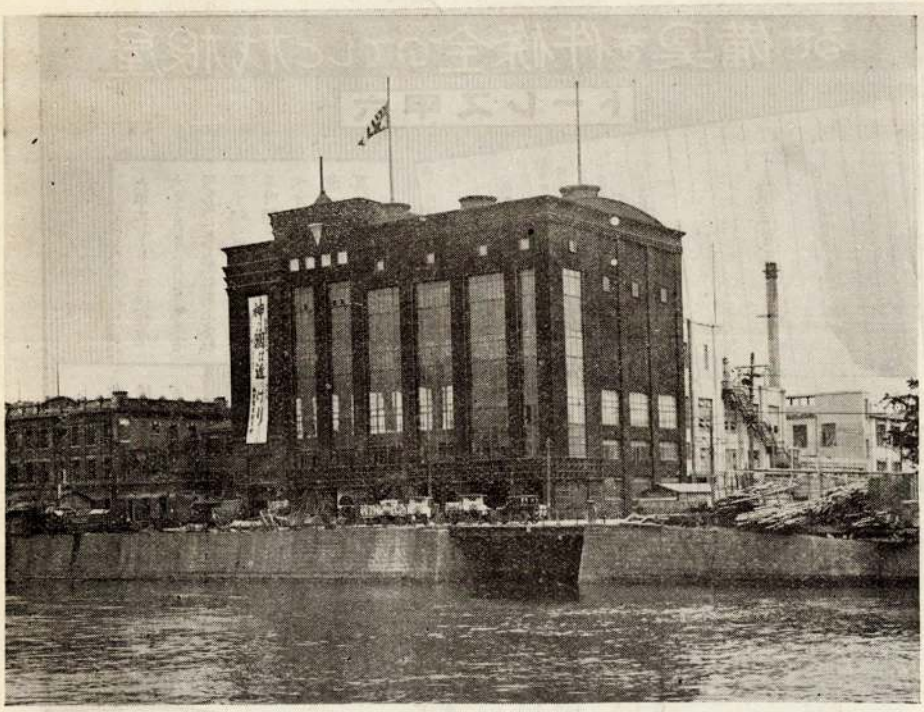
大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二一一九 八六番

本店 東京市神田區千代田町十八番地 特長 二五二三番 二五二二番 電話神田

出張所 名古屋市西區本町三丁目五番地 東話 二三〇七番
同 京都市大和大路前佛 祇園 四七二四番
同 神戸市三宮町一丁目百七十番地 三宮 一六八九番
同 横濱市常盤町五丁目八十一番地
同 廣島市竹屋町百三十五番地 二八〇八番

江東サツシ御採用の大阪朝日會館



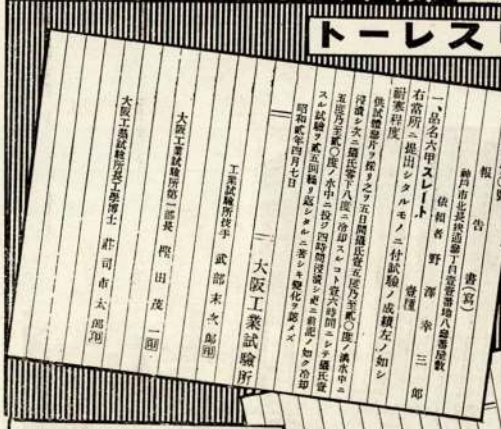
江東サッシ

東京・龜戸

電話向島3138番

屋根材としての全條件を具備せる

六甲スレート

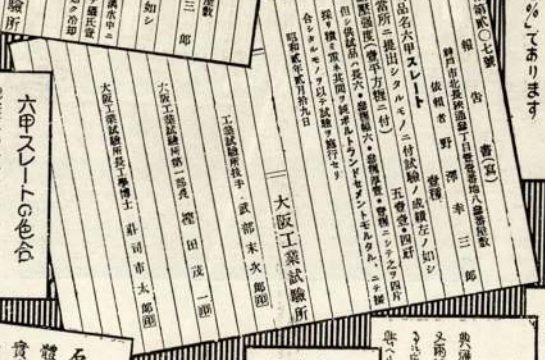


六甲スレートの吸水率

大正十五年八月七日鐵道省の試驗成績報告書によれば「六・七%」であります

六甲スレートの浸透程度

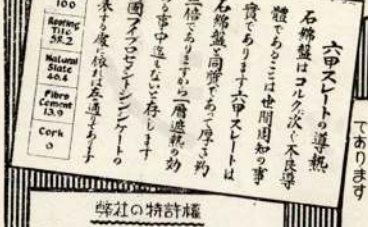
大正十五年八月七日鐵道省研究所に於て試料面上水柱三十cmの壓力を加ふる事三時間にして其水壓により水分が浸透するや否やを檢せられたる結果は異狀ナシ」であります



六甲スレートの色合

現在灰色・茶褐色・赤・黒及緑の六種でありますが其の何れの色彩をも使用致し得ります

尚ほ六甲スレートは廢棄物の利用致しますから製造價格頗る低廉であります



六甲スレートの導熱

石綿盤はコルク次ぐ不良導體であることは世間周知の事實であります六甲スレートは石綿盤と同等であつて厚さ約三倍でありますから二層造成の効あること申迄もないと存じます

英國アスフヨセンテンジケートの發表する處に依れば左の通であります

木	一
石綿盤	四十二
煉瓦	六六
石	八十

六甲スレートの伸縮

膨張係數は〇・〇〇二四にして一噸分の三強の伸縮あるのみであります

道具屋

軒先・ケラバ用各種附は勿論鬼瓦・棟鬼板・巴・繰り等各種取揃居り各「其甲」をも製作致して居ります。

維持費不要

耐壓力の強大凍結試驗をパスする六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益少くてありませぬ。

六甲スレート

装飾上の体裁は

典雅荘重の四字であります

又雨ゆきも確かし水排りを滞がふりしらきも成功致し形狀の點に於てこの特許を與へられました



製造 日本石綿盤製造株式會社

發売 野澤幸三郎商店

神戸 北長狭三丁目 合 2830 2831

東京 丸内 大正 3610

大阪 堺筋 大江ビル内 北 5994

福岡 銀座通三丁目 1945

振替 大阪 413 東京 203 四条畷

昭和ビル内

鋼製建具

シヤッター
サッシュ
ドアー

元大阪鐵扉製作所

日本鋼製建具株式會社

大阪支店

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

電話土佐堀五九二〇番

本　社　東京市丸ノ内丸ノ内ビルヂング八階　**電話丸ノ内3627**

東京工場　川崎市大師河原　**電話川崎973**

大阪工場　大阪市西淀川區傳法町南二丁目　**電話土5920**

品川白煉瓦株式會社
大阪タイル部
大阪市西區江戸堀北通一丁目
電話土佐堀{711 7008番

品質本位・品川タイル

製作 専門

SASH DOOR SHUTTER

サツシ・ドア・シヤッター

三五製作所
大阪市港區
北恩加島町五五
電話櫻川
四五三四番

日漫的表代の屋ルーレス新本



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊋3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊋684・841(專用) 1860・1861・1862番(接續)
支店 {横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
{門司市東本町四丁目 電話㊋548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジョイスト鋼
チヤンネル鋼

大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話（新町七四番 同七五番 同七六番）
受電略號オサカ、ナニワヅ

鐵筋用丸鐵

在荷豊富見積書御一報次第提出可仕候

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目 電話土佐堀（二一六六番 七一五四番）

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地 電話浪花二二五二番

石綿スレート（石綿盤）
天然スレート（石盤葺）
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

一般電氣工事設計
監督請負

高級裝飾照明器具設計
製作並輸出入販賣

みよし組電氣工業所

營業所
大阪市東區味原町九九
電話南一〇三七・五貳二九
神戸・東京・福岡

製作所
大阪市東區味原町九九



塗裝工事請負
設計並ニ
材料販賣

松本商店

主店 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内

電話土佐堀二三九一・二一二五・三五〇九番

石・膏

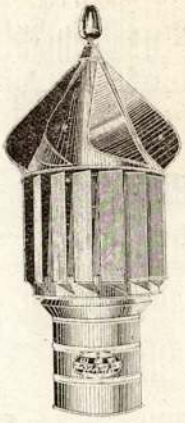
（ギプス）

美術彫刻用
醫療用
建築用
陶業用
歯科用
並ニ
建築装飾
模型像
塑石膏型
製作施工

ギプス容器
大樽（百斤入）
小樽（五〇斤入）
袋入（卅三斤入）
大鑵（二十斤入）
小鑵（十斤入）

大阪市東區安土町一丁目二〇
電話本町 七四四・七四五
大阪石膏株式會社

山崎式ベンチレーター



換氣力絶大
價格低廉
永久持續油壺
完全防水
等・等・等
好評噴々

最早實地使用
試驗濟優秀品トシテ**確定**セラル
永久的使用料油無料進呈

新案特許願

三種類ヱルボー

A **普通ヱルボー**
ストーブベンチレーター用
日本唯一掃除蓋付にて掃除が容易に得られます。

B **掃除蓋付ヱルボー**
蓋付ヱルボー加工品にして火粉止有効保證

C **火粉止ヱルボー**

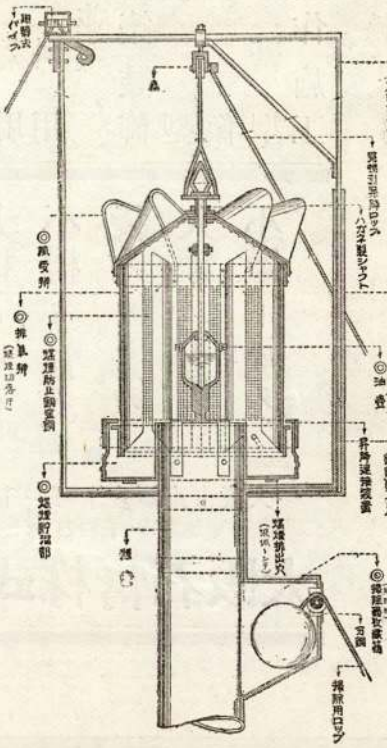
山崎式エルボー

（最新式獨逸製ヱルボー機械購入）

特許 山崎式

煤煙防止自然廻轉助燃器

カタログ進呈



防火宣傳

1 **火災防止**

煙突ノ上部ニ取付裝置ニシテ掃除其他取脫スル場合ロツプニヨリ地上ヨリ取降スコトガ出來マス

2 **衛生保健上**

3 **燃料節約能率增進**

湯屋・料理業・ウドン屋組合
諸官廳・會社等 御推薦品

山崎吉松商店

大阪市西區阿波座下通二丁目廿四番地
電話新町三〇二七番

大理石代用 オパキサイト

完全防水 エヴァシール

マグスタッコ床塗

関西發賣元

田中昌司商店

大阪市西區江戸堀南通四丁目

電話土佐堀 一四八〇番 三七八四番

江東サッシ



店舗 大阪市東區北新町二丁目三番地

電話 東二九五一番

和洋建具 製作請負

高安商店

店主 高畠與市



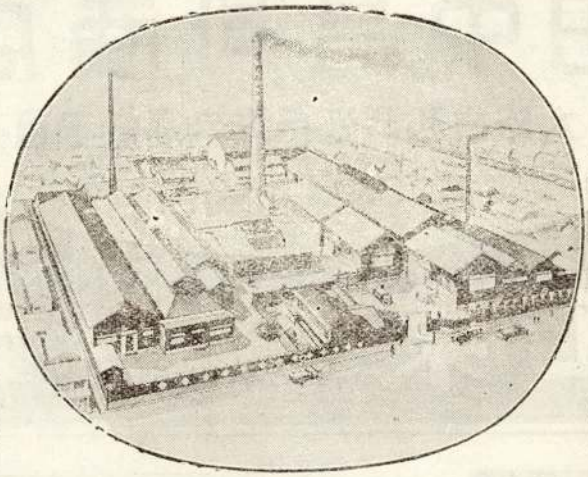
工場 大阪市東區德井町二丁目三十七番地

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用
ペイント用
染色用
陶磁器用
漆器用
建築用
皮革用
防水布用
製紙用
リノリューム用
燐寸用
ゴム製造配合用
電線被覆用
印刷インキ用
印刷製版用
スレート用

製品種目

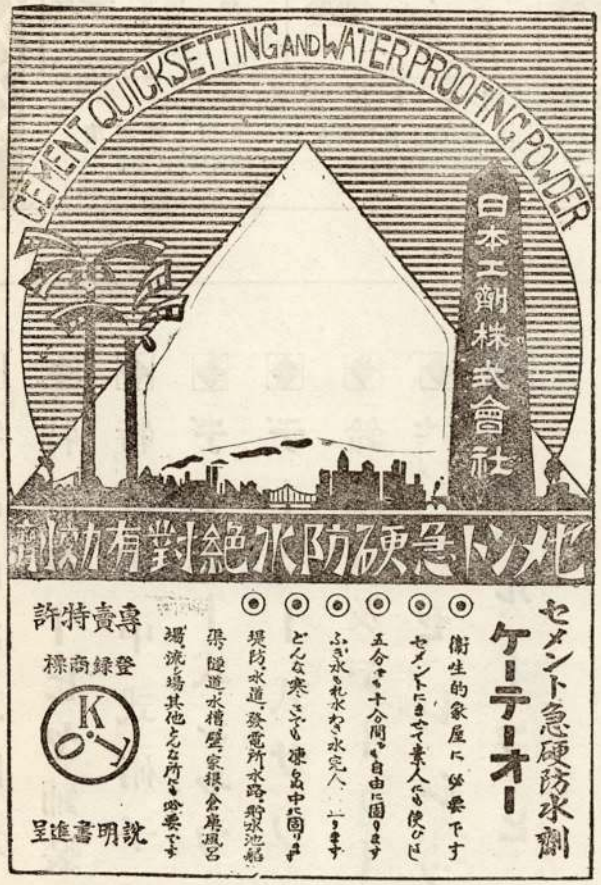
富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印	丹頂印	
四十鳥印	隼印	鴫印	線鳥印	鵠印		

（見本進呈）

發賣元
合資會社 **大平工業所**
大阪市西成區長橋通四丁目
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

代理店
藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二丁目
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二

セメントを早くかたまでとめて
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番



淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

燒けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に

淺野煙突

社會式株トーレス野淺

市京東	市阪大	市司門	市屋古名	市幌札	府城京
京橋區三十間堀三	北區中之島八ノ五	門司市白水町	中區南黒門町三	北三條西四ノ一	三一通江濱
電話 1860 1861	電話 8205 8206	電話 1228 1931	電話中 1097	話特長 598	電話 龍山 1226
銀座 1862	土佐堀 8207				

◆特許山添式防水工事
◆特許タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

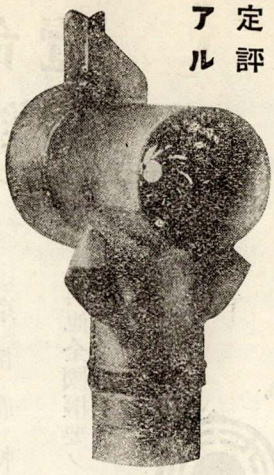
大阪市西區南堀江下通二丁目

内外土木建築材料合資會社

電話櫻川一六一〇番

◇宮島式排氣頭◇

定評アル



排氣頭ノ價値ハ排氣量ニアリ

（諸官衙御用）

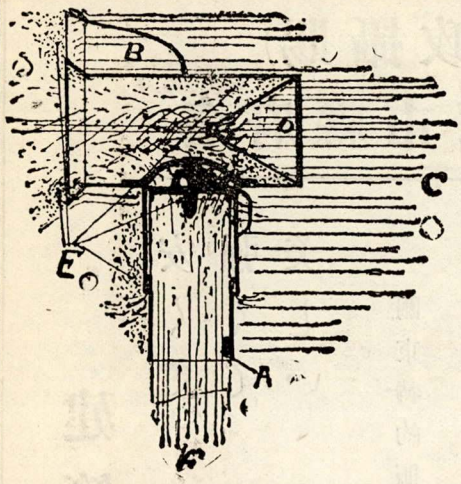
宮島式

◇◇◇◇
特特特特
許許許許
自サ排換
働ホイ
洗ン
滌瀉式氣氣
裝水
裝
置置頭頭

本機ノ特徴

一、吸引力旺盛ナル事
二、價ノ低廉ナル事
三、廻轉烈シカラザル故破損ノ憂無キ事
四、雨水ノ筒下ニ入ル憂無キ事
五、煙突臭氣換氣何レニ使用シテモ有効ノ事
六、一目ニシテ風向キヲ知リ得ラルヽ事
七、逆風ノ時ト雖モ完全ニ排出口ヲ風下ニ向ケ作用ハ同ジ

以上ノ如ク他ノ追從ヲ許サズ



本機理解說明

A 排氣管ニ差込ム可キ所
B 方向板Y字形片葉蝶番
C 頭外ノ速風
D 旋風起漏斗
ED 眞空體吸引力
F 筒下ノ惡氣

（御一報次第カタログ進呈）

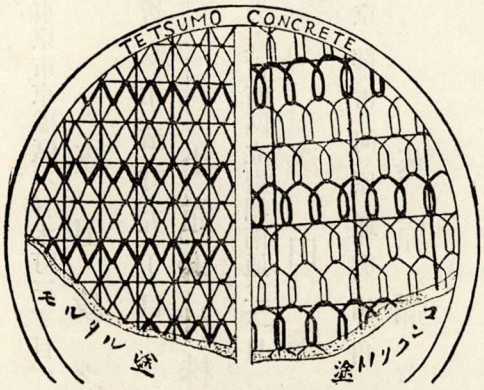
導水ポンプ
湯ボイラー
諸般
生衛
工事
負請

發賣元

宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山（36）四七二九番　振替口座東京五五八四八七番

完全無比特許藤井式鐵網



◇營業種目◇

◆特許藤井式鐵網各種
◆木摺板不用鐵網各種
◆丸形甲形菱形鐵網
◆クリンプ金網各種
◆角形金網各種
◆一般土木建築用金網類
◆金網製造機械設計製作

東京市芝區白金三光町一五九

東京機械金網工場

電話 高輪 六二五八番
電略（トキ）又ハ（トアミ）

型錄送呈

建築界之驚威

安くて
強くて
美しい

登錄商標

ミクニ板

（特許杉柾目天井板）

關東特約販賣店

東京市京橋區本材木町三丁目
篠田政之助商店

青森秋田岩手宮城四縣特約店

青森市濱町五丁目
小館木材株式會社支店

大阪府特約店

大阪市西區立賣堀南通二丁目
澤田秀吉商店

京都府特約店

京都市河原通夷川角
藤原彌三郎商店

其他全國樞要ノ地ニ特約店販賣店アリ

登錄商標

ミクニ板製造元

廣島縣福山市西町

日本木材工藝株式會社

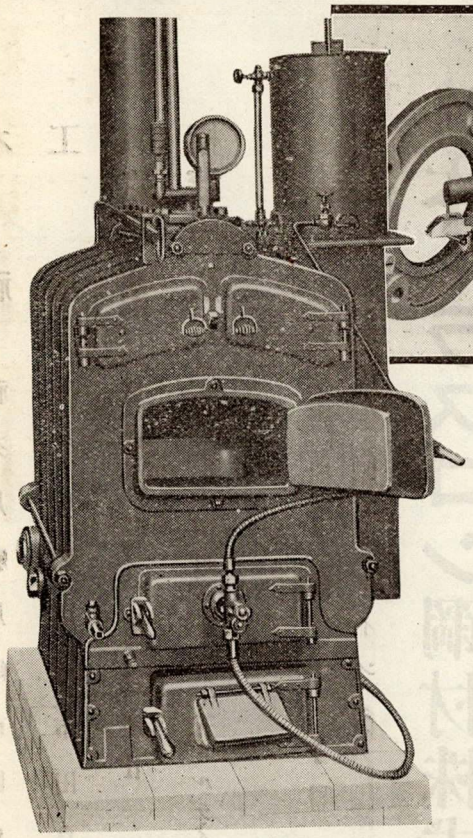
長電三九七番

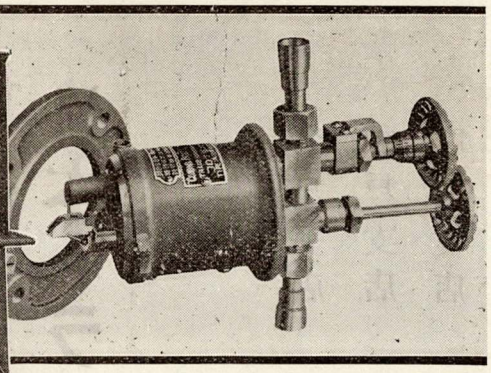
賜攝政宮殿下台覽

各府縣市營繕課御推奨品

TRADE MARK

實用的に最も進歩せる
特許コロナ重油燃燒機





特許コロナ重油燃燒裝置ヲ
取附ケタル焚房汽罐ノ圖

特許コロナ燃油機ハ機構簡單構造堅牢、マッチ一本デ點火ガ出來テ、無煙無臭無灰無音ノ完全燃燒ヲナス
燃料費ハ瓦斯代ノ三分ノ一コークス代ノ二分ノ一石炭ヨリ經濟便利ナリ、家庭風呂溫室ニモ利用自在.

カタログ御申込次第送呈
實驗御申込次第應需

日本燃油機株式會社

營業部　東京市日本橋區通貳丁目加島ビルデング參階
電話日本橋(24)一九七四・一九七五・一九七六番

製作部　東京府西巢鴨町宮仲一九五一番地
電話大塚(86)一一七二番

營業品目

鋼製組立家屋
鐵骨鐵筋
鋼製窓枠
鋼製扉
メタルラス及
附屬品
道路鋪裝諸鋼材
鐵骨及コンク
リート用塗用
其他

本社　神奈川縣川崎市田島町

工場　神奈川縣川崎市田島町

東京支店　東京市丸の内三菱廿一號館

横濱支店　横濱市太田町二丁目十五ビルデイング

日本トラスコン鋼材株式會社

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルデイング

電話土佐堀一七七六・三一〇三番

名古屋支店　名古屋市東區東新町萬歳ビルデイング

神戸支店　神戸市榮町通二丁目山口ビルデイング

廣島支店　廣島市紙屋町藝備ビルデイング

福岡支店　福岡市博多上呉服町太平ビルデイング

地下水の利用

獨逸ローピング式

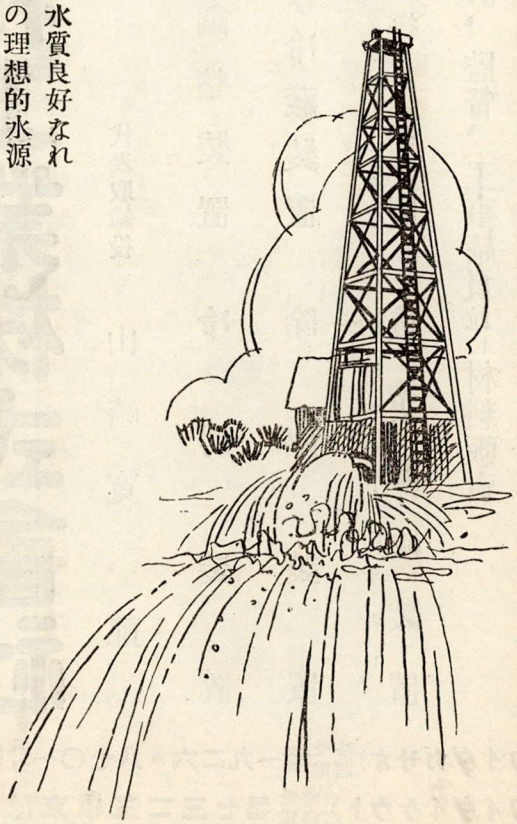
大鑿井工事請負

深層の地下水は絶對安定にして水質良好なれば上水道用建築用工業用としての理想的水源なり。最新式强馬力掘鑿機を使用する我社は深層並に堅盤掘鑿に對し絶大の確信あり從來他式にて失敗せし處に於ても能く短時日に完全なる工事の完成を保證す

御申込次第詳細カタログ御送呈仕る可く尙又御希望により實地踏査の御需に應ず

一特許パルソン式エヤーリフト揚水裝置
（鑿井收水量減退防止裝置付）

一特許リビーチ濾水器
（鐵アムモニアの唯一の除去裝置）



日本地下水協會

堺市大濱北町公園地
電話堺二二二九番

常盤商事合資會社

大阪市東區備後町（野村ビル）
電話本町七五五番

煖房ト冷房
AIR CONDITIONING

大和工業株式會社

代表取締役　萩原貞

代表取締役　山崎寛二郎

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管(ユニウマチツクチユウブ)裝置　眞空掃除(バキユウムクリナー)裝置

以上の設計、監督、工事請負並に材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三　電話局北一〇七八・六二九一番　(略受電語)(ワイダカサオ)
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五(第一相互館二〇八)　電話局京橋三二三七番　(略受電語)(ワイダイケウト)



東洋スレート株式會社

大阪市港區九條南通一丁目
電話西長三三・一六二・二五四二

型錄見本御申越次第御送附申上候

波形スレート特長

- 東洋波形スレートはポーランドセメント及加奈太產石綿を原料とし**弊社獨特の强大なる壓搾機により高壓壓力を加へて製造したるものなるが故に**
- 强度絕對無比
- 水の浸透率極めて僅少にして雨漏の憂なし
- 寒暑による伸縮又は龜裂破損の心配なし

"ACME" ULTRAVIT-GLAS

"アクメ"ウルトラヴイット

(理想的紫外線透過窓硝子)

過する理想的窓硝子
紫外光線を多量に透



ふる太陽光線中の
に可驚活力を與
凡ゆる生物の生活

紫外線透過率試験%（獨逸伯林國立物理工業試驗所）

波長	340	320	310	300	297	295	290	280	uu
ウルトラヴイット硝子	85	83	77	63	58	53	42	22	%
普通硝子	43	1	0	—	—	—	—	—	—

歐米諸國に於ては既に多數の病院結核療養所、養老院、保育院、動物園、農園、畜産場等に使用し更に進んで積極的に發育助長健康增進等の一般衛生的設備として家庭、學校を初め會社銀行等に盛んに利用され夫ぞれ驚くべき好成績を擧げて居ます折角御使用あらんことを

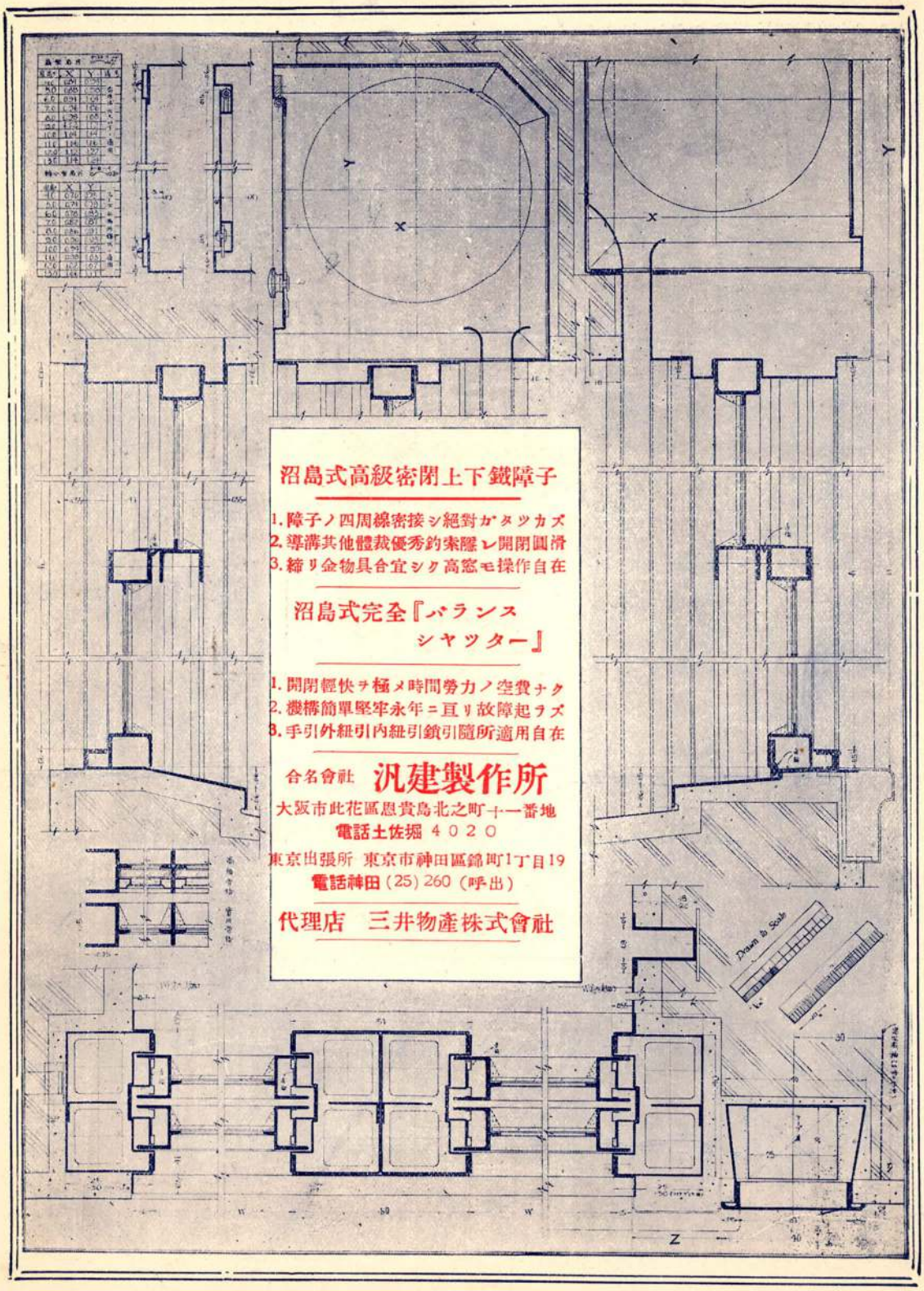
(御照會次第明細型錄送呈可致候)

株式會社

島津製作所貿易部

京都市河原町二條南

東京、福岡、大阪、大連、伯林、



沼島式高級密閉上下鐵障子

1. 障子ノ四周線密接シ絕對ガタツカズ
2. 導溝其他體裁優秀釣索ノ如ク開閉圓滑
3. 締リ金物具合宜シク高窓モ操作自在

沼島式完全『バランス シヤツター』

1. 開閉輕快ヲ極メ時間勞力ノ空費ナク
2. 機構簡單堅牢永年ニ亘リ故障起ラズ
3. 手引外紐引內紐引鎖引隨所適用自在

合名會社 **汎建製作所**

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地
電話土佐堀 4020
東京出張所 東京市神田區錦町1丁目19
電話神田 (25) 260 (呼出)

代理店 三井物產株式會社

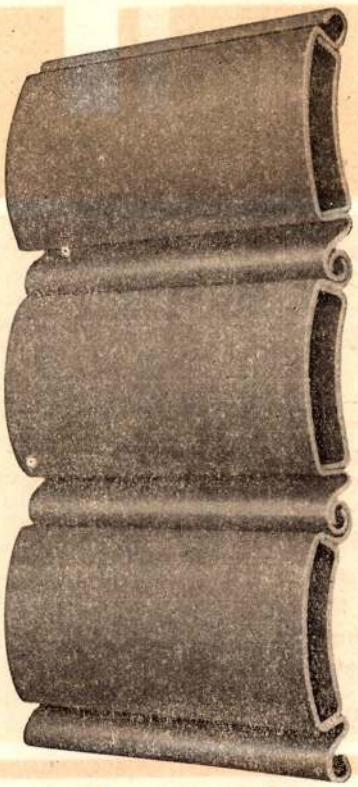
鈴木式ホロー・シヤタア

特許番號

日本 第一〇〇三三三號
英國 第二六五八七三號
米國 第一七〇七二八七號

米國特許局は今回
ホロー・シヤタアに第一七〇七二八七號を附して
特許を許可されました

世界の專門大家が……**世界一**……と
激賞する……ホロー・シヤタア



至急御申込を乞ふ

上等舶來アート摺一百二十頁、實例滿載の
新刊・ホロー・カタログ・御設計用として無代進呈

東京巢鴨町宮下
京都東山通月見町二

建築金物商會

SUDZKI'S PATENT
HOLLOW SHUTTER